

はじめに

世界中が、現在、新型コロナウイルス感染症への対応に追われています。高等教育界においても、オンライン授業・会議などが実施されましたが、学生・教職員共に戸惑っているのが現状でしょう。わが国でも、デジタル化、オンライン化については、以前から議論が進められていましたが、人工知能（AI）などのデジタル技術の活用に課題があることが指摘されています。

最近の高等教育における大きな潮流は、「学修者本位の教育」であり、「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」への転換が声高に叫ばれています。学修者本位の教育の観点から、一人ひとりの学生が自らの学びの成果（学修成果）として身につけたコンピテンシー（知識やスキルだけではなく、自律性、責任感、倫理観などを含めた能力）を自覚し、活用できることが求められています。学生が、その学修成果を自ら説明し、社会の理解を得ることも肝要です。

高等教育機関に対する期待は、「リカレント教育」です。日本では、少子高齢化が急速に進み、人生100時代を迎え、18歳人口が減少している現状のもとで、わが国全体の生産性をあげるためにリカレント教育は喫緊の課題です。

以上のような認識を基盤として、当機構は、令和2年度文部省委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」として、次の三つの事業を提案し、採択されました。

- A FD・SD事業「体系的な教職員研修プログラムの実用化に向けた改善・普及・展開」
専修学校の教職員が、多様な学生を対象とした生産性の高い学修を推進するために必要な知識・スキルを研修するためのプログラムを構築し、オンライン双方向授業を実施しました。
- B コンピテンシー事業「学校評価の充実等を目的とした資格枠組の共有化・職業分野別展開とその有効性の検証」
学修成果の可視化および国際間、教育セクター間における人材・教材の流動性を高める目的で作成した資格枠組について、複数の職業分野において共有化を図るとともに、有効性を検証しました。
- C ポートレート事業「職業実践専門課程版ポートレートの構築」
説明責任を果たし、情報公開を促進するために、学修に必要な情報を効率的に入手することが可能となり、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの構築に取り組みました。

本書は、以上のうち、令和2年度におけるB（コンピテンシー事業）の主な成果をまとめたものです。当機構では令和元年度までに、資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）、およびその概要を作成し、分野ごとに学修成果指標の検討を実施してきました。これらの取組の基盤に立って、本事業は、コンピテンシー体系の共有化を図り、学修成果測定のためのスキームの構築・普及をめざしました。本事業が、専修学校における専門職高等教育の質保証・向上に役立ち、さらに日本の生産性向上に貢献できることを願っております。

なお、本事業を進めるにあたっては、多くの専修学校や専門職大学院の実施協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

令和3年3月
一般社団法人 専門職高等教育質保証機構
コンピテンシー事業 実施委員会
委員長 川口 昭彦

目次

1 本事業の概要.....	1
1-1 本事業の背景.....	1
1-2 本事業の目的と概要.....	2
2 本事業の実施内容.....	3
2-1 事業実施の年次計画.....	3
2-2 本年度の取組み.....	4
3 資格枠組のレベル定義および学修成果指標の改善.....	5
3-1 美容分野－美容師職種.....	6
3-2 ゲーム・CG 分野－ゲームクリエイター職種.....	13
3-3 動物分野－認定動物看護師職種.....	20
3-4 土木・建築分野－土木施工管理職種.....	27
4 学修成果情報共有システム.....	35
4-1 学修成果情報共有システムの概要.....	35
4-2 学修成果情報共有システムに対するニーズ調査.....	37
4-2-1 人材特性について.....	38
4-2-2 学修成果のエビデンスについて.....	44
4-2-3 学修成果情報共有システムについて.....	48
4-2-4 学習成果情報共有システムのセキュリティについて.....	49
4-2-5 学修成果情報共有システムに期待すること.....	50
4-2-6 コメント(意見要望など).....	52
4-3 学修成果情報共有システムの設計とプロトタイプ作成.....	54
4-4 学修成果情報共有システムの試用.....	54
4-4-1 学修成果情報共有システムの画面.....	55
4-4-2 試用後のアンケート.....	57
4-4-3 アンケート回答のまとめ.....	61
5 資格枠組のレベル定義、および学修成果指標の普及活動.....	62

資料	63
資料 1 資格枠組	64
資料 2 資格枠組(概要)	89
資料 3 学修成果指標	95
資料 4 ガイドライン	104
資料 5 学修成果情報共有システムの要件定義	139
資料 6 ニーズ調査票 企業	152
資料 7 ニーズ調査票 専門学校	155
資料 8 学修成果情報共有システムの操作説明書(簡易版) 学生用	158
資料 9 学修成果情報共有システムの操作説明書(簡易版) 教員用	174

コンピテンシー事業 実施委員会名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
川口 昭彦	専門職高等教育質保証機構代表理事
山中 祥弘	メイ・ウシヤマ学園理事長
野田 文香	大学改革支援・学位授与機構准教授
小林 浩	リクルート進学総研所長
花岡 萬之	学事出版株式会社副社長
上別府 隆男	福山市立大学教授
本田 あけみ	関西国際大学教授
宇佐見 眞也	ECC コンピュータ専門学校校長
下藪 恵子	国際動物専門学校校長
堤下 隆司	修成建設専門学校校長

美容分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
川島 鋼太郎	ハリウッド大学院大学専攻長
本田 あけみ	関西国際大学教授
小川 朝子	ハリウッド大学院大学助手
佐藤 友彦	株式会社アクシス代表取締役

ゲーム・CG 分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
宇佐見 眞也	ECC コンピュータ専門学校校長
望月 弘	専門学校未来ビジネスカレッジ学部長
丸山 一彦	Japan Entertainment 開発協会事務局長
徳留 和人	株式会社スマイルブーム取締役

動物分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
下藪 恵子	国際動物専門学校校長
坂元 祥彦	宮崎ペットワールド専門学校校長
遊座 晶子	一般社団法人日本動物看護職協会副会長
山下 眞理子	全国動物教育協会動物看護教育担当

土木・建築分科会委員名簿

氏名（敬称略）	所属・職名
堤下 隆司	修成建設専門学校校長
松田 正之	中央工学校校長
野村 種明	東海工業専門学校金山校校長
稲沢 達也	古久根建設株式会社技術管理室担当部長

1 本事業の概要

当機構では、平成 30 年度および令和元年度の文部科学省委託事業¹（以下「令和元年度事業」）の中で、わが国において使用されることを想定し、かつ、国際通用性のある「資格枠組のレベル定義」を策定した。本事業は、この事業成果を継承し、学校評価の充実に結び付けることを目的とした事業として位置付けられる。

1-1 本事業の背景

▼学修成果の可視化に関する流れ

学修成果をシステムティックに評価して公開する機運は、大学等における認証評価の開始以降、特に高まってきたように思われる。平成 16 年度に始まった認証評価では、たとえば、大学評価・学位授与機構の評価基準の一つとして「教育成果」が設定されていたが、学修者からの視点を重視する流れにしたがって、平成 23 年度からの 2 巡目では「学修成果」と改められた。平成 26 年度から実施された文部科学省の「大学教育再生加速プログラム（AP：Acceleration Program for University Education Rebuilding）」では、「学修成果の可視化」をテーマとした事業が多くを占めていた。このような流れを受け、多くの高等教育機関では、ルーブリックやカリキュラムマップなどの枠組を作成し、学修成果をあげるための工夫やその可視化が試みられている。

しかしながら、それらの試みの多くは、学修成果を測定する枠組の構築に重きが置かれており、学修成果を測る基準、すなわち、枠組の中身の議論が進んでいないように思われる。ルーブリックの形は整っているものの、その中身は成績評価基準をそのまま転写しただけで、しかもその内容は学校の中でしか通用せず、学生の将来のキャリア形成の基礎として位置付けるような視点に乏しいものも多い。

▼資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）の策定

今、高等教育機関に求められている学修成果の枠組は、グローバル化が進み、人生 100 年時代を迎えようとしている現代社会において、生涯に渡って参照可能で、かつ、国際通用性のあるレベル定義（レベルディスクリプター）である。わが国には、諸外国に存在する「国家資格枠組（NQF、National Qualifications Framework）」が存在しない。職業教育の観点から見ると、多くの専門学校生が取得目標とする国家試験は数多く存在し、中核的人材の輩出に少なからず貢献している。しかし、これらは各省庁が独自に設置・運営しているものがほとんどであり、国家的な観点からレベルの統一を図り、さらに、人材の移

¹ 文部科学省委託事業「職業実践専門課程を通じた専修学校の質保証・向上の推進」の中で実施された「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」事業

動可能性を促進するような発想はないに等しい。

1-2 本事業の目的と概要

本事業は、「資格枠組のレベル定義」を頂点としたコンピテンシー体系を、産業界、専門職高等教育機関、高等学校等と共有し、各職業分野で求められている学修成果の測定に用いる仕組みについて研究することを目的としている。

このとき、いくつかの職業分野を事例として、人材ニーズをもつ産業界と、人材供給源となる専門学校間において先行的に活用し、将来的には学修成果の測定のみならず、就職した後の職業能力の判定などに用いることにより、資格枠組の有用性を検証する。

2 本事業の実施内容

2-1 事業実施の年次計画

本年度事業では、目的達成のための第一段階として、専修学校（養成施設等）と産業界（国家試験合格者を雇用する業界等）、高等学校との間で活用されていくことを目指し、将来的に、職業分野に依存することなくその活用を広げていくスキームの構築を目指す。職業分野としては、「美容」、「ゲーム・CG」、「動物」、「土木・建築」の4分野を対象とする。

2年目の事業では、1年目のスキームの国際通用性の検証を目的とした海外展開を進めるとともに、学校（学科）単位の学修成果評価の方法を検討する。

最終年度では、職業分野ごとに代表校を選定し、学校（学科）ごとの「学修成果評価」を試行し、産業界、高等学校等（海外の主体も含む）のステークホルダーによるアセスメントを実施して、3年間の事業成果とその発展可能性について検証する。

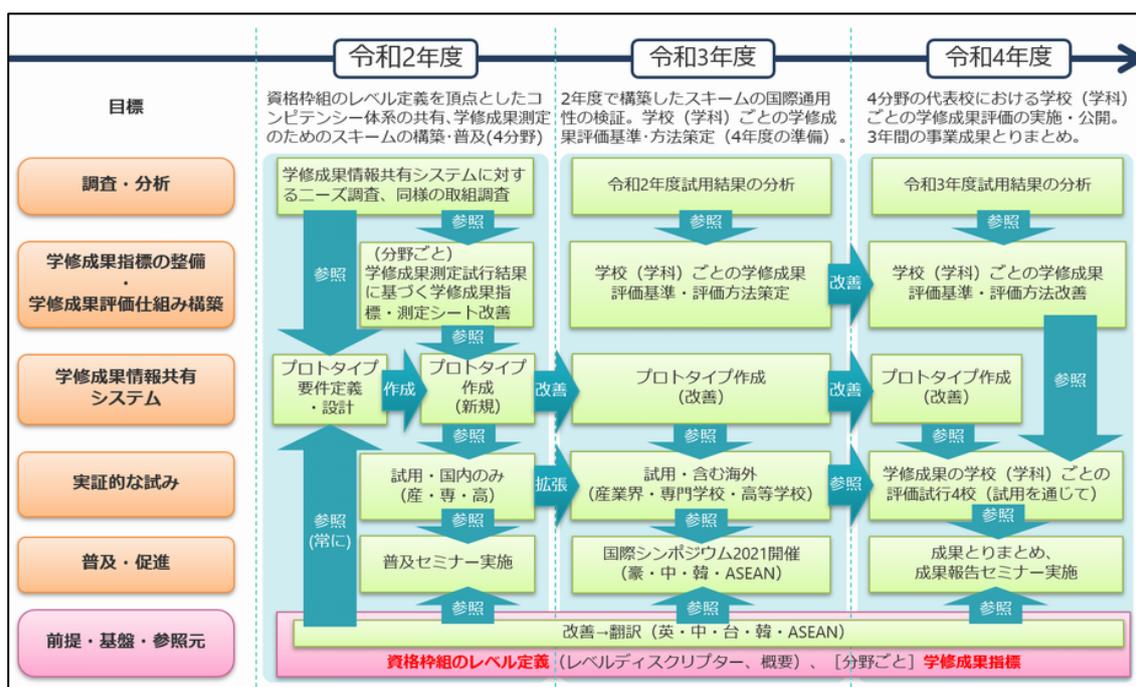


図 2-1 事業実施の年次計画

2-2 本年度の取組み

本年度事業は3年計画の初年度として、産業界、専門職高等教育機関、高等学校が「資格枠組のレベル定義」を共有し、かつ、これをそれぞれの立場で活用する仕組みの原型を構築する。この仕組みの構築を目標として、本事業では大きく次の5つの取組を進める。

- ① 資格枠組のレベル定義および学修成果指標の改善
- ② 学修成果情報共有システムに対するニーズ調査
- ③ 学修成果情報共有システムのプロトタイプ作成
- ④ プロトタイプの試用
- ⑤ 普及セミナー実施

本年度は、学修成果指標を実用化し、普及させるための第一歩として、学修成果情報共有システムを設計し、そのプロトタイプを作成した。それに先立ち、まずは、学修成果情報共有システムに対するニーズ調査を行ったが、そのとき、資格枠組のレベル定義、学修成果指標についても意見収集を行った。

その調査を参考に作成したプロトタイプの試用を、動物分野の専門学校に依頼して、実施した。

また、資格枠組のレベル定義、学修成果指標を広く認知してもらうためのセミナーも実施する。

その詳細について以下の章で述べる。

3 資格枠組のレベル定義および学修成果指標の改善

令和元年度事業で策定した「資格枠組のレベル定義」および「(分野－職種ごと)学修成果指標」について、同事業で実施した学修成果測定試行の結果や、同様の取組(ルーブリックやカリキュラムマップ)の調査結果等をもとに、レベル設定や記述内容の改善を図った。

職業分野・学術分野に共通した資格枠組のレベル定義におけるレベルの目安は、表3-1のとおりである。なお、令和元年度事業では専修学校専門課程(2年課程)卒業時をレベル4と定義していたが、国際的な枠組を調査・比較するなどして検討した結果、レベル5に位置付けることにし、専修学校専門課程1年課程修了時はレベル4と定義した。それを反映し、資格枠組のレベル定義、同概要、学修成果指標などの改訂を行った。

表3-1 資格枠組のレベル定義の各レベルの目安

レベル	レベルの目安
8	専修学校専門課程(2)卒業後15~20年経過(35~40歳)、博士
7	専修学校専門課程(2)卒業後10~15年経過(30~35歳)、修士、修士[専門職]
6	専修学校専門課程(2)卒業後5~10年経過(25~30歳)、高度専門士、学士、学士[専門職]
5	専修学校専門課程(2)卒業(20歳)、専門士、短期大学士、短期大学士[専門職]、準学士
4	専修学校専門課程(1)卒業(19歳)
3	高等学校卒業(18歳)
2	中学校卒業(15歳)
1	小学校卒業(12歳)

また、「資格枠組のレベル定義」について、海外普及を図ることを目的として、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語に翻訳を行った。ただし、英語については令和元年度事業で翻訳済みであるため、本年度事業では変化のあった部分についてのみ翻訳を行った。

本年度事業で改善された学修成果指標については、以下、分野ごとに、レベル4(専修学校専門課程1年課程修了後レベルを想定)からレベル8(専修学校専門課程2年課程修了から15~20年経過、または博士レベルを想定)について、令和元年度事業で定義した内容と比較しながら説明する。

3-1 美容分野—美容師職種

美容分野においては、レベル6に、昨年度定義したレベル5の一部の内容が追加されている。同様に、レベル5には昨年度定義したレベル4の一部の内容が、レベル4では、昨年度定義したレベル3の一部の内容がそれぞれ追加されるなどの改善（変更）が見られた。

表 3-2 「美容分野—美容師職種」レベル4の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	美容師免許の取得に必要な次の各科目における学修項目の知識の獲得と理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係法規・制度 ・ 衛生管理 ・ 美容保健 ・ 美容の物理・化学 ・ 美容文化論 ・ 美容技術理論 ・ 美容運営管理 ・ 国家試験の試験内容 	昨年度はレベル3
	美容師免許取得後に必要な実践的な知識と職業訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師による指導 ✓ カット理論 ✓ カラーやパーマなどの薬剤を使用した技術的知識 ✓ デザイン的思考と実践的知識 ✓ その他技術的経験、及び資格取得に必要な実体験の習得 ・ インターンシップによる職場体験 	昨年度はレベル3
汎用的な技能	知識や、よく知っている手法、スキルを活用して、定型業務／学習の予測できる問題を解決する技能	昨年度はレベル3
専門実践技能	次に示す美容師としての実践的スキル項目のそれぞれについての基礎的な技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験の実践技能 ・ 各種実技授業 ・ カット理論の実践技能 ・ カラーやパーマなどの薬剤を使用した実践技能 ・ デザイン的思考の実践技能 ・ その他技術的経験、及び資格取得に必要な実体験の習得 	昨年度はレベル3
対人技能	望まれる学習成果を修得する為、先生や両親など進路相談をする関係者と信頼関係を築く能力	昨年度はレベル3
	職場で必要な対人関係構築能力を習得するため、同級生、先輩、後輩と良好な関係を築くコミュニケーション能力	昨年度はレベル3
分析技能	資料作成及びプレゼンテーションスキル（PCやスマートフォンなどを使用した SNS 投稿技術なども含む）	昨年度はレベル3
管理・指導技能	最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事をする能力	昨年度はレベル3

	学習／仕事の枠内で、相手に助言を与える能力	昨年度はレベル 3
自律性と責任感	学業に対する意欲及び責任感	昨年度はレベル 3
	知識及び技術的経験を修得するための問題解決に取り組む姿勢	昨年度はレベル 3
	国家資格を取得し、美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚と自尊心、仕事に対する情熱	昨年度はレベル 3
倫理観とプロ意識	社会的規範を理解し、社会及び学校生活を送るにあたり、コンプライアンス意識を持った行動	昨年度はレベル 3

表 3-3 「美容分野－美容師職種」 レベル 5 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	次のヘア技能領域に関わる 基礎的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ シャンプー ・ トリートメント ・ ヘッドスパ ・ カラー ・ パーマ ・ ブロー&スタイリング ・ カット ・ デザイン ・ その他、組織特有の基礎的知識 	昨年度はレベル 4 詳細記述は削除
	次のヘア関連領域の 基礎的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛髪知識 ・ 薬剤知識 ・ トリートメント ・ 販売用の商品知識 ・ その他、組織特有の基礎的知識 	昨年度はレベル 4 詳細記述は削除
	次の美容関連領域の 基礎的知識（美容サロンで必要最低限な範囲） <ul style="list-style-type: none"> ・ サロンにおける接客サービス ・ 美容商品の提案、販売方法 ・ メイクアップ、化粧品 ・ 着付け ・ マッサージ、エステティック ・ ネイル ・ まつ毛エクステンション ・ その他、組織特有の基礎的知識 	昨年度はレベル 4
汎用的な技能	学習／仕事の内容が明確になっている場合、最低限の監督を受けて、一般概念／理論／運用原理の認識・解釈・適用・評価	昨年度はレベル 4
	明確でありふれた問題や、日常的に見られない性質の問題の解決	昨年度はレベル 4

専門実践技能	次に示す美容師としての実践的スキル項目のそれぞれについて、 問題解決に必要な最低限な技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ シャンプー ・ トリートメント ・ ヘッドスパ ・ カラー ・ パーマ ・ ブロー&スタイリング ・ カット ・ デザイン ・ その他、組織特有の必要最低限の技能 	昨年度はレベル 4
対人技能	コミュニケーション能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最低限のマナーを踏まえた接客能力及び会話の能力 ・ 職場の同僚、先輩、後輩との良好な関係を築く姿勢と会話の能力 ・ 組織の一員として円滑に業務を遂行するために必要な洞察力と意思疎通の能力 	昨年度はレベル 4
分析技能	基本的な資料作成能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習及び習得した経験や技能を整理整頓する能力 ・ PC やスマートフォンを操作し、資料を作成する能力 	昨年度はレベル 4
	基本的なプレゼンテーション能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験や技能を表現する能力 ・ 作成した資料を他者が共感できるように共有する能力 ・ PC やスマートフォンなどを使用し、社会一般に公表、表現する能力（SNS など） 	昨年度はレベル 4
管理・指導技能	ささまざまな状況で実施される明確で非定型的な学習／任務について、幅広い助言や指導を受けて、かなりの責任感と自主性をもって仕事をする技能	昨年度はレベル 4
	職場で各種チームの統率と管理を行い、問題に対処する技能	昨年度はレベル 4
自律性と責任感	美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚や自尊心、仕事に対する情熱を持っている（美容師としての誇り） <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事に対する意欲及び責任感 ・ 知識、及び技術的経験を修得する為の問題解決に取り組む姿勢 	昨年度はレベル 4
	自己管理能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のおかれた状況を理解することができている ・ 技術向上に関して、計画的に取り組むことができる 	昨年度はレベル 4
	組織の一員としての円滑な業務の遂行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己だけでなく他者との共同作業をする姿勢と完遂する責任感 	昨年度はレベル 4 一部削除
	不確実な事態の発生に対応する為の考え方と真摯な姿勢	昨年度はレベル 4
倫理観とプロ意識	社会的規範を理解し、コンプライアンス意識を持った行動	昨年度はレベル 4
	個人情報やプライバシーに配慮	昨年度はレベル 4
	守秘義務の順守	昨年度はレベル 4

表 3-4 「美容分野－美容師職種」レベル6の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	ヘア技能領域に関わる 実践的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ シャンプー ・ トリートメント ・ ヘッドスパ ・ カラー ・ パーマ ・ ブロー & スタイルング ・ カット ・ デザイン ・ その他、組織特有の基礎的知識 	昨年度はレベル5 詳細記述は削除
	ヘア関連領域の 実践的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛髪知識 ・ 薬剤知識 ・ トリートメント ・ 販売用の商品知識 ・ その他、組織特有の基礎的知識 	昨年度はレベル5 詳細記述は削除
	美容関連領域の 実践的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ サロンにおける接客サービス ・ 美容商品の提案、販売方法 ・ メイクアップ、化粧品 ・ 着付け ・ マッサージ、エステティック ・ ネイル ・ まつ毛エクステンション ・ その他、組織特有の基礎的知識 	昨年度はレベル5
	人材育成に関する手法 <ul style="list-style-type: none"> ・ ティーチングとコーチング ・ メンタリング ・ カウンセリング 	表現の変更
	美容各領域の技術的トレンド	
	美容サロン現場の生産性向上	
	美容師としての仕事において、専門的・概念的・理論的知識を詳細に認識し、解釈、応用、分析、評価する能力	昨年度はレベル5
美容分野の知識の活用において知的主体性を発揮する能力	表現の変更	
あいまいで複雑な状況や予測できない状況でも、多方向からのアプローチや自主性をもって、問題や課題を解決する能力	昨年度はレベル5	
サービスの創出につながるクリエイティブ思考		
広範な諸問題の解決に必要なレベルのロジカルシンキング能力		
	「美容分野において複雑な用途を管理、解明し、創造的で画期的な解決策を用いて、予測できない問題に対処する能力」削除	

専門実践技能	美容師としての実践的スキル項目において問題解決に 必要な技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ シャンプー ・ トリートメント ・ ヘッドスパ ・ カラー ・ パーマ ・ ブロー&スタイリング ・ カット ・ デザイン その他、組織特有の必要最低限の技能	昨年度はレベル 5 詳細記述は削除
	革新的で創造性に富む高度な美容サービスの創出	
	インストラクション、トレーニング等人材育成に関する次の実践的スキル <ul style="list-style-type: none"> ・ 美容師新人研修 ・ スタイリスト研修 ・ その他幅広い研修 	
対人技能	顧客との円滑なコミュニケーションの実践能力	昨年度はレベル 5
	中間管理職的なコミュニケーションや円滑なミーティングの実施に必要なコミュニケーションスキル	
分析技能	美容サロンの顧客管理につながる PC やスマートフォンの操作（SNS の活用等）	昨年度はレベル 5
	PC やスマートフォンを活用した効果的で説得力のあるプレゼンテーションスキル	
管理・指導技能	多様な組織的枠組みや制約の下で、自主的に仕事を進め、各種業務管理でリーダーシップを発揮する能力	
	後輩に対する適切な指導能力	昨年度はレベル 5
	組織の他者に対する業績の評価	昨年度はレベル 5
		「業務分野が明確でない場合を含め、新しい環境で、チーム・リーダーシップの発揮」削除
自律性と責任感	組織の一員としての責任感	昨年度はレベル 5
	自分や他者の業務について、相当レベルの責任感	
	美容師としての自覚と誇りを持って後進の育成にあたる責任感	
	美容の社会的立場づけの正しい認識に裏付けられた美容師としての誇りを持った自己管理	昨年度はレベル 5
	自身のキャリアパスの明確化（キャリアディベロップメント）	
	自身の活動を効率的にするタイムマネジメント	
	自身に発生するストレスを軽減・コントロールするためのストレスマネジメント	

倫理観とプロ意識	社会的・職業上の多様な環境や実務の中で、倫理観を遵守し、倫理上の課題を明らかにし、倫理観を持って決定し、美容師として行動をする能力を発揮	
	地域や世界が抱える科学、技術、ビジネス、社会、環境の課題について、深い認識と知識	
	地域や世界で、持続可能な社会をつくるために美容師の立場から貢献 美容師として、専門職業人に相応しい倫理的慣行や持続可能な慣行に従う能力	昨年度はレベル 5 昨年度はレベル 5

表 3-5 「美容分野－美容師職種」レベル 7 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	ビューティビジネスの展開に必要な次の各領域の知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 美容市場動向 ・ 美容マーケティング ・ サービス産業特性 ・ プライダルビジネス ・ ヘルスケアビジネス ・ コスメティックビジネス ・ ファッションビジネス 	
	次の各領域に関する基礎的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 美容サロンの起業・財務・経営計画 ・ ブランディング ・ 顧客視点経営 	
汎用的な技能	高度な技術、手法、技能を活用して、新しいアイデア／画期的な実践法を産み出すためのアプローチを幅広く、総合的にを行い、知識を批判的・統合的に応用し、美容分野における複雑な課題に対処し解決する諸技能（ハイレベルなクリエイティブ思考）	
専門実践技能	美容サロンの運営の実践技能	
	美容サロン経営の PDCA サイクル諸局面における補佐的業務の実践	
	ビューティビジネスの次の諸領域におけるビジネスの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ プライダルビジネス ・ ヘルスケアビジネス ・ コスメティックビジネス ・ ファッションビジネス 	
対人技能	美容業界における多様な立場の人々、異業種の人々と円滑なコミュニケーションを行うことができ、その能力を活かして、協力しながら仕事を進めることができるチームビルディングの能力	
	自己理解と他者理解を両立させ、部下との適切なコミュニケーションを図る技能	
分析技能	美容サロンの運営に関する正確な現状分析とその結果に基づく基本的な評価技能	
	ビジネスを円滑かつ効率的に進めるために必要な PC、スマートフォンの活用技能	
管理・指導技能	職場において、適切なマネジメントに結び付く、自主性、主体性、リーダーシップの発揮	

	複雑かつ予測がつかない状況下で、自分のチーム内の作業や他チームとの協働作業の企画、資源管理、監督、問題解決、人事・労務・作業管理	
	従業員のモチベーションマネジメント	
自律性と責任感	職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る考え方	
	ベンチャー事業あるいはプロジェクトを起こしたり、そのリーダーになったりすること	
	ライフワークバランス感覚	
	自身のモチベーションマネジメント	
倫理観とプロ意識	組織としての倫理的対応実践	
	批判的洞察や倫理的配慮に基づき、複雑な問題について助言や決定を行う自信	
	国や世界の社会的、技術的、経済的発展のために、美容師としての立場で貢献	
	市民社会や世界が抱えるさまざまな問題に、美容分野で取り組む能力を発揮	

表 3-6 「美容分野－美容師職種」レベル 8 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	ビューティビジネスの諸領域と学際的交流を図ることが可能な各領域の知識 ・ 医療 ・ 福祉・介護 ・ IT ・ その他関連領域	
	美容分野、美容関連分野における有力な業界団体のリーダーと交流を図るための知識と理解	
	美容サロンの短期、中長期経営計画の立案を図るための知識	一部削除
汎用的な技能	美容分野の最先端にある新しく複雑な抽象概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的に対応する技能。また、既存の概念や実務の高度化を図る技能	
専門実践技能	独創的かつ革新的な美容サービスの研究・創造	
	付加価値が高い美容サービスの開発・マネジメント技能	
	ビューティビジネスの諸領域と他領域の学際的研究とその成果の実現	
	組織的な研究活動の実践	

対人技能	美容分野、美容関連分野における有力な業界団体のリーダーとの交流	
分析技能	研究・実務活動の質を高めるために、既存の手法／方法論を利用／選択／改善する、あるいは適切な新しい手法／方法論を開発	
	美容サロンの経営分析などにおいて、数値データや図表データの批判的評価	
管理・指導技能	美容サロンの短期、中長期経営計画の立案	
	美容サロン経営の適切な PDCA サイクルの実践	
	組織的倫理対応のリーダーシップ	
自律性と責任感	自分自身の仕事について、全面的に責任を負う責任感	
	必要に応じて、所属する組織の運営管理全般に対する説明の責任感	
	生涯学習に対する知見と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合	
倫理観とプロ意識	組織的倫理対応のリーダーシップ	
	倫理上、職業上の新たな課題を見だし、その複雑さや、美容分野における研究の進展や社会全体への影響の明確化	
	社会的、技術的、経済的発展に美容師の立場から貢献	

3-2 ゲーム・CG 分野ーゲームクリエイター職種

ゲーム・CG 分野においては、人材特性「自律性と責任感」の中の「業務の遅れに関する報告責任」が、昨年度はレベル 5 とレベル 4 に定義されていたが、本年度はレベル 5 から削除され、レベル 4 のみに定義される変更があった。また、レベル 4 では人材特性「汎用的な技能」から「技能者育成における指導経験」が削除された。

表 3-7 「ゲーム・CG 分野ーゲームクリエイター職種」レベル 4 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	情報処理の基礎	
	ゲーム制作概論	

	プログラミング概論	
	2D・3Dの描画理論	
	ゲームエンジンの制作手法	
	色彩・質感の知識	
	チーム制作作業の進め方	
	ゲーム業界知識	
汎用的な 技能	ビジネス文書作成スキル	
	企画発想力・構成力	
		「技能者育成における指導経験」削除
専門実践 技能	C言語プログラミング	
	C++とオブジェクト指向プログラミング	
	2D・3Dゲームプログラミングと描画理論	
	シェーダープログラミング技術	
	ゲーム数学	
	レベルデザイン	
	ゲーム仕様書作成	
	チュートリアル制作	
	2D・3Dデザインツールの操作	
	基礎画力・観察力・構成力・描写力	
	UI/UXデザイン	
	対人技能	自分のアイデアをプレゼンする能力
自分の作品をプレゼンする能力		

分析技能	教えられた知識を正しく分析できる能力	
管理・指導技能	チーム制作での役割理解	
	3分野（プログラム・企画・CG）での制作進行に必要な行動	
自律性と責任感	指示された範囲の業務に対する責任	
	業務の遅れに関する報告責任	
倫理観とプロ意識	指示された技術の習得の正しい理解に対する心掛け	

表 3-8 「ゲーム・CG 分野ーゲームクリエイター職種」レベル 5 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	プログラムに必要な数学・物理	
	ゲーム個人制作	
	モバイルゲームアプリ制作知識	
	企画書個人制作	
	CG 個人制作（ポートフォリオ制作）	
汎用的な技能	制作スケジュールの立案	
	自己作品のアピールのためのプレゼンテーション能力	
	企画提案力	
	企画修正力	
専門実践技能	ゲーム物理（リアル表現）	
	描画エンジン制作	
	ゲーム AI 技術とアルゴリズム	
	サウンドエフェクト、3D サウンド	
	モバイルゲーム開発技術	

	オンラインゲーム制作技術	
	質感表現能力（シェーダー・テクスチャ・ライティング）	
	3D スカルプトモデリング技術	
	企画会議シミュレーション	
	ゲームエンジンプログラミング（企画）	
	ドキュメントレイアウト	
対人技能	論理的伝達技法	
	作品プレゼンからの改善	
	ディスカッション技法	
	チームメンバーの意見・考えの尊重	
分析技能	使用している技術を正しく理解し説明ができる能力	
管理・指導技能	チーム制作メンバーの役割を理解した行動	
	チーム制作でのコミュニケーション、問題解決技能	
	コミュニケーションツールの活用	
自律性と責任感	指定された技術を使用し、業務を遂行する責任	
		「業務の遅れに関する報告責任」削除
倫理観とプロ意識	業務に必要な技術の習得に対する意識	

表 3-9 「ゲーム・CG 分野ーゲームクリエイター職種」レベル 6 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	ゲームチーム制作マネジメントとディレクション	
	プロジェクトリーダーとしての役割	
	ゲームマーケティング	
	法的知見	
汎用的な技能	開発におけるコストの計算技能	
専門実践技能	最先端技術のプログラミング	
	実機でのアプリ制作	
	ノードベースプログラミング（企画）	
	ゲームプランナーゼミ	
	デモリアル作成	
	ポートフォリオ完成	
	ゲームエンジン CG 表現	
対人技能	職種・学年・他団体を越えた協働と連携	
分析技能	プロジェクトが正確に進められるかどうか分析する能力	
管理・指導技能	進捗管理、リソースと仕様のバランス管理	
	制作進行管理	
	一般的な法的理解	
自律性と責任感	業務に必要な技術の選別に関する正当性の説明責任	
	開発を最後まで導く責任	
倫理観とプロ意識	業務に必要な技術の正しい選択に関する意識	

表 3-10 「ゲーム・CG 分野ーゲームクリエイター職種」レベル7の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	先端技術と五感制御の理解	
	ゲームデザインの研究と論文発表	
	ゲーム制作における体系的学術研究	
	チーム、個人のゲーム制作における学術的指導経験	
	ゲームデザインの学術的体系化	
	ワールドワイドにおける法的知見	
汎用的な技能	先端技術に精通し開発もする技能	
	技術を、体系化し、まとめる技能	
専門実践技能	高度な専門知識に基づく技能	
	業務に必要な技術を正しく選択する技能	
対人技能	業務内容の迅速かつ的確な説明能力	
	チーム内の問題解決能力	
分析技能	技術を解析できる知識を適用する能力	
	先端技術を独自に研究、開発する能力	
管理・指導技能	部下を指導する能力	
	業務をスケジュール内に進める技能	
	部下の育成	
	技術へのセキュリティ管理と法的理解	
自律性と責任感	先端の専門知識を学習する責任	
	使用する技術にかかる、時間を正しく把握する責任	
倫理観とプロ意識	先端技術の管理	

	技術への正しい評価	
--	-----------	--

表 3-11 「ゲーム・CG 分野ーゲームクリエイター職種」 レベル 8 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	先端技術の理解と、五感制御の理解の応用研究	
	ゲームデザインの検証研究と成果発表	
	一般普及における訴求力の知識と実証検証結果	
	発想における特殊性の学術体系化	
	ハイブ・サイクルへの理解	
汎用的な技能	他業種を含めた情報の収集技能	
	先端技術のサイクルを理解し、次の技術を正しく予測できる技能	
	技術を分析し、広く使えるようにする技能	
専門実践技能	高度な専門知識を使い業務上の課題を解決に導く技能	
	将来必要な技術を予測し先行して開発する技能	
対人技能	他業種を含めた交渉、調整能力	
	技術を体系化し理解しやすい形にまとめる資料作成技能	
	情報を広める場の設定と運営	
分析技能	最先端技術を正確に理解できる知識を適用する能力	
	先端技術のハイブ・サイクルを理解した、予測、分析能力	
管理・指導技能	開発における課題を発見する能力	
	ナラティブ理論を応用した開発における組織管理	
自律性と責任感	最先端技術を学習する責任	
	技術を汎用化させる為の枠組み構築	

	開発した技術を運営し持続させることへの関与	
倫理観と プロ意識	最先端技術の運営と維持への関与	
	広い層に対しての技術の応用例の提示	

3-3 動物分野－認定動物看護師職種

動物分野においては、レベル6では一部の項目が昨年度定義されたレベル5の内容に変更されている。レベル5でも一部の項目が昨年度定義されたレベル4の内容に変更されている。そのほか、人材特性「対人技能」のレベル5から「異業種の方とのコミュニケーション」が削除され、レベル6に移動した。また、レベル4では多くの項目が昨年度定義されたレベル3の内容に変更されている。

表 3-12 「動物分野－認定動物看護師職種」レベル4の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	動物形態機能学	昨年度はレベル4、レベル3にあったが統合 詳細記述は削除
	動物医療関連法規	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	公衆衛生	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物病理	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物臨床検査	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物臨床栄養	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	伴侶動物	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物看護学概論	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物感染症	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物薬理	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物飼育（動物内科看護）	昨年度はレベル3 詳細記述は削除
	動物外科	昨年度はレベル3 詳細記述は削除

	動物繁殖	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物福祉	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物行動	詳細記述は削除
	人間動物関係	詳細記述は削除
	産業動物・実験動物・野生動物	詳細記述は削除
	ターミナルケア	詳細記述は削除
	安楽死	詳細記述は削除
汎用的な技能	IT という言葉の認知	昨年度はレベル 4、レベル 3 にあったが統合 詳細記述は削除
	会計学の基礎技能	
	基本的な情報収集・分析技能	
	基本的な情報発信技能	
	語学力（英語、中国語など）	中国語追加。 詳細記述は削除
専門実践技能	動物形態機能学実習技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	顕微鏡操作	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物臨床検査実習技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物内科看護実習技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物外科看護実習技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物の臨床看護に必要な基本的知識に基づいた技能	変更
	機能障害を持つ動物に対する看護技能、評価・介入方法の技能	
	術前・後管理技能	詳細記述は削除
	グルーミング技能	詳細記述は削除
	トレーニング技能	詳細記述は削除

	バイタルチェック	詳細記述は削除
対人技能	グリーフケア技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	社会人としての基礎的なコミュニケーション技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	接遇とホスピタリティの技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	クライアントエジュケーション	詳細記述は削除
	院内基本コミュニケーション	詳細記述は削除
分析技能	QOL の理解に基づく分析技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	観察技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	情報の記録技能	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	動物看護過程の展開技能	詳細記述は削除
	動物看護記録技能	詳細記述は削除
管理・指導技能	プレゼンテーションの初歩的技能	昨年度はレベル 4、レベル 3 にあったが統合 詳細記述は削除
	研究発表の基本的技能	詳細記述は削除
自律性と責任感	体験型動物看護総合実習における自律性と責任感	昨年度はレベル 4、レベル 3 にあったが統合 詳細記述は削除
	ボランティア活動体験	昨年度はレベル 4、レベル 3 にあったが統合 詳細記述は削除
	社会人としての義務の認識	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	成人としての義務の認識	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除
	情報収集方法に関する基本的認識	昨年度はレベル 3
	他者との交話方法に関する基本的認識	昨年度はレベル 3
	チーム獣医療に対する認識	詳細記述は削除
倫理観とプロ意識	「動物看護職の倫理綱領」に対する認識	昨年度はレベル 4、レベル 3 にあったが統合 詳細記述は削除
	アニマルウェルフェアに対する認識	昨年度はレベル 3 詳細記述は削除

	獣医療倫理に対する認識	詳細記述は削除
	「地球は一つ・ワンヘルスに関わる福岡宣言」に対する認識	詳細記述は削除

表 3-13 「動物分野一認定動物看護師職種」レベル 5 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	疾患種類、対象動物の性質	
	飼い主の権利	
	獣医師の診断結果と看護における問題点に対する理解	
	院外連携	
	臨床における疑問・不確実な知識・技術の追求と研鑽	
汎用的な技能	成果のとりまとめ技能	
	研究の基礎知識を蓄積する技能	表現の変更
	文献活動、研究発表のための技能	
専門実践技能	動物看護に関する基本的な活動の記録	表現の変更
	基準・手順に沿った安全な動物看護	
	安全管理・感染予防・防災対策	
対人技能	インフォームドコンセント	
	自分の考えを他者に伝える技能	
	対象者や他人の意見・考えの尊重	
	報告・連絡・相談の技能	
分析技能	日々の臨床事例の振り返り、課題の明確化	
	実症例の動物看護過程の展開と活用	新設
管理・指導技能	組織の理念・方針をよく理解した管理・指導	

	組織メンバーの役割を理解した行動	
	臨床実習の指導	表現の変更
	プレゼンテーション応用技能	新設
自律性と責任感	ボランティア活動の指導	新設
	実務型動物看護総合実習における自律性と責任感	新設
倫理観とプロ意識	「動物看護職の倫理綱領」の遵守	表現の変更
	個人の尊厳やプライバシーへの配慮	
	動物福祉への配慮	
	守秘義務への理解	昨年度はレベル4・レベル3 詳細記述は削除
	動物看護倫理	新設

表 3-14 「動物分野－認定動物看護師職種」レベル6の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	対象動物のQOL	
	重篤化回避の方法	
	回復支援のRHA看護方法	
汎用的な技能	臨床現場において研究的視点を持つために必要な技能	表現の変更
	研究のプロセスを進めるための技能	表現の変更
	学会等で研究発表を行うための技能	表現の変更
	職能団体の社会的意義を理解した活動技能	昨年度はレベル5にもあった
	院内における諸課題の把握・解決・共有技能	表現の変更
	種々の報告書作成技能	
	社会との連携や職能団体の活動に参加するための技能	昨年度はレベル5

	社会人としての基礎力技能	昨年度はレベル 5
専門実践技能	QOL 向上を目指した動物看護	
	安全な動物看護	
	動物看護の実践介入・評価	
	急変時対応	
対人技能	退院支援・退院後支援に関する飼主への指導・助言	
	院内における人間関係の認識	
	多職種との協業・連携や異業種の方とのコミュニケーション	昨年度はレベル 6、レベル 5 にあったが統合 詳細記述は削除
分析技能	アセスメントや看護計画立案の実施と指導	
管理・指導技能	後輩や実習生に対する支援	昨年度はレベル 6、レベル 5 にあったが統合
	院内学習計画の立案	
	院内資源（人・物・予算・情報）の有効活用を目指した調整	
自律性と責任感	動物看護師間のリーダーシップ	
	社会人また獣医療人としての自覚	昨年度はレベル 5
	組織の一員としての責任感	昨年度はレベル 5
	ジョブアンカー	昨年度はレベル 5
倫理観とプロ意識	「動物看護職の倫理綱領」への配慮	
	倫理的完成を高める中で、対象者への共感的理解と対応	

表 3-15 「動物分野－認定動物看護師職種」レベル 7 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	獣医療最新動向	
	感染予防管理	

	防災管理	
	他職能団体・学術団体の活動 に対する理解	
汎用的な 技能	獣医療安全管理技能	
	院内外での研修会における講 師や助手をつとめる技能	
	学会等における研究成果発表 (効果的プレゼンテーション) の 技能	
専門実践 技能	動物看護の実践モデル	
	獣医師との連携による動物看護 の質向上、専門性向上活動	
対人技能	対象者およびその家族との信頼 関係の構築	
	院内スタッフのコミュニケーション 能力育成の醸成	
	地域関係者、学界関係者との 積極的交流	
	組織的な研究活動の推進	
分析技能	短期・中長期計画の理解	
	院内チームの教育企画運営	
	院外組織の業務改善	
管理・指 導技能	OJTを通じた臨床実習指導	
	学習・研究成果の伝達と活用	
	スタッフの研究能力向上支援	
自律性と 責任感	社会情勢の変化に対する関心	
	所属組織の目標達成に向けた 主体的行動	
	院内・チームでのリーダーシップ	
	自己のキャリアアンカーの認識	
倫理観と プロ意識	院内・チームのビジョン	

	倫理的および獣医療安全上の諸問題の対応	
	トラブルに関する道徳的、倫理的見解をもった対応	
	倫理的完成（後輩の模範）	

表 3-16 「動物分野－認定動物看護師職種」レベル 8 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	職能団体・学術団体等の活動に対する協力、社会的貢献	
汎用的な技能	経営マネジメントの技能	
	業界発展に寄与するための技能	
専門実践技能	獣医療動向、社会ニーズを踏まえた院内・組織運営	
	専門実践技能の能力開発	
対人技能	各研修会等における座長	
分析技能	短期・中長期計画立案・運営	
管理・指導技能	専門領域の実践・指導力の向上	
自律性と責任感	業界の目標達成のに向けた主体的行動	
	業界におけるリーダーシップ	
倫理観とプロ意識	関連業界のビジョン確立	

3-4 土木・建築分野－土木施工管理職種

土木・建築分野においては、レベル 8 からレベル 3 の各レベルに、昨年度定義された内容に新たに追加される項目が多かった。その中でも、対象のレベルに相当する職種が追加された点と、外国語に関する内容が追加された点が特徴的である。

表 3-17 「土木・建築分野－土木施工管理職種」レベル 3 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	土木技術に対する基礎的な知見	
汎用的な技能	高等学校学習指導要綱に基づく十分な学力・能力	記述を分けた
	専門分野の知識修得に対し意欲旺盛	記述を分けた
専門実践技能	建設に対する興味	
	基礎科学（数学・物理・化学）が得意	
	教師の監督のもと、適切な情報や手法を使って問題を解決する能力	
対人技能	団体活動、チーム活動の中において主導的な役割経験	
	外国語にての初歩的な日常の会話	新設
分析技能	物事の事象に対する論理的な思考能力	
	ITツールを利用・活用する能力	新設
管理・指導技能	豊かな表現力	
	解決すべき問題を先延ばししない精神	
	自主的な学習に対する成果・成績について真摯に向き合う姿勢	新設
自律性と責任感	社会人としての一般知識、基礎力・マナー	
倫理観とプロ意識	相手の話を良く聞き、理解し、正確に伝える能力	記述を分けた
	素早く記録にとどめることができる能力	記述を分けた
	環境問題について関心があり、何らかの関りを持った経験	新設

表 3-18 「土木・建築分野－土木施工管理職種」レベル 4 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	技術士補	
	測量士補	

	専門資格取得に向け「各種専門科目」を修学	新設
		「各種作業主任者資格」削除
汎用的な技能	基礎科学（数学・物理・化学）の活用	
	職業理解能力、役割把握・認識能力、計画実行能力の発揮	
専門実践技能	CAD等での製図	表現の変更
	図面を見て数量を計算	表現の変更
	労働安全衛生法及び同規則の理解	
対人技能	的確な報告・連絡・相談	
	単独またはチームメンバーの一員として、管理者や同僚・部下と効果的な交流	新設
	外国語にての日常の会話	新設
分析技能	情報の収集能力があり、的確な観察力・洞察力	
	数値・図表・画像データを活用する能力	新設
管理・指導技能	上司等よりの指示、指導を受け、広い視点のもと考え方の幅や創造力を養い、技術者としての学知を十分蓄積する能力	
	各種チームのまとめ及び管理を担う能力	新設
自律性と責任感	指導を受け、責任感と自主性をもって、仕事及び専門知識の習得に専念	
	地元・地域社会づくりに対し、積極的に参加	新設
倫理観とプロ意識	常に専門技術の力量並びに技術と社会が接する領域の知識を有する	記述を分けた
	倫理的な行動	記述を分けた

表 3-19 「土木・建築分野－土木施工管理職種」レベル5の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	2級土木施工管理技士(学科試験合格)	新設
	2級造園施工管理技士(学科試験合格)	(学科試験合格)を追加

	2級管工事施工管理技士(学科試験合格)	(学科試験合格)を追加
	2級電気工事施工管理技士(学科試験合格)	(学科試験合格)を追加
		「測量士」削除
		「コンクリート技士」削除
		「2級土木技術者」削除
		「2級舗装施工管理技士」削除
		「2級建設機械施工技士」削除
汎用的な技能	専門知識、一般常識、社会人としての基礎的能力（話す・聞く・書く）	
	スキルアップに関わる各種資格取得に向け、前向きに取り組む姿勢	
専門実践技能	労働安全衛生法及び同規則に関し、指導・教育することができる能力	表現の変更
	施工計画書の立案・指示・作成	
	建設業法の理解	
対人技能	伝える能力・受け取る能力（コミュニケーション能力）	記述を分けた
	周囲から信頼される人柄	記述を分けた
	外国語にての会話、文書作成能力	新設
分析技能	出来形管理・工程管理・安全管理をはじめ、一通りの現場管理に関する理解度	
	I Tツールやメディアを使いこなすことができる能力	新設
管理・指導技能	部下に指示する立場、及び管理者としての責任	記述の追加
	リーダーとして、チーム内の意見をまとめ、的確な判断・指示を下す能力	表現の変更
自律性と責任感	自己の専門的能力の向上を図り、学理・工法の研究に励み、技術の発展に貢献	
	外国の多様な異文化の中においても、仕事や学習を行う能力	新設
倫理観とプロ意識	業務上知り得た秘密を、正当な理由無く他に漏らしたり、転用したりしない倫理観	

	地域や社会において、持続可能な社会を創 るための貢献	新設
--	-------------------------------	----

表 3-20 「土木・建築分野－土木施工管理職種」レベル 6 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理 解	コンクリート主任技士	
	1 級土木技術者	
	1 級土木施工管理技士	新設
	1 級舗装施工管理技術者	
	1 級造園施工管理技士	
	1 級管工事施工管理技士	
	1 級建設機械施工技士	
	1 級電気工事施工管理技士	
汎用的な 技能	計画力、創造力、課題発見能力	
	ビジネスマナー	
	語学力	
専門実践 技能	現場の安全・工程・品質・原価を全て理解 し、管理する能力	
	予算書の作成・管理する能力	
対人技能	マナー、協調性があり顧客はもとより、あらゆる 人に対して常に好印象	
	専門知識のもと、問題点や自らの考えを正 確に、理路整然と伝えることができる能力	新設
分析技能	トレードオフ問題に対し、分析し検討をするこ とができ、合理的な提案ができる能力	
管理・指 導技能	部下を指導する立場	
	経験豊富で人格があり、部下に模範を示す 能力	
	自主的に仕事をし、各種業務管理における リーダーシップとプロ意識	

自律性と責任感	専門分野のプロとして、しっかりと説明責任を果たすことができる能力	記述を分けた
	法令・規則、マナーを遵守し、リスク管理能力を発揮	記述を分けた
倫理観とプロ意識	業務の対象となる地域の法規・条令を遵守し、文化的価値を尊重	
	多様な環境・実務の中で倫理観を厳守するとともに、専門家としての行動ができる能力	新設

表 3-21 「土木・建築分野－土木施工管理職種」レベル7の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	建設業法に関わる監理技術者または同、専任技術者を10年以上歴任	
	学会、協会等に学術論文を発表することや、技術論文を投稿	
	技術士（各部門）	新設
	上級土木技術者	新設
	環境計量士	新設
	コンクリート診断士	新設
汎用的な技能	洞察力、応用力、独創性	
	主体性・実行力、創造力	
	規律良く他の意見に対し真摯に傾聴し、協調性発揮	
専門実践技能	大規模現場の監理技術者歴任	表現の変更
	複数現場を統括管理	
	高度な技術的業務	
	外国語を使用している仕事や高度な学習能力	新設
対人技能	折衝能力、交渉能力、説得能力	
	内・外関係者に対する信頼度	新設
	最低一つの外国語を使い、仕事・学習に活用	新設

分析技能	的確な情報収集、分析そして判断、さらに意志決定する能力	表現の変更
	数学的、定量・定性的な手法を駆使し、分析・評価する技術	新設
管理・指導技能	部下の指導・監督する立場	
	明確な現場方針を持ち、多様な関係者の利害等を調整しまとめる能力	
	チーム、部署内業務などの企画・監督・管理において、責任を持つ立場	新設
自律性と責任感	公益を最優先した職業倫理のもと自主性・主体性、さらに責任感を持って行動する能力	
倫理観とプロ意識	自然を尊重し、安全と福祉、健康に対する責任を最優先	記述を分けた
	地球環境の保全と関連技術の活用	記述を分けた
	国際的視野に立った専門的立場で貢献	新設

表 3-22 「土木・建築分野－土木施工管理職種」レベル 8 の学修成果指標

人材特性	項目	昨年度の項目との違い
知識と理解	豊富な実務経験と広汎な見識	記述を分けた
	責任ある立場	記述を分けた
	土木建築分野のみならず、社会に貢献する立場にあり、成果を創出	
	技術士(総合技術監理部門)	新設
	特別上級土木技術者	新設
汎用的な技能	幅広い知識と、専門性	
	情報収集力、コミュニケーション力、実行力、問題解決能力	
	高度な研究手法・解析手法・技法を独力で用い、新しい問題や課題を解決し、新しい知見・理論を生み出す能力	新設
専門実践技能	高度な専門知識、発揮する能力	
	複数の分野で高度な専門的研究・設計や実施・改善する能力	新設
対人技能	知識力、論理力、自己表現力のバランス	記述を分けた

	内・外関係者に対し信頼関係を築く力	記述を分けた
	専門的な知見を理路整然と伝える能力	新設
分析技能	豊富な経験・専門知識の基、技術の最新情報に精通	記述を分けた
	社会に対し多面的に貢献できる能力	記述を分けた
管理・指導技能	各工種の専門的技術について高度な指導的能力	記述を分けた
	部下を育成	記述を分けた
	専門家レベルの観点から、社会・文化に貢献	新設
自律性と責任感	リーダーシップを取る能力	記述を分けた
	プロ意識及び全面的な責任感	記述を分けた
倫理観とプロ意識	品位の向上、技術の研鑽	記述を分けた
	国際的な視野、公正・誠実な行動規範	記述を分けた

4 学修成果情報共有システム

4-1 学修成果情報共有システムの概要

本事業では、産業界、専門職高等教育機関、高等学校が、それぞれに所属する人材の情報を共有するシステムについて、図 4-1 のようなイメージを抱いている。すなわち、このシステムは、

よい人材を獲得したい産業界、

産業界が必要とする人材を育成しようとする専門職高等教育機関、

よい教育機関に人材を送り出したい高等学校、

これらが、「資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター：LD）」にしたがった共通の尺度で学修成果を測定し、その結果を共有することによって、互いにメリットをもたらすことを目指している。

この仕組みの実現に向けて、「資格枠組のレベル定義」という共通の尺度を参照することを前提として、システムに対する産業界と専門学校との間のニーズを詳細にとらえるための調査を実施した。

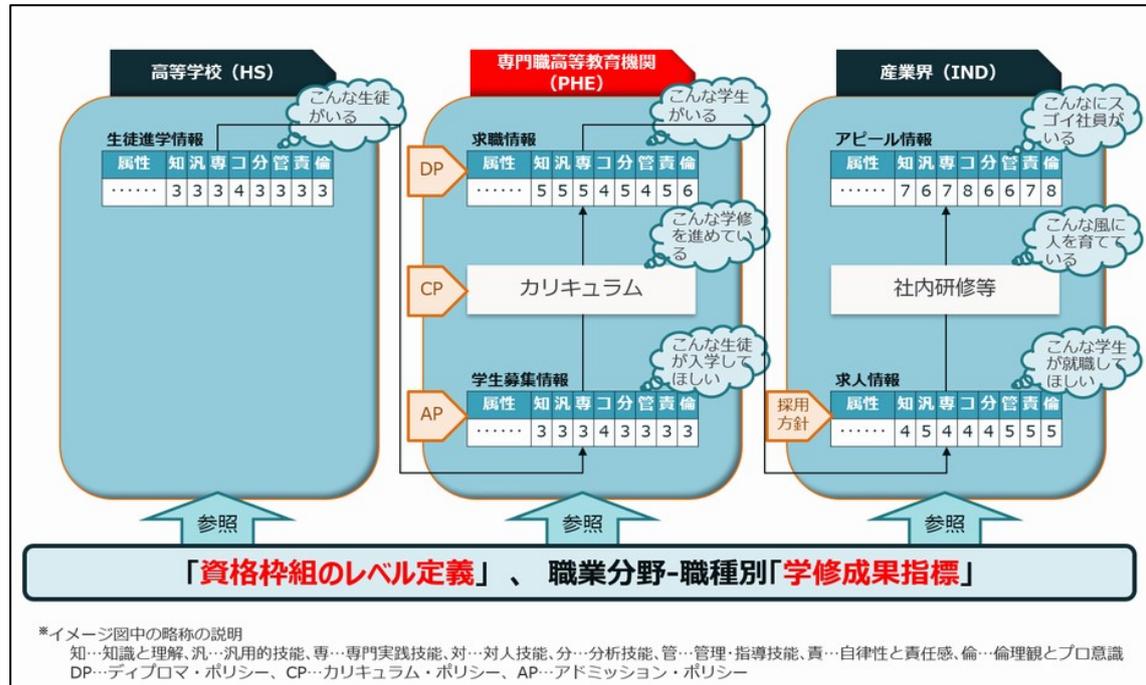


図 4-1 学修成果情報共有システムのイメージ

なお、図中の表内にある「知」「汎」「専」…「倫」と1字で書いてあるものは、学修成果指標の8つの人材特性で、それぞれが表すものは、表4-1のとおりである。また、「DP」「CP」「AP」は、教育機関における3つのポリシーで、それぞれが表すものは、表4-2のとおりである。

表 4-1 図中の略号

知	知識と理解
汎	汎用的技能
専	専門実践技能
対	対人技能
分	分析技能
管	管理・指導技能
責	自律性と責任感
倫	倫理観とプロ意識

表 4-2 図中の略号

DP	Diploma Policy (ディプロマ・ポリシー)	卒業認定・学位授与の方針。 教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。
CP	Curriculum Policy (カリキュラム・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針。 ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。
AP	Admission Policy (アドミッション・ポリシー)	入学受け入れ方針。 教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果を示すもの。

4-2 学修成果情報共有システムに対するニーズ調査

学修成果情報共有システムの実現に向けて、「資格枠組のレベル定義」という共通の尺度を参照することを前提として、システムに対する産業界と専門学校との間のニーズを詳細にとらえるための調査を実施した。

調査は85の専門学校、193の企業に実施し、それぞれ23校、28社からの回答を得ることができた。対象としたのは「美容分野」、「ゲーム・CG分野」、「動物分野」、「土木・建築分野」の4分野である。各分野の内訳と、生徒数・従業員数の規模は、次の図4-2のとおりである。

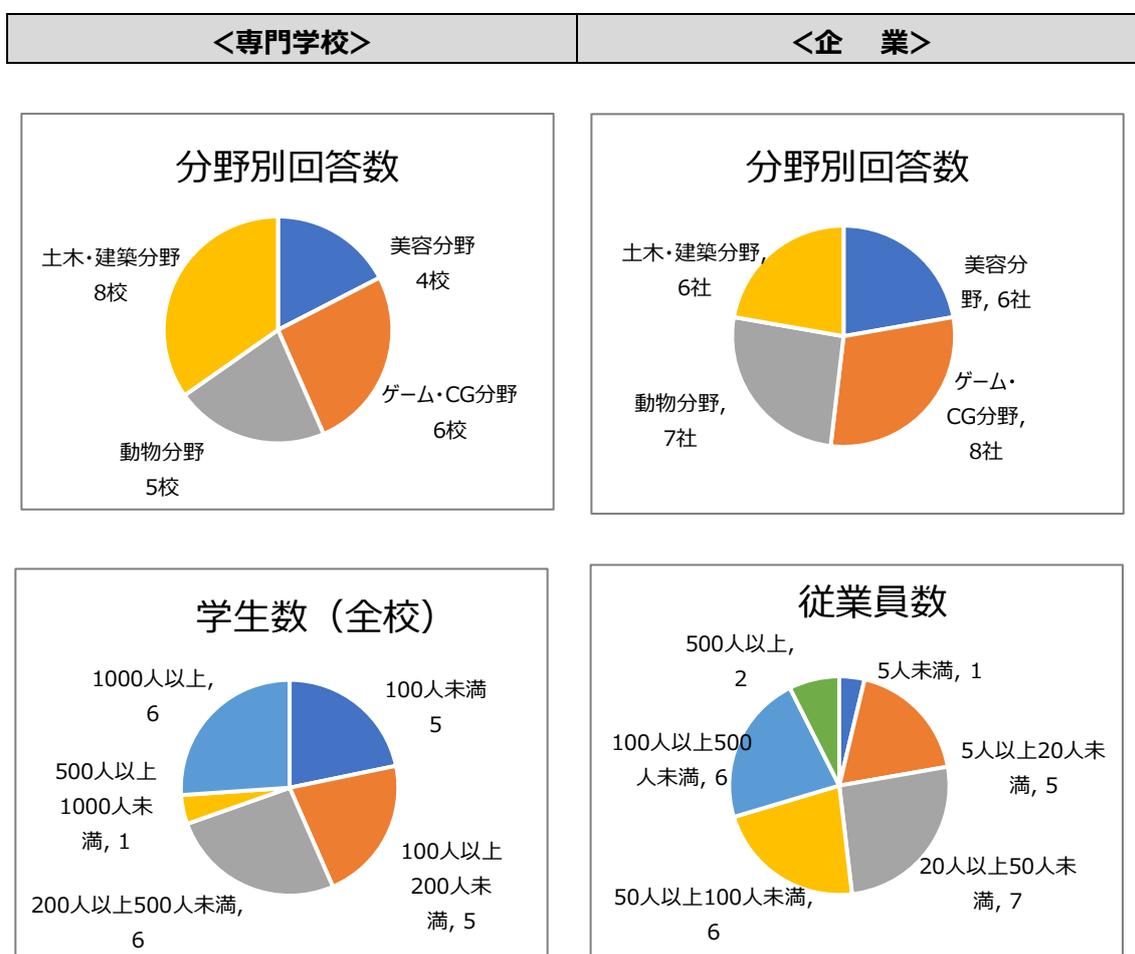


図 4-2 アンケート回答者概要

今回の学修成果情報共有システムに対するニーズ調査では、次の項目について調査を行った。

1. 人材特性
2. 学修成果のエビデンス
3. 学修成果情報共有システム
4. 学修成果情報共有システムのセキュリティ
5. 学修成果情報共有システムに期待すること
6. コメント

なお、今回のニーズ調査では、専門学校が目標とするもの、提供できるものと、企業が求めるもの、必要とするものが、どの程度マッチングしているのかという点にも着目して調査した。

4-2-1 人材特性について

ニーズ調査実施時に配布した分野別「学修成果指標」の、人材特性ごとに8段階で定義されたレベルを踏まえ、専門学校には「卒業時に目標とするレベル」を、企業には「採用時に求めるレベル」を、人材特性別に調査した。

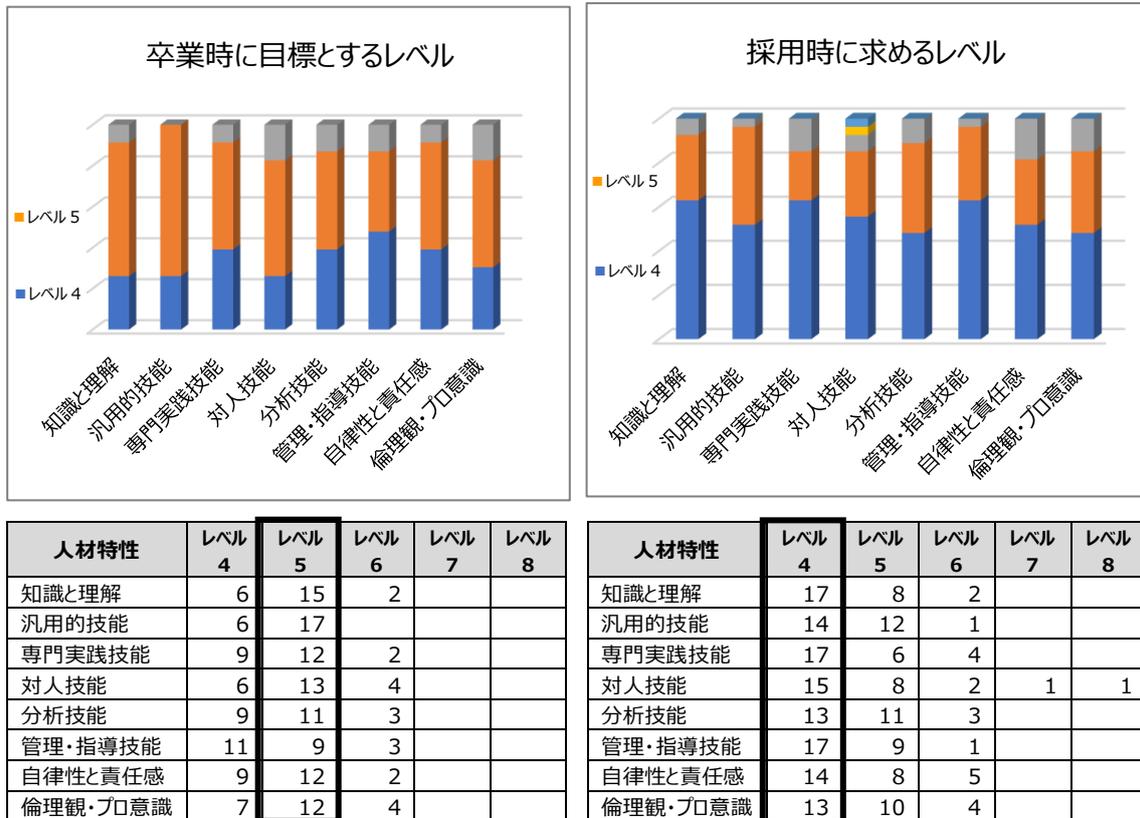


図 4-3 人材特性別のレベル

図 4-3 において、専門学校が卒業時に目標とするレベルは、レベル 4～8 までの 5 段階のうち、レベル 4～6 の回答があった。また、回答数で見ると、レベル 5 が最も多く、続いてレベル 4、レベル 6 の順となっている。

一方、企業が採用時に求めるレベルは、レベル 4～8 までの回答があった。回答数では、レベル 4 が最も多く、続いてレベル 5、レベル 6、レベル 7 とレベル 8 の順となった。

各人材特性について、専門学校が卒業時に目標とするレベルと、企業が採用時に求めるレベルがどの程度マッチングしているのかを比較したのが、図 4-4 である。

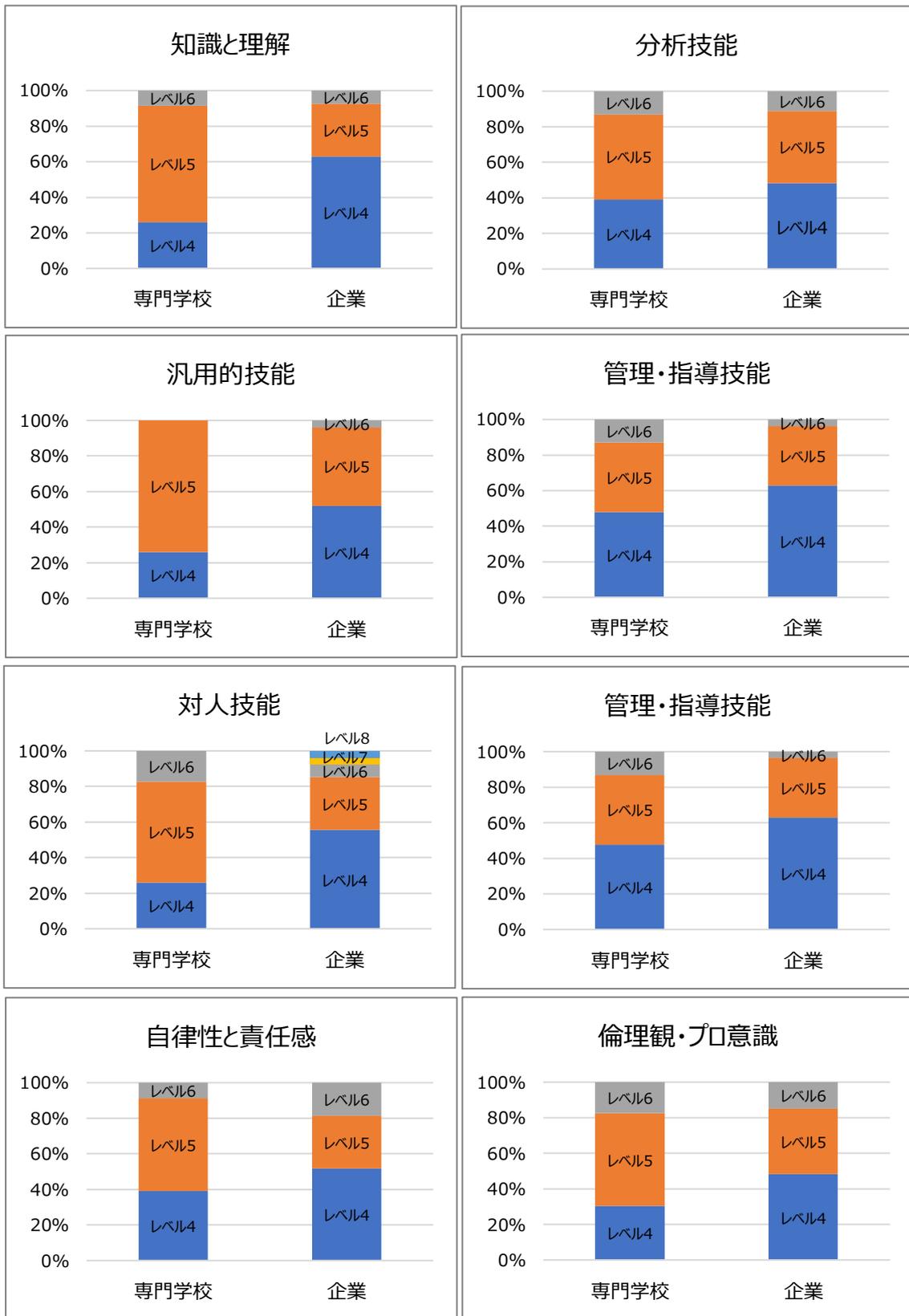


図 4-4 卒業レベル(専門学校)と求めるレベル(企業)の比較

全体的に、企業が採用時に求めるレベルより、専門学校が卒業時に目標としているレベルの方が高い傾向がみられた。

次に、4つの職業分野（美容、ゲーム・CG、動物、土木・建築）について、回答数の多かったレベル4とレベル5を比較した。

◆美容分野

表 4-3 職業分野別の特性レベル（美容分野）

美容分野	レベル4		レベル5	
	専門学校	企業	専門学校	企業
知識と理解	2	5	2	0
汎用的技能	2	4	2	2
専門実践技能	3	4	1	1
対人技能	2	3	2	1
分析技能	3	3	1	2
管理・指導技能	3	5	1	1
自律性と責任感	2	3	2	2
倫理観・プロ意識	2	3	2	1

※表内の数値は、回答数

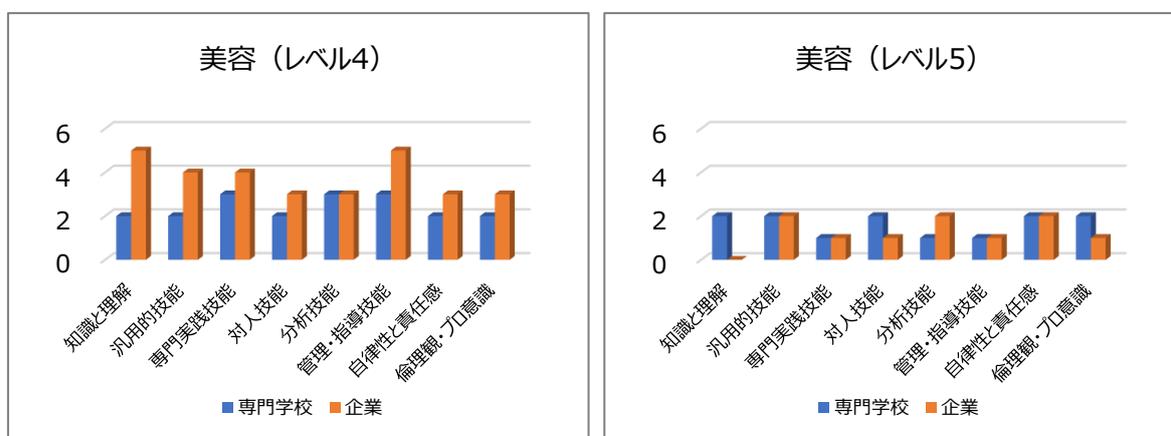


図 4-5 職業分野別の特性レベル（美容分野）

美容分野では、専門学校、企業とも、レベル4が多い。

◆ゲーム・CG分野

表 4-4 職業分野別の特性レベル（ゲーム・CG分野）

ゲーム・CG 分野	レベル 4		レベル 5	
	専門学校	企業	専門学校	企業
知識と理解	0	2	4	6
汎用的技能	1	2	5	6
専門実践技能	2	4	2	3
対人技能	1	2	1	6
分析技能	0	1	3	6
管理・指導技能	1	2	2	5
自律性と責任感	1	2	3	4
倫理観・プロ意識	1	1	3	6

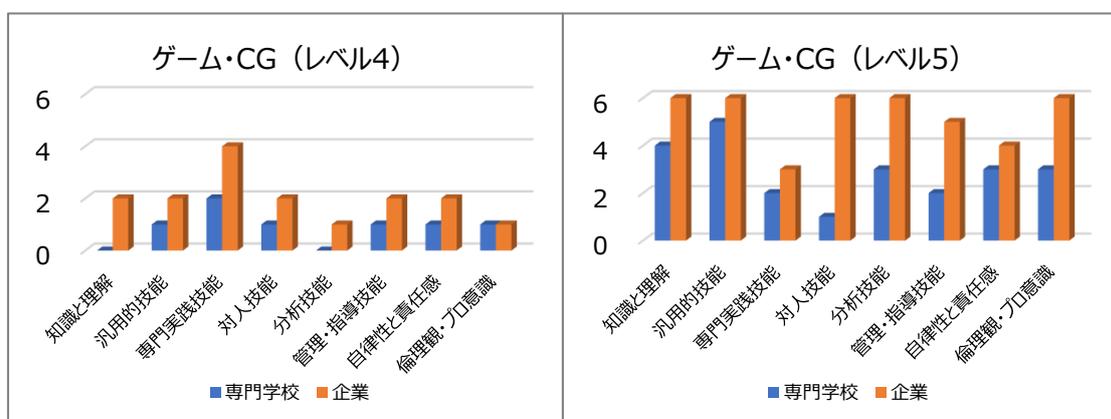


図 4-6 職業分野別の特性レベル（ゲーム・CG分野）

ゲーム・CG分野では、専門学校、企業ともレベル5が多い。

◆動物分野

表 4-5 職業分野別の特性レベル（動物分野）

動物分野	レベル 4		レベル 5	
	専門学校	企業	専門学校	企業
知識と理解	2	4	3	2
汎用的技能	2	4	3	2
専門実践技能	0	3	5	2
対人技能	0	4	5	1
分析技能	2	3	3	3
管理・指導技能	3	4	2	3
自律性と責任感	2	4	3	1
倫理観・プロ意識	0	4	3	2

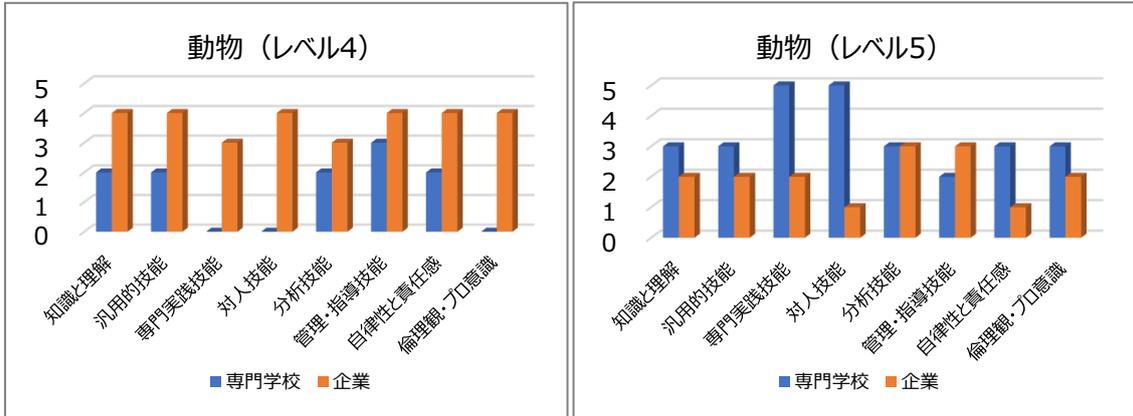


図 4-7 職業分野別の特性レベル（動物分野）

動物分野では、専門学校はレベル5、企業はレベル4が多い。

◆土木・建築分野

表 4-6 職業分野別の特性レベル（土木・建築分野）

土木・建築分野	レベル4		レベル5	
	専門学校	企業	専門学校	企業
知識と理解	2	6	6	0
汎用的技能	1	4	7	2
専門実践技能	4	6	4	0
対人技能	3	6	5	0
分析技能	4	6	4	0
管理・指導技能	4	6	4	0
自律性と責任感	4	5	4	1
倫理観・プロ意識	4	5	4	1

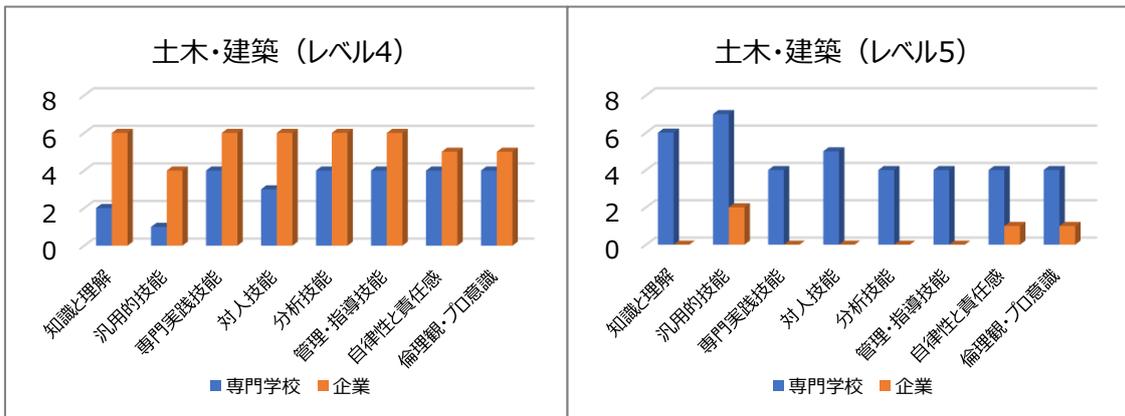


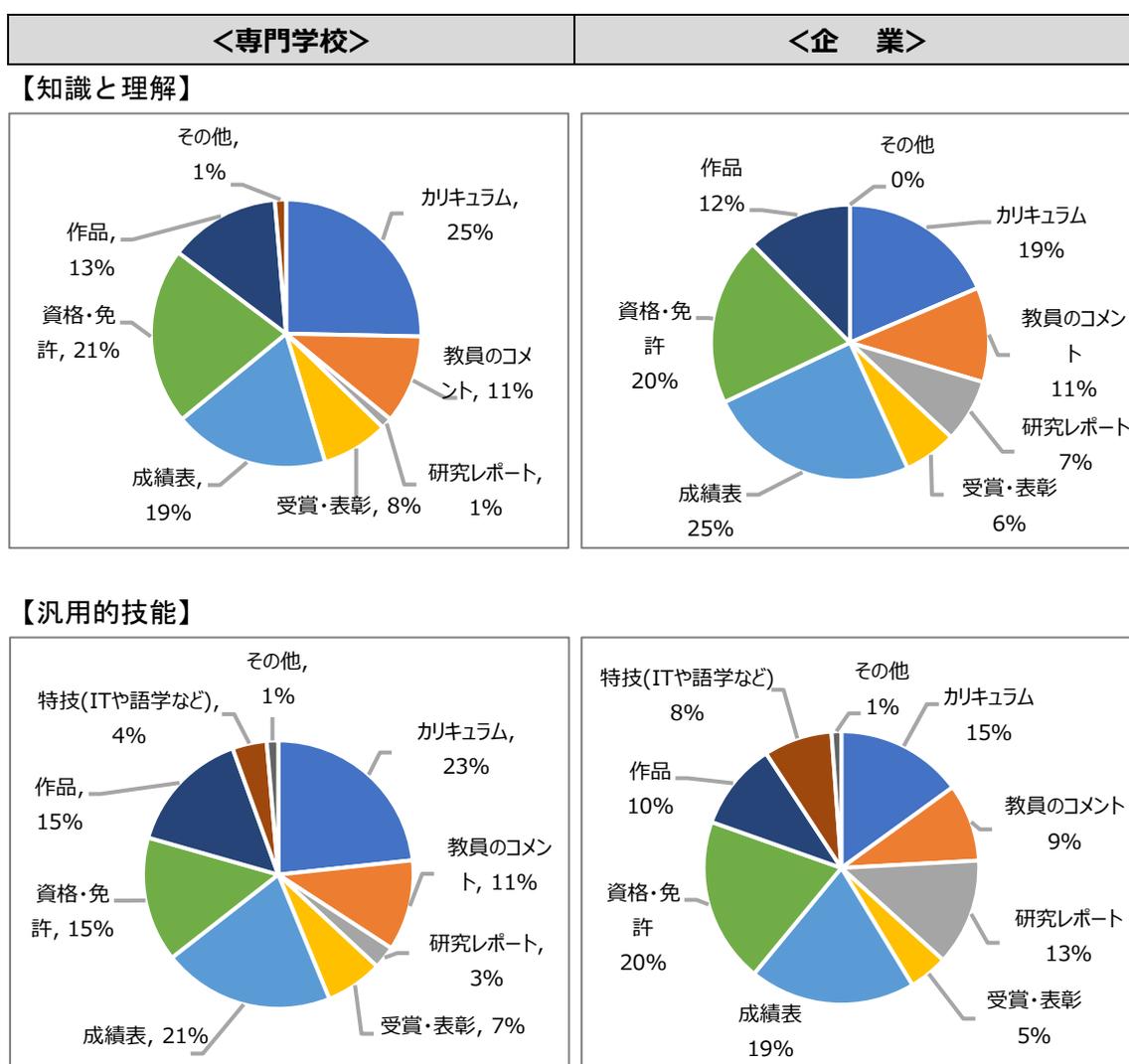
図 4-8 職業分野別の特性レベル（土木・建築分野）

土木・建築分野では、専門学校はレベル5、企業はレベル4が多い。

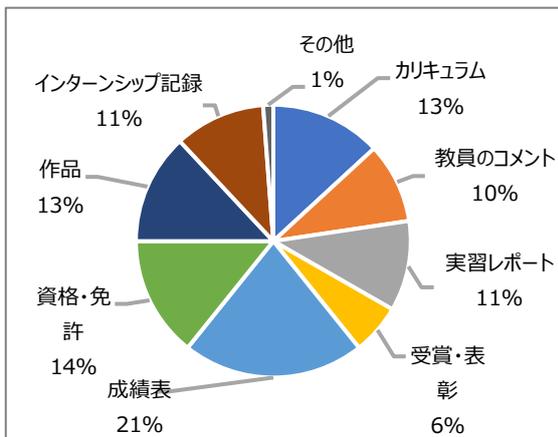
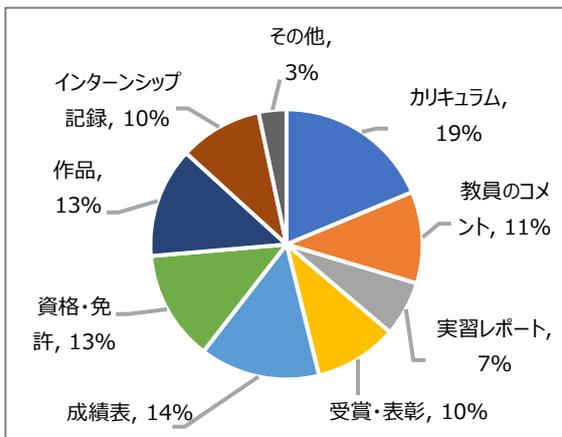
4-2-2 学修成果のエビデンスについて

8つの人材特性の項目について、学修成果がそのレベルにある証拠(エビデンス)について、専門学校には提供できるもの、企業には求めるものについて調査を行った。回答は複数選択可としている。

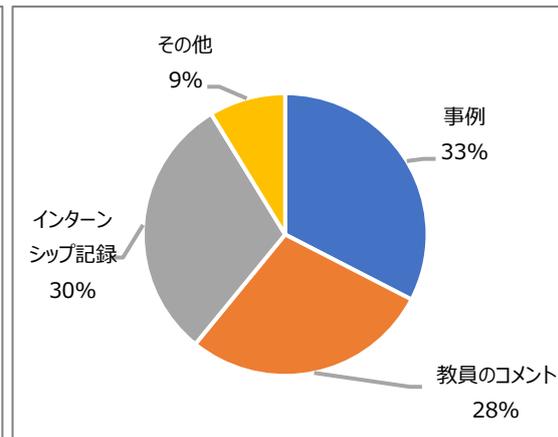
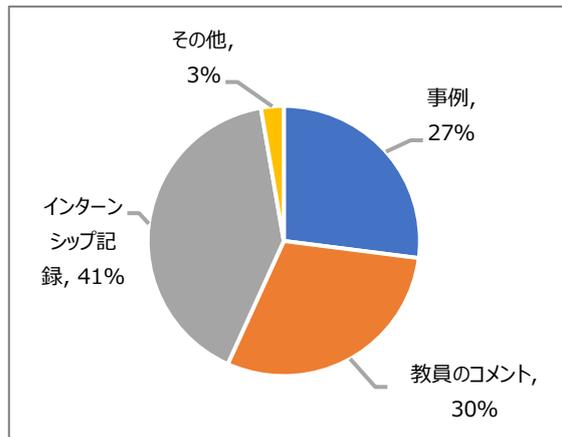
専門学校が提供できるエビデンスと、企業が求めるエビデンスについて、8つの人材特性別に比較してみたのが下図である。



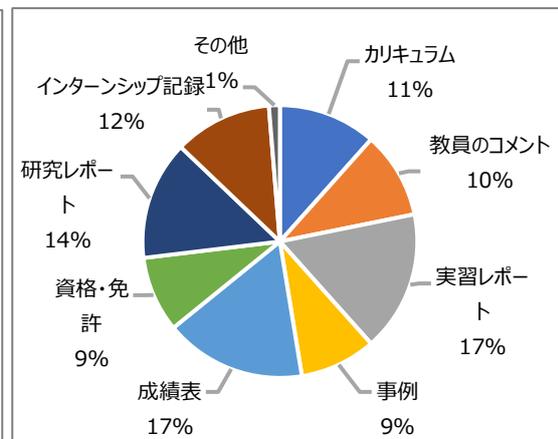
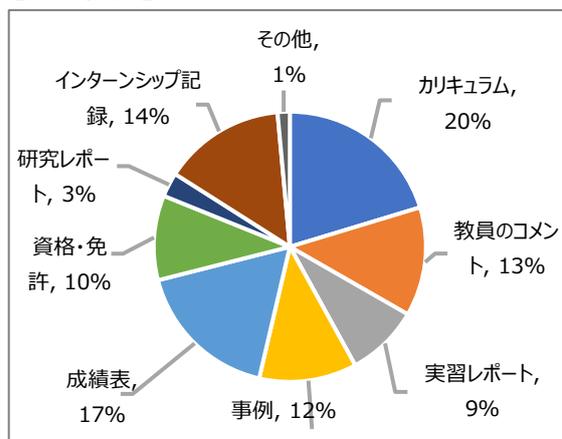
【専門実践技能】



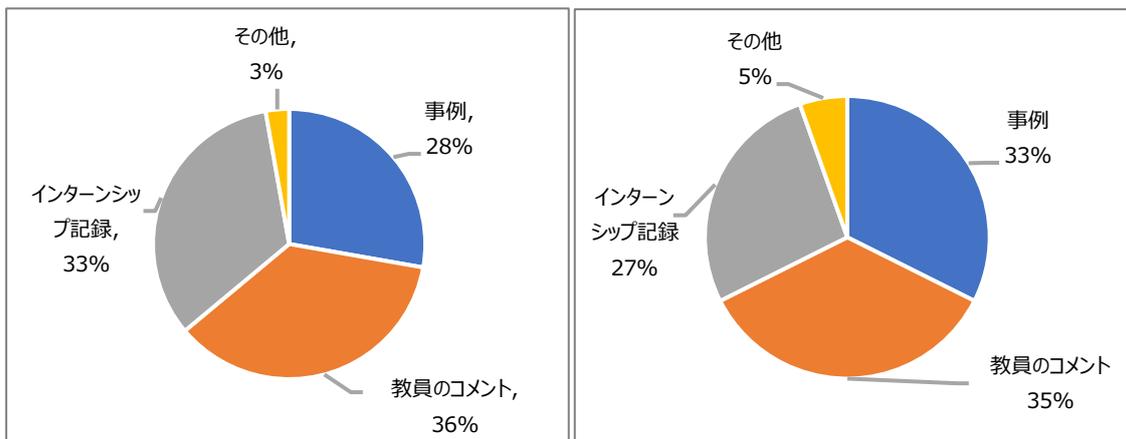
【対人技能】



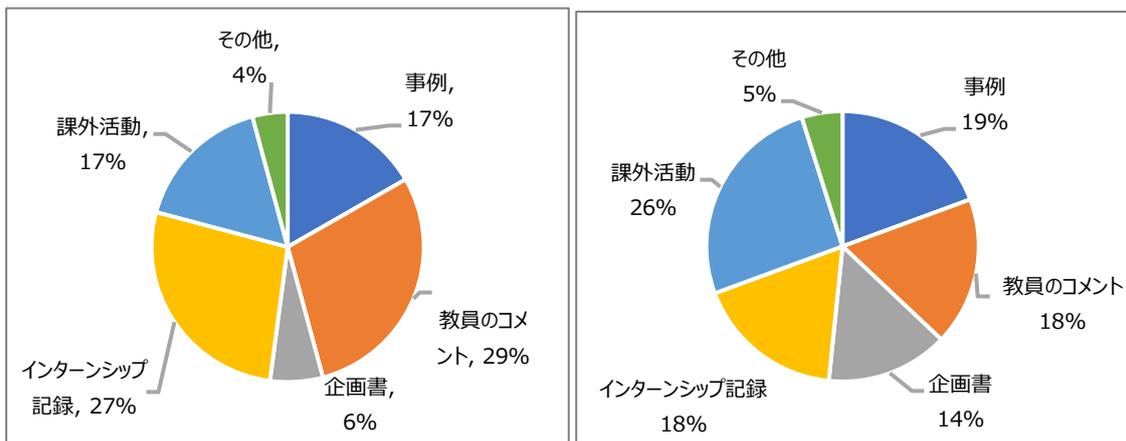
【分析技能】



【管理・指導技能】



【自律性と責任感】



【倫理観・プロ意識】

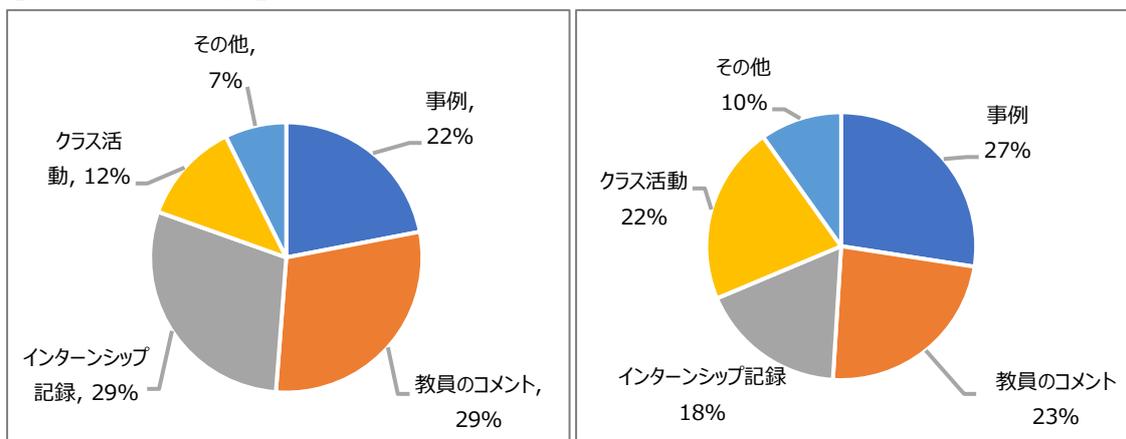


図 4-9 学修成果のエビデンス 提供できるもの(専門学校)、求めるもの(企業)

今回の調査では、専門学校と企業のエビデンスに対する回答は、各特性のグラフに表れているように、さほど大きな差はないことが確認できた。

対人技能のエビデンスについては、企業の回答の「その他」として、性格診断テスト等をもとに自己を客観視した記述、面接、実習が挙げられており、少々「その他」の割合が大きくなっている。同様に、管理・指導技能、倫理観・プロ意識についても、「その他」として採用時の面接が挙げられているため、「その他」の比率が多めになっている。

その他として挙げられたエビデンスは、以下のとおりである。

表 4-7 その他のエビデンス

知識と理解	企業	-
	専門学校	課題（問題発見課題解決型）・プロジェクトの成果物
汎用的技能	企業	小論文（採用検討時の課題としています）
	専門学校	課題（問題発見課題解決型）・プロジェクトなどの取り組みや成果物
専門実践技能	企業	実習
	専門学校	防災・避難訓練 授業や学校生活などの取り組みや成果物
対人技能	企業	性格診断テスト等をもとに自己を客観視した記述 面接 実習
	専門学校	授業や学校生活(部活、委員会含む)および学外活動などの取り組み
分析技能	企業	小論文（採用検討時の課題としています）
	専門学校	授業や学校生活などの取り組みや成果物
管理・指導技能	企業	面接で判断しています 自己管理、遅刻や欠席等
	専門学校	授業や学校生活などの取り組みや成果物
自律性と責任感	企業	小論文 面接
	専門学校	クラス活動 授業や学校生活などの取り組みや成果物
倫理観・プロ意識	企業	作文、論文等、本人が書いたもの 小論文・履歴書に記載するような職業意識 面接で判断しています 課外活動 面接
	専門学校	ビューティショー 授業や学校生活などの取り組みや成果物 現場見学レポート

4-2-3 学修成果情報共有システムについて

学修成果情報共有システムのようなシステムがあった場合、専門学校には進路指導や学生の学修成果の記録などに利用したいか、企業には専門学校生の採用時に利用したいかを調査したところ、図 4-10 のような回答があった。

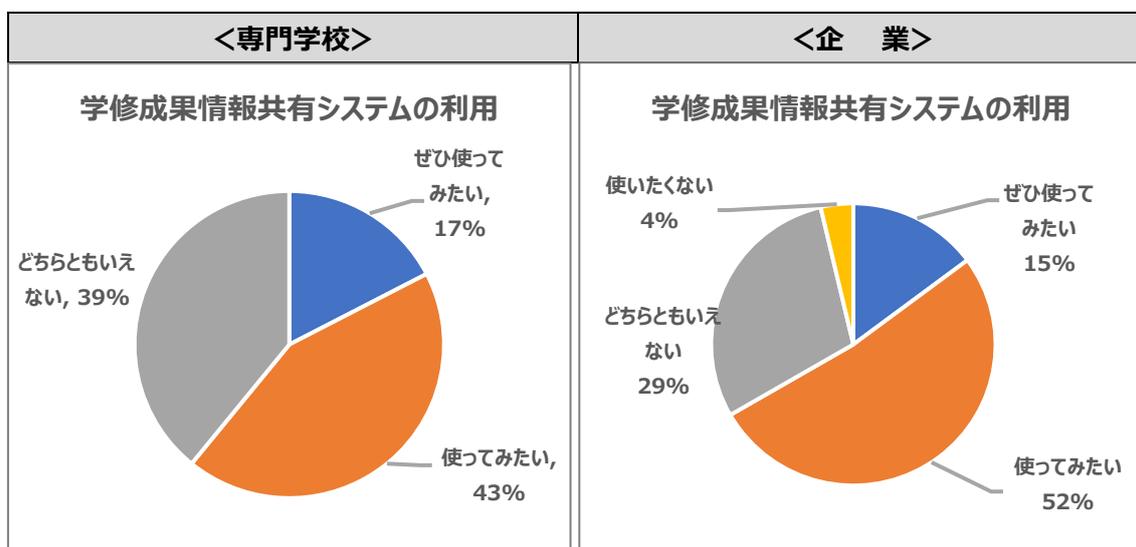


図 4-10 学修成果情報共有システムの利用

「ぜひ使ってみたい」「使ってみたい」という回答が、専門学校では6割、企業からは、7割近くあった。

その他、専門学校から「使ってみたいが現時点では分からない」という意見も寄せられた。「分からない」という理由について調査・分析し、学修成果情報共有システムへの理解を深めていくことが今後の課題である。

4-2-4 学習成果情報共有システムのセキュリティについて

プライバシー保護の観点、また技術的観点から、セキュリティに関して寄せられた意見は次のとおりである。

- セキュリティは万全の対策をお願いしたい
- 不正アクセスにより情報改ざん等があってはならないので高いセキュリティを希望する
- 成績表（成績証明書）や履歴書などの情報は共有システム上には載せにくいのではないか
- 不正アクセス（アクセス権を含む）、情報漏洩に関する制御が必要
- 学修成果のエビデンスに「成績表」を提示したほうが良いかと考えたが、プライバシーの観点に不安がある
- これを企業に提出する場合には改ざんが容易にできないような対策が必要と考える。
- 教育機関からこのデータが持ち出される際には学校、本人、企業以外は閲覧できない資料とするべきである
- 個人情報保護の観点から、管理を徹底してほしい
- 個人の評価が漏出しないシステムが必要

これらのセキュリティに関する懸念事項については、慎重に対応すべきことであると認識している。学修成果情報共有システムにおけるセキュリティ対策については、継続して協議検討し、安心して利用できるようにセキュリティポリシー策定、情報開示も必要であると考ええる。

4-2-5 学修成果情報共有システムに期待すること

学修成果情報共有システムに期待することについて調査した。集計結果は、以下のとおりである。

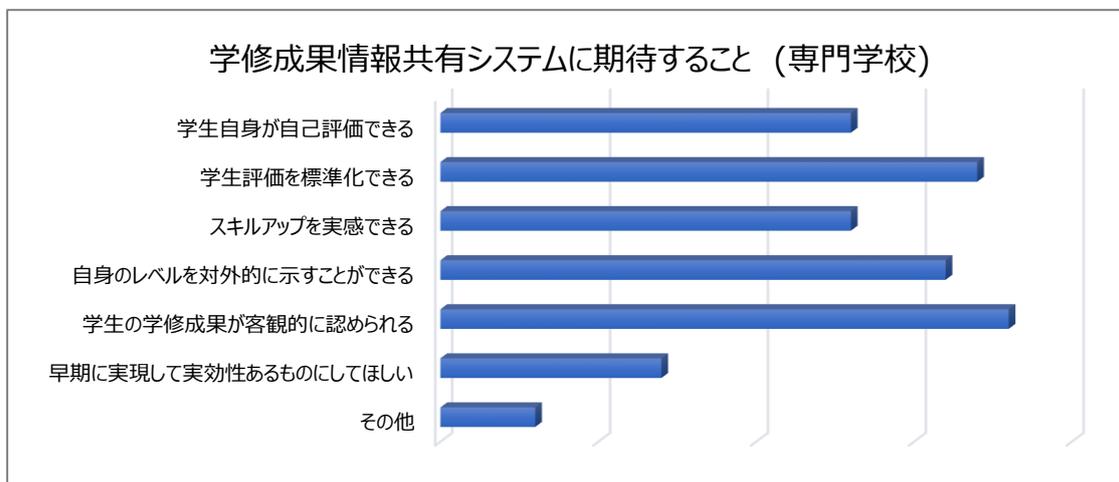


図 4-11 学修成果情報共有システムに期待すること 専門学校

6つの選択肢のほか、その他として次のような意見があった。

- 学校と理美容サロンでシステムを共有することで、今成すべきことが明確となり、休学・退学や早期離職の抑止効果が期待できる
- 専門学校と美容業界との間で『学修成果指標』において、連携が深まることに期待する
- ゲーム業界が求める人材の専門性の最低ラインの知識・技術の統一見解をまとめ、その内容をまとめた教科書に沿って学生を指導する時代が来ることを願う

専門学校側のメリットとして、学生評価の標準化や、学修成果が客観的に認められることへの意見が多く寄せられた。学生側としても、客観的な自己評価、スキルアップの実感、自分のスキルやレベルを対外的に示すことができるなどのメリットがあると評価されていることを、今回の調査で確認することができた。

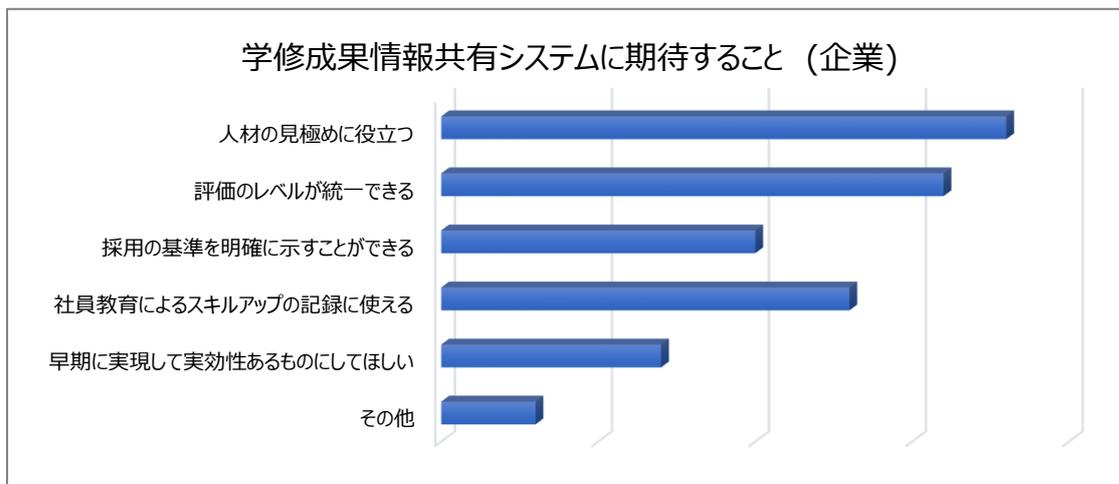


図 4-12 学修成果情報共有システムに期待すること 企業

5つの選択肢のほか、その他として次のような意見があった。

- 教育機関での達成度としての意味合いであれば、成績評価基準として取り上げやすいようカリキュラムを整え、指導方法も統一を図る必要がある
- 専門学校でどんな勉強をしたのかわかりやすくなる
- 客観的に評価できるシステムであってほしい

企業側のメリットとして、総合的能力の判断材料になり人材の見極めに役立つことへの意見が多く寄せられた。そのほか、学修成果指標による評価でレベルが統一できること、採用時だけでなく、社員教育によるスキルアップの記録として活用できるという意見も多くあった。

今回の調査によって、選択項目にもあるように、早期に実現し参加校や参加企業を増やして実効性あるものにすべく、事業を継続していくことへの意義が強く感じられた。

4-2-6 コメント(意見要望など)

ニーズ調査の終わりに、資格枠組のレベル定義、学修成果指標、ガイドラインについて、これらに対する印象や評価、項目やレベルの妥当性などの意見を求めたところ、次のような意見が寄せられた。次の表 4-8、表 4-9 は、専門学校、企業ごとに、「好意的意見」「課題・懸念事項」に分けて記載したものである。提示された課題については詳細な検討が必要であり、本事業の 2 年目の課題として取り組んでいきたい。

表 4-8 その他の意見 (専門学校)

好意的意見
<ul style="list-style-type: none">● 将来的には有効なシステムであると思う● 弊社がお預かりしている求人企業にも取り組みを伝えたい● 今まで、「人間力やコミ力」といった言葉で表現されていた、学校における生活指導となる「対人技能」「分析技能」が明確に数値化されていて感心した● さらに、細部まで具体化していくことで、より役立つシステムに進化できると思われる。スタートアップとしては十分な内容で、ぜひ活用させていただきたい● 概ね妥当であると思う● 国際通用性のある『資格枠組のレベル定義』、『学修成果指標』の策定により、学生自身の人材レベルが明確となり、学校内部の質を高めるうえでも非常に重要であると思う● 詳細に構成されており非常に有効なツールと受け止めている● 細かくレベル分けされていて評価指標には役立ちそう
課題・懸念事項
<ul style="list-style-type: none">● 各学校の特色が無くならないか疑問を感じる● 一つの項目で複数の内容に対する評価内容があるため、評価が複数に分かれてしまうことがある。(数値の判断に迷うことが多い)。エビデンスとしての適性が難しい● システムの構築には期待するが、全体的にレベルが高く本校がついていけるのかが懸念である● 学修成果を判断する共通のツールがないので判断しにくい。レベル定義を読むと「なるほど」と思えるものばかりだが、そのためにどのように育てていくかが難しいように思う● 「学修成果指標」：指標として、資格試験取得の可否は明確な判断ができるが、その他の指標については、項目・内容については各校の判断など曖昧となりやすく、更なる詳細等の検討が必要と考える

<ul style="list-style-type: none"> ● 成果の指標が抽象的で幅が広いゲーム分野のほとんどの学校が5にしか該当しないように思える ● これらを読み解いて、誰が評価しても同じになることは困難と思われる。しかし、そこに近づけていかないと評価の客観性が失われる。レベルが上がるほど、具体的な指標が示せるかがポイントとなる ● 評価を行うにあたり、評価者による解釈のブレをどこまで抑えられるかが気になる。具体的な例と一緒に表現されているとわかりやすいと思われる

表 4-9 その他の意見（企業）

好意的意見
<ul style="list-style-type: none"> ● ITに関する知識は今後必須であるため、各学校において教育内容を充実させていただきたい ● 勉強不足でこのようなものがある事をこのアンケートで初めて知った。今後も継続して勉強していきたい ● 職域、職能のマッチング性が高まり、人材の長期雇用に続いていくと考えられるので大いに期待する ● 項目が細かく定義されており、採用時の判断材料としてとても役立ちそうだ ● レベルの枠組ができ、客観的にも評価できることは良いと思う
課題・懸念事項
<ul style="list-style-type: none"> ● 統一した学修成果指標を効率的に評価するためには、専門学校における教員の資質向上と、統一した指導要領の整備が必要ではないか ● 採用する企業においては個々の学生の性格傾向や人間性を重視する場合もある。対人技能、自律性、責任感、職業倫理など性格傾向の影響を強く受ける ● 教育機関での学修の中で看護対象だけでなく学生自身を客観視するような指導を教員が意識して行うことが必要と考える ● レベル4の段階でスキルがかなり高いように思われるため、指標として適切かどうか、やや疑問が残る。もう少し低いレベルの指標も追加されると良い ● 評価をどのように活用し、社会的評価にまで持っていけるかが課題だ ● レベル定義を4分野統一で設定、評価することには違和感がある ● 学生迄の横の人間関係から縦の関係(特に年長者)が主になり、対応出来ない事が多い。インターンシップでは無く対価のあるアルバイトを積極的に美容室で行う事で学生時代からOJTの能力開発が可能と考えられる。一方で事業者側がアルバイト=入社という制度と勘違いしない様、枠組みをしっかりと行わないと生徒に無用のプレッシャーが係ると思われる ● 評価基準を参加校で統一させるのが難しいように感じる。具体性も必要かと思う

- 学修成果指標のレベル6の内容については、レベル5に分類しても良いのではないか?と思われるものが散見された
- テキストによる情報量がかなり多いので、理解に時間がかかるのが課題だと思う。情報を共有し易くする為の工夫は今後必要である

4-3 学修成果情報共有システムの設計とプロトタイプ作成

「学修成果情報共有システムに対するニーズ調査」の結果を参照して、学修成果情報共有システムの要件定義および設計を行い、それに基づいてプロトタイプを作成した。

このプロトタイプの概要は次のとおりである。

- 共通の評価枠組みの提供
共通の評価枠組みとして、「資格枠組のレベル定義」および「(分野－職種ごと)学修成果指標」を利用する。
- 学生自身による自己評価
共通の評価枠組みに対する学修成果を、学生自身が自己評価する。
- 教員による客観的評価
共通の評価枠組みに対する学生の学修成果を、教員により客観的に評価する。

このプロトタイプでは、学修成果指標を使って学生が自己評価をし、それを教員が第三者の視点で評価・フィードバックする。それによって、学生も教員もそれぞれが気づきを得られる。

なお、学修成果情報共有システムの要件定義は巻末の資料5を参照されたい。

4-4 学修成果情報共有システムの試用

試用は、本事業における4つの分科会、「美容」、「ゲーム・CG」、「動物」、「土木・建築」の4分野を対象にすることを予定していたが、本年度事業では動物分野に絞り、動物分科会委員の専門学校2校に試用を依頼した。

4-4-1 学修成果情報共有システムの画面

下図は指標一覧画面である。資格枠組のレベル定義における8つの人材特性の中のすべての指標が一覧表示される。指標をクリックすると自己評価画面が表示される。

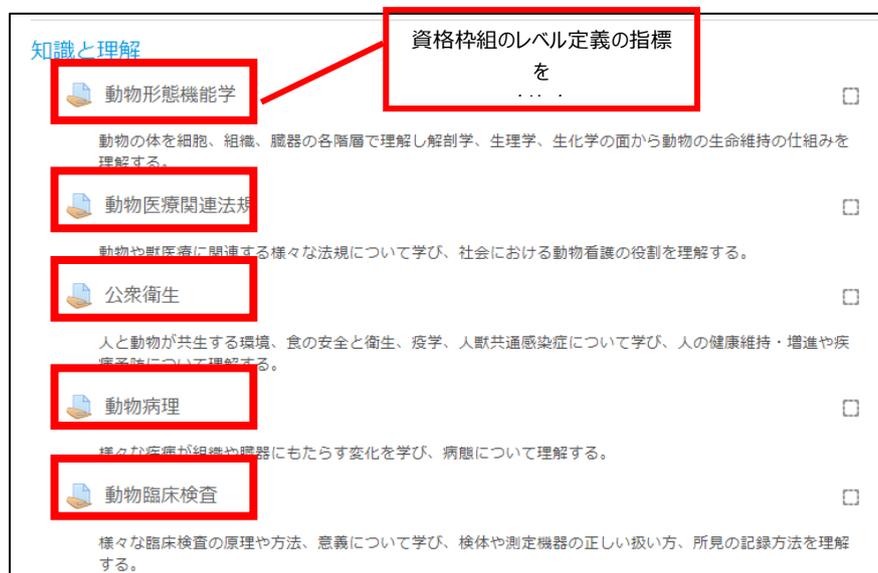


図 4-13 指標一覧画面

下図は自己評価入力画面である。自己評価は文章で入力する。

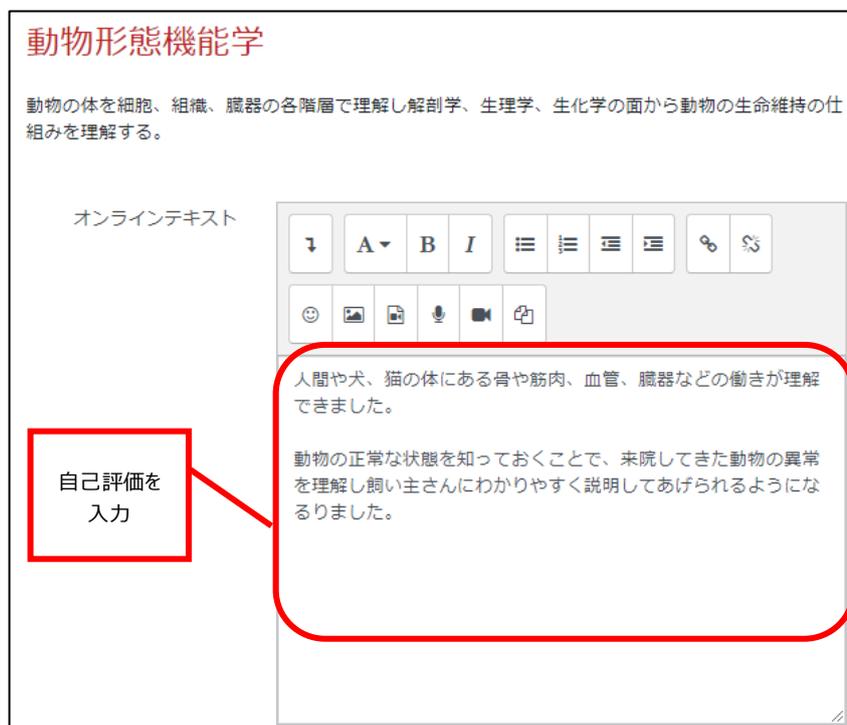


図 4-14 自己評価入力画面

下図は教員からのフィードバック確認画面である。教員が返したフィードバックを確認できる。フィードバックは文章で入力されている。

フィードバック

評点 80 / 100 「評点」を確認

評定日時 2021年 01月 11日(月曜日) 19:25

評定者 鈴木 花子 「フィードバックコメント」を確認

フィードバックコメント 「来院してきた動物の異常を理解し飼い主にわかりやすく説明」という自己評価から、単なる知識として知るのではなく、飼い主に寄り添うという目的がきちんと理解できていると思います。

図 4-15 教員からのフィードバック確認画面

4-4-2 試用後のアンケート

試用後は、学生と教員に試用アンケートを実施した。アンケートの内容は次のとおりである。

●試用アンケート（学生用）

学修成果情報共有システム試用アンケート(学生用)

学修成果情報共有システムの試用、ありがとうございました。

学修成果情報共有システムでは、教科学習の成果はもちろん、サークル活動や趣味、取得資格など総合的な活動成果を履歴も含めて記録することができます。その情報を教員と共有しフィードバックを受けるだけでなく、就職活動などで自己の学修評価や履歴などを必要に応じて必要なものを対外的に示すことができるシステムです。

以下のアンケートに回答をお願いします。

1. (学修成果情報共有システムについて)このような学修成果情報共有システムは専門学校在学中、また就職するときに役に立つと思いますか？
大いに役立つと思う
役立つと思う
普通
あまり役立つとは思わない
役に立たないと思う
2. (振り返りについて)自分自身の特性について、振り返りに役立ちましたか？
大いに役立った
役立った
普通
あまり役立たなかった
役に立たなかった
3. (先生からのフィードバック)先生からのフィードバックが得られることについて、どのように思いますか？
大変よい
よい
普通
あまりいらない
いらない
4. (操作性について)学修成果情報共有システムの試用をしてみて、使いやすかったですか？
大いに使いやすい
まあ使いやすい
普通
少々使いにくい
使いにくい

5. (評価の項目について)(1)~(8)の項目について自己評価を実施してみていかがでしたか?ご意見・ご要望をご記入ください。

- (1) 知識と理解
- (2) 汎用的技能
- (3) (職務上の技能)専門実践技能
- (4) (職務上の技能)対人技能
- (5) (職務上の技能)分析技能
- (6) (職務上の技能)管理・指導技能
- (7) 自律性と責任感
- (8) 倫理観・プロ意識

6. (記録間隔について)学修成果情報共有システムへの記録の間隔について、どれくらいだといいですか?

- 1 か月ごと
- 3 か月ごと
- 6 か月ごと
- 1 年ごと

7. (コメント)学修成果情報共有システムを使ってみたいの意見や感想をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

図 4-16 試用アンケート(学生用)

●試用アンケート（教員用）

学修成果情報共有システム試用アンケート(教員用)

学修成果情報共有システムの試用、ありがとうございました。

学修成果情報共有システムでは、教科学習の成果はもちろん、サークル活動や趣味、取得資格など総合的な活動成果を履歴も含めて記録することができます。その情報を教員と共有しフィードバックを受けるだけでなく、就職活動などで自己の学修評価や履歴などを必要に応じて必要なものを対外的に示すことができるシステムです。

以下のアンケートに回答をお願いします。

8. (学修成果情報共有システムについて)このような学修成果情報共有システムシステムは学生の専門学校在学中、また就職するときに役に立つと思いますか？
- 大いに役立つと思う
 - 役立つと思う
 - 普通
 - あまり役立つとは思わない
 - 役に立たないと思う
9. (学生評価へのフィードバックについて)学生へのフィードバックはやりやすかったですか？
- 大変やりやすかった
 - やりやすかった
 - 普通
 - 少々やりにくかった
 - やりにくかった
10. (フィードバックについて)先生からのフィードバックがあることについて、どのように思いますか？
- 大変よい
 - よい
 - 普通
 - あまりいらない
 - いらない
11. (操作性について)学修成果情報共有システムの試用をしてみて、使いやすかったですか？
- 大いに使いやすい
 - まあ使いやすい
 - 普通
 - 少々使いにくい
 - 使いにくい

12. (評価の項目について)(1)～(8)の項目へのフィードバックを実施してみていかがでしたか?ご意見・ご要望をご記入ください。

- (1) 知識と理解
- (2) 汎用的技能
- (3) (職務上の技能)専門実践技能
- (4) (職務上の技能)対人技能
- (5) (職務上の技能)分析技能
- (6) (職務上の技能)管理・指導技能
- (7) 自律性と責任感
- (8) 倫理観・プロ意識

13. (記録間隔について)学修成果情報共有システムへの記録の間隔について、どれくらいがよいと思いますか?

- 1 か月ごと
- 3 か月ごと
- 6 か月ごと
- 1 年ごと

14. (コメント)学修成果情報共有システムの試用に関して、ご意見ご感想をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

図 4-17 試用アンケート(教員用)

4-4-3 アンケート回答のまとめ

プロトタイプの実用とアンケートの実施を依頼したときが、コロナ禍で登校しない時期であったり、定期試験に重なったりして、学生や教員の方々にはご多忙なところ、ご協力いただいたことをあらためて感謝したい。

時期的な影響も受け、アンケートの回答は多くない。寄せられた意見のみでシステムの評価をすることは難しいが、寄せられた意見の中から、今後取り組むべき課題、改善すべき点などを考察する。

学修成果情報共有システムでは、人材特性の指標の一つひとつ文章で自己評価を入力する。現在の動物分野のレベル4では58個の指標があるので、学生は58項目に文章を入力して自己評価し、教員は58×学生数にフィードバックすることになる。これを短期間で実施するには無理があるので、人材特性ごとの指標を2項目に減らし、学生、教員ともに約3割程度の項目数にして試用した。しかし、入力する内容は点数ではなく文章であることから、入力に時間がかかるという意見が多く寄せられた。

その一方で、学生からは、入力に時間がかかるものの、自分自身で振り返りをするところについては、「役立った」、「大変役立った」という意見も目立った。同様に、自分自身の振り返りの内容について教員からフィードバックが得られることに意義を感じるという意見もあった。

教員からは、今回の試用は担任が行ったため、各授業の詳細な内容を担任が把握することは難しく、評価やフィードバックについては授業担当者が行うのがよいのではないか、という提案があった。実施方法についても、一度にすべての項目を自己評価することは、時間的にも無理なので、一項目ずつ教科の中で行うことでないと負担が大きい、との意見もいただいた。

システムのインターフェースとしては、学生からは「慣れていないので使いづらい」、教員からは「学生の自己評価画面が小さいため、内容を確認しながらフィードバックを入力することができない」、という意見があった。使いづらさについては、詳細な画面の状態、レイアウトの状態などを調査して、必要な改善を行っていきたい。

「入力に時間がかかる」という点は、自分の言葉で文章を入力する際に感じることでと推測される。専門学校からも、学生が自身の履修の振り返りをする上でも大変有意義なことであった、また、項目（補足説明）を読み込む力、文章を記入する力も十分に必要で、その能力を備えなければならない意味でも有意義であった、とのご意見をいただいた。

5 資格枠組のレベル定義、および学修成果指標の普及活動

本事業全体の趣旨、「資格枠組のレベル定義」の内容、ニーズ調査の結果、プロトタイプ
の操作方法と事例など、本事業成果を紹介し、本事業の取組に理解をいただくことを目
的とした普及セミナーを、令和3年2月22日に実施する。セミナーの内容等について
は、当機構のホームページをご覧ください。

一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 <https://qaphe.com/>

資料

資料 1 資格枠組

● 日本語

資格枠組のレベル定義 (レベルディスクリプター)

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能			自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2		
8	<p>学習者は、専門分野や専門的実務分野の最前線にある最先端の知見について、批判的理解を示す。</p> <p>新しく独創的な知見／実務につながる高度な研究を、主体的に実施・管理・統率する。</p> <p>論文、特許、製品、新規の高度な専門的実務、先進技術、創造的モジュール、芸術作品や音楽などの形で研究成果を産み出す。</p> <p>専門分野の観点、主張、アイデアを、知識と自信をもって提示し、正しいと証明する能力を発揮する。</p>	<p>専門分野や専門的実務分野の最先端にある新しく複雑な抽象概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的に対応する。また、既存の概念や実務の高度化を図る。</p> <p>高度な研究手法、解析手法・技法を独力で用いて、現代の複雑で抽象的な新しい問題や課題を解決し、専門分野や実務分野の新しい知見、理論、解決策、実践方法を創造的に産み出す。</p> <p>ピアレビューや国際基準を満たす独創性の高い研究により、新しい知見、理論、解決策、実践方法を産み出す。</p>	<p>実用的・技術的な技法／実践方法や科学的技法を使いこなす高度な能力を発揮する。この分野の最先端において、複雑で最新の問題を解決するための技法、技術や解決策を開発するものである。</p> <p>複数の分野で、高度で専門的な研究/方法論を設計/実施/改良する能力を発揮する。</p>	<p>同業者、研究者コミュニティや一般社会に対して、当該分野の研究成果を効果的に伝える。</p> <p>学習の場や職場の人々、民族や職業が異なるグループ・ネットワークに所属する多様な人々に対応する。</p> <p>専門分野の情報、知見、アイデア、課題やその解決法について、同業者、研究者コミュニティや一般社会に説得力をもって理路整然と伝える。</p>	<p>研究・業務活動の質を高めるために、既存の手法/方法論を利用/選択/改善する、あるいは適切な新しい手法/方法論を開発する。</p> <p>数値データや図表データの批判的評価を行う。</p> <p>専門分野の情報、知見、アイデア、課題やその解決法について、同業者、研究者コミュニティや一般社会に説得力をもって理路整然と伝える。</p>	<p>新しい知見を産み出し、実務、プロセスや製品の高度化に貢献する研究や算術管理について、主体性、自主性、権限をもって取り組む。</p> <p>リーダーシップ、プロ意識、管理能力を発揮し、多様なパートナーと効果的に協力をする。</p> <p>専門職/専門家レベルの新たな問題について、学術的および専門的観点から、社会的、文化的進歩に貢献する。</p>	<p>自分自身の仕事について、全面的に責任を負う。必要に応じて、所属する組織の運営管理全般にも説明責任を負う。</p> <p>生涯学習に対する知見と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合を図る。</p> <p>ベンチャー事業およびプロジェクトを起したり、そのリーダーになったりする。</p>	<p>法律上、職業上の行動規範や、倫理的に健全な行動規範を遵守する。</p> <p>倫理上、職業上の新たな課題を見だし、その複雑さや、専門分野における研究の進展や社会全体への影響を明らかにする。</p> <p>社会的、技術的、経済的発展に専門的立場から貢献する。</p>

<p>学習者は、学習／研究／専門的実務を進めることにより、高度な理論的知識、批判的思考、創造能力や革新能力に固める理解を基礎として、学習／実務の特定分野における高度な知識を習得する。また、課題に対して、新しい解決策を産み出す。</p> <p>7</p> <p>世界でも、知識と能力を生かして、自信をもって行動する。</p>	<p>学習分野または実務分野において、分析的・批判的評価を行い、複雑な情報や専門的な概念・理論・手法、実務をまとめ上げるために、知創性と主体性を発揮する。</p>	<p>高度な技術、手法、技能を活用して、新しいアイデア／画期的な実践法を産み出すためのアプローチを幅広く、総合的に、批判的・統合的に応用し、学習／実務分野における複雑な課題に対処し解決する。</p>	<p>標準的専門的知識や学問分野の最新動向から得られる実務技能・手法、研究手法を応用する。</p> <p>学習分野または実務分野の複雑な問題や課題に対処し解決する能力を発揮する。</p> <p>最低一つの外国語を使い、仕事や高度な学習を行う能力を発揮する。</p>	<p>同業者、専門家、素人に対して、最低一つの国際言語で、適切な方法をj用いて、知識、技能、アイデア、評論、絶論／論議を明確に伝える。</p> <p>学習の場や職場の多様な人々や、民族や職業が異なるグループ・ネットワークと協力しながら仕事ができる。</p>	<p>研究・実務活動の質を高めるために、適切なデジタル技術やソフトウェアを幅広く効果的に利用する。</p> <p>新しい解決策／課題に取り組むために、アプリケーションやシステムを調整する。情報・メディア・技術のアプリケーションを幅広く利用して、学習／研究／実務を支援する。</p> <p>数学的手法や他の定量的・定性的手法を活用して、学習／仕事の数値データを図表データなどを分析・評価するなど、評価業務を設計・立案する能力を発揮する。</p>	<p>職場やクラスで、かなりの自主性、主体性、リーダーシップ、対人技能を発揮する。</p> <p>複雑かつ予測がつかない状況下で、自分チーム内の作業や他チームとの協働作業の企画、資源管理、監督、問題解決、作業管理に相当の責任を持つ。</p>	<p>研究者や職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る。</p> <p>ベンチャー事業あるいはプロジェクトを起したり、そのリーダーになったりする。</p>	<p>法律上、倫理上、職業上の行動規範を遵守する。</p> <p>批判的洞察や倫理的配慮に基づき、複雑な問題について助言や決定を行う自信を示す。</p> <p>国や世界の社会的、技術的、経済的発展のために、専門的立場で貢献する。</p> <p>市民社会や世界が抱えるさまざまな問題に、自分の専門分野で取り組む能力を発揮する。</p>
<p>学習者は、専門分野での研究開発、創造性や革新が欠かせない専門職の仕事に求められる、広範囲で体系的な知識と能力を理解する。</p> <p>6</p> <p>専門職業人としての姿勢・心構えと柔軟な対応力を持ち、倫理観ある職場文化や持続可能性に向けて取り組み、日本の国家目標に沿いながら国際社会の一員としての認識を持つ。</p>	<p>理論や技術について、高度で総合的な知識を言葉で説明し、関連する専門分野の能力、または学習／研究／仕事／実務分野に関わる学際的な能力を発揮する。</p>	<p>学習／研究／仕事／実務の分野で、批判的・分析的な能力や評価能力を用いて、当該分野の知識の活用において知的主体性を発揮する。</p> <p>複雑な用途を管理、解明し、創造的で画期的な解決策を用いて、予測できない問題に対処する。</p> <p>学習／研究／仕事／実務の分野で、技能／知識をさまざまなアプローチに活用する。</p>	<p>広範囲にわたる複雑な問題の解決に、基本的な方法や手法を幅広く応用する。</p> <p>専門分野に関する実務や手法の見直し、調整、監督を行う。</p>	<p>多様な他者に対して、アイデアや考えを、文書および口頭で、適切な表現方法を用いて、自信をもって正確に理路整然と伝える。</p> <p>学習や仕事などの多様なコミュニケーションの人々や、地域や国が異なる多様な人々と協力する。</p>	<p>多様なITツールやメディア、アプリケーションを幅広く使用し、学習／仕事を支援する。</p> <p>数値データや図表データ／視覚データを組み合わせて学習／仕事に使う。</p>	<p>多様な組織的枠組みや制約の下で、自主的に仕事をし、各種業務管理でリーダーシップとプロ意識を発揮する。</p> <p>自分や他者の業務について、相当レベルの責任を負う。</p> <p>事前に定めた目標や成果に向けて仕事をすることで、意思決定能力とプロ意識を発揮する。</p>	<p>研究者や職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る。</p>	<p>社会的、職業上の多様な理論や実務の中で、倫理観を遵守し、倫理上の課題を明らかにし、倫理観を持って決定し、専門職業人として行動をする能力を発揮する。</p> <p>地域／国／世界の社会的・政治・経済・文化的に幅広い課題について認識を示す。</p> <p>専門分野で、説明責任を果たす。</p>

<p>学習者は、相当量の理論的・専門的知識を待たず、職場で複雑な状況に対処することから、組織や職業で求められることを理解し、それに従うことができるとする。</p> <p>5</p> <p>学習者は、倫理的にも、地域や世界で働いたり生活したりする場合にも、持続可能な方法を用いる能力を持つ。</p>	<p>高度な専門知識が求められる分野で、予測不可能な多様な任務/仕事/学習に取り組むために、理論、概念、技術について広範囲の知識と理解を有する。</p>	<p>一つの専門分野または仕事において、専門的・概念的・理論的知識を詳細に認識し、解釈、応用、分析、評価する。</p> <p>曖昧で複雑な定型的・非定型的な状況や、予測できない状況でも、限られた範囲のアプリオリな能力や自主性をもって、問題や課題を解決する。</p>	<p>実務能力を幅広く活用して、多様な学習や複雑な任務について、必須の方法論や手法を用いる。</p> <p>関連した実務方法やプロセスの見直しや調整を行い、他の人たちの監督する。</p>	<p>社会的、学術的、職業上の目的で、多様な聞き手に情報、アイデア、問題、解決策を伝えるために、分かりやすい方法で、説得力を持ち、効果的にコミュニケーションを取ったり交流したりする。</p> <p>最低二つの言語で、高い会話力や文書作成能力を示す。</p>	<p>多様なITツールやメディア、アプリケーションを幅広く利用して、学習/仕事を支援する。</p> <p>複雑で定型的、非定型的な数値データや図表データを解釈して使用する。</p>	<p>相当な自主性をもち、かなり個人責任を負いながら仕事を職場で、資源の割り当てや他者の成績に關する判断について、単独で経営的決断を下す。</p> <p>責任を取ったり、説明責任を負ったりする能力を示す。</p> <p>業務分野が明確でない場合を含め、新しい環境で、チーム・リーダーシップを発揮する。</p>	<p>関連する特定の状況で、企業家的な能力を発揮する。</p> <p>自ら方向を定めた生涯学習に効果的に取り組む、専門的な共同制作や研究に自主的に参加する。</p> <p>地域や世界で、複数の言語が飛び交う多民族・多文化の状況下で、仕事や学習を行う能力を発揮する。</p>	<p>社会的責任を果たす能力を発揮する。専門職人に相応しい倫理的慣行や持続可能な慣行に従う能力を示す。</p> <p>地域や世界で、持続可能な社会をつくるために貢献する。</p>
<p>4</p> <p>学習者は、一般理論・原理について幅広い知識を獲得し、特定分野の学習/訓練の能力を発揮する。それにより、技術職・専門職・経営職の分野のキャリアにつながる専門的な仕事を行うことができる。</p> <p>学習者は、進学への関心を示す。</p> <p>学習者は、倫理的な適切な行動を取ると努力し、世界の中の日本という視点で、日本の目標への理解を示す。</p>	<p>当該分野の学習/訓練の中で、複雑で定型的/非定型的な任務/学習を行うための複雑な理論的知識・能力について、広範囲にわたって体系的に把握・理解する。</p>	<p>学習/仕事の内容が明確になっている場合、最低限の監督を受け、一般概念/理論/運用原理を認識・解釈・適用・評価する。</p> <p>明確でありふれた問題や、日常的に見られない性質の問題を解決する。</p>	<p>実務能力、技法、手法を限られた範囲で応用し、求められた任務/仕事を行う。</p> <p>定型的または非定型的な任務に關する実務やプロセスについて、必要に応じて検討と修正を行う。</p>	<p>他の学生や専門家、素人などに対して、アイデア、情報、問題、解決策を、口頭でも文書でも明確に伝える。</p> <p>単独、またはチームメンバーの一員として、管理者や同僚、部下と効果的に交流する。</p> <p>日本語のほか、最低一つの言語で、能力を発揮する。</p>	<p>学習/仕事を支援したり、仕事や学習に關するデータを調べて処理するために、多様なデジタルツールを利用する。</p> <p>所定の複雑な数値データや図表データを解析し活用する能力を発揮する。</p>	<p>さまざまな状況で実施される明確で非定型的な学習/任務について、幅広い助言や指導を受けて、かなりの責任と自主性をもちて仕事をこなす。</p> <p>職場で各種チームの統率と管理を行い、問題に対処する。</p>	<p>企業家的な活動について調べたり参加したりする。</p> <p>進学の可能性や自己研鑽の取り組み方を明確にする。キャリアや職業について現実的な目標を立てる。</p> <p>地元・地域社会づくりや市民活動に關心を示し、参加する。</p>	<p>仕事において、組織の倫理や職業倫理を理解し、従う能力を示す。</p> <p>地域社会や世界で働いたり生活したりする場合、持続可能な方法を示す。</p>

<p>学習者は、中級レベルの事実や原理原則について、基本的、理論的かつ専門的な知識を獲得する。必要に応じて、仕事に關するハウスの取れた能力を發揮する。</p> <p>3</p> <p>学習者の興味や仕事に關する学習や訓練に興味を示す。</p> <p>年齢相応に地域社会に参加し、世界の問題に對して年齢相応の認識を持つ。</p> <p>英語など、日本語以外の言語能力を獲得する</p>	<p>ある学習や訓練についてかなりの知識を持つ中で、基本的な原理原則、理論、技能を言葉で説明し、明確な各種の定型的任務/仕事に取組み、完了させる。</p>	<p>教師の監督の下で、情報、適切な手法やツール、技術、材料を使って、定型的・非定型的な任務/問題への取り組み/解決策を組織・運用し、完了させる。</p>	<p>他の学生、専門家、素人に対して、単独で、あるいはチームで、口頭または文書によって、アイデア、情報、問題、解決策を効果的にかつ明確に伝える。</p> <p>日本語以外に最低一つの国際語の初歩的能力を養成する。</p>	<p>学習/仕事を支援する基礎的なITアプリケーションを利用して、学習/仕事に關するデータを調査、処理する。</p> <p>よく知っていて分けて、よくい教値データや図表データを解釈し、活用する。</p>	<p>最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事を遂行する能力を示す。</p> <p>学習/仕事の枠内で、相手に助言を与える。</p> <p>成果の質と影響について、認識と一般的な知識を持つ。</p> <p>企業家に求められる知識や能力について、基礎的な理解を示す。</p>	<p>最低限の指導監督で、学習による自己研鑽やトレーニングを積んだり、進学を希望したりする。</p> <p>日本および近隣諸国について、認識と一般的な知識を持つ。</p> <p>企業家に求められる知識や能力について、基礎的な理解を示す。</p>	<p>多文化環境の中で行う学習/任務で、職業倫理に依ることができ、地域社会や世界に役立つ事柄(健康問題など)について、地域社会と積極的に関わる。</p>
<p>学習者は、一定の環境で責任感と倫理観のある職業人として仕事を行うための知識と技能を獲得する。</p> <p>2</p> <p>進学や、積極的に生涯学習に取り組むことに関心を示す。</p> <p>地域社会に参加する技能を高める。</p> <p>英語など、一つの外国語の基礎的能力を高める。</p>	<p>知識と技能を、明確な定型的学習/任務に活用する。</p> <p>明確な定型的学習/任務において、よく知っている解決法を応用して予測できる問題を解く。</p>	<p>一般的な基本手法、材料を用いて、指導を受けて、明確な任務を計画し、完成させる能力を發揮する。</p>	<p>よく知っている日常的な事柄について、単純で直接的な情報のやりとりが必要と限られた状況で、コミュニケーションをとる。</p> <p>日本語以外の言語一つの基礎的能力を高める。</p> <p>進学準備に責任を持ち、準備に取り掛かる。</p>	<p>教師の監督の下で、所定の任務を行うために、十分な、限られた基礎的なアプリケーションやツールを利用して、簡単なデータを処理する。</p> <p>少量の単純でよくある教値データや図表データを解釈する。</p>	<p>体系的な活動において、監督の下で、ほとんど自主性なく、相応な支援を受けて、作業や仕事を遂行する。</p> <p>責任や説明義務をほとんど負わずに、チームで作業し、意見交換や相手へのフィードバックを行う。</p>	<p>教師の指導を受けて、学習に一定の責任を担い始める。</p> <p>任務や個人の行為・価値観について考える力を發揮する。</p>	<p>一定の個人の価値観を学習/任務の中で生かす能力を示す。</p> <p>自分以外の文化や価値体系に融れ続けることで、文化的多様性への理解を深める。</p> <p>政治意識や社会意識を高める。</p>

<p>学習者は、最低レベルの基礎的な一般知識・技能を獲得し、指導の下で、基本的かつ極めて定型的な任務を行ない、さらに学習を進め、責任感と倫理観ある職業人になるための準備をする。</p> <p>地域社会や、地方・国の制度について認識し、自分以外の世界に好奇心を持つ。</p>	<p>分野や対象の狭い範囲内で、単純で基本的な知識と技能を言葉で説明し、非常に定型的で予測でききる任務および学習を行う。</p>	<p>定型的で明確で予測でききる任務において、指導を受けて、基礎的な知識を活用する。</p> <p>成果や成績について、考え、改善する力を発揮する。</p>	<p>明確な任務について、各種の一般的な基本手法や材料を使う初歩的な技能を発揮する。</p>	<p>限られた状況の下で、馴染みある日常的な表現や簡単な言葉を伝える。</p>	<p>基礎的な数学的手法（記号など）を利用する力を示す。</p> <p>教師の指導の下で、与えられた任務を行うのに十分な、いくつかの簡単な/基本的なアプリケーションを利用する。</p>	<p>直接指導の下、支援を受けて、構成された活動/任務に取り組み。</p> <p>単独またはチームで作業や仕事をすすめる力を発揮する。</p>	<p>教師の働きかけと指導の下で、学習に一定の責任を担い始める。</p> <p>教師の指導の下で取り掛かった/行われた任務について、検討・反省する力を発揮する。</p> <p>学習や任務の中で、生かせる個人の価値観を明確にする能力を示す。</p>	<p>社会の責任あるメンバーとなり、自分以外の文化に対する配慮を示す。</p>
--	--	--	--	---	--	---	---	---

*1 コミュニケーション技能等についても記述する。 *2 デジタル・数的技能等についても記述する。

各レベルの目安

- レベル8：専修学校専門課程 (2) 卒業後15～20年経過 (35～40歳)、博士
- レベル7：専修学校専門課程 (2) 卒業後10～15年経過 (30～35歳)、修士 [専門職]
- レベル6：専修学校専門課程 (2) 卒業後5～10年経過 (25～30歳)、高度専門士、学士、学生 [専門職]
- レベル5：専修学校専門課程 (2) 卒業 (20歳)、専門士、短期大学士、短期大学士 [専門職]、準学士
- レベル4：専修学校専門課程 (1) 卒業 (19歳)
- レベル3：高等学校卒業 (18歳)
- レベル2：中学校卒業 (15歳)
- レベル1：小学校卒業 (12歳)

Qualifications Framework Level Definition (Level Descriptors)

Level	Professional Skills					Ethics and Professionalism			
	Leaner Profile	Knowledge and Understanding	Generic Skills	Technical and Practical Skills	Interpersonal Skills*1		Analytical Skills*2	Management and Leadership Skills	Autonomy and Responsibilities
8	<p>Leavers will demonstrate a critical understanding of the most advanced knowledge at the frontier of their fields of study/professional practice.</p> <p>Independently conduct, manage and lead advanced research that contributes to new knowledge and/or practices.</p> <p>Produce research outputs in the form of theses, patents, products, new advanced professional practices, technologies, creative models, works of art or music.</p> <p>Demonstrate with confidence and knowledge the ability to present and defend points of view, theses and ideas in their fields of specialization.</p>	<p>Demonstrate comprehensive, systematic, integrated, new, complex and abstract ideas relevant to current issues at the frontier of their fields of study/professional practice.</p> <p>Adopt interdisciplinary perspectives, knowledge and understanding.</p>	<p>Critically analyze, evaluate and synthesize new, complex and abstract concepts and issues at the frontier of their fields of study/professional practice, and refine existing concepts and practices.</p> <p>Solve complex, abstract and emerging issues and challenges by independently applying advanced research and analytical methods and skills to creatively generate new knowledge, theories, novel solutions and/or new practices in their fields of study/practice.</p> <p>Create new knowledge, theories, solutions and practices through highly original research that satisfies peer reviews and international standards.</p>	<p>Demonstrate a mastery of practical and technical skills/practices as well as scientific skills, which are, in turn, used to develop new skills, techniques or solutions to resolve highly complex problems emerging at the forefront of multiple fields.</p> <p>Demonstrate the ability to design, implement and/or improve highly advanced, specialized research methodologies in multiple fields.</p>	<p>Effectively communicate research findings in their fields of expertise to peers, scholarly communities and society at large.</p> <p>Work to deal with diverse people in learning and working communities as well as in ethnically and professionally different groups and networks.</p> <p>Convey cogently and coherently ideas, problems and solutions relevant to their fields of specialization to peers, scholarly communities and society at large.</p>	<p>Use, select and improve existing methods and methodologies or develop new appropriate ones to enhance the quality of research and practical activities.</p> <p>Critically evaluate numerical and graphical data.</p>	<p>Work with autonomy, independence and authority in research and resource management, and contribute to the creation of new knowledge and advancement of practices, processes and products.</p> <p>Demonstrate leadership, professionalism and management skills, and cooperate effectively with various partners.</p> <p>From academic and professional perspectives, contribute to social and cultural progress in dealing with emerging issues at the professional/expert level.</p>	<p>Assume full responsibility for their own work, and where relevant, be accountable for overall management of their organizations.</p> <p>Integrate knowledge for lifelong learning with newly developed ideas, solutions and systems.</p> <p>Initiate and lead entrepreneurial ventures and projects.</p>	<p>Adhere to legal, professional and ethically sound codes of practice.</p> <p>Identify emerging ethical and professional issues, and disclose their implications and advance research in their fields of specialization and society at large.</p> <p>Contribute professionally to social, technological and economic development.</p>

<p>Based on strong theoretical knowledge, critical thinking, and an understanding of creative and innovative skills, learners will acquire knowledge in specific fields of study/practice through continuous learning, research and/or professional practice, and be able to generate new solutions to problems.</p> <p>7</p> <p>Act with confidence in the international arena backed by knowledge and skills.</p>	<p>Demonstrate originality and independence in undertaking analytical and critical evaluations and synthesizing complex information, theories, methods and practices in their fields of study/practice.</p>	<p>Use advanced methods and skills to adopt a wide range of comprehensive approaches to create new ideas or revolutionary practices, apply knowledge critically and comprehensively, and manage and solve complex problems or issues in their fields of study/practice.</p> <p>Demonstrate the ability to solve and manage complex problems or issues in their fields of study/practice.</p> <p>Demonstrate the competency to work and undertake advanced study in one or more foreign languages.</p>	<p>Through standard, specialized research methods and approaches, apply the practical skills, techniques or research methods learned from the most advanced knowledge and the latest developments in their fields of study.</p> <p>Demonstrate the ability to solve and manage complex problems or issues in their fields of study/practice.</p> <p>Demonstrate the competency to work and undertake advanced study in one or more foreign languages.</p>	<p>Use appropriate methods to clearly communicate knowledge, skills, ideas, critiques, conclusions and rationales to peers, experts, and non-experts in one or more global languages.</p> <p>Work together and collaboratively with diverse people in learning and working communities as well as in ethnically and professionally different groups and networks.</p>	<p>Competently use a wide range of suitable digital technologies and appropriate software to enhance the quality of study/practice.</p> <p>Adapt applications and systems to deal with new solutions and problems, and use a wide range of information, media and technological applications to support study/research/practice.</p> <p>Demonstrate the ability to design evaluation operation plans by applying mathematical and other quantitative or qualitative methods to numerical and graphical data for study/work.</p>	<p>Demonstrate significant autonomy, independence, leadership and interpersonal skills at work and in class.</p> <p>In complex and unpredictable situations, assume substantial responsibility in planning, resource management, supervision, problem solving and work management in their own teams or in collaboration with other teams.</p>	<p>Show self-advancement through continuous academic and/or professional development.</p> <p>Initiate and/or lead entrepreneurial ventures and projects.</p>	<p>Adhere to legal, ethical and professional codes of practice.</p> <p>Demonstrate confidence when giving advice and making decisions on complex issues based on critical insights and ethical considerations.</p> <p>Contribute professionally to social, technological and economic development both nationally and internationally.</p> <p>Demonstrate the ability to engage meaningfully in a range of civic and global issues in their fields of specialization.</p>
<p>Leavers will demonstrate comprehension of a broad-based and coherent body of knowledge and skills for paraprofessional work that requires research and development, creativity and innovation in their fields of specialization.</p> <p>6</p> <p>Demonstrate professionalism, resilience and a commitment to an ethical work culture and sustainability, and show an awareness of being a global citizen in alignment with Japan's national aspirations.</p>	<p>Describe in words advanced and comprehensive, theoretical and technical knowledge, and demonstrate relevant skills in their fields of specialization, or those of a multidisciplinary nature related to their fields of study/work/practice.</p>	<p>Demonstrate intellectual independence in applying knowledge in their fields of study/work/practice by applying critical, analytical and evaluation skills.</p> <p>Manage and resolve complex applications and handle unpredictable issues with creative and innovative solutions.</p> <p>Apply skills and knowledge to a range of approaches in their fields of study/work/practice.</p>	<p>Apply broad-based basic methods and procedures to solve a wide range of complex problems.</p> <p>Review, adjust and supervise practices and processes in their fields of specialization.</p>	<p>With confidence, accuracy and coherence, convey ideas and thoughts to diverse audiences in appropriate written and oral forms of presentation.</p> <p>Work together with different people in various learning and working communities as well as with diverse people from different regions or countries.</p>	<p>Use a broad range of information technology tools, media and applications to support study/work.</p> <p>Combine and use numerical and graphical/visual data for study/work.</p>	<p>Within various organizational parameters, work autonomously and display leadership and professionalism in work management.</p> <p>Undertaken a significant level of responsibility for their own and others work.</p> <p>Demonstrate decision-making abilities and professionalism by working towards pre-determined goals and outcomes.</p>	<p>Demonstrate entrepreneurial competency in selected projects.</p> <p>Pursue self-directed lifelong learning and professional pathways.</p> <p>Demonstrate an awareness of a broad range of socio-political, economic and cultural issues at local, national and international levels.</p> <p>Fulfill accountability in their fields of specialization.</p>	<p>Demonstrate the ability to adhere to moral values, identify ethical issues, make decisions in an ethical manner, and act professionally in socially and environmentally diverse environments and practices.</p> <p>Demonstrate a deep awareness and knowledge of local and global science, technology, business, social and environmental issues.</p>

<p>5</p> <p>Leanners will have a significant amount of theoretical and technical knowledge, and be able to deal with complex situations at work and understand and meet organizational and professional demands.</p> <p>Leanners will demonstrate the ability to apply sustainable practices in an ethical manner in living and working in local and/or international communities.</p>	<p>Demonstrate a wide range of theoretical, conceptual and technical knowledge and comprehension to deal with varied and unpredictable tasks/work/study in fields that require advanced specialized knowledge.</p>	<p>Identify, interpret, apply, analyze and evaluate detailed technical, conceptual and theoretical knowledge in their fields of specialization or at work.</p> <p>Solve problems and issues independently in broadly defined, complex, routine and non-routine contexts or under unpredictable circumstances, with a limited scope of approaches and autonomy.</p>	<p>Use a wide range of practical skills in applying essential methods and procedures to complete a variety of studies and complex tasks.</p> <p>Review and adjust relevant practices and processes and supervise other people.</p>	<p>For social, academic and professional purposes, communicate and interact with others effectively and cogently in a comprehensible manner to convey information, ideas, problems and solutions to diverse audiences.</p> <p>Display a high level of oral and written proficiencies in two or more languages.</p>	<p>Use a range of information technology tools, media and applications to support study and/or work.</p> <p>Interpret and apply routine and non-routine, complex numerical and graphical/visual data.</p>	<p>Work with a substantial degree of autonomy and a significant level of responsibility.</p> <p>Make management decisions independently on resource allocation and the performance of others in the workplace.</p> <p>Demonstrate the ability to take responsibility and accept accountability.</p> <p>Demonstrate team leadership in new environments, including when the area of work is not well-defined.</p>	<p>Demonstrate entrepreneurial skills in relevant specific situations.</p> <p>Engage effectively in self-directed lifelong learning and participate independently in professional collaborations.</p> <p>Demonstrate competencies working or studying in local and/or global multicultural, multilingual and multiethnic communities.</p>	<p>Demonstrate the ability to fulfill social responsibilities and to follow professional, ethical and sustainable practices.</p> <p>Contribute to the development of sustainable local and global communities.</p>
<p>4</p> <p>Leanners will have broad-based knowledge of general theories and principles, and demonstrate skills for study/discipline in specific fields, enabling them to undertake specialized work leading to a career path in technical, professional or management fields</p> <p>Leanners will express interest in pursuing further education.</p> <p>Leanners will be committed to appropriate ethical behaviors and appreciate Japan's national aspirations from a global perspective.</p>	<p>Understand systematically a broad range of complex technical and theoretical knowledge and skills to undertake complex, routine and non-routine tasks/study in relevant fields of study/discipline.</p>	<p>Identify, interpret, apply and evaluate general concepts, theory and/or operational principles with minimal supervision when the content or study/work is well-defined.</p> <p>Solve well-defined common problems as well as irregular ones.</p>	<p>Apply practical skills, techniques and methods to a limited extent to meet the demands of tasks/work.</p> <p>Consider and adjust, as necessary, the practices and processes to complete routine or non-routine tasks.</p>	<p>Communicate clearly, in oral and written form, ideas, information, problems and solutions to others including peers, experts and non-experts.</p> <p>Individually or as a team member, interact effectively with supervisors, peers and subordinates.</p> <p>Demonstrate proficiency in one or more languages besides Japanese.</p>	<p>Use a wide range of digital tools to support study/work as well as examine and process data relevant to work or study.</p> <p>Demonstrate skills to use and interpret given, complex numerical and graphical/visual data.</p>	<p>Perform work with a significant degree of responsibility and autonomy under broad-based guidance and direction on well-defined, non-routine study/tasks performed in a variety of contexts.</p> <p>Lead and manage a variety of teams to handle issues at work.</p>	<p>Explore and engage in entrepreneurial activities.</p> <p>Identify self-improvement initiatives and possibilities for further education, and career and professional goals.</p> <p>Show interest and participate in professional and civic activities leading to local and region-wide community building.</p>	<p>Demonstrate the ability to understand and comply with organizational and professional ethics at work.</p> <p>Demonstrate the ability to apply sustainable practices in living and working in local and global communities.</p>

<p>3</p> <p>Leavers will have fundamental, theoretical and technical knowledge of facts and principles at an intermediate level, and demonstrate well-balanced working skills as required.</p> <p>Show an interest in study/disciplines pertaining to their own interest or work.</p> <p>Engage in an age-appropriate manner with local communities and display an awareness of global issues.</p> <p>Acquire an elementary level of proficiency in a language other than Japanese (e.g. English).</p>	<p>With a significant range of knowledge about a field of study or discipline, describe in words the basic principles, theories and skills to take on a variety of well-defined, routine tasks/ work.</p>	<p>Apply knowledge and skills to solve predictable problems in routine tasks/study.</p>	<p>Use appropriate methods, tools, technologies and materials to organize, operate and complete efforts and solutions to deal with routine and non-routine tasks/problems under a teacher's supervision.</p>	<p>Individually or as a team, communicate effectively and clearly in oral and written form, ideas, information, problems and solutions to peers, experts and non-experts.</p> <p>Develop an elementary level of proficiency in one or more global languages besides Japanese.</p>	<p>Use basic information technology applications to support study/work to look at and process data relevant to their study/work.</p> <p>Interpret and use familiar and comprehensive numerical and graphical data.</p>	<p>Demonstrate the ability to work with considerable autonomy and minimal supervision.</p> <p>Provide guidance to others in the context of study/work.</p> <p>Undertake considerable responsibility for the quality and impact of outputs.</p> <p>Consider the outcomes and performance of study/work/tasks and assume responsibility for them.</p>	<p>With minimal guidance, initiate self-improvement through study or training and seek further education.</p> <p>Display an awareness and general knowledge of Japan and its neighboring countries.</p> <p>Demonstrate a basic understanding of the knowledge and skills required for entrepreneurs.</p>	<p>Demonstrate the ability to comply with work ethics in performing study/tasks in diversified, multicultural environments.</p> <p>Pursue active engagement with local civic societies on matters of interest to local and global communities (e.g. environmental issues).</p>
<p>2</p> <p>Leavers will acquire knowledge and skills to carry out work as responsible and ethical professionals in a certain environment.</p> <p>Demonstrate interest in undertaking further studies and in making a commitment to lifelong learning.</p> <p>Develop skills to engage with local communities.</p> <p>Develop a basic level of proficiency in a foreign language (e.g. English).</p>	<p>Demonstrate the ability to describe in words the knowledge of subjects/disciplines for study and take on a variety of routine and non-routine tasks/work.</p>	<p>Apply knowledge and skills to well-defined routine study/tasks.</p> <p>Apply familiar solutions to solve predictable problems in well-defined routine study/tasks.</p>	<p>Demonstrate the ability to plan and complete well-defined tasks using common basic methods and materials.</p>	<p>Communicate with others in a limited range of contexts requiring simple and direct exchanges of information on familiar and routine matters.</p> <p>Develop a basic level of proficiency in a language other than Japanese.</p> <p>Assume responsibility and initiate preparatory studies for further education.</p>	<p>Under a teacher's supervision, use a limited range of basic applications and information technology tools adequate to perform a given set of tasks to process simple data.</p> <p>Interpret a small amount of simple and familiar numerical and graphical data.</p>	<p>Work under supervision in structured activities with almost no autonomy or substantial support.</p> <p>Work in a team and exchange views and feedback with others, assuming almost no responsibility and accountability.</p>	<p>With a teacher's guidance, assume a degree of responsibility for learning.</p> <p>Demonstrate the ability to consider tasks and personal actions and values.</p>	<p>Demonstrate the ability to make good use of personal values in learning or carrying out tasks.</p> <p>Deepen the understanding of cultural diversity by continued exposure to different cultures and value systems.</p> <p>Develop political and social awareness.</p>

<p>Learners will have basic, foundational or general knowledge and skills.</p> <p>Learners will perform basic and highly routine tasks with guidance and prepare for further learning and for becoming responsible ethical professionals.</p> <p>1</p> <p>Develop an awareness of community, local and national institutions as well as curiosity about the outside world.</p>	<p>Describe simple and basic knowledge and skills in a limited scope of fields/subjects to undertake highly routine and predictable tasks/ study.</p>	<p>With guidance, apply basic knowledge to well-defined, routine and predictable tasks.</p> <p>Demonstrate the ability to reflect on and improve performance.</p>	<p>Demonstrate elementary skills in using a variety of common basic methods and materials for well-defined tasks.</p>	<p>Use familiar everyday expressions and simple phrases in a limited range of contexts.</p>	<p>Demonstrate competency in using basic mathematical methods (e.g. symbols).</p> <p>Under a teacher's guidance, use a few simple and basic applications adequate to perform given tasks.</p>	<p>Under direct guidance and support, work in structured activities/ tasks.</p> <p>Demonstrate the ability to work independently or in a team.</p>	<p>With a teacher's encouragement and guidance, assume a degree of responsibility for learning.</p> <p>Demonstrate the ability to review and reflect on the tasks undertaken/performed under a teacher's guidance.</p> <p>Demonstrate the ability to identify the personal values applicable to carrying out study/tasks.</p>	<p>Act as a responsible member of society and show sensitivity to cultures other than their own.</p>
--	---	---	---	---	---	--	---	--

*1 Communication-related and other skills are also included. *2 Digital, numerical and other skills are also included.

Level Criteria

Level 8: 15-20 years after graduating from a specialized training college (2) (at the age of 35-40), Doctoral Degree

Level 7: 10-15 years after graduating from a specialized training college (2) (at the age of 30-35), Master's Degree, Master of xxx (Professional)

Level 6: 5-10 years after graduating from a specialized training college (2) (at the age of 25-30), Advanced Diploma, Bachelor's Degree, Bachelor's Degree (Professional)

Level 5: Specialized training college (2) graduate (at the age of 20), Diploma, Associate Degree, Associate Degree (Professional), Associate

Level 4: Specialized training college (1) graduate (at the age of 19)

Level 3: High school graduate (at the age of 18)

Level 2: Junior high school graduate (at the age of 15)

Level 1: Elementary school graduate (at the age of 12)

資歷架構的層級定義 (層級描述)

資歷架構的層級定義 (層級描述)		職務上的技能				倫理觀與專業精神	
學習者資料	知識與理解	通用性的技能	專業實踐技能	對人技能*	分析技能 ²	管理、指導技能	自主性與責任感
<p>● 學習者對於學問領域或專業性實務領域最前端的之最先進的兒解，具有批判性的理解。</p> <p>● 獨立執行、管理、指導新的研究，有獨創性的見解。</p> <p>● 以論文、專利、產品、新的高級專業性實務、先進技術、創造性的模式、藝術作品或音樂等的形式，創造出研究成果。</p> <p>● 對於專業領域的觀點、主張、概念，能夠以知識並有自信地表現出來，具有強辯證明其為正確的能力。</p>	<p>● 在最先進的學問領域或專業性實務領域，對於當下成為議題的問題，能夠全面性、系統性、影響性地理解新穎而複雜的挑戰。</p> <p>● 具有跨領域的觀點、知識與理解。</p>	<p>● 對於學問領域或專業性實務領域最先進的、技術性的方法/高技能、這種能力是研發技術、技術或解決對策，以解決複雜而新穎的問題。</p> <p>● 在多數的領域中，對於高技能而專業的研究方法論，執行設計、實施、改良的能力。</p>	<p>● 為了提高研究、實務活動的品質，對於能夠進行應用、選擇、改進，或提出適合的新方法/方法論。</p> <p>● 批判性地審視價值觀或團隊數據。</p>	<p>● 對於同事、研究人員、非專家、至少以一種國際語言，使用適當的方法明確傳達知識、技能、概念、評論、結論。</p> <p>● 能夠與同事或專業人士合作並展開工作。</p>	<p>● 對於創造性的見解，以及對於互動實務、過程或產品/服務化的研究進行應用，在擁有獨立性、自主性、權威性下執行、發揮指導能力、專業精神、管理能力，有效地與各種夥伴進行合作。</p> <p>● 對專業專家領域的新問題，從學術及專業的角度作社會、文化的進步作貢獻。</p>	<p>● 遵守法律上、職業上的行為規範及倫理上的健全行為規範。</p> <p>● 探索倫理上、職業上的新議題，闡明其複雜性、在專業領域的研究進展或對社會全體的影響。</p> <p>● 從專業的立場闡述社會、技術、經濟的發展。</p>	<p>● 對於自己本身的工職，全而負責任。</p> <p>● 根據需要，也對所屬機構的各種運作管理負起說明責任。</p> <p>● 整合並發展終身學習的知識與新系統、解決對策以及系統。</p> <p>● 開創事業及專業計畫，或成為指導者。</p>
<p>● 學習者透過學習研究專業性實務，以高技能、批判性、創造性或創新能力的相關理解為基礎，修得在學問或實務領域的高級知識。並且，對於溝通創造出新的解決對策。</p> <p>● 在國際上也能夠應用知識與能力，有自信地展現活動。</p>	<p>● 在學問領域或實務領域，進行分析性、批判性的理解，為整合複雜的資訊或專業性的概念、實務、理論、方法、實務，發揮獨創性與自主性。</p>	<p>● 應用高級的技術、手法、技能，廣泛而綜合地進行為了創造出新概念、新實務方法/方法論、批判性地且全面性地應用知識，面對複雜領域中的複雜問題，加以解決。</p>	<p>● 藉由標準的專業研究手法/方法論，應用從最先進的知識或專業領域最新獲得的實務技能、手法、研究手法。</p> <p>● 面對學問領域或實務領域中的複雜問題或高技能、發揮解決的能力。</p> <p>● 至少使用一種外語，發揮執行工作或高級學習的能力。</p>	<p>● 對於同事、專業人士、非專家、至少以一種國際語言，使用適當的方法明確傳達知識、技能、概念、評論、結論。</p> <p>● 能夠與同事或專業人士合作並展開工作。</p>	<p>● 在職場或環境中充分發揮自主性、獨立性、指導能力及對人溝通能力。</p> <p>● 在複雜且無法預測的情況下，對自我團隊內的工作或與其他團隊協作的估測、資源管理、監督、解決問題、管理作業上負起相應的責任。</p>	<p>● 遵守法律上、職業上的行為規範。</p> <p>● 基於批判性的洞察或複雜的問題有自信提出建言或做出決策。</p> <p>● 為了國家或世界的社會、技術、經濟發展，站在專業性立場作出貢獻。</p> <p>● 對於公民社會或世界面臨的各種問題，在自我的專業領域執行解決的能力。</p>	<p>● 作為研究人員或職業人員持續成長，致力自我提升。</p> <p>● 開創事業或規劃專案計畫，或成為指導者。</p>
<p>● 學習者理解在專業領域中研發、創造性或創新的高級工作必備的廣泛且系統性的知識與能力。</p> <p>● 具有作為專業職業人員的態度、心理準備與柔軟的應對能力，致力維持具有倫理觀。</p>	<p>● 對於理論或技術，使用語言說明高級且全面的知識，發揮有關專業領域的能力、或學習、研究、工作、實務領域的專業能力。</p>	<p>● 在解決涉及廣闊範圍的複雜問題上，廣泛應用各種方法/方法論。</p> <p>● 對於有關專業領域的知識或手法進行改進、調整、指導。</p> <p>● 管理並分析複雜的運用，使用創造性的新解決對策處理無法</p>	<p>● 廣泛使用多種的IT工具或設備，應用程序，支援學習/工作。</p> <p>● 組合數值數據和圖表數據、視覺數據，應用到學習工作上。</p>	<p>● 對於各種各樣的人，以書面或口頭方式，將概念或想法通過使用適當的表現方法、有自信且有條理地正確傳達。</p> <p>● 與在學習或工作等多樣社群的人群、或與不同區域、國家的多樣</p>	<p>● 在多種的組織架構或限制下，獨立執行工作，在各種實務管理上發揮領導能力與專業精神。</p> <p>● 對於自我或他人的業務，負起相當層級的责任。</p> <p>● 朝向事前擬定的目標</p>	<p>● 在社會上、職業上多樣的環境或實務中，遵守倫理觀、認清倫理上的議題，秉持倫理觀下定決策，作為專業人員發揮執行行動的能力。</p> <p>● 對於當地或世界所面臨的科學、技術、商</p>	<p>● 在決定的專業中發揮作為企業家的能力。</p> <p>● 定下自我規劃的方向，朝向終身學習或職業途徑努力前進。</p> <p>● 對於區域、國家、世界的社會政治、經濟、文化上的廣泛議題有所認識。</p>

職	學習者資料	知識與理解	通用性的技能	專業實踐技能	對人技能*1	職務上的技能	管理・指導技能	自主性與責任感	倫理觀與專業精神	
3	<p>的職場文化或永續發展目標。遵照日本的國家國際社會一員的認識。</p> <ul style="list-style-type: none"> 學習者擁有大量的理論性、專業性知識，在職場可以應付複雜的挑戰，理解並適應從機械或職能所要求的事情。 <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 學習者能夠遵照倫理的方式，在區域社會或世界工作、生活時，擁有應用永續方法的技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 在要求高級專業知識的領域中，對於理論、概念、技術，擁有廣泛的知識與理解，以執行無法預測的各種任務、工作、學習。 	<ul style="list-style-type: none"> 預測的問題。 在學習、研究、工作、實務的領域中，將技能知識應用到各種標準方法上。 對於某一專業領域或工作，詳細地認識、解釋、應用、分析、評鑑其專業性、概念性、理論性的知識。 在常規、非常規的情況下，能夠以有限的探討方法、或自主地解決問題或議題。 	<ul style="list-style-type: none"> 廣泛運用實務能力，對於多樣的學習或複雜的任務採取必要的方法論或手法。 對於相關的實施方法或過程進行重新評估或調整，並指導他人。 	<ul style="list-style-type: none"> 在社會的、學術的、職業的目的上，為了向各種聽眾傳達資訊、概念、問題、解決策略、使用明白易懂的方法，具有說服力地、有效地進行溝通與交流。 至少使用兩種語言表會話能力與文章寫作能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 廣泛使用多種的工具或設備，應用程序，支援學習工作。 說明並使用常規、非常規的複雜數值數據或圖表數據。 	<ul style="list-style-type: none"> 擁有相當大的自主性，負起相當程度的個人責任，執行工作。 在職場上，對於資源的分配或他人的成績判斷，獨立進行經營上的決定。 負起責任，履行說明責任的能力。 包括業務領域並不明確的情境下，發掘團隊領導能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 站在專業領域立場履行說明責任。 處於相關的特殊狀況下，發揮企業家功能。 有效地投入自我規劃的終身學習，並自主地參加專業性的協作的永續發展社會作出貢獻。 發揮履行社會責任的能力。表現遵守符合專業人員的倫理原則，或永續發展的能力。 為了建立區域或世界的永續發展社會作出貢獻。 	<ul style="list-style-type: none"> 調查、參加企業家的活動。 明確升學的可能性或自我學習的實踐方法。對於職業或職業規定規畫的目標。 關心並參與當地、區域社會有關的專業性活動或公民活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 在多文化環境中進行的學習任務中，能夠遵守職業倫理。 對於區域社會或世界有用的事務（環境問題等），與當地社會一起積極地參與。
4	<ul style="list-style-type: none"> 學習者獲得關於一般理論、原理領域學問的知識。發掘特殊領域學習的興趣與能力。因此能夠執行與技術性、專業、經營領域職業有關的專業性工作、學習。 學習者表示有興趣進一步學習。 學習者致力採取具有倫理的適當行動，從全球角度看待日本的觀點，對日本的發展目標表示贊同。 	<ul style="list-style-type: none"> 在該領域的學習訓練中，為了執行複雜的任務，對於複雜的理論性知識、能力，進行廣泛的、系統的掌握與理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 在學習工作內容明確的情況下，接受最低程度的指導、認識、解釋、應用、評鑑一般概念、理論、運用原理。 解決明確且常見的問題、或非常見的問題。 	<ul style="list-style-type: none"> 在限定的範圍內應用實務能力、技法、手工作業。 執行被賦予的任務時，對於非常規任務或過程，根據需要進行獨立調整。 	<ul style="list-style-type: none"> 對其他學生或專家、非專家等，不論以口頭或書面方式，都能明確傳達概念、資訊、問題、解決策略。 單獨、或作為團隊成員的一員，與管理者的同事、部下進行有效交流。 在日語之外至少可使用一種語言發聲能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援學習工作，調查並處理與工作或學習有關的數據，使用多種的數位工具。 對於規定的複雜數值數據或圖表數據、圖像數據，發掘解釋及運用的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 對於在各種狀況下實施的非常規的明確學習任務，持有相當的責任感與自主性執行工作。 在職場指揮與管理各種團隊，並處理困難。 	<ul style="list-style-type: none"> 調查、參加企業家的活動。 明確升學的可能性或自我學習的實踐方法。對於職業或職業規定規畫的目標。 關心並參與當地、區域社會有關的專業性活動或公民活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 在多文化環境中進行的學習任務中，能夠遵守職業倫理。 對於區域社會或世界有用的事務（環境問題等），與當地社會一起積極地參與。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 學習者獲得有關中級層級事實或原理原則的基礎的、理論的、且專業的知識。根據需要，在工作中均衡地發揮能力。 對與學習者興趣或工作有關的學習或訓練表示興趣。 年紀相稱地參與區域或社會，對於世界問題擁有與年紀相稱的認識。 在日語以外獲得英語等一種語言的初級能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 對於某種學習或訓練擁有相當的知識，使用語言說明基礎的原理原則、理論、技能、執行各種常規的明確任務工作。 	<ul style="list-style-type: none"> 運用知識、熟知的手法、技能，解決常規的任務學習中可預測的問題。 	<ul style="list-style-type: none"> 在教師的指導下，使用資訊、適當的資料、組織、運用並完成常規與非常規的任務問題處理、解決對策。 	<ul style="list-style-type: none"> 對其他學生、專家、非專家，以單獨或團隊形式用口頭或書面方法，有效且明確傳達概念、資訊、問題、解決對策。 在日語以外至少培養一種國際語言的初步能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用支援學習工作的基礎IT應用程序，調查、處理學習工作相關的數據。 解釋、應用熟練且易懂的數值數據或圖表數據。 	<ul style="list-style-type: none"> 在最低限度的指導監督下，表現相當自主的工作能力。 在學習工作範圍內，向對方提出建議。 對於日本及鄰近各國擁有認識與一般的知識。 對於企業家所需要的知識或能力，表現基本的理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 在最低限度的指導監督下，經過訓練後，希望進一步學習。 對於日本及鄰近各國擁有認識與一般的知識。 對於企業家所需要的知識或能力，表現基本的理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 在多文化環境中進行的學習任務中，能夠遵守職業倫理。 對於區域社會或世界有用的事務（環境問題等），與當地社會一起積極地參與。 	

職級	職務上的技能						倫理觀與專業精神
	學習者資料	知識與理解	通用性的技能	專業實踐技能	對人技能*1	分析技能*2	
2	<ul style="list-style-type: none"> 學習者在一定的環境下，作為有責任感與倫理觀的職業人員，為了執行工作應得知識與技能。 對於升學或積極投入終身學習表示興趣。 提高參與區域社會的技能。 提高英語等一種外語的基本能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 為了學習、或執行各種複雜、非常規的任務工作，修得語言能力以說明各種主題/領域的知識。 	<ul style="list-style-type: none"> 應用知識使技能到明確的常規學習任務上。 在明確的常規學習任務上，應用熟練的解決方法解決可預測的問題。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用一般基礎手法、材料，接受指導，計畫明確的任務，發揮完成的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 對於熟練的例行事務，隨於具體且需要直接交換語言的狀況下，與他人進行溝通。 提高口語以外的一種語言的基本能力。 負責準備升學的責任，並且著手準備。 	<ul style="list-style-type: none"> 在教師的指導下，為了執行規定的任務，使用有限的基礎應用程序或IT工具，處理簡單的數據。 解釋少量單個的且常見的數值數據或圖表數據。 	<ul style="list-style-type: none"> 接受教師的指導，對於學習開始負起某種程度的責任。 對於任務或個人的行為、價值觀，表現思考能力。 提出政治意識或社會意識。
1	<ul style="list-style-type: none"> 學習者獲得最低層級的一般基礎知識、技能，在指導之下執行基本且極為常規的任務，並進一步學習，準備成為具有責任感與倫理觀的職業人員。 認識區域社會或地區、國家的制度，對自我以外的世界持有好奇心。 	<ul style="list-style-type: none"> 在某一領域或對象限定的狹窄範圍內，以語言說明單個且基本的知識與技能，執行極為常規的、且可預測的任務及學習。 	<ul style="list-style-type: none"> 在常規的明確可預測的任務中接受指導，應用基礎的知識。 對於成果或成績，表現出思考、改進而的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 對於明確的任務，發揮使用各種一般的基礎手法或材料的初步技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 在限定的狀況下，傳達熟練的例行表現或簡單的語言。 在一定的狀況下，傳達熟練的例行表現或簡單的語言。 	<ul style="list-style-type: none"> 在教師指導之下，接受後，從事結構化的活動或任務。 發揮以單個或團隊方式執行作業或工作的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 在教師的鼓勵與指導下，開始學習負起某種程度的責任。 在教師的指導之下，對於執行中執行過的任務，表現探討、反省的能力。 在學習或任務中，明確體現個人價值觀的能力。

*1 關於溝通技能等也進行描述。*2 關於數位、數字的技能等也進行描述。

各層級的大概標準

層級8：專修學校專門課程 (2) 畢業後經過15~20年 (35~40歲)、博士
層級7：專修學校專門課程 (2) 畢業後經過10~15年 (30~35歲)、碩士、碩士(專業)
層級6：專修學校專門課程 (2) 畢業後經過5~10年 (25~30歲)、高度專門士、學士、學士(專業)
層級5：專修學校專門課程 (2) 畢業 (20歲)、專門士、短期大學士、短期大學士(專業)、副學士
層級4：專修學校專門課程 (1) 畢業 (19歲)
層級3：高中畢業 (18歲)
層級2：中學畢業 (15歲)
層級1：小學畢業 (12歲)

资格框架的级别定义 (等级描述)

等级	学习者概要	知识与理解	通用性技能	职务上技能		自主性与责任感	伦理观与专业精神		
				专业实践技能	管理·指导技能				
8	<ul style="list-style-type: none"> 对于学习领域或专业性任务领域最前沿的最低端见解, 学习者展示批判性理解。 主体性实施、管理、学习有助于新的、复杂的、创造性的见解/任务的独立研究。 以论文、专利、产品、新型专业、专业性、先进、创造性、艺术、作品、或音乐等形式, 产生研究成果。 通过知识及自信, 提出专业性领域的观点、主张、想法, 发证实明其正确性的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 在最高端的专业性或专业性任务领域, 对于课题性问题, 全面地、系统地、综合性地证明新的、复杂的、创造性的见解。 拥有跨领域的横向观点、知识和理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 对于学习领域或专业性任务领域的最前沿的、复杂的、抽象的概念或课题进行批判性分析和评估, 综合有概念或实践方法。 综合利用高端研究手法、解析方法或技术, 解决现代的复杂而抽象的新问题或新课题, 创造性研究领域的见解或实践方法。 通过满足同等级评审或国际标准的独创性见解、理论、解决方法、研究、或实践方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 发挥充分利用实用性、技术性方法/实践的高级能力, 该能力可以在多个领域的最新前沿开发解决复杂的技术或解决设计/实施/改善高端、专业性研究方法论的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 对于同行者、学者、团队或一般社会有效传播该领域的研究成果。 应对学习场所或职场的人群、不同民族或职业化人群。 关于专业领域的信息、见解、想法、课题或解决方法, 对同行者、学者、团队或一般社会有理有据、有说服力地加以说明。 	<ul style="list-style-type: none"> 为了提高研究及实务活动的质量, 利用/选择/改善现有的方法/方法论, 或开发/发明新的方法/方法论。 对数值数据或图表数据进行批判性评估。 	<ul style="list-style-type: none"> 产生新的见解, 对于有助于提升业务、流程或产品的研究或资源管理, 作为主体自主地、根据权限付诸实施。 发挥领导力、专业精神和管理能力, 与多样化合作伙伴有效开展合作。 对于专业人员/专家层面的新问题, 基于学术及专业人士的观点对社会及文化的发展做出贡献。 	<ul style="list-style-type: none"> 对于自己的工作, 全面承担责任, 也根据需要对所雇用的运营管理承担说明责任。 开发并融合有关终身学习的见解、新思想、解决方法以及系统。 开创风投事业及其项目、或成为其领头人。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守法律和职业上的行为规范, 以及伦理上的健全行为为规范。 发现伦理及职业上的新课题, 阐明其复杂性、以及对专业性领域研究的影响。 站在专业的立场对社会、技术以及经济做出贡献。
7	<ul style="list-style-type: none"> 学习者通过学习/研究/专业性任务, 以批判性思维、创造性或新能力的理解为基础, 学习学习/实务特定领域的高端知识, 发现解决课题的新方法。 在国际上也能利用知识和技能, 满怀自信地付诸行动。 	<ul style="list-style-type: none"> 在学习/研究/工作/实务领域, 发挥批判性、分析性、评价能力, 在该领域的知识活用方面发挥知识主体性。 管理、解析复杂的运用、利用创造性的时代的解决方法, 应对无法预测的问题。 	<ul style="list-style-type: none"> 通过标准的专业性研究手法/探讨, 对最前沿的知识或专业领域的最新动向获得的实务技能及手法、研究手法加以运用。 发挥应对并解决学习领域或实务领域中复杂问题或课题的能力。 最少可以使用一种外语, 发挥工作及高等学习的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 为了提高研究及实务活动的质量, 广泛、有效地利用适当的数字化技术或软件。 为了探索新的解决方法/课题, 调整应用程序或系统, 广泛利用信息、媒体、技术的应用软件, 对学习/研究/实务提供支援。 其它利用数学手法、其它定量、定性数据/工作用数值数据、评价等业务评估能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 最少以一种国际语言、使用适当的方法向同行者、专家、外籍人、明确讲述知识、技能、方法、评论、结论/论据。 能够与学习场所或职场的多样化人群、不同民族或职业化的人群、或网络合作开展工作。 	<ul style="list-style-type: none"> 为了提高研究及实务活动的质量, 广泛、有效地利用适当的数字化技术或软件。 为了探索新的解决方法/课题, 调整应用程序或系统, 广泛利用信息、媒体、技术的应用软件, 对学习/研究/实务提供支援。 其它利用数学手法、其它定量、定性数据/工作用数值数据、评价等业务评估能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 作为研究学者或职业人士, 通过不断成长提升自我。 开创风投事业及其项目、或成为其领头人。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守法律、伦理、职业上的行为规范。 根据批判性洞察或伦理方面的考量, 充满自信地对复杂的问题提供助言或做出决定。 为了国家、全球的社会、技术及经济发展, 站在专业的立场做出贡献。 对于市民社会及世界所面临的各类问题, 在自己的专业领域发挥解决问题的能力。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 学习者理解在专业性任务或研究开发、创造性或革新时不可或缺的系统性必备的专业性任务知识的能力。 拥有作为专业职业人士的姿态、心理准备以及灵活的应对能力, 致力于形成具有 	<ul style="list-style-type: none"> 在学习/研究/工作/实务领域, 发挥批判性、分析性、评价能力, 在该领域的知识活用方面发挥知识主体性。 管理、解析复杂的运用、利用创造性的时代的解决方法, 应对无法预测的问题。 	<ul style="list-style-type: none"> 通过标准的专业性研究手法/探讨, 对最前沿的知识或专业领域的最新动向获得的实务技能及手法、研究手法加以运用。 发挥应对并解决学习领域或实务领域中复杂问题或课题的能力。 最少可以使用一种外语, 发挥工作及高等学习的能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 为了提高研究及实务活动的质量, 广泛、有效地利用适当的数字化技术或软件。 为了探索新的解决方法/课题, 调整应用程序或系统, 广泛利用信息、媒体、技术的应用软件, 对学习/研究/实务提供支援。 其它利用数学手法、其它定量、定性数据/工作用数值数据、评价等业务评估能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 最少以一种国际语言、使用适当的方法向同行者、专家、外籍人、明确讲述知识、技能、方法、评论、结论/论据。 能够与学习场所或职场的多样化人群、不同民族或职业化的人群、或网络合作开展工作。 	<ul style="list-style-type: none"> 为了提高研究及实务活动的质量, 广泛、有效地利用适当的数字化技术或软件。 为了探索新的解决方法/课题, 调整应用程序或系统, 广泛利用信息、媒体、技术的应用软件, 对学习/研究/实务提供支援。 其它利用数学手法、其它定量、定性数据/工作用数值数据、评价等业务评估能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 作为研究学者或职业人士, 通过不断成长提升自我。 开创风投事业及其项目、或成为其领头人。 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守法律、伦理、职业上的行为规范。 根据批判性洞察或伦理方面的考量, 充满自信地对复杂的问题提供助言或做出决定。 为了国家、全球的社会、技术及经济发展, 站在专业的立场做出贡献。 对于市民社会及世界所面临的各类问题, 在自己的专业领域发挥解决问题的能力。 	

等级	学习者概要	知识与理解	通用性技能	职务上技能			自主性与责任感	伦理观与专业精神
				专业实践技能	对人技能*1	分析技能*2		
5	<p>伦理观的职场文化或实现可持续发展、遵循日本的国家目标、拥有作为国际社会一员的认识。</p> <p>● 学习者拥有相当量的理论性、专业性知识，能够应对职场的复杂情况，理解并遵从组织或职业的要求。</p> <p>● 学习者遵照伦理观念，在地区社会或世界工作或生活时，具有使用可持续发展方法的能力。</p>	<p>● 在学习/研究/工作/实务领域，将技能/知识应用到各种探讨当中。</p> <p>● 对于一项专业领域或工作，详细认识、解释、应用、分析并评估其专业性、概念性、理论性知识。</p> <p>● 即使在不明朗的情况下、或者非常规的情况下、或有困难的探讨方法、或自主地探讨问题或课题。</p>	<p>● 广泛活用实践能力，对于多样化学习或复杂的任务、灵活运用必要的理论或手法。</p> <p>● 对于相关的实施方法或过程进行重新审视或调整，对他人进行监督。</p>	<p>● 以社会、学术及职业为目的，为了向多元化人群传达信息、想法、问题及解决方案，利用通俗易懂的方法进行有效沟通。</p> <p>● 至少具有两种语言的高度会话能力或写作能力。</p>	<p>● 广泛利用多元化IT工具、媒体或应用软件，对学习/工作提供支援。</p> <p>● 解释和使用复杂的常规性、非常规性数值数据、图表数据/视觉数据。</p>	<p>● 拥有相当程度的自主性，承担一定的个人责任开展工作。</p> <p>● 在职场，对于资源配置或他人的业绩配置，独立进行经营决策。</p> <p>● 具有责任感，履行说明责任的能力。</p> <p>● 包括在业务领域不明朗的情况下，能够在新环境中发挥团队领导作用。</p>	<p>● 在相关的特定情况下，发挥企业家的能力。</p> <p>● 有效地投入自我规划或他人业绩规划，如专业性共同制作或研究。</p> <p>● 在地区或全球使用复杂语言的多民族、多文化的情况下，开展工作、学习的能力。</p>	<p>● 发挥履行社会责任的能力，拥有遵从专业人士应有的伦理观、可持续性伦理观的能力。</p> <p>● 在地区社会或世界、为打造可持续发展的社会做出贡献。</p>
4	<p>● 学习者广泛学习有关一般理论及原理的知识，在特定领域发挥学习/训练的能力，并能够在与技术职、专业职、经营职相关的领域开展专业性工作。</p> <p>● 学习者对进一步学习抱有浓厚兴趣。</p> <p>● 学习者致力于有伦理观念的正当行动，站在世界中的日本观点，对日本的目标予以理解。</p>	<p>● 在学习/工作/内容明确的情况下，接受最低限度的监督，认识、解释、应用并评价一般概念/理论/运用原理。</p> <p>● 解决明确且常见的课题、以及日常生活中罕见性质的问题。</p>	<p>● 在有限的范围内运用实务能力、技法及手法，执行被要求的任务/工作。</p> <p>● 对于与常规或非常规性任务相关的实务或流程，根据需要进行研究和修改。</p>	<p>● 对于其他学生或专家、外行等，通过口头或书面的方式、信息、问答、及解决方案。</p> <p>● 单独或者作为团队的一员，有效地与管理者、同事及下属进行交流。</p> <p>● 除了日语以外，至少还能发挥一种语言的能力。</p>	<p>● 为了对学习/工作提供支援、调查或处理数据、学习中的相关数据，利用多样化数码工具。</p> <p>● 对于规定的复杂的数值数据、图表数据/图像数据，发挥解释及运用的能力。</p>	<p>● 对于在各种情况下实施的明确、非常规性学习/任务，广泛接受指导或指导，拥有一定的责任感和自主性开展工作。</p> <p>● 在职场、率领和管理各种团队，应对各类问题。</p>	<p>● 调查或参加企业家的活动。</p> <p>● 明确自我钻研的可能性及自我钻研的可行性。制定具有现实性的职业目标。</p> <p>● 关注并参加有助于打造当地及地区社会的专业活动或市民活动。</p>	<p>● 在工作中展现理解并遵守从组织伦理或职业伦理的能力。在地区社会或世界舞台工作生活时，展示妥善利用可持续发展的能力。</p>
3	<p>● 学习者对于中級事实或原理原则，拥有基本的、理论性专业知识。根据必要，均衡地发挥工作能力。</p> <p>● 对与学习者的兴趣或工作相关的学习或训练抱有浓厚兴趣。</p> <p>● 参与与年龄相符的地区社会、对于世界性问题，拥有与年龄相符的认识。</p> <p>● 拥有英语等日语以外的一种语言的初级能力。</p>	<p>● 活用知识、惯用手法及技能，解决常规任务/学习中能够预测的问题。</p>	<p>● 在教师的监督下，利用信息、适当材料及工具、技术及资料，组织、执行、解决常规性或非常规性任务/问题。制定并执行解决方案。</p>	<p>● 对于其他学生、专家、外行等，以单独或以团队的方式，通过口头或书面，有效地明确传达信息、信息、问题、及解决方案。</p> <p>● 培养日语以外的至少一种国际语言的初步能力。</p>	<p>● 利用对学习/工作提供支援的基础IT应用软件，调查并处理学习/工作相关的数值数据。</p> <p>● 解释并有效利用广泛知晓的、通俗易懂的数值数据或图表数据。</p>	<p>● 在最低限度的指导下，期待较高程度的自主工作能力。</p> <p>● 在学习/工作/框架内，向对方提供发言。对于对方的质量及影响，承担相当程度的责任。</p> <p>● 对于学习/工作/任务的成果或业绩，认真进行思考并肩负责任。</p>	<p>● 在最低限度的指导下，通过自我钻研和训练，或希望深度学习。</p> <p>● 围绕有高于社区社会或世界的问题（环境问题等）、积极参与地区社会。</p>	<p>● 对于多文化环境下的学习/任务，能够遵守职业伦理。</p> <p>● 围绕有高于社区社会或世界的问题（环境问题等）、积极参与地区社会。</p>
2	<p>● 学习者拥有一定的</p>	<p>● 将知识与技能有效运用</p>	<p>● 利用一般性基本手法</p>	<p>● 对于比较了解的日常问题</p>	<p>● 在教师的监督下，为</p>	<p>● 在系统化的指导下，开始</p>	<p>● 拥有在学习/任务当</p>	

等级	学习者概要	知识与理解	通用性技能	职务上技能			自主性与责任感	伦理观与专业精神	
				专业实践技能	对人技能*1	分析技能*2			管理·指导技能
1	<p>环境下,作为具有责任感及伦理观念的从业人员上开展工作的知识与技能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 对于深造学习、或积极开展终身学习表示关注。 ● 提升参与地区社会的技能。 ● 提高英语等一种外语的基础能力。 <p>● 学习者拥有最低级别的基础性一般知识和技能,在接受指导的情况下,能够完成基本的且极其常规的任务,并进一步学习,成为为有责任感和伦理观念的职业人士而做准备。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 了解地区社会、或地区及国家制度,对自外以外的世界持有好奇心。 	<p>完成各种常规、非常规性任务/工作,拥有使用语言对多个主题/领域的知识进行说明的能力。</p>	<p>用在明确的常规性学习/任务当中,</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在明确的常规性学习/任务当中,利用熟知的解决方法,解决可以预测的问题。 	<p>对于明确的任务,发挥利用各种一般性基本技能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 对于常规、明确的任务,在接受指导的情况下,充分利用基础性知识。 ● 对于成果及业绩,发挥思考及改善的能力。 	<p>在需要进行单纯的直接性信息交流的情况下,能够进行沟通。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 提高日语以外的一种语言的基础能力。 ● 承担准备深造学习的责任,并着手准备。 	<p>完成了规定的任务,充分利用有限的工具,进行简单的数据处理。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 对少量的简单的常用数值数据或图表数据进行解释。 	<p>在接收监督的情况下,几乎不具备自主性,接受相当程度的支援,完成业务或工作。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 几乎不承担责任或说明义务,以团队的形式开展工作,进行意见交流或向对方进行反馈。 	<p>对学习承担一定的责任。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 对于任务或个人的行为、价值,发挥思考能力。 	<p>中展现一定的个人价值观的能力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 持续接触自己以外的文化或价值体系,加深对文化多样性的理解。 ● 提高政治意识或社会意识。
		<p>在某一领域或对有限的范围内,能够使用语言说明单纯的基极其常规且能够预测的任务及学习。</p>	<p>对于常规的、明确的、且能够预测的任务,在接受指导的情况下,充分利用基础性知识。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 对于成果及业绩,发挥思考及改善的能力。 	<p>在限定的情况下,转达常用的日常表述和简单的语言。</p>	<p>表现出利用基础性数学性手法(记号等)的能力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在教师的指导下,利用多个简单的/基本的应用软件,执行被委任的任务。 	<p>在接收直接指导的情况下,接受支援,执行结构性活动/任务。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 发挥单独或以团队方式开展业务或工作的能力。 	<p>在教师的劝导和指导下,开始对学习承担一定的责任。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在教师的指导下,对于已经着手执行的/已经完成的任务,发挥研究及反省的能力。 ● 在学习或执行任务的过程中,展现明确个人价值观的能力。 	<p>成为具有社会责任的成员,对自己以外的文化表示关注。</p>	

*1也需要描述沟通技能等。*2也需要描述数位化及数字性技能等。

各级别标准

- 级别8: 专修学校专业课程 (2) 毕业后经过15~20年 (35~40岁)、博士
- 级别7: 专修学校专业课程 (2) 毕业后经过10~15年 (30~35岁)、硕士、硕士[专门职]
- 级别6: 专修学校专业课程 (2) 毕业后经过5~10年 (25~30岁)、高度专门士、学士、学士[专门职]
- 级别5: 专修学校专业课程 (2) 毕业 (20岁)、专门士、短期大学士、短期大学士[专门职]、准学士
- 级别4: 专修学校专业课程 (1) 毕业 (19岁)
- 级别3: 高中毕业 (18岁)
- 级别2: 初中毕业 (15岁)
- 级别1: 小学毕业 (12岁)

자격별 수준 정의 (레벨 디스크립터)

레벨	학습자 프로필	지식과 이해	범용적 기능	전문실천기능	대인기능 ¹	분석기능 ²	관리·지도기능	자율성과 책임감	윤리관과 프로의식
	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. ● 전문분야의 관점, 주장, 아이디어를 자신있게 제시하고 그를 증명하는 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 실용적·기술적인 기법/실천방법이나 과학적 기법을 사용할 수 있는 고도의 능력을 발휘한다. 이러한 능력은 여러 분야의 최첨단에서 복잡하고 최신의 문제를 해결하기 위한 기법, 기술과 해결책을 개발하는 것이다. ● 복수의 분야에서 고도의 전문적인 연구방법론을 설계/실시/개발하는 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 동업자, 연구자 커뮤니티나 일반사회에 연구성과를 효과적으로 전한다. ● 학습장소나 직장 사람들이 직원이 다른 그룹·네트워크에 소속된 다양한 사람들과 소통한다. ● 전문분야의 정보, 식견, 아이디어, 과제나 그 해결방법을 동업자, 연구자 커뮤니티나 일반사회에 실무력을 가지고 널리 전연하게 전한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 연구·실무활동의 질을 높이기 위해 기존의 수법/방법론을 이용/선택/개발하거나 적절한 새로운 수법/방법론을 개발한다. ● 수치 데이터나 도표 형태의 비관적 평가를 한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 새로운 식견을 창출하고 실무, 프로젝트나 제품의 고도화에 공헌하는 연구나 자원관리에 대해 주체성, 권위를 가지고 임한다. ● 리더십, 프로의식, 관리능력을 발휘해서 다양한 파트너와 효과적으로 협력한다. ● 전문직 / 전문가 수준의 새로운 과제에 대해 전문적이고 전문적 관점에서 사회적, 문화적 진보에 공헌한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 자신의 일에 대해 진면적으로 책임을 진다. 필요에 따라서 소속된 조직의 운영 관리 전반에도 책임을 진다. ● 생애학문에 대한 식견과 새로운 아이디어, 해결책, 시스템의 개발·유형을 도모한다. ● 벤처사업 및 프로젝트를 시작하거나 그 리더가 된다. ● 사회적, 기술적, 경제적 발전에 전문적 입장에서 공헌한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 법률상, 직업상의 행동규범이나 윤리적으로 진한 행동규범을 준수한다. ● 윤리상, 직업상의 새로운 과제를 찾아내고 복잡성이나 복잡성이나 전문분야의 사회진척에 대한 영향을 명확히 한다. ● 사회적, 기술적, 경제적 발전에 전문적 입장에서 공헌한다.
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 실용적·기술적인 기법/실천방법이나 과학적 기법을 사용할 수 있는 고도의 능력을 발휘한다. 이러한 능력은 여러 분야의 최첨단에서 복잡하고 최신의 문제를 해결하기 위한 기법, 기술과 해결책을 개발하는 것이다. ● 복수의 분야에서 고도의 전문적인 연구방법론을 설계/실시/개발하는 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 동업자, 연구자 커뮤니티나 일반사회에 연구성과를 효과적으로 전한다. ● 학습장소나 직장 사람들이 직원이 다른 그룹·네트워크에 소속된 다양한 사람들과 소통한다. ● 전문분야의 정보, 식견, 아이디어, 과제나 그 해결방법을 동업자, 연구자 커뮤니티나 일반사회에 실무력을 가지고 널리 전연하게 전한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 연구·실무활동의 질을 높이기 위해 기존의 수법/방법론을 이용/선택/개발하거나 적절한 새로운 수법/방법론을 개발한다. ● 수치 데이터나 도표 형태의 비관적 평가를 한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 새로운 식견을 창출하고 실무, 프로젝트나 제품의 고도화에 공헌하는 연구나 자원관리에 대해 주체성, 권위를 가지고 임한다. ● 리더십, 프로의식, 관리능력을 발휘해서 다양한 파트너와 효과적으로 협력한다. ● 전문직 / 전문가 수준의 새로운 과제에 대해 전문적이고 전문적 관점에서 사회적, 문화적 진보에 공헌한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 자신의 일에 대해 진면적으로 책임을 진다. 필요에 따라서 소속된 조직의 운영 관리 전반에도 책임을 진다. ● 생애학문에 대한 식견과 새로운 아이디어, 해결책, 시스템의 개발·유형을 도모한다. ● 벤처사업 및 프로젝트를 시작하거나 그 리더가 된다. ● 사회적, 기술적, 경제적 발전에 전문적 입장에서 공헌한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 법률상, 윤리상, 직업상의 행동규범을 준수한다. ● 윤리상, 직업상의 새로운 과제를 찾아내고 복잡성이나 복잡성이나 전문분야의 사회진척에 대한 영향을 명확히 한다. ● 사회적, 기술적, 경제적 발전에 전문적 입장에서 공헌한다.
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학문분야나 전문적 실무분야의 최첨단에서, 과제가 되고 있는 문제에 대해 포괄적, 체계적, 종합적으로 세밀고 복잡한 추상적 개념의 개념이나 실무를 고도화한다. ● 분야의 연구수법 분석기법을 독자적으로 사용해, 현대의 복잡하고 추상적인 새로운 문제나 과제를 해결하고, 학문분야나 실무분야의 새로운 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 독창적으로 만들어 낸다. ● 공개검증이나 국제기구를 충족시키는 독창성 높은 식견, 이론, 해결책, 실천방법을 만들어 낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 실용적·기술적인 기법/실천방법이나 과학적 기법을 사용할 수 있는 고도의 능력을 발휘한다. 이러한 능력은 여러 분야의 최첨단에서 복잡하고 최신의 문제를 해결하기 위한 기법, 기술과 해결책을 개발하는 것이다. ● 복수의 분야에서 고도의 전문적인 연구방법론을 설계/실시/개발하는 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 동업자, 연구자 커뮤니티나 일반사회에 연구성과를 효과적으로 전한다. ● 학습장소나 직장 사람들이 직원이 다른 그룹·네트워크에 소속된 다양한 사람들과 소통한다. ● 전문분야의 정보, 식견, 아이디어, 과제나 그 해결방법을 동업자, 연구자 커뮤니티나 일반사회에 실무력을 가지고 널리 전연하게 전한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 연구·실무활동의 질을 높이기 위해 기존의 수법/방법론을 이용/선택/개발하거나 적절한 새로운 수법/방법론을 개발한다. ● 수치 데이터나 도표 형태의 비관적 평가를 한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 새로운 식견을 창출하고 실무, 프로젝트나 제품의 고도화에 공헌하는 연구나 자원관리에 대해 주체성, 권위를 가지고 임한다. ● 리더십, 프로의식, 관리능력을 발휘해서 다양한 파트너와 효과적으로 협력한다. ● 전문직 / 전문가 수준의 새로운 과제에 대해 전문적이고 전문적 관점에서 사회적, 문화적 진보에 공헌한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 자신의 일에 대해 진면적으로 책임을 진다. 필요에 따라서 소속된 조직의 운영 관리 전반에도 책임을 진다. ● 생애학문에 대한 식견과 새로운 아이디어, 해결책, 시스템의 개발·유형을 도모한다. ● 벤처사업 및 프로젝트를 시작하거나 그 리더가 된다. ● 사회적, 기술적, 경제적 발전에 전문적 입장에서 공헌한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 법률상, 윤리상, 직업상의 행동규범을 준수한다. ● 윤리상, 직업상의 새로운 과제를 찾아내고 복잡성이나 복잡성이나 전문분야의 사회진척에 대한 영향을 명확히 한다. ● 사회적, 기술적, 경제적 발전에 전문적 입장에서 공헌한다.

레벨	학습자 프로파일	지식과 이해	범용적 기능	전문실전기능	대인기능1	직무상의 기능 분석기능*2	관리·지도기능	자율성과 책임감	윤리관과 프로의식
	<ul style="list-style-type: none"> 학습자는 전문분야에서의 연구개발, 창조성과 혁신이 필수적인 준전문직 일에 요구되는 광범위하고 체계적인 지식과 능력을 이해한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 이론과 기술에 대한 고도의 종합적인 지식을 말로 설명하고, 관련 전문분야의 능력, 또는 전문분야와 관련된 학제적인 학습/연구/실무분야와 관련된 학제적인 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 학습/연구/실무분야에서 비평적·분석적 능력과 평가능력을 이용하고, 해당분야의 지식활용에서 지적 추체성을 발휘한다. 복잡한 용도를 관리, 규정하고 창조적이고 해결책을 확기적인 사용해서 예측할 수 없는 문제에 대처한다. 학습/연구/실무분야에서 기능/지식을 다양한 결론에 응용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 넓은 범위에 걸친 복잡한 문제의 해결에 기본적인 방법이나 수법을 폭넓게 응용한다. 전문분야에 관련된 실무나 방법의 검토, 조정, 감독을 한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 다양한 타인에게 아이디어와 생각은 문서와 구두로 적절한 표현 방법을 사용해서 자신을 가지고 정확하고 논리정연하게 진술한다. 학습이나 일 등의 다양한 커뮤니케이션, 사람들과, 지역과 나라가 다른 다양한 사람들과 협력한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 다양한 IT도구나 미디어, 애플리케이션을 폭넓게 사용해서 학습/일을 지원한다. 수치 데이터나 도표 데이터를 조합해서 학습/일에 사용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 다양한 조직적 틀이나 제아 하에서 자주적으로 일을 하고, 각종 업무관리에서 리더십과 프로의식을 발휘한다. 대해 상당한 수준의 책임을 진다. 사회적·경제·문화적으로 폭넓은 과제에 대한 인식을 가지고 있다. 전문분야에서 실행책임을 다한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 다른 경험적·정성적 수법을 활용해서 학습/업무 수치 데이터를 분석·평가하는 등 평가업무를 설계·임인하는 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 시민사회와 세계가 안고 있는 다양한 문제에 자신의 전문분야에서 대처하는 능력을 발휘한다.
6	<ul style="list-style-type: none"> 전문직업인으로서의 자세·태도가 직업적임을 유언한 가치이고 윤리관에 입각한 직경문화와 지속가능성을 위한 국가목표에 따르면서 국제사회의 일원이라는 인식을 가진다. 	<ul style="list-style-type: none"> 이론적·전문적 지식을 가지고 복잡한 상황에 대처할 수 있고, 조직이나 직업에서 요구되는 것을 이해하고 그에 따를 수 있다. 	<ul style="list-style-type: none"> 한가지 전문분야 또는 일에서 전문적·개념적·이론적 지식을 상세히 인식하고 해석, 응용, 분석, 평가한다. 예매하고 복잡한 비정형적 상황에서도 한정된 범위의 접근이나 자주성을 가지고 문제와 과제를 해결한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 실무능력을 폭넓게 활용해서 다양한 학습이나 복잡한 임무에 대해 필수적인 방법론이나 수법을 사용한다. 관련된 실시방법이나 프로세스를 검토나 조정하고 다른 사람들과 감독한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 사회적, 학술적, 직업상의 목적으로 다양한 대상에게 정보, 아이디어, 문제, 해결책을 진화기 위해 알기 쉬운 방법으로 선택된 일체 효과적으로 커뮤니케이션을 취하거나 교류를 한다. 최소한 두가지 언어에서 높은 회화능력과 	<ul style="list-style-type: none"> 다양한 IT도구나 미디어, 애플리케이션을 폭넓게 이용해서 학습/일을 지원한다. 수치 데이터나 도표 데이터를 조합해서 학습/일에 사용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 상당한 자주성을 가지고 상당한 개인적인 지면서 일을 한다. 직장에서 자원배분과 타인의 자원에 대해 전문적으로 경영적 판단을 내린다. 학습자 지거나 설명책임을 지는 능력을 가진다. 업무분야가 명확하지 않을 경우를 포함해서 	<ul style="list-style-type: none"> 관련된 특정상황에서 기업가적인 능력을 발휘한다. 스스로 방향을 정한 생애학습에 효과적으로 임해서 전문적인 공동체적과 연구에 자주적으로 참여한다. 지역이나 세계에서 여러 언어가 혼재하는 다민족·다문화·상황 하에서 	<ul style="list-style-type: none"> 이론적·전문적 지식을 가지고 복잡한 상황에 대처할 수 있고, 조직이나 직업에서 요구되는 것을 이해하고 그에 따를 수 있다.
5	<ul style="list-style-type: none"> 학습자는 상당량의 이론적·전문적 지식을 가지고 복잡한 상황에 대처할 수 있고, 조직이나 직업에서 요구되는 것을 이해하고 그에 따를 수 있다. 학습자는 윤리적으로도 지역사회나 세계에서 일하거나 생활하는 경우에도 지속가능한 방법을 사용하는 능력을 	<ul style="list-style-type: none"> 고도의 전문직업이 요구되는 분야에서 예출할 수 없는 다양한 임무/학습을 위해서 이론, 개념, 기술에 대해 광범위한 지식과 이해를 가진다. 	<ul style="list-style-type: none"> 한가지 전문분야 또는 일에서 전문적·개념적·이론적 지식을 상세히 인식하고 해석, 응용, 분석, 평가한다. 예매하고 복잡한 비정형적 상황에서도 한정된 범위의 접근이나 자주성을 가지고 문제와 과제를 해결한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 실무능력을 폭넓게 활용해서 다양한 학습이나 복잡한 임무에 대해 필수적인 방법론이나 수법을 사용한다. 관련된 실시방법이나 프로세스를 검토나 조정하고 다른 사람들과 감독한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 사회적, 학술적, 직업상의 목적으로 다양한 대상에게 정보, 아이디어, 문제, 해결책을 진화기 위해 알기 쉬운 방법으로 선택된 일체 효과적으로 커뮤니케이션을 취하거나 교류를 한다. 최소한 두가지 언어에서 높은 회화능력과 	<ul style="list-style-type: none"> 다양한 IT도구나 미디어, 애플리케이션을 폭넓게 이용해서 학습/일을 지원한다. 수치 데이터나 도표 데이터를 조합해서 학습/일에 사용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> 상당한 자주성을 가지고 상당한 개인적인 지면서 일을 한다. 직장에서 자원배분과 타인의 자원에 대해 전문적으로 경영적 판단을 내린다. 학습자 지거나 설명책임을 지는 능력을 가진다. 업무분야가 명확하지 않을 경우를 포함해서 	<ul style="list-style-type: none"> 관련된 특정상황에서 기업가적인 능력을 발휘한다. 스스로 방향을 정한 생애학습에 효과적으로 임해서 전문적인 공동체적과 연구에 자주적으로 참여한다. 지역이나 세계에서 여러 언어가 혼재하는 다민족·다문화·상황 하에서 	<ul style="list-style-type: none"> 이론적·전문적 지식을 가지고 복잡한 상황에 대처할 수 있고, 조직이나 직업에서 요구되는 것을 이해하고 그에 따를 수 있다.

레벨	학습자 프로필	지식과 이해	범용적 기능	전문실전기능	대인기능*1	직무상의 기능 분석기능*2	관리·지도기능	자율성과 책임감	윤리관과 프로의식	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 일반이론·원리에 대해 폭넓은 지식은 획득하고 특정분야의 학습/훈련을 바탕으로 지식을·전문적·기술적·진문적·경영적의 전문·직인 업무를 수행할 수 있다. ● 학습자는 진학에 대한 관심을 보인다. ● 학습자는 윤리관 있는 적절한 행동을 취하려고 노력하고, 세계 속의 일본이라는 시점에서 일본이 목표에 대한 이해를 나타낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 해당분야의 학습/훈련 중에서 북돋고 정형적/비정형적인 임무/학습을 하기 위한 복잡한 이론적인 지식·능력에 대해 광범위하게 체계적으로 파악·이해한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습/임의 내용이 명확한 경우, 최지한의 감독을 받아서 일반개념이론/응용원리를 평가한다. ● 명확하고 혼란 문제나 일상적으로 볼 수 없는 성질의 문제를 해결한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 실무능력, 기법, 수법을 환경변 변화에서 응용해 요구받은 임무를 완수한다. ● 정형적이거나 비정형적인 임무에 관한 실무나 프로세스에 대해 필요에 따라 검토와 수정을 한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 다른 학생, 전문가, 초보자 등에게 아이디어, 정보, 문제, 해결책을 구두 또는 문서로 명확하게 전한다. ● 단독 또는 팀 멤버의 임원으로서 관리자나 동료, 부하와 효과적으로 교류한다. ● 일본어 외에 외국어까지 언어에서 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습/인용 자료를 정리하거나 업무나 학습에 관한 아이디어를 조사해서 정리하기 위해 데이터를 수집한다. ● 소정의 복잡한 수치 데이터나 도표 데이터를 해석해서 활용하는 능력을 발휘한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 다양한 상황에서 리더십을 발휘한다. ● 비정형적인 학습/업무에 대해 폭넓은 조언과 지도를 받아서 상당한 책임감과 자주성을 가지고 일한다. ● 직장에서의 각종 업무·정보를 공유하고 관리해서 문제를 대치한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 임이나 학습을 하는 능력을 발휘한다. ● 기업가적인 활동에 참가한다. ● 진학 가능성이나 방법을 보인다. ● 지역·분야·세계에서 일하거나 생활할 경우, 지속가능한 방법을 적절하게 이용하는 능력을 보인다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 윤리관과 프로의식 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 전공 수준에 사설이나 원리원칙에 대해 기본적인 윤리적 전문적인 지식을 획득한다. 필요에 따라 업무에 관한 균형적인 등락을 발휘한다. ● 학습자의 흥미나 일에 관련된 흥미를 나타낸다. ● 연방에 맞는 지역사회의 참가에서 세계의 문제에 대해 연령에 맞는 인식을 가진다. ● 영어 등, 일본어 이외의 한가지 언어에서 초급 언어 능력을 획득한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 어떤 학습이나 훈련에 대해 상당한 지식을 가지고 기본적인 원리원칙, 이론, 기능을 언어로 설명하고 명확한 각종 정형적 임무/일을 수행한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 지식이나 잘 알고 있는 수법, 기술을 활용해서 정형적인 임무/학습의 예측 가능한 문제를 해결한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 교사의 감독 하에서 정교, 복잡한 수법이나 도구, 기술, 재료를 사용해서 정형적·비정형적인 임무/문제에 대한 대처/해결책을 조지·응용해서 완료한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 다른 학생, 전문가, 초보자에게 단독 또는 팀으로 구두 또는 문서로 아이디어, 정보, 문제 해결책을 효과적이고 명확하게 전한다. ● 일본어 이외의 한가지 국제어의 초보적 능력을 가진다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습/인용 자료를 지원하고 기초적인 IT 애플리케이션을 이용해서 학습/일에 관련된 데이터를 조사, 처리한다. ● 잘 알고 있고 일기 업무에서 상대에게 쉬운 수치 데이터를 해석하고 활용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 통한 자기연마와 훈련을 쌓거나 진학을 희망한다. ● 일본 근린주가에 대한 인식과 일반적인 지식을 가진다. ● 기업가에게 요구되는 지식과 능력에 대해 기초적인 이해를 나타낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 하는 능력을 보인다. ● 다양한 상황에서 리더십을 발휘한다. ● 비정형적인 학습/업무에 대해 폭넓은 조언과 지도를 받아서 상당한 책임감과 자주성을 가지고 일한다. ● 직장에서의 각종 업무·정보를 공유하고 관리해서 문제를 대치한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 하는 능력을 보인다. ● 다양한 상황에서 리더십을 발휘한다. ● 비정형적인 학습/업무에 대해 폭넓은 조언과 지도를 받아서 상당한 책임감과 자주성을 가지고 일한다. ● 직장에서의 각종 업무·정보를 공유하고 관리해서 문제를 대치한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 윤리관과 프로의식
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 전공 수준에 사설이나 원리원칙에 대해 기본적인 윤리적 전문적인 지식을 획득한다. 필요에 따라 업무에 관한 균형적인 등락을 발휘한다. ● 학습자의 흥미나 일에 관련된 흥미를 나타낸다. ● 연방에 맞는 지역사회의 참가에서 세계의 문제에 대해 연령에 맞는 인식을 가진다. ● 영어 등, 일본어 이외의 한가지 언어에서 초급 언어 능력을 획득한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 어떤 학습이나 훈련에 대해 상당한 지식을 가지고 기본적인 원리원칙, 이론, 기능을 언어로 설명하고 명확한 각종 정형적 임무/일을 수행한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 지식이나 잘 알고 있는 수법, 기술을 활용해서 정형적인 임무/학습의 예측 가능한 문제를 해결한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 교사의 감독 하에서 정교, 복잡한 수법이나 도구, 기술, 재료를 사용해서 정형적·비정형적인 임무/문제에 대한 대처/해결책을 조지·응용해서 완료한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 다른 학생, 전문가, 초보자에게 단독 또는 팀으로 구두 또는 문서로 아이디어, 정보, 문제 해결책을 효과적이고 명확하게 전한다. ● 일본어 이외의 한가지 국제어의 초보적 능력을 가진다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습/인용 자료를 지원하고 기초적인 IT 애플리케이션을 이용해서 학습/일에 관련된 데이터를 조사, 처리한다. ● 잘 알고 있고 일기 업무에서 상대에게 쉬운 수치 데이터를 해석하고 활용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 통한 자기연마와 훈련을 쌓거나 진학을 희망한다. ● 일본 근린주가에 대한 인식과 일반적인 지식을 가진다. ● 기업가에게 요구되는 지식과 능력에 대해 기초적인 이해를 나타낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 하는 능력을 보인다. ● 다양한 상황에서 리더십을 발휘한다. ● 비정형적인 학습/업무에 대해 폭넓은 조언과 지도를 받아서 상당한 책임감과 자주성을 가지고 일한다. ● 직장에서의 각종 업무·정보를 공유하고 관리해서 문제를 대치한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 윤리관과 프로의식 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 전공 수준에 사설이나 원리원칙에 대해 기본적인 윤리적 전문적인 지식을 획득한다. 필요에 따라 업무에 관한 균형적인 등락을 발휘한다. ● 학습자의 흥미나 일에 관련된 흥미를 나타낸다. ● 연방에 맞는 지역사회의 참가에서 세계의 문제에 대해 연령에 맞는 인식을 가진다. ● 영어 등, 일본어 이외의 한가지 언어에서 초급 언어 능력을 획득한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 어떤 학습이나 훈련에 대해 상당한 지식을 가지고 기본적인 원리원칙, 이론, 기능을 언어로 설명하고 명확한 각종 정형적 임무/일을 수행한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 지식이나 잘 알고 있는 수법, 기술을 활용해서 정형적인 임무/학습의 예측 가능한 문제를 해결한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 교사의 감독 하에서 정교, 복잡한 수법이나 도구, 기술, 재료를 사용해서 정형적·비정형적인 임무/문제에 대한 대처/해결책을 조지·응용해서 완료한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 다른 학생, 전문가, 초보자에게 단독 또는 팀으로 구두 또는 문서로 아이디어, 정보, 문제 해결책을 효과적이고 명확하게 전한다. ● 일본어 이외의 한가지 국제어의 초보적 능력을 가진다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습/인용 자료를 지원하고 기초적인 IT 애플리케이션을 이용해서 학습/일에 관련된 데이터를 조사, 처리한다. ● 잘 알고 있고 일기 업무에서 상대에게 쉬운 수치 데이터를 해석하고 활용한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 통한 자기연마와 훈련을 쌓거나 진학을 희망한다. ● 일본 근린주가에 대한 인식과 일반적인 지식을 가진다. ● 기업가에게 요구되는 지식과 능력에 대해 기초적인 이해를 나타낸다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 최지한의 지도감독 하에서 학습을 하는 능력을 보인다. ● 다양한 상황에서 리더십을 발휘한다. ● 비정형적인 학습/업무에 대해 폭넓은 조언과 지도를 받아서 상당한 책임감과 자주성을 가지고 일한다. ● 직장에서의 각종 업무·정보를 공유하고 관리해서 문제를 대치한다. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 윤리관과 프로의식 	

레벨	학습자 프로파일	지식과 이해	범용적 기능	직무상의 기능			자율성과 책임감	윤리관과 프로의식	
				전문실전기능	대인기능*1	분석기능*2			
	<p>환경에서 책임감과 윤리관/업무 중에서도 책임인으로서 일하기 위한 지식과 기능을 획득한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 생애학습에 참여하는 데 관심을 나타낸다. ● 지역사회에 참가하는 능력을 보인다. ● 영어 등 한가지 외국어의 기초적 능력을 보인다. 	<p>다중 정형·비정형 업무/일을 위해서 학습의 주제/분야의 지식을 따로 설명하는 능력을 익힌다.</p>	<p>정형적 학습/업무에 활용한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 명확한 정형적 학습/업무에 있어서 잘 알고 있는 해결법을 응용해서 예측 가능한 문제를 해결한다. 	<p>인상적인 사인에 대해 단순하고 직접적인 정보의 왕래가 필요한 제한된 상황에서 커뮤니케이션을 취한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 일반어 이외의 한가지 언어의 기초적인 능력을 보인다. ● 진학준비에 책임을 가지고 준비한다. 	<p>소정의 임무를 수행하기 위해 충분한, 계획된 기초적인 애플리케이션이나 IT도구를 이용해서 간단한 데이터를 처리한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 소량의 단순하고 혼란 수직 데이터나 도표 데이터를 해석한다. 	<p>있어서 감독 하에서 거의 자주성 없이 상당한 지원을 받아서 작업이나 일을 한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 책임이나 설명의무를 거의 지지 않고 팀으로 작업해서 상대방에게 피드백을 준다. 	<p>학습에 입정한 책임을 지기 시작한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 임무나 행위 · 가치관에 개인의 생각하는 힘을 발휘한다. 	<p>가치관을 학습/업무 중에서도 살리는 능력을 보인다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 자신 이외의 문화나 가치 체계에 계속 접함으로써 문화적 다양성에 대한 이해를 넓힌다. ● 정직의식이나 사회의식을 보인다. 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 학습자는 최저 수준의 기초적인 일반지식·기능을 획득하고, 지도를 받아서 기본적인 매우 정형적인 업무를 수행하며, 학습을 계속해서 책임감과 윤리관이 있는 직원이 되기 위해 준비한다. ● 지역사회나 지방·국가에 대해 인식하고 자신 이외의 세계에 호기심을 가진다. 	<p>분야나 대상이 좁은 범위 내에서 단순하고 기본적인 지식과 기능을 구두로 설명하고 매우 정형적이고 예측 가능한 임무 및 학습을 수행한다.</p>	<p>정형적이고 명확하며 예측 가능한 임무에 대해, 지도를 받아서 기초적인 지식을 활용한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 성과나 성격에 대해 생각하고 개선하는 능력을 발휘한다. 	<p>명확한 업무에 대해서 각종 일반적인 기본수법이나 제로를 사용하는 조보적인 기능을 발휘한다.</p>	<p>제한된 상황 하에서 익숙한 일상적인 표현이나 간단한 말로 전한다.</p>	<p>기초적인 수학적 수법(기호) 등을 이용하는 능력을 나타낸다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 교사의 지도하에서 주어진 임무를 수행하는 데 충분한/기본적 애플리케이션을 이용한다. 	<p>직접 지도 하에서 지원을 받아, 구성된 활동/임무를 수행한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 단독 또는 팀으로 작업이나 일을 하는 능력을 발휘한다. 	<p>교사의 권유나 지원 하에서 학습에 입정한 책임을 지기 시작한다.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 교사의 지도를 받아서 수행한/행한 임무에 대해 검토 · 반성하는 힘을 발휘한다. ● 학습이나 임무 중에서 살릴 수 있는 개인의 가치관을 명확히 하는 힘을 나타낸다. 	<p>사회의 책임 있는 일원이 되어서 자신 이외의 문화에 대한 배려심을 보인다.</p>

*1커뮤니케이션 기능 등에 대해서도 기술한다. *2디지털·수직 기능 등에 대해서도 기술한다.

각 레벨의 기준

- 레벨8 : 진수학교진문과정(2) 졸업 후 15~20년 경과(35~40세), 박사
- 레벨7 : 진수학교진문과정(2) 졸업 후 10~15년 경과(30~35세), 석사, 석사[전문직]
- 레벨6 : 진수학교진문과정(2) 졸업 후 5~10년 경과(25~30세), 고도전문사, 학사, 학사[전문직]
- 레벨5 : 진수학교진문과정(2) 졸업(20세), 전문대학사, 전문대학사[전문직], 준학사
- 레벨4 : 진수학교진문과정(1) 졸업(19세)
- 레벨3 : 고등학교 졸업(18세)
- 레벨2 : 중학교 졸업(15세)
- 레벨1 : 초등학교 졸업(12세)

Định nghĩa Khung Trình độ Bằng cấp (Bộ mô tả cấp độ)

BẬC	Hồ sơ học viên	Kiến thức và hiểu biết	Kỹ năng đa chiều	Kỹ năng kỹ thuật và thực hành	Kỹ năng tương tác liên cá nhân *1	Kỹ năng phân tích *2	Kỹ năng quản lý và lãnh đạo	Khả năng tự chủ và trách nhiệm cá nhân	Đạo đức và tính chuyên nghiệp
8	<ul style="list-style-type: none"> Học viên sẽ thể hiện sự hiểu biết sâu sắc về kiến thức tiên tiến nhất trong giới hạn các lĩnh vực nghiên cứu và thực hành chuyên môn của họ. Độc lập tiến hành, quản lý và dẫn dắt nghiên cứu tiên tiến đóng góp vào các kiến thức và/hoặc thực hành mới cũng như nguyên bản. Tạo ra các kết quả nghiên cứu dưới hình thức luận án, bài sáng chế, sản phẩm, các thực hành chuyên môn tiên tiến, các công nghệ mới, các mô hình sáng tạo, các tác phẩm nghệ thuật hoặc âm nhạc. Thể hiện với sự tự tin và các kiến thức có khả năng trình bày cũng như bảo vệ các luận điểm, luận án và ý tưởng trong các lĩnh vực chuyên môn của họ. 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện các ý tưởng toán điện, có hệ thống, tích hợp, tiên tiến nhất, phức tạp và trừu tượng liên quan đến các vấn đề hiện tại trong giới hạn các lĩnh vực nghiên cứu/ thực hành chuyên môn của họ. Sử dụng các quan điểm, kiến thức và hiểu biết tiên ngành. 	<ul style="list-style-type: none"> Phân tích, đánh giá và tổng hợp các khái niệm và vấn đề mới, phức tạp, trừu tượng một cách sâu sắc trong giới hạn các lĩnh vực nghiên cứu/ thực hành chuyên môn của họ. Đồng thời trình bày các khái niệm và thực hành hiện có, điểm, kiến thức và hiểu biết tiên ngành. Giải quyết các vấn đề phức tạp, trừu tượng và mới biệt, cũng như đảm bảo thích ứng các lập luận áp dụng các nghiên cứu, kỹ năng và phương pháp phân tích tiên tiến để đưa ra các kiến thức, lý thuyết, giải pháp mới và/ hoặc thực hành mới một cách sáng tạo trong lĩnh vực nghiên cứu/ thực hành của họ. Tạo ra kiến thức, lý thuyết, giải pháp và thực hành mới thông qua nghiên cứu mang tính nguyên bản, cao, đáp ứng đánh giá của các đồng nghiệp và tiêu chuẩn quốc tế. 	<ul style="list-style-type: none"> Thực hiện sự thành thạo các kỹ năng/ thực hành chuyên môn và thực tiễn cũng như các kỹ năng khoa học, mà công đồng học giả và xã hội nói chung. Làm việc để đổi mới với những người đồng nghiệp trong cộng đồng nghiên cứu và lao động cũng như trong các nhóm và mạng lưới; khác nhau về mặt dân tộc và chuyên môn. Thể hiện khả năng thiết kế/ thực hiện/ cải tiến các phương pháp nghiên cứu chuyên ngành, tiến tiến trong nhiều lĩnh vực. 	<ul style="list-style-type: none"> Truyền đạt hiệu quả các kết quả nghiên cứu trong lĩnh vực chuyên môn của họ cho các đồng nghiệp, công đồng học giả và xã hội nói chung. Làm việc để đổi mới với những người đồng nghiệp trong cộng đồng nghiên cứu và lao động cũng như trong các nhóm và mạng lưới; khác nhau về mặt dân tộc và chuyên môn. Truyền đạt thông tin, những biết biết, các ý tưởng, vấn đề và giải pháp liên quan đến lĩnh vực chuyên môn của họ tới các đồng nghiệp, công đồng học giả và xã hội nói chung một cách chặt chẽ và mạch lạc. 	<ul style="list-style-type: none"> Sử dụng, lựa chọn và cải tiến các phương pháp hay phương pháp luận hiện có, hoặc phát triển những phương pháp mới phù hợp để nâng cao chất lượng nghiên cứu và tiến bộ trong các thực hành, quy trình và sản phẩm. Đánh giá thấu đáo dữ liệu số và đồ họa. 	<ul style="list-style-type: none"> Làm việc với sự tự chủ, độc lập và có quyền hạn trong nghiên cứu và quản lý nguồn lực, đồng thời đóng góp vào việc tạo ra kiến thức mới và tiến bộ trong các thực hành, quy trình và sản phẩm. Thể hiện được khả năng lãnh đạo, tính chuyên nghiệp và các kỹ năng quản lý, đồng thời hợp tác hiệu quả với các đối tác đa dạng. Từ quan điểm mang tính chuyên môn và học thuật, đóng góp vào tiến bộ văn hóa, xã hội trong việc giải quyết các vấn đề nổi bật ở cấp độ chuyên môn/chuyên gia. 	<ul style="list-style-type: none"> Gánh vác toàn bộ trách nhiệm công việc của họ và trách nhiệm liên quan nếu có, đảm đương được công tác quản lý tổng thể các tổ chức của họ. Tích hợp kiến thức để học tập suốt đời với các ý tưởng, giải pháp và hệ thống mới được phát triển. Khởi xướng và dẫn dắt các dự án khởi nghiệp và dự án kinh doanh. 	<ul style="list-style-type: none"> Tôn trọng các quy tắc thực hành hợp pháp, đạo đức và chuyên nghiệp. Xác định các vấn đề nổi bật về đạo đức và nghề nghiệp, đồng thời vạch ra sự phức tạp và hàm ý của chúng để thúc đẩy nghiên cứu trong các lĩnh vực chuyên môn của họ và xã hội nói chung. Đóng góp một cách chuyên nghiệp vào sự phát triển xã hội, công nghệ và kinh tế.
7	<ul style="list-style-type: none"> Dựa trên kiến thức lý thuyết vững chắc, tự duy phạm vi và sự hiểu biết về các kỹ năng sáng tạo, đổi mới, học viên sẽ lĩnh hội được kiến thức trong các lĩnh vực nghiên cứu/ thực hành cụ thể thông qua việc học tập, nghiên cứu và/ 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện cá tính và độc lập trong việc thực hiện các đánh giá phân tích thấu đáo và tổng hợp thông tin phức tạp, các khái niệm, lý thuyết, phương pháp và thực hành chuyên ngành trong các lĩnh vực nghiên cứu/ thực hành của họ. 	<ul style="list-style-type: none"> Dùng các công nghệ, phương pháp tiên tiến và các kỹ năng để sử dụng một loạt các phương pháp tiếp cận toán điện nhằm tạo ra các ý tưởng mới hoặc thực hành mang tính cách mạng, áp dụng kiến thức một cách triệt để và toàn diện, quan 	<ul style="list-style-type: none"> Thông qua các phương pháp và cách tiếp cận nghiên cứu tiêu chuẩn, chuyên ngành, áp dụng các kỹ năng, phương pháp thực hành hoặc kỹ thuật nghiên cứu đã tiếp thu được từ những tri thức tiên tiến nhất và những phát triển mới nhất 	<ul style="list-style-type: none"> Sử dụng các phương pháp thích hợp để truyền đạt một cách rõ ràng kiến thức, kỹ năng, ý tưởng, phê bình, kết luận và lý do cho đồng nghiệp, chuyên gia và cả những người không chuyên bằng một hoặc nhiều ngôn ngữ toán cầu. 	<ul style="list-style-type: none"> Sử dụng thành thạo nhiều loại công nghệ kỹ thuật số phù hợp và phần mềm thích hợp để nâng cao chất lượng nghiên cứu/ thực hành. Thích nghi với các ứng dụng và hệ thống để đối phó với các giải pháp và vấn đề mới, cũng như sử dụng 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện sự tự chủ, độc lập, khả năng lãnh đạo có ý nghĩa và kỹ năng tương tác giữa các cá nhân tại nơi làm việc cũng như trong lớp học. Trong các tình huống phức tạp và không thể đoán trước, đảm đương trách nhiệm trong yêu cầu việc 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện sự tiến bộ của bản thân thông qua sự phát triển không ngừng với tư cách là nhà nghiên cứu hoặc nhà thực hành/ nghiệp nhân. Khởi xướng và hoặc dẫn dắt các dự án khởi nghiệp và dự án kinh doanh. 	<ul style="list-style-type: none"> Tôn trọng các quy tắc thực hành hợp pháp, đạo đức và chuyên nghiệp. Thể hiện sự tự tin khi đưa ra lời khuyên và quyết định về các vấn đề phức tạp dựa trên những hiểu biết sâu sắc và cân nhắc về đạo đức. Đóng góp một cách

<p>hoặc thực hành chuyên môn không ngừng, cũng như có khả năng đưa ra các giải pháp mới cho các vấn đề.</p> <ul style="list-style-type: none"> Hành động tự tin trên trường quốc tế bằng kiến thức và các kỹ năng. 	<p>ky và giải quyết các vấn đề phức tạp hoặc các tồn tại trong lĩnh vực nghiên cứu / thực hành của họ.</p> <ul style="list-style-type: none"> Thế hiện khả năng giải quyết và quản lý các vấn đề phức tạp hoặc các tồn tại trong lĩnh vực học tập/ thực hành của họ. Chứng minh năng lực làm việc và nghiên cứu năng cao bằng một hoặc nhiều ngoại ngữ. 	<p>trong lĩnh vực nghiên cứu của họ.</p> <ul style="list-style-type: none"> Thế hiện khả năng giải quyết và quản lý các vấn đề phức tạp hoặc các tồn tại trong lĩnh vực học tập/ thực hành của họ. Chứng minh năng lực làm việc và nghiên cứu năng cao bằng một hoặc nhiều ngoại ngữ. 	<p>ky và giải quyết các vấn đề phức tạp hoặc các tồn tại trong lĩnh vực nghiên cứu / thực hành của họ.</p> <ul style="list-style-type: none"> Thế hiện khả năng giải quyết và quản lý các vấn đề phức tạp hoặc các tồn tại trong lĩnh vực học tập/ thực hành của họ. Chứng minh năng lực làm việc và nghiên cứu năng cao bằng một hoặc nhiều ngoại ngữ. 	<p>lập kế hoạch, quản lý nguồn lực, giám sát, đưa ra quyết định và điều hành công việc trong nhóm của họ hoặc khi phối hợp với các nhóm khác.</p>	<p>chuyên nghiệp vào sự phát triển xã hội, công nghệ và kinh tế cả trong nước và quốc tế. Thế hiện khả năng tham gia có ý nghĩa vào một loạt các vấn đề xã hội công dân và toàn cầu trong lĩnh vực chuyên môn của họ.</p>
<p>6</p> <p>Học viên sẽ thể hiện sự hiểu biết kiến thức và kỹ năng trên diện rộng, mạch lạc đối với công việc bán chuyên nghiệp đòi hỏi sự nghiên cứu và phát triển, sáng tạo, đổi mới trong lĩnh vực chuyên môn của họ.</p> <p>Thế hiện tinh thần chuyên nghiệp, khả năng phục hồi và cam kết với văn hóa làm việc có đạo đức, bền vững, thể hiện nhận thức về việc trở thành một công dân toàn cầu phù hợp với mục tiêu quốc gia của Nhật Bản.</p>	<p>Mô tả được bằng từ thực tế kiến thức mang tính kỹ thuật, lý thuyết, bao quát và tiến bộ, đồng thời thể hiện các kỹ năng có liên quan trong lĩnh vực chuyên môn của họ hoặc những kỹ năng đa ngành liên quan đến các lĩnh vực nghiên cứu/ làm việc /thực hành của họ.</p>	<p>Áp dụng các phương pháp và quy trình cơ bản trên diện rộng để giải quyết nhiều vấn đề phức tạp.</p> <ul style="list-style-type: none"> Xem xét, điều chỉnh và giám sát các thực hành và các quy trình trong lĩnh vực chuyên môn của họ. 	<p>Với sự tự tin, chính xác và mạch lạc, truyền đạt ý tưởng cũng như suy nghĩ đến các đối tượng khác nhau dưới hình thức trình bày bằng văn bản và bằng miệng thích hợp.</p> <ul style="list-style-type: none"> Làm việc cùng với những người khác nhau trong các cộng đồng nghiên cứu và làm việc khác nhau. Làm việc cùng với những người khác nhau trong các cộng đồng nghiên cứu và làm việc khác nhau. 	<p>Trọng giới hạn các tổ chức khác nhau, làm việc một cách tự chủ và thế hiện khả năng lãnh đạo cũng như tính chuyên nghiệp trong quản lý công việc.</p> <ul style="list-style-type: none"> Đảm nhận mức độ trách nhiệm đáng kể đối với công việc của họ và những người khác. Thế hiện khả năng ra quyết định và tính chuyên nghiệp bằng cách hướng tới các mục tiêu và kết quả định trước. 	<p>Thế hiện khả năng tuân thủ các giá trị về nhân cách, xác định các vấn đề đạo đức, đưa ra quyết định một cách có đạo đức và hành động chuyên nghiệp trong các môi trường, thực hành đa dạng về mặt xã hội và chuyên môn.</p> <ul style="list-style-type: none"> Thế hiện nhận thức sâu sắc và có kiến thức về các vấn đề khoa học, công nghệ, kinh doanh, xã hội, môi trường địa phương và toàn cầu.
<p>5</p> <p>Học viên sẽ có một lượng kiến thức lý thuyết và kỹ thuật đáng kể, có khả năng đối phó với các tình huống phức tạp trong công việc, hiểu và áp dụng các nhu cầu về tổ chức và chuyên môn.</p> <p>Học viên sẽ chứng tỏ khả năng áp dụng các thực hành bền</p>	<p>Xác định, diễn giải, áp dụng, phân tích và đánh giá kiến thức về kỹ thuật, khái niệm, lý thuyết chi tiết trong lĩnh vực chuyên môn hoặc trong công việc của họ.</p> <ul style="list-style-type: none"> Giải quyết các vấn đề và tồn tại một cách độc lập trong các bối cảnh được xác định 	<p>Sử dụng nhiều loại công cụ, phương tiện và trình độ công nghệ thông tin để hỗ trợ nghiên cứu và/hoặc làm việc.</p> <ul style="list-style-type: none"> Diễn giải, áp dụng các dữ liệu số phức tạp và thông tin, ý tưởng, văn bản và giải pháp cho các đối tượng khác nhau. 	<p>Về mặt xã hội, học thuật và chuyên môn, có thể giao tiếp và tương tác với những người khác một cách hiệu quả, thuyết phục bằng cách diễn đạt để hiểu để truyền đạt các thông tin, ý tưởng, văn bản và giải pháp cho các đối tượng khác nhau.</p> <ul style="list-style-type: none"> Thế hiện năng lực nói 	<p>Làm việc với khả năng tự chủ, đáng kể và mức độ trách nhiệm trọng yếu.</p> <ul style="list-style-type: none"> Đưa ra các quyết định học tập nghiên cứu tự định hướng suốt đời và tham gia độc lập vào các hoạt động công tác chuyên môn. Thế hiện năng lực làm việc hoặc nghiên cứu trong các cộng đồng 	<p>Thế hiện khả năng làm tròn các trách nhiệm xã hội và tuân theo các thực hành chuyên nghiệp, đạo đức và bền vững.</p> <ul style="list-style-type: none"> Đóng góp vào sự phát triển của cộng đồng địa phương và toàn cầu bền vững.

<ul style="list-style-type: none"> Tuân thủ lời chỉ xử phạt hợp lý với các cộng đồng địa phương và thể hiện nhân thức về các vấn đề toàn cầu. Đặt năng lực ở trình độ sơ cấp một ngôn ngữ khác ngoài tiếng Nhật (ví dụ: tiếng Anh). 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện khả năng mô tả bằng lời kiến thức về các môn học/ chuyên ngành nghiên cứu và đảm nhận các nhiệm vụ/ công việc có trách nhiệm và mỗi tương nhất định. Thể hiện sự quan tâm đến việc thực hiện các nghiên cứu sâu hơn và cam kết học tập suốt đời. Phát triển các kỹ năng để tham gia vào cộng đồng địa phương. Phát triển năng lực ngoại ngữ ở trình độ sơ bản (ví dụ: tiếng Anh). 	<ul style="list-style-type: none"> Áp dụng kiến thức và các kỹ năng vào nghiên cứu/ nhiệm vụ thường xuyên được xác định rõ ràng. Áp dụng các giải pháp quen thuộc để giải quyết các vấn đề trong nghiên cứu/ nhiệm vụ thường xuyên được xác định rõ ràng. 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện khả năng lập kế hoạch cũng như hoàn thành các nhiệm vụ được xác định rõ ràng bằng cách sử dụng các phương pháp và vật liệu cơ bản thông thường. Áp dụng kiến thức và kỹ năng vào các nhiệm vụ nghiên cứu/ nhiệm vụ thường xuyên được xác định rõ ràng. 	<ul style="list-style-type: none"> Giao tiếp với những người khác trong một phạm vi ngữ cảnh hạn chế yêu cầu các trao đổi thông tin đơn giản và trực tiếp về các vấn đề quen thuộc thường ngày. Phát triển khả năng ở ngôn ngữ khác ngoài tiếng Nhật. Đảm nhận trách nhiệm và các nghiên cứu bước đầu chuẩn bị cho học tập giáo dục xa hơn. 	<ul style="list-style-type: none"> Dưới sự giám sát của giáo viên, sử dụng một vài ứng dụng cơ bản và công cụ công nghệ thông tin để trình bày một định mục tiêu nhất định nhằm xử lý dữ liệu đơn giản. Diễn giải một tương tự dựa trên dữ liệu số và đồ họa đơn giản, quen thuộc. 	<ul style="list-style-type: none"> Làm việc dưới sự giám sát trong các hoạt động được tổ chức hóa mà hầu như không có quyền tự chủ và nhận sự hỗ trợ đáng kể. Làm việc theo nhóm, trao đổi các quan điểm và phân bổ với những người khác, hầu như không phải chịu trách nhiệm và giải trình. 	<ul style="list-style-type: none"> Với sự hướng dẫn của giáo viên, đảm nhận một số trách nhiệm nhất định về việc học tập. Thể hiện khả năng xem xét các nhiệm vụ đang vận hành bằng cách không ngừng học hỏi về các nền văn hóa khác nhau. Phát triển nhận thức chính trị và xã hội. 	<ul style="list-style-type: none"> Thế hiện khả năng sử dụng tốt các giá trị cá nhân trong học tập hoặc thực hiện các nhiệm vụ. Hầu như hơn về sự đa dạng văn hóa bằng cách không ngừng học hỏi về các nền văn hóa khác nhau. Phát triển nhận thức chính trị và xã hội. 	<ul style="list-style-type: none"> Thực hiện các nhiệm vụ chung. 	<ul style="list-style-type: none"> Hành động như một thành viên có trách nhiệm trong xã hội và thể hiện sự nhạy cảm với các nền văn hóa khác với nền văn hóa của họ.
<ul style="list-style-type: none"> Tuân thủ lời chỉ xử phạt hợp lý với các cộng đồng địa phương và thể hiện nhân thức về các vấn đề toàn cầu. Đặt năng lực ở trình độ sơ cấp một ngôn ngữ khác ngoài tiếng Nhật (ví dụ: tiếng Anh). 	<ul style="list-style-type: none"> Thể hiện khả năng lập kế hoạch cũng như hoàn thành các nhiệm vụ được xác định rõ ràng bằng cách sử dụng các phương pháp và vật liệu cơ bản thông thường. Áp dụng kiến thức và kỹ năng vào các nhiệm vụ nghiên cứu/ nhiệm vụ thường xuyên được xác định rõ ràng. Áp dụng các giải pháp quen thuộc để giải quyết các vấn đề trong nghiên cứu/ nhiệm vụ thường xuyên được xác định rõ ràng. 	<ul style="list-style-type: none"> Giao tiếp với những người khác trong một phạm vi ngữ cảnh hạn chế yêu cầu các trao đổi thông tin đơn giản và trực tiếp về các vấn đề quen thuộc thường ngày. Phát triển khả năng ở ngôn ngữ khác ngoài tiếng Nhật. Đảm nhận trách nhiệm và các nghiên cứu bước đầu chuẩn bị cho học tập giáo dục xa hơn. 	<ul style="list-style-type: none"> Dưới sự hướng dẫn và hỗ trợ trực tiếp, làm việc trong các hoạt động/ nhiệm vụ có cấu trúc. Thể hiện khả năng làm việc độc lập hoặc theo nhóm. 	<ul style="list-style-type: none"> Với sự khuyến khích và hướng dẫn của giáo viên, bắt đầu đảm nhận một số trách nhiệm nhất định về việc học tập. Thể hiện khả năng xem xét và phân tích về các nhiệm vụ đã hoàn thành/ thực hiện dưới sự hướng dẫn của giáo viên. Thể hiện khả năng xác định các giá trị cá nhân trong quá trình thực hiện việc học tập/ hoàn thành nhiệm vụ. 	<ul style="list-style-type: none"> Thực hiện các nhiệm vụ chung. 	<ul style="list-style-type: none"> Hành động như một thành viên có trách nhiệm trong xã hội và thể hiện sự nhạy cảm với các nền văn hóa khác với nền văn hóa của họ. 	<ul style="list-style-type: none"> Thực hiện các nhiệm vụ chung. 	<ul style="list-style-type: none"> Hành động như một thành viên có trách nhiệm trong xã hội và thể hiện sự nhạy cảm với các nền văn hóa khác với nền văn hóa của họ. 	<ul style="list-style-type: none"> Thực hiện các nhiệm vụ chung. 	<ul style="list-style-type: none"> Hành động như một thành viên có trách nhiệm trong xã hội và thể hiện sự nhạy cảm với các nền văn hóa khác với nền văn hóa của họ.

*1 Liên quan đến kỹ năng giao tiếp và bao gồm cả các kỹ năng khác. * 2 Số, kỹ thuật số và bao gồm cả các kỹ năng khác.

Tiêu chí các bậc

Bậc 8: 15-20 năm sau khi tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (ở độ tuổi 35-40), Bằng Tiến sĩ

Bậc 7: 10-15 năm sau khi tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (ở độ tuổi 30-35), Bằng Thạc sĩ, Bằng Thạc sĩ Chuyên môn

Bậc 6: 5-10 năm sau khi tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (ở độ tuổi 25-30), Bằng Cao đẳng cao cấp, Bằng Cử nhân, Bằng Cử nhân Chuyên môn

Bậc 5: Tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (20 tuổi), Chứng chỉ tốt nghiệp, Bằng Cao đẳng, Bằng Cao đẳng Chuyên môn, Chức danh Cử nhân

Bậc 4: Tốt nghiệp khoa chuyên ngành trường chuyên môn (1) (19 tuổi)

Bậc 3: Tốt nghiệp Trung học phổ thông (18 tuổi)

Bậc 2: Tốt nghiệp Trung học cơ sở (15 tuổi)

Bậc 1: Tốt nghiệp Tiểu học (12 tuổi)

資料 2 資格枠組(概要)

● 日本語

資格枠組のレベル定義 (概要)

レベル	知識	技能*1	責任と自律性*2
8	専門的実務/学問分野において最先端のフロンティア。新しい専門的実務や知見につながる分野横断的な視点・知識・理解	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および持続的な関与
7	高度に専門化された知識。その内いくつかは、仕事/学習分野における知識の最前線。異なる分野の知識・理解	実務/学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決スキル	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価
6	理論や原理の批判的思考を含む、仕事/学習分野に関する高度な知識・理解	仕事/学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度なスキル	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任
5	仕事/学習分野における総合的、専門的、事実に基づいた、理論的な知識と、その知識の批判的認識	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的スキル	予期せぬ変化がある仕事/学習活動の主体的管理と監督。自己と他者の業績の点検・開発
4	仕事/学習分野における幅広い文脈の中で事実と理論の知識	仕事/学習分野における特定の課題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践スキル	通常は予測可能であるが変化する可能性のある仕事や学習の文脈の中での自己管理。他者の日常業務を監督し、仕事/学習活動の評価・改善
3	仕事/学習分野における事実、原則、プロセス、一般概念の知識	基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践スキル	仕事や学習の完了に対する責任。問題を解決する際の状況に対する自己の行動の適応
2	仕事/学習分野における基本的な知識	簡単な規則と手法を利用した任務の実行。日常的な問題を解決する目的に関連情報の利用に必要な基本的な認知・実践スキル	監督下で、ある程度の自律性を持った仕事や学習
1	基本的な一般知識	簡単な任務を実行するために必要な基本スキル	直接監督下で、構造化された状況での仕事や学習

*1 汎用的な（認知的）技能および職務上の（実践的）技能を記述

*2 知識と技能を自律的に、責任を持って適用する能力を記述

各レベルの目安

レベル8：専修学校専門課程（2）卒業後15～20年経過（35～40歳）、博士

レベル7：専修学校専門課程（2）卒業後10～15年経過（30～35歳）、修士、修士〔専門職〕

レベル6：専修学校専門課程（2）卒業後5～10年経過（25～30歳）、高度専門士、学士、学士〔専門職〕

レベル5：専修学校専門課程（2）卒業（20歳）、専門士、短期大学士、短期大学士〔専門職〕、準学士

レベル4：専修学校専門課程（1）卒業（19歳）

レベル3：高等学校卒業（18歳）

レベル2：中学校卒業（15歳）

レベル1：小学校卒業（12歳）

Qualifications Framework Level Definitions (Summary)

Level	Knowledge	Skills*1	Responsibilities and Autonomy*2
8	Interdisciplinary perspectives, knowledge and understanding leading to a new professional practice and/or knowledge at the frontier of the learner's field of study/professional practice.	The most advanced professional skills necessary to solve critical issues for research and innovation and to redefine existing knowledge and professional practices.	Authority, autonomy, academic and professional integrity and persistent engagement in developing new ideas and processes at the frontier of the learner's field of study/professional practice.
7	Highly specialized knowledge, including the most advanced knowledge in the learner's field of work/study; knowledge and understanding in different fields.	A combination of independent and critical insights and interdisciplinary knowledge in the learner's field of practice/study; problem-solving skills necessary to study, develop and innovate new knowledge and methodologies.	Management of work or studies that require an innovative approach to solve complex and unpredictable problems; contributions to, and evaluation of, professional knowledge/practices and management.
6	Advanced knowledge and deep understanding of the learner's field of work/study, including critical thinking of theories and principles.	Advanced skills to demonstrate expertise and innovativeness necessary to solve complex and unpredictable challenges in the learner's field of work/study.	Responsibility to manage technical and professional activities and to make decisions in an unpredictable context of work/study; responsibility to manage professional development of individual and/or groups.
5	Comprehensive, professional, factual and theoretical knowledge in the learner's field of work/study, and critical recognition of such knowledge.	Comprehensive cognitive science techniques and practical skills necessary to solve abstract issues in a creative manner.	Independent management and supervision of work/study activities that involve unpredictable changes; review and development of the learner's and others' performances.
4	Factual and theoretical knowledge in a broad-based context of work/study.	A series of cognitive and practical skills necessary to develop solutions to specific problems in the learner's field of work/study.	Self-management in a context of work/study that is usually predictable but possibly changing; supervision of others' daily work, and evaluating/improving their work/study activities.
3	Knowledge about facts, principles, processes and general concepts in the learner's field of work/study.	Cognitive and practical skills necessary to complete tasks and solve problems by selecting and using basic methods, approaches, materials and information.	Responsibility to complete work or studies; ability to adapt the learner's own behavior to a specific problem-solving context.
2	Basic knowledge in the learner's field of work/study.	Skill to carry out tasks by adopting simple rules and approaches, and basic cognitive and practical skills necessary to use relevant information to solve daily issues.	A certain level of autonomy to work or study under supervision.
1	Basic general knowledge.	Basic skills necessary to carry out simple tasks.	Ability to work or study in a structured context under direct supervision.

*1 Generic (cognitive) and professional (practical) skills are described.

*2 Abilities to apply knowledge and skills independently and responsibly are described.

Level Criteria

- Level 8: 15-20 years after graduating from a specialized training college (2) (at the age of 35-40), Doctoral Degree
- Level 7: 10-15 years after graduating from a specialized training college (2) (at the age of 30-35), Master's Degree, Master of xxx (Professional)
- Level 6: 5-10 years after graduating from a specialized training college (2) (at the age of 25-30), Advanced Diploma, Bachelor's Degree, Bachelor's Degree (Professional)
- Level 5: Specialized training college (2) (at the age of 20), Diploma, Associate Degree, Associate Degree (Professional), Associate
- Level 4: Specialized training college (1) graduate (at the age of 19)
- Level 3: High school graduate (at the age of 18)
- Level 2: Junior high school graduate (at the age of 15)
- Level 1: Elementary school graduate (at the age of 12)

資歷架構的層級定義（概要）

層級	知識	技能*1	責任與自主*2
8	專業實務/學問領域中最先進的知識。促成新專業實務或見解的產生的跨領域觀點、知識、理解。	在解決研究與創新的重大課題上、以及重新定義既有知識與專業實務上必備的最先進的專業技能。	對於專業實務或學問領域最先進的新概念、歷程的發展，展現權威性、自主性、學術性與專業性的誠實性、持續性投入參與。
7	高級專業化知識，包括有些在工作/學習領域中最先進的知識。擁有及理解不同領域的知識。	整合實務/學問領域中主體的、批判的洞察與跨領域的知識。新知識及方法論的研究、開發、創新上必備的解決問題的技能。	對複雜且無法預測的課題要求創新性處理的工作或學習管理。對專業性的知識、實踐與管理作出貢獻、評鑑。
6	對工作/學習領域具有高級的知識、理解，並對理論與原理有批判性的思考。	具有高級的技能，擁有熟練技術與創新能力，能夠在工作/學習領域中解決複雜且無法預測的問題。	能夠負責管理技術性的、專業性的活動，且在無法預測的工作或學習情境下能夠負起決策的責任。負責管理個人或團體的專業性發展。
5	對工作/學習領域具有全面性、專業性、實務性、理論性的知識，並對於該知識具有批判性的認識。	具備全面性的認知科學技術與實用技能，對於抽象性的問題可以使用創造性方法解決。	獨立管理與督導在無法預測變化之下的工作/學習活動。能夠檢視、發展自我與他人的表現。
4	對工作/學習領域具有廣泛的實務與理論知識。	具備必要的認知和實用技能，面對工作/學習領域中的特殊問題可以發展出解決方法。	在通常可預測，但有可能發生變化的工作或學習情境下做自我管理。督導他人的例行業務，並對工作/學習活動進行評鑑、改進。
3	工作/學習領域中的實務、原則、程序、一般概念等的知識。	具備認知的、實用的技能，藉由選擇與應用基礎的方法、手法、材料、資訊，達成任務，解決問題。	對於完成工作或學習任務負起責任。根據解決問題狀況，調整個人行為。
2	工作/學習領域中的基礎知識。	使用簡單的規則與手法執行任務。具備基本的認知的、實用的技能，運用相關資訊解決例行的問題。	在督導下保持某種程度的自主性進行工作或學習。
1	一般基礎知識	從事簡單任務必備的基礎技能。	處於完整架構下，直接接受督導的工作或學習。

*1 描述通用性的（認知的）技能與職務上的（實務的）技能。

*2 描述自主地、負責地應用知識與技能的能力。

各層級的大概標準

層級8：專修學校專門課程（2）畢業後經過15~20年（35~40歲）、博士

層級7：專修學校專門課程（2）畢業後經過10~15年（30~35歲）、碩士、碩士[專業]

層級6：專修學校專門課程（2）畢業後經過5~10年（25~30歲）、高度專門士、學士、學士[專業]

層級5：專修學校專門課程（2）畢業（20歲）、專門士、短期大學士、短期大學士[專業]、副學士

層級4：專修學校專門課程（1）畢業（19歲）

層級3：高中畢業（18歲）

層級2：中學畢業（15歲）

層級1：小學畢業（12歲）

资格框架的级别定义（概要）

级别	知识	技能*1	责任与自主性*2
8	在专业性实务/学问领域处于最尖端、最前沿。有助于创造新的专业性实务或见解的跨领域横向视点、知识及理解。	拥有解决研究与革新性重要课题、重新定义已有知识及专业性实务所必要的、最高端的专业性技能。	在专业性实务及学问的最前沿，对新的想法、流程的开发具有权威性、自主性、学术及专业的诚实性，并持续参与。
7	拥有高度专业化知识。其中一部分是工作/学习领域最前沿的知识。拥有不同领域的知识和理解。	实务/学问领域的主体性、批判性洞察及领域横向的知识整合。新知识或方法论的研究、开发、革新所必要的问题解决技能。	革新性应对复杂且不可预测的课题所需要的工作及学习管理。对专业性知识、实践及管理的贡献及评价。
6	包括理论、原理的批判性思考在内，拥有有关工作/学习领域的高度知识和理解。	在工作/学习领域，解决复杂且不可预测的课题所需要的熟练度以及验证革新的高度技能。	管理技术性、专业性活动，负责对于不可预测的工作或学习进行决策。肩负管理个人或团体的专业性开发的责任。
5	拥有工作/学习领域的综合性、专业性、事实性、理论性知识，并对该知识具有批判性认识。	创造性解决抽象性问题所需要的统括性认知科学技术及实践性技能。	作为主体管理并监督发生未能预测的变化的工作/学习活动。对自己及他人的业绩进行检查及开发。
4	在工作/学习的广泛领域拥有事实及理论知识。	制定工作/学习领域的特定问题解决方策所需要的一系列认知及实践技能。	在通常能够预测、但存在发生变化的可能性的工作或学习中进行自我管理。监督他人的日常业务，对工作/学习活动进行评价和改善。
3	在工作/学习领域拥有事实、原则、流程、一般概念的知识。	通过选择并利用基本的方法、手法、材料和信息，完成任务、解决问题所需要的认知及实践技能。	承担完成工作或学习的责任。根据解决问题时的情况调整自己的行动。
2	在工作/学习领域拥有基本知识。	利用简单的规则及方法执行任务。以解决日常性问题为目的利用相关信息所需要的基本认识及实践技能。	在受到监督的情况下，在一定程度上自主工作或学习。
1	基本的一般知识。	执行简单任务所需要的基本技能。	在接受直接监督的情况下，在结构性状况中进行工作或学习。

*1 描述通用性（认知性）技能及职务上的（实务性）技能。

*2 描述自主地、负责任地应用知识与技能的能力。

各级别的标准

级别8：专修学校专业课程（2）毕业后经过15~20年（35~40岁）、博士

级别7：专修学校专业课程（2）毕业后经过10~15年（30~35岁）、硕士、硕士[专门职]

级别6：专修学校专业课程（2）毕业后经过5~10年（25~30岁）、高度专门士、学士、学士[专门职]

级别5：专修学校专业课程（2）毕业（20岁）、专门士、短期大学学士、短期大学学士[专门职]、准学士

级别4：专修学校专业课程（1）毕业（19岁）

级别3：高中毕业（18岁）

级别2：初中毕业（15岁）

级别1：小学毕业（12岁）

자격분류 레벨 정의(개요)

레벨	지식	기능 ^{*1}	책임과 자율성 ^{*2}
8	전문적 실무/학습 분야에 있어서 최첨단의 프론티어. 새로운 전문적 실무나 식견으로 이어지는 분야 횡단적인 시점·지식·이해	연구나 혁신의 중요한 과제를 해결하고 기존 지식이나 전문적 실무를 재정의 하기 위해 필요한 가장 고도의 전문적 기능	전문적 실무나 학문의 최전선에서 새로운 아이디어·프로세스 개발에 대한 권위, 자율성, 학문적·전문적인 성실성과 지속적인 관여
7	고도의 전문화된 지식, 그 중 몇 가지는 일/학습 분야에 있어서 지식의 최전선. 다른 분야의 지식·이해	실무/학문 분야에 있어서 주체적·비판적 통찰과 분야 횡단적 지식의 통합. 새로운 지식이나 방법론의 연구·개발·혁신에 필요한 문제해결 기능	복잡하고 예측 불가능한 과제에 대한 혁신적인 대처가 요구되는 일이나 학습의 관리. 전문적인 지식·실전과 관리에 대한 공헌·평가
6	이론이나 원리의 비판적 사고를 포함한 일/학습 분야에 관한 고도의 지식·이해	일/학습 분야에서 복잡하고 예측 불가능한 과제 해결을 위해 필요한 숙련과 혁신을 실증하는 고도의 기능	기술적·전문적 활동을 관리하고 예측 불가능한 일이나 학습의 상황에서 의사결정을 하는 책임. 개인이나 단체의 전문적인 개발을 관리하는 책임
5	일/학습 분야에 있어서 종합적, 전문적, 사실적, 논리적, 이론적인 지식과 그 지식의 비판적 인식	추상적인 문제를 창조적으로 해결하기 위해 필요한 포괄적인 인지과학기술과 실증적 기능	예기하지 못한 변화가 있는 일/학습 활동의 주체적 과리와 감독. 자신이나 타인의 업적의 점검·개발
4	일/학습 분야에 있어서 폭넓은 문맥 속에서 사실과 이론의 지식	일/학습 분야에 있어서 특정한 문제 해결책을 도출하기 위해 필요한 일련의 인지·실전 기능	통상적인 예측 가능하지만 변화 가능성이 있는 일이나 학습 문맥 속에서의 자기 관리. 타인의 일상업무를 감독하고 일/학습 활동의 평가·개선
3	일/학습 분야에 있어서 사실, 원칙, 프로세스, 일반 개념의 지식	기본적인 방법, 수법, 정보의 선택·이용으로 임무를 달성하고 문제 해결에 필요한 인지·실전 기능	일이나 학습 완료에 대한 책임. 문제를 해결할 때의 상황에 대한 자신의 행동 적응
2	일/학습 분야에 있어서 기본적인 지식	간단한 규칙과 수법을 이용한 임무의 실행. 일상적인 문제를 해결할 목적으로 관련 정보 이용에 필요한 기본적인 인지·실전 기능	감독 하에서 어느 정도 자율성을 가진 일이나 학습
1	기본적인 일반지식	간단한 임무를 실행하기 위해 필요한 기본 기능	직접 감독 하에서 구조화된 상황에서의 일이나 학습

*1 범용적인 (인지적) 기능 및 직무상의 (실전적) 기능을 기술

*2 지식과 기능을 자율적으로 책임을 가지고 적용하는 능력을 기술

각 레벨의 기준

레벨8 : 전수학교전문과정(2) 졸업 후 15~20년 경과(35~40세), 박사

레벨7 : 전수학교전문과정(2) 졸업 후 10~15년 경과(30~35세), 석사, 석사[전문직]

레벨6 : 전수학교전문과정(2) 졸업 후 5~10년 경과(25~30세), 고도전문사, 학사, 학사[전문직]

레벨5 : 전수학교전문과정(2) 졸업(20세) 전문사, 전문대학사, 전문대학사[전문직], 준학사

레벨4 : 전수학교전문과정(1) 졸업(19세)

레벨3 : 고등학교 졸업(18세)

레벨2 : 중학교 졸업(15세)

레벨1 : 초등학교 졸업(12세)

Bảng 4 Các định nghĩa khung trình độ bằng cấp/học vị (Tóm tắt)

Bậc	Kiến thức	Kỹ năng *1	Trách nhiệm và quyền tự chủ *2
8	Các quan điểm, kiến thức và hiểu biết liên ngành dẫn tới thực hành chuyên môn và/ hoặc kiến thức mới, tiên tiến trong phạm vi lĩnh vực của người học về nghiên cứu/ thực hành chuyên môn.	Các kỹ năng chuyên môn tiên tiến nhất cần thiết để giải quyết các vấn đề then chốt cho nghiên cứu và đổi mới, đồng thời xác định lại các kiến thức sẵn có và thực hành chuyên môn.	Toàn vẹn trong quyền hạn, quyền tự chủ, học tập và nghề nghiệp, không ngừng tham gia vào việc phát triển các ý tưởng và quy trình mới trong phạm vi lĩnh vực nghiên cứu/ thực hành chuyên môn của học viên.
7	Kiến thức chuyên môn cao, bao gồm kiến thức tiên tiến nhất trong lĩnh vực làm việc/ nghiên cứu của học viên; kiến thức và hiểu biết trong các lĩnh vực khác nhau.	Sự kết hợp những hiểu biết độc lập và quan trọng cùng với kiến thức liên ngành trong lĩnh vực thực hành/nghiên cứu của học viên; kỹ năng giải quyết vấn đề cần thiết để nghiên cứu, phát triển và đổi mới kiến thức cũng như phương pháp luận mới.	Quản lý công việc hoặc các nghiên cứu đòi hỏi sự tiếp cận sáng tạo để giải quyết các vấn đề phức tạp và không thể đoán trước; đóng góp và đánh giá kiến thức/ thực hành chuyên môn cũng như quản lý.
6	Kiến thức nâng cao và hiểu biết sâu sắc về lĩnh vực làm việc/ nghiên cứu của học viên, bao gồm tư duy phân biệt về các lý thuyết cũng như các nguyên tắc.	Các kỹ năng nâng cao để thể hiện kiến thức chuyên môn và sự sáng tạo đổi mới cần thiết nhằm giải quyết những thách thức phức tạp và không thể đoán trước trong lĩnh vực làm việc/ nghiên cứu của học viên.	Trách nhiệm quản lý các hoạt động kỹ thuật và chuyên môn, cũng như đưa ra các quyết định trong một bối cảnh công việc/ nghiên cứu không thể đoán trước; trách nhiệm quản lý phát triển chuyên môn của cá nhân và/ hoặc các nhóm.
5	Kiến thức bao quát, chuyên môn, thực tế và lý thuyết trong lĩnh vực làm việc/ nghiên cứu của học viên, đồng thời cũng có nhìn nhận thấu đáo về những kiến thức đó.	Các kỹ năng nhận thức khoa học kỹ thuật và thực hành bao quát cần thiết để giải quyết các vấn đề trừu tượng một cách sáng tạo.	Quản lý độc lập và giám sát hoạt động công việc/ nghiên cứu liên quan tới những thay đổi không thể đoán trước; đánh giá và phát triển công việc của học viên và những người khác.
4	Kiến thức về thực tế và lý thuyết trong bối cảnh làm việc/ nghiên cứu phạm vi rộng.	Một loạt các kỹ năng nhận thức và thực hành cần thiết để phát triển các giải pháp cho các vấn đề riêng biệt trong lĩnh vực làm việc/nghiên cứu của học viên.	Tự quản lý trong một bối cảnh làm việc/ nghiên cứu mà có thể đoán nhưng có khả năng thay đổi; giám sát công việc thường ngày của những người khác và đánh giá/cải thiện hoạt động công việc/nghiên cứu của họ.
3	Kiến thức về thực tế, nguyên tắc, quy trình và khái niệm chung trong lĩnh vực làm việc/ nghiên cứu của học viên.	Các kỹ năng nhận thức và thực hành cần thiết để hoàn các nhiệm vụ và giải quyết các vấn đề bằng việc lựa chọn, sử dụng các phương pháp, cách tiếp cận, vật liệu và thông tin cơ bản.	Trách nhiệm hoàn thành công việc hoặc nghiên cứu; khả năng thích nghi hành vi của bản thân học viên với bối cảnh giải quyết vấn đề cụ thể.
2	Kiến thức cơ bản trong lĩnh vực làm việc/ nghiên cứu của học viên.	Các kỹ năng thực hiện nhiệm vụ bằng việc áp dụng những quy chế và cách tiếp cận đơn giản, cũng như các kỹ năng nhận thức và thực hành cơ bản cần thiết để sử dụng thông tin liên quan nhằm giải quyết các vấn đề thường nhật.	Tự chủ ở mức độ nhất định để làm việc và nghiên cứu dưới sự giám sát.
1	Kiến thức chung cơ bản.	Các kỹ năng cơ bản cần thiết để thực hiện những nhiệm vụ đơn giản.	Khả năng làm việc hoặc nghiên cứu trong bối cảnh theo cấu trúc dưới sự giám sát trực tiếp.

*1 Các kỹ năng đa chiều (nhận thức) và chuyên môn (thực hành) được mô tả.

*2 Khả năng áp dụng kiến thức, các kỹ năng một cách độc lập và có trách nhiệm được mô tả.

Tiêu chí các bậc

Bậc 8: 15-20 năm sau khi tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (ở độ tuổi 35-40), Bằng Tiến sĩ

Bậc 7: 10-15 năm sau khi tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (ở độ tuổi 30-35), Bằng Thạc sĩ, Bằng Thạc sĩ Chuyên môn

Bậc 6: 5-10 năm sau khi tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (ở độ tuổi 25-30), Bằng Cao đẳng cao cấp, Bằng Cử nhân, Bằng Cử nhân Chuyên môn

Bậc 5: Tốt nghiệp khoa đào tạo chuyên ngành trường chuyên môn (2) (20 tuổi), Chứng chỉ tốt nghiệp, Bằng Cao đẳng, Bằng Cao đẳng Chuyên môn, Chức danh Cử nhân

Bậc 4: Tốt nghiệp khoa chuyên ngành trường chuyên môn (1) (19 tuổi)

Bậc 3: Tốt nghiệp Trung học phổ thông (18 tuổi)

Bậc 2: Tốt nghiệp Trung học cơ sở (15 tuổi)

Bậc 1: Tốt nghiệp Tiểu học (12 tuổi)

資料 3 学修成果指標

●美容分野－美容師職種

学修成果指標 (美容分野 - 美容師職種)						
レベル	技能			責任と自律性		
	汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能	
6	<p>✦ 美容分野の最先端にある新しく、批判的に分析・評価し、総合的に対応する技術。また、既存の概念や業務の高度化を図る技能。</p> <p>✦ ビューティビジネスの諸領域と学際的な各領域の知識・医療・福祉・介護・IT・その他関連領域</p> <p>✦ 美容分野、美容相談分野における有力な業界団体のリーダーと交流を図るための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの短期、中長期経営計画の立案を図るための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p>	<p>✦ 専門的かつ革新的な美容サービスの研究・創造</p> <p>✦ 付加価値の高い美容サービスの開発・マネジメント</p> <p>✦ 美容業界を代表する形での成果の表出</p> <p>★ レベルの高いイメージ構築、企画、商品開発、マネージャー、マネジメント</p>	<p>✦ 美容分野、美容相談分野における有力な業界団体のリーダーとの交流</p> <p>✦ 美容分野、美容相談分野における有力な業界団体のリーダーとの交流</p>	<p>✦ 経営・業務活動の質を高めるために、既存の手法/方法論を利用/選択/改良/刷新する、あるいは適切な新しい手法/方法論を開発</p> <p>✦ 美容サロンの経営分析などにおいて、数値データや図表データの批判的評価</p>	<p>✦ 美容サロンの短期、中長期経営計画の立案</p> <p>✦ PDKAサイクルの展開</p> <p>✦ 組織的倫理対応のリーダーシップ</p>	<p>✦ 組織的倫理対応のリーダーシップ</p> <p>✦ 倫理的、職業上の新たな課題を、美容分野における研究や、その発展への影響の明確化</p> <p>✦ 社会的、技術的、経済的変遷に美容師の立場から貢献</p>
7	<p>✦ 先進的な美容技術、美容サービスを習得し、高度な知識・批判的思考、創造能力</p> <p>✦ 批判的で高度な美容サービスを提供し、その発展に貢献する</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p>	<p>✦ 先進的な美容技術、美容サービスを習得し、高度な知識・批判的思考、創造能力</p> <p>✦ 批判的で高度な美容サービスを提供し、その発展に貢献する</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p> <p>✦ 美容サロンの経営の課題を把握し、経営計画の立案・評価・改善・修正を行うための知識(経理、労務、証券、マーケティングなど)</p>	<p>✦ 美容業界における多様な立場の人々、異業種の人々と連携し、協力しながら仕事を進めることができること</p> <p>✦ 自己理解と他者理解を相互に高め、部下との適切なコミュニケーションを図る技能</p>	<p>✦ 美容サロンの運営に関する正確な現状分析とその結果に基づき、基本的な評価技能に必要に応じて、部分的にスマートフォンの活用技能</p>	<p>✦ 組織において、適切なマネジメントに結びつく、自主性、主体性、リーダーシップの発揮</p> <p>✦ 業績かつ予算がつかない状況下で、自分のチーム内の状況や他チームとの関係性、組織の状況、人事・労務、作業管理、顧客満足度の向上、モチベーションの向上、チームワークの向上、自己管理能力の向上、顧客満足度の向上、チームワークの向上、自己管理能力の向上、顧客満足度の向上</p>	<p>✦ 職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る考え方</p> <p>✦ ベンチャー事業あるいはプロジェクトを起し、そのリーダーになったりすること</p> <p>✦ タイフワーク・パフォーマンスを向上させること</p> <p>✦ 自身のモチベーションを向上させること</p>

レベル	技能					責任と自律性	
	知識と理解	汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能	自律性と責任感
<ul style="list-style-type: none"> ★ 学習者プロフィール ★ 学習者としての一般理解・原理に即するひととその他の知識の獲得 ★ 学習者としての基本的な技能の獲得 ★ 美容サロンの一員としての職能発揮 ★ 美容サロンにおいて必要な職業人意識、職業倫理 ★ 美容学校卒業後2～3年程度の実習を想定。アシスタント、もしくはスタイリストデビュー後1～2年 ★ レベル6のイメージ（わかる）、美容師、ジュニアスタイリスト 	<ul style="list-style-type: none"> □ 美容/仕事の内容が明確になつている場合、最低限の理論/専門用語の認識・理解・活用・評価 □ 明確でありふれた問題や、日常的に見られる性質の問題の解決 <p>基礎的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トリートメント ・ ヘッドスバ ・ カラー ・ パーマ ・ プロ-&スタイリング ・ カット ・ デザイン <p>その他、組織特有の基礎的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 次のヘア関連領域の基礎的知識 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛髪知識 ・ 美容知識 ・ トリートメント ・ 販売品の商品知識 ・ その他、組織特有の基礎的知識 □ 水の美容関連領域の基礎的知識（美容サロンで必要となる知識） <ul style="list-style-type: none"> ・ サロンにおける接客サービス ・ 美容商品の提案、販売方法 ・ メイカアップ、化粧品 ・ 着付け ・ マッサージ、エステティシアン ・ ネイル ・ ホットエッセンス ・ その他、組織特有の基礎的知識 	<ul style="list-style-type: none"> □ コミュニケーション能力 ・ 最低限のヘア/美容/基礎的知識 ・ 積極的に関わりあう姿勢 ・ 組織の発展に貢献する意欲 ・ 組織の一員として円滑に業務を遂行するために必要な調整力と意思疎通の能力 	<ul style="list-style-type: none"> □ 基本的な資料作成能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接客及び管理の日報/帳簿 ・ PCやスマートフォンを介して、資料を作成する能力 □ 基本的なプレゼンテーション能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した資料を他者が共有できるように共有する能力 ・ PCやスマートフォンなどを活用し、社会一般に公表、発表する能力 (SNS など) 	<ul style="list-style-type: none"> □ マネジメント能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織や技術を承継する能力 ・ 作成した資料を他者が共有できるように共有する能力 ・ PCやスマートフォンなどを活用し、社会一般に公表、発表する能力 (SNS など) 	<ul style="list-style-type: none"> □ マネジメント能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織や技術を承継する能力 ・ 作成した資料を他者が共有できるように共有する能力 ・ PCやスマートフォンなどを活用し、社会一般に公表、発表する能力 (SNS など) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚や自覚心(仕事への責任感)を保持している (受命者としての誇り、仕事に対する意欲及び責任感、及び技術的経験と修得する為の問題解決に取り組む姿勢) □ 自己管理能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識、及び技術的経験を修得する為の問題解決に取り組む姿勢 ・ 自分のおかれた状況を理解し、自分の力で解決している ・ 技術向上に関して、積極的に取り組むことができる □ 組織の一員としての円滑な業務の遂行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な業務遂行を促す姿勢と完全な責任感 □ 今後自分の業務の発生に対応する為の考え方や真摯な姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> □ 社会的規範を理解し、コンプライアンス意識を持つ行動 □ 個人情報やプライバシーに関する情報やプロ意識の厳守

		技能					責任と自律性		
		知識と理解	汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能	自律性と責任感	倫理観とプロ意識
レベル	<ul style="list-style-type: none"> 各分野となるために必要な基礎的理論・原理をひととおり理解 各分野としての仕事をひととおり理解 職業人意識や職業倫理に対する前向きな姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 各分野免許の取得に必要な次の科目における学習 <ul style="list-style-type: none"> 基礎理論と理解 衛生管理・制度 衛生管理 美容保健 美容の物理・化学 美容文化論 美容技術論 美容経営管理 国家試験の試験内容 美容師免許取得後に必要な実践的な知識と職業訓練 <ul style="list-style-type: none"> 外部訓練による指導 実践的な知識と職業訓練 外部訓練による指導 	<ul style="list-style-type: none"> 知識や、よく知っている手法、ノウハウを活用して、定型的な問題を解決する技能 	<ul style="list-style-type: none"> 次に示す美容師としての実践的技術項目のそれぞれに <ul style="list-style-type: none"> 基礎理論と理解 実践的知識と職業訓練 各種実践技能 各種実践技能 <ul style="list-style-type: none"> カラーやパーマなどの施術を使用した実践技能 デザイン的思考の基礎技能 その他施術の経験、及び資格取得に必要な実体験の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 習得される学習成果を修得する為、本コースで必要とされる知識や技術を修得する能力 職場での適切な対人関係構築を築く能力 職場での適切な対人関係構築を築く能力 先、先輩、後輩と良好な関係を築くコミュニケーション能力 	<ul style="list-style-type: none"> 原料作成及びブレンド、カラーやパーマなどの実践的知識と職業訓練 SNS活用技術なども含む 	<ul style="list-style-type: none"> 最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事をこなす能力 学習/仕事の場内で、相手に助言を与える能力 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に対する意欲及び責任感 知識及び技術的修練を修得するための問題解決に原動力となる 国家資格を原動力とし、業務遂行の仕様に誇りや責任感としての自覚と自覚心、仕事に対する情熱 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的規範を理解し、社会及び学校生活を営むに必要とされるマナーやコンプライアンス意識を持つ行動

●ゲーム・CG分野ーゲームクリエイター職種

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性					
			職務上の技能				専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能	自律性と責任感	倫理観とプロ意識
			汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	分析技能						
8	<ul style="list-style-type: none"> 最先端技術もしくは五感制御における技術応用の研究成果 ゲームデザインに関する学術研究成果の発表経験 ゲームにおける論文査読立論と、自身の研究結果と学術指導経験 ゲームにおける書籍、論文の発表 応用技術を用いたタイトルに実装したた経験 ワールドワイドカンファレンスでの発表経験 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術の理解と、五感制御の理解の応用研究 ゲームデザインの検証 研究と成果発表 一般普及における訴求力の知識と実証的証明 発想における特殊性の学術体系化 ハイクラス・サイクルへの理解 	<ul style="list-style-type: none"> 他業種を含めた書籍の収集技能 先端技術のサイクルを理解し、次の技術を正しく予測できる技能 技術を分析し、広く伝えるようにする技能 	<ul style="list-style-type: none"> 他業種を含めた交渉、調整能力 技術を体系化し理解し、やがてい形にまとめる資料作成技能 情報を広める場の設定と運営 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端技術の正確に理解できる知識を適用する能力 先端技術のハイブ・サイクルを理解した、予測、分析能力 	<ul style="list-style-type: none"> 高度な専門知識を使い、業務上の課題を解決し、将来必要な技術を予測し先行して開発する技能 	<ul style="list-style-type: none"> 他業種を含めた交渉、調整能力 技術を体系化し理解し、やがてい形にまとめる資料作成技能 情報を広める場の設定と運営 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端技術の正確に理解できる知識を適用する能力 先端技術のハイブ・サイクルを理解した、予測、分析能力 	<ul style="list-style-type: none"> 部下を指導する能力 業務をスケジュール内に進める技能 部下の育成 技術へのセキュリティ管理と法的理解 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端技術の学習する責任 使用する技術にかかわる、時間を正しく把握する責任 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端技術の運営と維持への関与 広い層に對しての技術の応用事例の提示 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術の応用事例の指導 五感制御における応用事例の指導 ゲームデザインの学術研究における論文発表 ゲーム制作における体系的な指導経験 ゲーム制作における指導的役割での発表 市場向けタイトル開発経験 ワールドワイド技術カンファレンスでのセッション発表経験 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術と五感制御の理解 ゲームデザインの研究と論文発表 ゲーム制作における体系的学術研究 チーム、個人のゲーム制作における学術的指導経験 ゲームデザインの学術的体系化 ワールドワイドにおける法的知見 	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術に精通し開発もする技能 技術を、体系化し、まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容の迅速かつ的確な説明能力 チーム内の問題解決能力 	<ul style="list-style-type: none"> 技術の分析できる知識を適用する能力 先端技術を開発する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 部下を指導する能力 業務をスケジュール内に進める技能 先端技術を開発する能力 チーム内の問題解決能力 	<ul style="list-style-type: none"> 高度な専門知識に基づいた選択する技能 	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容の迅速かつ的確な説明能力 チーム内の問題解決能力 	<ul style="list-style-type: none"> 部下を指導する能力 業務をスケジュール内に進める技能 先端技術を開発する能力 チーム内の問題解決能力 チームへのセキュリティ管理と法的理解 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端の専門知識を学習する責任 使用する技術にかかわる、時間を正しく把握する責任 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端技術の正しい評価 技術への正しい評価 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 先端技術の知見 ゲームデザインの論文発表経験 ゲーム制作におけるチームレベルディメンタのマネジメント経験 ゲーム制作におけるエンジニアの役割と知見 チーム、個人におけるゲーム制作の指導経験と知見 技術カンファレンスにおけるセッション発表経験 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームチーム制作マネジメントとディレクション プロジェクトリーダーとしての役割 ゲームマーケティングの法的知見 	<ul style="list-style-type: none"> 開発におけるコストの計算技能 	<ul style="list-style-type: none"> 職種、学年、他団体を超えた協働と連携 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトが正確に進められるかどうか分析する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 進捗管理、リソースと仕様のパフォーマンス管理 制作進行管理 一般的な法的理解 	<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術の選別に際する正当性の説明責任 開発を最後まで導く責任 	<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術の正しい選択に関する意識 				

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性	
			汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	職務上の技能	分析技能	管理・指導技能
5	<ul style="list-style-type: none"> □ 応用技術の知見 □ ゲームデザインの実践経験 □ ゲーム制作の個人もしくは、チーム制作への参加経験 □ ゲーム制作の企画内容の判断 □ 2D、3D、モーション制作におけるコンセプトの開発プロセスの経験 □ チームセルデザイン経験 □ ネイションワイドのコンテスタント経験 	<ul style="list-style-type: none"> □ プログラムに必要な数学・物理 □ ゲーム個人制作 □ モバイルゲームアプリ制作知識 □ 企画書個人制作 □ CG個人制作 (ポータルサイト制作) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 制作スケジュールの立案 □ 自己作品のアピールのためのプレゼンテーション能力 □ 企画提案力 □ 企画修正力 	<ul style="list-style-type: none"> □ ゲーム物理 (リアル表現) □ 描画エンジン制作 □ ゲームAI技術とアルゴリズム □ サウンドエフェクト、3Dサウンド □ モバイルゲーム開発技術 □ オンラインゲーム制作技術 □ 質感表現能力 (シェーダー・テクスチャ・ライティング) □ 3Dスケルトンモデリング技術 □ 企画会議シミュレーション □ ゲームエンジンプログラミング (企画) □ ドキュメントレイアウト 	<ul style="list-style-type: none"> □ 論理的伝達技法 □ 作品プレゼンからの改善 □ ディスカッション技法 □ チームメンバーの意見、考案の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> □ チーム制作メンバーの役割を理解した行動 □ チーム制作でのコミュニケーション能力 □ コミュニケーションツールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> □ 指定された技術を使用し、業務を遂行する責任 	<ul style="list-style-type: none"> □ 業務に必要な技術の習得に対する意識
	<ul style="list-style-type: none"> □ 技術の知見 □ ゲーム制作における基礎プログラムの知識 □ 2D・3Dの描画理論 □ ゲーム制作の企画手法 □ 2D、3D、モーションのツール群の使用 □ 個人、チームによるゲーム制作の経験 □ 技術カンファレンスへの参加経験 	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報処理の基礎 □ ゲーム制作理論 □ アログラミング理論 □ 2D・3Dの描画理論 □ ゲームエンジンの制作手法 □ 色彩・質感の知識 □ チーム制作業務の進め方 □ ゲーム業界知識 	<ul style="list-style-type: none"> □ ビジネス文書作成スキル □ 企画発想力・構成力 	<ul style="list-style-type: none"> □ C言語プログラミング □ C++とオブジェクト指向プログラミング □ 2D・3Dゲームプログラミングと描画理論 □ シュータールプログラミング技術 □ ゲーム数学 □ レベルデザイン □ ゲーム仕様書作成 □ チューリアール制作 □ 2D・3Dデザインツールの操作 □ 基礎画力・観察力・構成員力・描写力 □ UI/UXデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> □ 教えられた知識を正しく分析できる能力 	<ul style="list-style-type: none"> □ チーム制作での役割理解 □ 3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動 	<ul style="list-style-type: none"> □ 指示された範囲の業務に対する責任 □ 業務の遅れに関する報告責任 	<ul style="list-style-type: none"> □ 指示された技術の習得の正しい理解に対する心掛け
4								

● 土木・建築分野－土木施工管理職種

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性	
			汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	職務上の技能	分析技能	管理・指導技能
8	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校専門課程(2)卒業後15～20年経過(35～40歳) 修士(工学)3年(博士前期/修士課程2年を含む。博士後期課程は3年) 	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な実務経験と広汎な見識 責任ある立場 土木建築分野のみならず、社会に貢献する立場にあり、成果を前出 技術士(総合技術監理部門) 特別上級土木技術者 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と、専門性 情報収集力、コミュニケーション力、実行力、問題解決能力 高度な研究手法・解析手法、技法を独力で用い、新しい問題や課題を解決し、新しい知見・理論を生み出す能力 	<ul style="list-style-type: none"> 高度な専門知識、発揮する能力 複数の分野で高度な専門的知識・設計や実施・改善する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 知識力、論理力、自己表現力のパラメータ 内外関係者に対し信頼関係を築く力 専門的な知見を整理整然と伝える能力 	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な経験、専門知識の基、技術の最新情報に精通 社会に対し多面的に貢献できる能力 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップを取る能力 プロ意識及び全面的な責任感 	<ul style="list-style-type: none"> 品位の向上、技術の研鑽 国際的な視野、公正・誠実な行動規範
7	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校専門課程(2)卒業後10～15年経過(30～35歳) 修士/博士前期:2年 修士(専門職):1.2年 法務博士(専門職):3年 教職修士(専門職):2年 学士(以下分野は6年):医学・歯学、薬学(臨床目的)、獣医学 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業法に関する監理技術者または国、県、市町村を10年以上歴任 学会、協会等に学術論文を発表することや、技術論文を投稿 技術士(各部門) 上級土木技術者 環境計画士 コンクリート診断士 	<ul style="list-style-type: none"> 洞察力、応用力、独創性 主体性・実行力、創造力 規律良く他の意見に対し真摯に傾聴し、協調性発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 折衝能力、交渉能力、獲得能力 内外関係者に対する信頼 最低一つの外国語を使い、仕事・学習に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 的確な情報収集・分析 意思決定する能力 渡渉的、定量的・定性的な手法を駆使し、分析・評価する技術 	<ul style="list-style-type: none"> 部下の指導・監督する立場 明確な現場方針を持つ 多様な関係者の利害等を調整しまとめる能力 チーム、部署内業務などの企画・監督・管理において、責任を持つ立場 	<ul style="list-style-type: none"> 公益を最優先した職業倫理性、さらには責任感を持って行動する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 自然を尊重し、安全と福祉、健康に対する責任を最優先 地域環境の保全と関連技術の活用 国際的視野に立った専門的立場で貢献
6	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校専門課程(2)卒業後5～10年経過(25～30歳) 学士(工学/専門職):4年 高度専門士:4年 	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート主任技士 1級土木技術者 1級土木施工管理技術者 1級測量師 1級測量師(管理技術) 1級管工事施工管理技術士 1級建設機械施工管理技術士 1級電気工事施工管理技術士 	<ul style="list-style-type: none"> 計画力、創造力、課題発見能力 ビジネスマナー 語学力 	<ul style="list-style-type: none"> 観察力、協調性があり観察はもとより、あらゆる人に対して常に好印象 専門知識のもと、問題点や自らの考えを正確に、理路整然と伝えることができる能力 	<ul style="list-style-type: none"> トレードオフ問題に対し、分析し最適化する能力 多様な課題を提示することができ、合理的な提案ができる能力 	<ul style="list-style-type: none"> 部下を指導する立場 経験豊富で人格があり、部下に模範を示す能力 自主的に仕事をし、各種業務管理におけるリーダーシップ・プロ意識 	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野のプロとして、しっかりと説明責任を果たすことができ 法令・規則、マナーを遵守し、リスク管理能力を発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の対象となる地域の法規・条令を遵守し、文化的価値を尊重 多様な環境・業務の中で倫理観を厳守するとともに、専門家としての行動ができる能力
5	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校専門課程(2)卒業(20歳) 短期大学士/短期大学士(専門職):2年または3年 理学士:3年、芸術科に關する学修は5.5年 専門士:2年 	<ul style="list-style-type: none"> 2級土木施工管理技術士(学科試験合格) 2級測量師(学科試験合格) 2級管工事施工管理技術士(学科試験合格) 2級建設機械施工管理技術士(学科試験合格) 	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識、一般常識、社会人としての基礎的能力(話す・聞く・書く) スケジュールに関わる各種資格取得に向けた前向きに取り組む姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 伝える能力・受け取る能力(コミュニケーション能力) 仲間から信頼される人柄 外国語にての会話、文書作成能力 	<ul style="list-style-type: none"> 出来形管理・工程管理、安全管理をはじめ、一通りの現場管理に関する理解 ITツールやメタデータを使いこなすことができる能力 	<ul style="list-style-type: none"> 部下に指示する立場、及び管理者としての責任 リーダーとして、チーム内の意見をまとめ、的確な判断・指示を下す能力 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の専門的能力の向上を図り、学理・工法の発展に励み、技術の進歩に貢献 外国の多様な専攻文化の理解や社会において、学理を行う能力 	<ul style="list-style-type: none"> 業務上知り得た秘密を、正当な理由無く他に漏らしたり、転用したりしない倫理観 地域や社会において、構想可能な社会を創るための貢献

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性		
			汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	職務上の技能	分析技能	管理・指導技能	自律性と責任感
4	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校専門課程(1)卒業、もしくは在学中(19歳) 高等学校卒業後:1年以上 中等教育学校後期課程専攻科:1年以上 特別支援学校高等部専攻科:1年以上 大学別科:1年以上 	<ul style="list-style-type: none"> 技術士補 測量士補 専門資格取得に向けて「各種専門科目」を修学 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科学(数学・物理・化学)の活用 職業理解能力、役割把握・認識能力、計画実行能力の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> CAD等での図面 図面を見て数量を計算 労働安全衛生法及び同規則の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 的確な報告・連絡・相談 単独またはチームメンバーの一員として、管理者や同僚・部下と効果的な交流 外国語にての日常の会話 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集能力があり、的確な観察力・洞察力 数値・図表・画像データを活用する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 上司等よりの指示、指導を受け、広い視点のものと考え方の幅や創造力を養い、技術者としての学知を十分蓄積する能力 各種チームのまとめ及び管理を担う能力 	<ul style="list-style-type: none"> 指導を受け、責任感と自主性をもち、仕事及び専門知識の習得に専念 地元・地域社会づくりに対し、積極的に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 常に専門技術の力量並びに技術と社会が接する領域の知識を有する 倫理的な行動
3	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校卒業(18歳) 高等学校:3年(全日制)・3年以上(定時制・通信制) 中等教育学校:後期3年 特別支援学校高等部:3年 高等専門学校本科:5年(うち「修了」の対象は本科1・3年) 専修学校高等課程:1年以上 	<ul style="list-style-type: none"> 土木技術に対する基礎的な見解 	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校学習指導要綱に基づく十分な学力・能力 専門分野の知識修得に對し意欲旺盛 	<ul style="list-style-type: none"> 建設に対する興味 基礎科学(数学・物理・化学)が得意 教師の意匠のもと、適切な情報や手法を駆使して問題を解決する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 団体活動、チーム活動の中において主導的な役割経験 外国語にての初歩的な日常の会話 	<ul style="list-style-type: none"> 物事の事象に対する論理的な思考能力 ITツールを利用・活用する能力 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな表現力 解決すべき問題を先延ばししない精神 自主的な学習に対する成果・成績について真摯に向き合う姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 社会人としての一般知識、基礎力・マナー 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を良く聞き、理解し、正確に伝える能力 素早く配属にとどめることができる能力 課題問題について関心をもち、何らかの関わりを持つた経験

注:1.「学習者プロフィール」欄記載修業項目に関しては、標準的な修業年限である。
2.「知識と理解」欄記載の資格に関しては、取得した場合、当該レベルとみなされる目安である。

資料 4 ガイドライン

●美容分野－美容師職種

ガイドライン（美容分野－美容師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
美容	美容師	8	知識と理解	ビューティビジネスの語領域と学際的交流を図ることが可能な各領域の知識	・医療 ・福祉・介護 ・IT ・その他関連領域
				美容分野、美容関連分野における有力な業界団体のリーダーと交流を図るための知識と理解	
				美容サロンの短期、中長期経営計画の立案を図るための知識	・経理 ・会計 ・法務 ・マーケティング
				美容分野の最先端にある新しく複雑な抽象概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的に対応する技能。また、既存の概念や実務の高度化を図る技能	
				独創的かつ革新的な美容サービスの研究・創造	
				付加価値が高い美容サービスの開発・マネジメント技能	
				ビューティビジネスの語領域と他領域の学際的研究とその成果の実現	
				組織的な研究活動の実践	
				美容分野、美容関連分野における有力な業界団体のリーダーとの交流	
				対人技能	
分析技能	研究・実務活動の質を高めるために、既存の手法／方法論を利用／選択／改善する、あるいは適切な新しい手法／方法論を開発				
	美容サロンの経営分析などにおいて、数値データや図表データの批判的評価				
管理・指導技能	美容サロンの短期、中長期経営計画の立案				
	美容サロン経営の適切なPDCAサイクルの実践				

指針の空欄部分は、来年度検討事項である

ガイドライン（美容分野—美容師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				組織的倫理対応のリーダーシップ	
			自律性と責任感	自分自身の仕事について、全面的に責任を負う責任感 必要に応じて、所属する組織の運営管理全般に対する説明の責任感 生涯学習に対する知見と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合	
			倫理観とプロ意識	組織的倫理対応のリーダーシップ 倫理上、職業上の新たな課題を見いだし、その複雑さや、美容分野における研究の進展や社会全体への影響の明確化 社会的、技術的、経済的発展に美容師の立場から貢献	
美容	美容師	7	知識と理解	ビューティビジネスの展開に必要な次の各領域の知識 経営の各領域に関する基礎的知識 高度な技術、手法、技能を活用して、新しいアイデア/画期的な実践法を産み出すためのアプローチを幅広く、総合的に、知識を批判的・統合的に応用し、美容分野における複雑な課題に対処し解決する諸技能（ハイレベルなクリエイティブ思考） 美容サロンの運営の実践技能	美容市場動向 美容マーケティング サービス産業特性 プライベートビジネス ヘルスクアアビジネス コスメティックビジネス ファッションビジネス 美容サロンの起業・財務・経営計画 ブランディング 顧客視点経営
			汎用的な技能		
			専門実践技能		

ガイドライン（美容分野－美容師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				美容サロン経営のPDCAサイクル諸局面における補佐的業務の実践	
				ビューティビジネスの次の諸領域におけるビジネスの運営	ブライダルビジネス ヘルスケアビジネス コスメティックビジネス ファッションビジネス
			対人技能	美容業界における多様な立場の人々、異業種の人々と円滑なコミュニケーションを行うことができ、その能力を活かして、協力しながら仕事を進めることができるチームビルディングの能力	
				自己理解と他者理解を両立させ、部下との適切なコミュニケーションを図る技能	
			分析技能	美容サロンの運営に関する正確な現状分析とその結果に基づき基本的な評価技能	
				ビジネスを円滑かつ効率的に進めるために必要なPC、スマートフォンを活用技能	
			管理・指導技能	職場において、適切なマネジメントに結び付き、自主性、主体性、リーダーシップの発揮	
				複雑かつ予測がつかない状況下で、自分のチーム内の作業や他チームとの協働作業の企画、資源管理、監督、問題解決、人事・労務・作業管理	
				従業員のモチベーションマネジメント	
			自律性と責任感	職業人として成長を続けることにより自己の向上を図る考え 方	
				ベンチャー事業あるいはプロジェクトを起こしたり、そのリーダーになつたりすること	
				ライフワークバランス感覚	

ガイドライン（美容分野－美容師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				自身のモチベーションマネジメント	
			倫理観とプロ意識	組織としての倫理的対応実践	
				批判的洞察や倫理的配慮に基づき、複雑な問題について助言や決定を行う自信	
				国や世界の社会的、技術的、経済的発展のために、美容師としての立場で貢献	
				市民社会や世界が抱えるさまざまな問題に、美容分野で取り組む能力を発揮	
美容	美容師	6	知識と理解	ヘア技能領域に関わる実践的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー ・トリートメント ・ヘアケア ・スキヤルケア ・ヘッドスパ ・カラー ・ファッションカラー ・グレイカラー ・パーマ ・ウエーブ ・ストレート ・縮毛矯正 ・ブロー&スタイリング ・カット ・デザイン ・その他、組織特有の基礎的知識

ガイドライン（美容分野－美容師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				ヘア関連領域の実践的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・毛髪知識 ・薬剤知識 ・カラー ・パーマ ・トリートメント ・販売用の商品知識 ・ヘアケア ・スタイリング ・その他、組織特有の基礎的知識
				美容関連領域の実践的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンにおける接客サービス ・美容商品の提案、販売方法 ・メイクアップ、化粧品 ・着付け ・マツパーズ、エステティック ・ネイル ・まつ毛エクステンション ・その他、組織特有の基礎的知識
				人材育成に関する手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーチングとコーチング ・メンタリング ・カウンセリング
				美容各領域の技術的トレンド	
				美容サロン現場の生産性向上	
			汎用的な技能	美容師としての仕事において、専門的・概念的・理論的知識を詳細に認識し、解釈、応用、分析、評価する能力	
				さらにそれらの能力を用いて、美容分野の知識の活用において知的主体性を発揮する能力 あいまいで複雑な状況や予測できない状況でも、多方向からのアプローチや自主性をもって、問題や課題を解決する能力	

ガイドライン（美容分野－美容師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				サービスの創出につながるクリエイティブ思考 広範な諸問題の解決に必要なレベルのロジカルシンキング能力	
			専門実践技能	美容師としての実践的技術項目において問題解決に必要な技能	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー ・トリートメント ・ヘアケア ・スキルブケア ・ヘッドスパ ・カラー ・ファッションカラー ・グレイカラー ・パーマ ・ウェーブ ・ストレート ・縮毛矯正 ・ブロー&スタイリング ・カット ・デザイン ・その他、組織特有の必要最低限の技能
				革新的で創造性に富む高度な美容サービスの創出	
				インストラクション、トレーニング等人材育成に関する次の実践的技術	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師新人研修 ・スタイリスト研修 ・その他幅広い研修
			対人技能	顧客との円滑なコミュニケーションの実践能力	
				円滑なミーティングの実施に必要なコミュニケーション技能	
			分析技能	美容サロンの顧客管理につながるPCやスマートフォン等の操作（SNSの活用等）	
				PCやスマートフォンを活用した効果的で説得力のあるプレゼンテーション技能	

ガイドライン（美容分野－美容師職種）

分野	職種	レベル	人材特性 管理・指導技能	項目	指針
				多様な組織的枠組みや制約の下で、自主的に仕事を進め、各種業務管理でリーダーシップを発揮する能力	
				後輩に対する適切な指導能力	
				組織の他者に対する業績の評価	
			自律性と責任感	組織の一員としての責任感	
				自分や他者の業務について、相当レベルの責任感	
				美容師としての自覚と誇りを持って後進の育成にあたる責任感	
				美容の社会的位置づけの正しい認識に裏付けられた美容師としての誇りを持った自己管理	
				自身のキャリアパスの明確化（キャリアディベロップメント）	
				自身の活動を効率的にするタイムマネジメント	
				自身に発生するストレスを軽減・コントロールするためのストレスマネジメント	
			倫理観とプロ意識	社会的・職業上の多様な環境や実務の中で、倫理観を遵守し、倫理上の課題を明らかにし、倫理観を持って決定し、美容師として行動をする能力を発揮	
				地域や世界が抱える科学、技術、ビジネス、社会、環境の課題について、深い認識と知識	
				地域や世界で、持続可能な社会をつくるために美容師の立場から貢献	

ガイドライン（美容分野－美容師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
美容	美容師	5	知識と理解	次のヘア技能領域に関わる基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー ・トリートメント ・ヘアケア ・スキャルケア ・ヘッドスパ ・カラー ・ファッションカラー ・グレイカラー ・パーマ ・ウエーブ ・ストレート ・縮毛矯正 ・ブロー&スタイリング ・カット ・デザイン ・その他、組織特有の基礎的知識
				次のヘア関連領域の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・毛髪知識 ・薬剤知識 ・カラー ・パーマ ・トリートメント ・販売用の商品知識 ・ヘアケア ・スタイリング ・その他、組織特有の基礎的知識

ガイドライン（美容分野－美容師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				次の美容関連領域の基礎的知識（美容サロンで必要最低限な範囲）	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンにおける接客サービス ・美容商品の提案、販売方法 ・メイクアップ、化粧品 ・着付け ・マッサージ、エステティック ・ネイル ・まつ毛エクステンション ・その他、組織特有の基礎的知識
			汎用的な技能	<p>学習／仕事の内容が明確になっている場合、最低限の監督を受けて、一般概念／理論／運用原理の認識・解釈・適用・評価</p> <p>明確でありふれた問題や、日常的に見られない性質の問題の解決</p>	
			専門実践技能	次に示す美容師としての実践的技術項目のそれぞれについて、問題解決に必要な最低限な技能	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー ・トリートメント ・ヘアケア ・スキャルブケア ・ヘッドスパ ・カラー ・ファッションカラー ・グレイカラー ・パーマ ・ウェーブ ・ストレート ・縮毛矯正 ・ブロー&スタイリング ・カット ・デザイン ・その他、組織特有の必要最低限の技能

ガイドライン（美容分野－美容師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
			対人技能	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> 最低限のマナーを踏まえた接客能力及び会話の能力 職場の同僚、先輩、後輩との良好な関係を築く姿勢と会話の能力 組織の一員として円滑に業務を遂行するために必要な洞察力と意思疎通の能力
			分析技能	基本的な資料作成能力	<ul style="list-style-type: none"> 学習及び習得した経験や技能を整理整頓する能力 PCやスマートフォンを操作し、資料を作成する能力
				基本的なプレゼンテーション能力	<ul style="list-style-type: none"> 経験や技能を表現する能力 作成した資料を他者が共感できるように共有する能力 PCやスマートフォンなどを使用し、社会一般に公表、表現する能力（SNSなど）
			管理・指導技能	さまざまな状況で実施される明確で非定型的な学習／任務について、幅広い助言や指導を受けて、かなりの責任感と自主性をもって仕事をする技能	
				職場で各種チームの統率と管理を行い、問題に対処する技能	
			自律性と責任感	美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚や自尊心、仕事に対する情熱を持っている（美容師としての誇り）	<ul style="list-style-type: none"> 仕事に対する意欲及び責任感 知識、及び技術的経験を修得する為の問題解決に取り組み姿勢
				自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> 自分のおかれた状況を理解することができている 技術向上に関して、計画的に取り組みることができる
				組織の一員としての円滑な業務の遂行	<ul style="list-style-type: none"> 自己だけでなく他者との共同作業をする姿勢と完遂する責任感
				不確実な事態の発生に対応する為の考え方や真摯な姿勢	
			倫理観とプロ意識	社会的規範を理解し、コンプライアンス意識を持った行動	
				個人情報やプライバシーに配慮	
				守秘義務の順守	

ガイドライン（美容分野－美容師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
美容	美容師	4	知識と理解	美容師免許の取得に必要な次の各科目における学習項目の知識の獲得と理解	<ul style="list-style-type: none"> 関係法規・制度 衛生管理 美容保健 美容の物理・化学 美容文化論 美容技術理論 美容運営管理 国家試験の試験内容
				美容師免許取得後に必要な実践的な知識と職業訓練	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による指導 カット理論 カラーやパーマなどの薬剤を使用した技術的知識 デザインの思考と実践的知識 その他技術的経験、及び資格取得に必要な実体験の習得 インターンシップによる職場体験
			汎用的な技能	知識や、よく知っている手法、スキルを活用して、定型的任務／学習の予測できる問題を解決する技能	
			専門実践技能	次に示す美容師としての実践的技能項目のそれぞれについての基礎的な技能	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験の実践技能 各種実技授業 カット理論の実践技能 カラーやパーマなどの薬剤を使用した実践技能 デザインの思考の実践技能 その他技術的経験、及び資格取得に必要な実体験の習得
			対人技能	望まれる学習成果を修得する為、先生や両親など進路相談をする関係者と信頼関係を築く能力	
				職場で必要な対人関係構築能力を習得するため、同級生、先輩、後輩と良好な関係を築くコミュニケーション能力	
			分析技能	資料作成及びプレゼンテーションスキル（PCやスマートフォンなどを使用したSNS投稿技術なども含む）	
			管理・指導技能	最低限の指導監督で、かなり自主的に仕事をする能力	

ガイドライン（美容分野－美容師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				学習/仕事の枠内で、相手に助言を与える能力	
			自律性と責任感	卒業に対する意欲及び責任感	
				知識及び技術的経験を修得するための問題解決に取り組む姿勢	
				国家資格を取得し、美容師及び美容の仕事に携わる者としての自覚と自尊心、仕事に対する情熱	
			倫理観とプロ意識	社会的規範を理解し、社会及び学校生活を送るにあたり、コンプライアンス意識を持った行動	

●ゲーム・CG分野—ゲームクリエイター職種

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
ゲーム・CG	ゲームクリエイター	8	知識と理解	先端技術の理解と、五感制御の理解の応用研究 ゲームデザインにおける検証研究と成果発表 一般普及における訴求力の知識と実証検証結果 発想における特殊性の学術体系化 ハイク・サイクルへの理解	人間の五感・思考に対するアローチのあるコンテンツ応用の知見を持ち、コンピュータ先端技術の機能理解とコンテンツ展開における人や市場に対する研究結果を持つ。 ゲーム制作におけるシナリオやアライアメントに限らず、面白さに関しての考察と、機能分析、取り巻く環境も含めた市場動向も加味した知見と研究成果を持つ。 ゲームエンジンや、カテゴリーの分類だけでなく、周辺情報を含めた分析、機能から見た組み合わせの検証結果を持つ。 モーターによる分析などを含めたゲーム制作と知見と研究結果を持つ。 ゲームコンテンツの制作における発想に関して、体系化された取得方法に関して知見と検証結果を持つ。 ハイク・サイクルにおける技術の特質を理解している。
			汎用的な技能	他業種を含めた情報の収集技能 先端技術のスキルを理解し、次の技術を正しく予測できる技能 技術を分析し、広く使えるようにする技能	分野を問わず多くの知見を異業種に求める姿勢と、膨大な情報に対する探求心を持つ。 先端技術のスキルを理解し、過去の手法や基本技術を現状に合わせる応用力を持つ。 技術を構成する機能を理解し、現状課題に対しての適応させる応用力を持つ。
			専門実践技能	高度な専門知識を使い業務上の課題を解決に導く技能	特定分野における知見から問題解決に向けた技術の応用力を持つ。
			対人技能	将来に必要な技術を予測し先行して開発する技能 他業種を含めた交渉、調整能力 技術を体系化した理解しやすい形にまとめる資料作成技能	基本技術の研究から、発展していく機能に関してプロタイプ制作を行う技能を持つ。 特定分野に固執せず、多分野での調整能力と、マルチ展開を図る交渉力を持つ。 基本、応用、先端技術を体系的に理解できずドキュメント作成能力を持つ。
			分析技能	情報を広める場の設定と運営 最先端技術を正確に理解できる知識を適用する能力	知見、技術と同業、他業種を含んだコミュニケーションの形成や運営を行う能力を持つ。 最先端技術を正確に理解できる知識を適用する能力を持つ。
			管理・指導技能	先端技術のハイク・サイクルを理解した、予測、分析能力 開発における課題を発見する能力	先端技術のハイク・サイクルを理解した、予測、分析能力を持つ。 開発における内外の課題を発見する能力を持つ。
			自律性と責任感	ナレッジ理論を応用した開発における細微管理 最先端技術を学習する責任	ナレッジ理論を応用した開発における細微管理の体制化を行う能力を持つ。 最先端技術を学習し取得する責任を持つ。
			倫理観とプロ意識	技術を汎用化させる際の仕組み構築 開発した技術を運営し持続させることへの関与	技術の真意と持続性のある運営を行う能力を持つ。 技術を思い込み込みする事なく、広く知見を共有し、周辺への広げられる運営を行う能力を持つ。
ゲーム・CG	ゲームクリエイター	7	知識と理解	広い層に対する技術の応用制の提示 ゲームデザインの研究と論文発表に関する知識、理解がある。 ゲーム制作における体系的学術研究を進めることができる。 チーム、個人のゲーム制作における学術的指導経験がある。 ゲームデザインの学術的体系化を理解できる。	技術の汎用事例を知見として広めるための手法としてオンラインでの活動を行っている。 コンピュータ先端技術のコンテンツへの実証経験と、人間の五感に対してのアローチを行った実証経験を持つ。 ゲーム制作におけるシナリオやアライアメントに限らず、面白さに関しての考察された文脈の知見と理解を持つ。 ゲームエンジンや、カテゴリーの分類だけでなく、周辺情報を含めた分析の文脈への理解と知見を持つ。 分散制作、スクリーン管理、チームマネージメント、バグトラッキング、制作における見極め、シロク能力を持った制作の指導経験がある。 ゲーム制作における学術的体系的知見、専門分野における知識の導入内容を分析能力と、環境情報を含めた知見を持つ。
			汎用的な技能	ワールドワイドにおける法的知見を持っている。	各国の基本方針、憲法、民法、商法を背景に、一般的な認識における判断の速い、習慣、人種、宗教、教義におけるアー事項の理解、Rating機構の知見を持つ。
			専門実践技能	先端技術に精通し開発もする技能を持っている。 技術を、体系化し、まとめる技能を持っている。	先端技術の深い実証経験とそれらに伴う知見を持ち、作品としての昇華させるだけの技術力を持つ。 ミドルウェアやエンジン、フレームワークにより開発されている箇所を自分の知見で仕組みとして理解し、構築もしくは再構築できるだけの能力を持つ。
			対人技能	高度な専門知識に基づき説教を持っている。 業務内容の迅速かつ的確な説明能力を持っている。 チーム内の問題解決能力を持っている。	特定分野においての実証経験とそれらに伴う知見を持ち、なおかつ、その知見を他者に開示、説明できる技術力を持つ。 レガシー技術から、先端技術までを駆使し、案件に合った適切な解決策を提出し実証する能力を持つ。 業務内容の迅速かつ的確な説明能力を持つ。 チーム制作における要因の見極めと、対処する能力を持つ。

ガイドライン (ゲームCG分野 - ゲームクリエイター職種)

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
ゲームCG	ゲームクリエイター	6	分析技能	技術を解析できる知識を適用する能力がある。	動作環境、及び、Lowレベルの機能の自身を理解する能力を持つ。
			管理・指導技能	先端技術を独自に研究、開発する能力がある。	先端技術の実装経験を通して、技術カドでの研究と、転用もふくめた新規の開発の経験を持つ。
			自律性・責任感	部下を指導する能力を持っている。	人材管理における適切な先導する管理能力を持つ。
			倫理観・プロ意識	業務をスケジュール内に進める技能を持っている。	プロジェクトにおける制作スケジュール管理能力を持つ。
			知識と理解	部下の育成技能を持っている。	人材育成に関する技能を持つ。
			汎用的な技能	技術へのセキュリティ・管理と法的理解に関する技能を持っている。	法的な知見と、セキュリティ技術情報に関する知識と責任感を持つ。
			専門実践技能	使用する技術にかかる、時間を正しく把握する責任を感じている。	技術の正しい理解と、独自性の保持と有する責任感、時間把握能力を持つ。
				先端技術の管理意識を持っている。	先端技術の実装においてプレイヤーが人間であるという意識を持つ。
				技術への正しい評価意識を持っている。	技術及びその影響を細部において判断する能力を持つ。
				ゲームチーム制作マネジメントとタイトルデザインに関する知識・理解がある。	ゲーム制作のマネジメントの知識と理解を持ち、なおかつ実践する能力がある。
ゲームCG	ゲームクリエイター	5	汎用的な技能	プロジェクトリーダーとしての役割に関する知識と理解がある。	ゲーム制作におけるチームビルディングでの引役を担う能力を持つ。
			専門実践技能	ゲームマーケティングに関する知識と理解がある。	ゲーム制作におけるチームビルディングの知識と理解を持ち、なおかつ実践する能力がある。
			自律性・責任感	ゲームを扱う法的知見に関する知識と理解がある。	ゲーム市場の理解と分析する能力を持つ。
			倫理観・プロ意識	開発におけるコストの計算技能を持っている。	ゲーム自体及び、取っつき環境、プレイヤー、金銭、市場、世界規模の法的知見を持つ。
			知識と理解	最先端技術のプログラミング技能を持っている。	ゲーム開発におけるコア計算でまわっている能力を持つ。
			汎用的な技能	実機を使用したアプリ制作ができる。	先端技術を利用した実装をする技能を持つ。
			専門実践技能	ノートベースプログラミング (企画) の技能を持っている。	ターゲットを想定したアプリケーションの制作する能力を持つ。
				ゲームプランナー・セミの技能を持っている。	ゲーム制作における得意を伝播できる能力を持つ。
				モバイル制作の技能を持っている。	ゲーム制作の期間未からの逆算・シミュレーションを行い、必要素材の制作する能力を持つ。
				ポートフォリオ完成の技能を持っている。	ドキュメントもしくは、作品としての完成度と、自己アピールできる作品制作する能力を持つ。
ゲームCG	ゲームクリエイター	5	対人技能	ゲームエンジンCG表現の技能を持っている。	Middlewares使用しても、タイトルでも、モビルの表示およびコントロール可能な状態での表示能力を持つ。
			分析技能	職種・学年・他団体を越えた協働・連携ができる。	Global Game JAM及び、複数混合の状態にゲーム制作を行う。
			管理・指導技能	プロジェクトが正確に進められるかどうか分析する能力を持っている。	スケジュール管理と、マイルストーンを置いてのその時点での判断を行う能力を持つ。
			自律性・責任感	進捗管理、リソースと仕様のバランス管理の能力を持っている。	ゲーム制作における進捗管理、リソースと仕様のバランス管理の能力を持つ。
			倫理観・プロ意識	制作進行管理能力を持っている。	ゲーム制作における制作進行と管理能力を持つ。
			知識と理解	一般的・法的理解に基づく管理ができる。	ゲームの実装、表現において法的規則の理解と知財管理の知識を持つ。
			汎用的な技能	業務に必要な技術の選別に際する正当性の説明責任を認識している。	チームビルディングにおける、迅速手法の種類を問わず制作における意思疎通の継続事項を円滑にこなす能力を持つ。
			専門実践技能	開発を最後まで導く責任感を持っている。	ゲーム制作における的確な事象把握能力と判断力を持つ。
			知識と理解	プログラムに必要な数学・物理の知識を持っている。	主張、権利における的確な知見を持ち、倫理規定を適用しない制作を行う。
			汎用的な技能	ゲーム個人制作に関する知識を持っている。	多様なプラットフォーム間の新たな判定を教育的に理解。
ゲームCG	ゲームクリエイター	5	対人技能	モビリティゲームアプリ制作に関する知識を持っている。	個々の運動と審判手を教育・物理学的に理解。
			分析技能	企画書個人制作に関する知識を持っている。	ゲームプログラムの必要基本処理を学習し、構造と仕組みについて理解し、個人で作品を完成。
			管理・指導技能	CG個人制作 (ポータル制作) に関する知識を持っている。	モバイルゲーム (スマクゲーム) の制作経験がある。
			自律性・責任感	制作スケジュール立案できる。	シナリオの書き方を習得。最新ゲームでのレベルデザインを理解、分析、アイデアを企画書としてアウトプットできる力を習得。
			倫理観・プロ意識	自己作品のアピールのためのプレゼンテーション能力を持っている。	希望職種応募に必要なポータル制作経験。(2D・3D・キャラクター・背景・アニメーション・UI)
			知識と理解	企画の提案力・修正力がある。	詳細に対するスケジュール管理の中で個人制作とチーム制作の経験。
			汎用的な技能		作品発表会でのプレゼン経験。(持教員、学生、企業)
					論理的な話の組み立て、効果的なプレゼンテーション手法の習得と実践経験。

ガイドライン (ゲーム・CG分野 - ゲームクリエイター職種)

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
ゲーム・CG	ゲームクリエイター	4	専門実践技能	ゲーム物理 (リアル表現) に関する能力を持っている。 描画エンジン制作に関する能力を持っている。 ゲームAI技術とアニメーションに関する能力を持っている。 サウンドエフェクト、3Dサウンドに関する能力を持っている。 モバイルゲーム開発技術を持っている。 オンラインゲーム制作技術を持っている。 質感表現能力 (シェーダー・テクスチャ・ライティング) を持っている。 3Dスカルプトモデリング技術を持っている。 企画会議をコミュニケーションできる。 ゲームエンジンプログラミング (企画) の能力がある。 ドキュメント/アウトの技能がある。	<ul style="list-style-type: none"> 質点の運動の理解 (ニュートンの運動の法則) 重力・万有引力・弾性力・摩擦係数・抗力の表現 質点の衝突の理解 (力積と運動量) 質点のニュートン力学 3Dアニメーション処理を数学的に理解し、自作描画ライブラリを実装。 ゲームで使われる色々なAI技術のうち、意思決定システムや経路探索など、基本的な技術から高度で応用性の高い技術についてまで実際にサンプル構築を制作。 音声データの仕組みの理解と再生録音プログラミング、音声データ加工のプログラミング技術の習得。 iOSはSwift/Objective-CでグラフィックAPIのMetalを利用して作成、AndroidはJavaによるゲーム開発。 iOSはSwift/Objective-CでグラフィックAPIのMetalを利用して作成、AndroidはJavaによるゲーム開発。 テクニカルドキュメント 質感を表現できるスキルと描き分けのスキルの習得。 スカルプトソフトを使用し、造形に重点を置いた質感表現力の向上と能力。 企画会議を通じて他者の視点や意見を吸収し、その時に必要が情報の取捨選択力を養うとともにアイデアを広角的に育てる能力。 ゲームエンジン (Unity) を使用し、Editorの操作、スクリプト、効率の良いゲーム開発方法を習得。 レイアウトや文字組み、目標を意識したドキュメント構築を学ぶことで、企画書だけでなくゲームUIにも役立て、illustratorの技術を習得。 企画書、ゲーム内説明、チュートリアルなど、具体的なノウハウの少ない伝達技法を習得。 自分の作品に対する評価を返直し、改善し続ける力を習得。 チームで自由に発言し、意見や情報を出し合い協力し合い良い結論へと導いていく力。 ディスカッションでの「同合力」や「ファシリテーション」]
			対人技能	論理的伝達技法を身につけている。 作品レビューからの改善ができる。 ディスカッション技法を身につけている。 チームメンバーの意見、考えを尊重できる。 使用している技術を正しく理解し説明ができる能力を持っている。 チーム制作メンバーの役割を理解した行動ができる。 チーム制作でのコミュニケーション、問題解決技能を持っている。 コミュニケーションツールを活用できる。	<ul style="list-style-type: none"> 複数回、複数チーム制作の経験。 チーム制作の経験とディレクションの経験。 チーム制作の中で、コミュニケーションツールの使用経験があり、使用方法やメリットを理解している。 指示された業務内容、技術内容を理解し、進捗管理とディレクションの経験があることによる知見。
			分析技能	指定された技術を使用し、業務を遂行することに対する責任感を持っている。 業務に必要が技術の習得に対する意識を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> チーム制作の経験とディレクションの経験。 チーム制作の中で、コミュニケーションツールの使用経験があり、使用方法やメリットを理解している。 指示された業務内容、技術内容を理解し、進捗管理とディレクションの経験があることによる知見。
			自律性と責任感	業務に必要が技術の習得に対する意識を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> チーム制作の経験とディレクションの経験。 チーム制作の中で、コミュニケーションツールの使用経験があり、使用方法やメリットを理解している。 指示された業務内容、技術内容を理解し、進捗管理とディレクションの経験があることによる知見。
			倫理観とプロ意識	「情報処理の基礎」を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> チーム制作の経験とディレクションの経験。 チーム制作の中で、コミュニケーションツールの使用経験があり、使用方法やメリットを理解している。 指示された業務内容、技術内容を理解し、進捗管理とディレクションの経験があることによる知見。
			知識と理解	「ゲーム制作概論」を理解している。 「プログラム概論」を理解している。 「2D・3Dの描画理論」を理解している。 「ゲームエンジンの制作手法」を理解している。 「色彩・質感の知識」を理解している。 「チーム制作業の進め方」を理解している。 「ゲーム業界知識」を理解している。 基本的なビジネス文書作成能力がある。 基本的な企画発想法・構成能力がある。	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ技術者に必要とされるハードウェア/ソフトウェアの基本的な知識を理解し、アルゴリズムから実際のプログラムを作成することができる。 ゲーム制作に必要な基礎知識を理解し、制作の流れについて説明できる。 ゲームプログラミングに必要なデータ表現、ビット演算、ハードウェアのくみ (CPU、GPU、メモリなど)、アルゴリズム、ゲーム開発の基礎知識 (ネットワーク、法制度など) を理解している。 2D・3Dモデルの基盤方法を理解している。 Unity Editorの操作、スクリプト、効率の良いゲーム開発方法を取得すること。 見た目に必要な色彩や質感の知識があり、それを取り入れた作品制作ができる。 スケジューリング管理ができ、チーム内でコミュニケーションをとり、円滑に進められるようになる。 ゲーム会社の職種やその役割、ゲーム制作フローを理解している。 Word、Excelの基本的機能を使用できる。 アイデアを「企画書 (書籍)」としてアウトプットできる。
			汎用的な技能	基本的な企画発想法・構成能力がある。	<ul style="list-style-type: none"> チーム制作の経験とディレクションの経験。 チーム制作の中で、コミュニケーションツールの使用経験があり、使用方法やメリットを理解している。 指示された業務内容、技術内容を理解し、進捗管理とディレクションの経験があることによる知見。

ガイドライン (ゲーム・CG分野 - ゲームクリエイター職種)

分野	職種	レベル	人的特性	項目	指針
			専門実践技能	<p>「C言語プログラミング」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「C++とオブジェクト指向プログラミング」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「2D・3Dゲームプログラミングと描画理論」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「シュータープログラミング技術」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「ゲーム数学」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「レベルデザイン」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「ゲーム仕様書作成」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「チュートリアル制作」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「2D・3Dデザインツールの操作」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「基礎画力・観察力・構成力・描写力」の基本的な技能を持っている。</p> <p>「UI/UXデザイン」の基本的な技能を持っている。</p>	<p>C言語で作成されたプログラムが読めるようになること。エラーが発生したとき、自ら解決できるようにすること。C言語の標準的な機能を使ったプログラミングができるようになること。(特に関数・ポインタ・構造体)</p> <p>①C++の基本仕様を理解し、クラスや継承を使ったプログラムを作成できるようになること。</p> <p>②ポインタースタイルや委譲というプログラミングを使って、ゲームプログラムを作成できるようになること。</p> <p>2Dではデクスタ、3Dでは3Dモデルのキヤラクターや背景、UI等のオブジェクトをゲーム画面上に描画することができる。</p> <p>プログラマブルシェーダを中心としたCG処理を理解している。</p> <p>三角関数・ベクトル演算・行列変換・クォータニオン・幾何学ベクトルの理解。</p> <p>実装まで完了しているサンプルゲームにレベルデザインを施すことができる。</p> <p>ゲームを構成する素材・レベルデザイン・スキューールの見直しなどに対する意識を持ち、チーム運営に応用することができる。</p> <p>様々なゲームのチュートリアルを知っていて、自作ゲームのチュートリアル制作経験がある。</p> <p>2D制作ツール (Photoshop等)、3D制作ツール (Maya等) の基本的な操作ができる。</p> <p>幾何形体のデッサンモチーフがポートフォリオに入られる品質で描くことができる。</p> <p>アイコンの作り方や構成を学習し、オリジナルのゲーム画面を作成できる。</p> <p>アイデアを「企画書」としてアウトプットできる。</p> <p>自分の作品をプレゼンする能力を持っている。</p> <p>教えられた知識を正しく分析できる能力を持っている。</p> <p>マッドハウス業を作成し、必要の分類を行ったりする分析方法を知っている。</p> <p>複数のチーム制作経験がある。</p> <p>チーム制作での役割を理解し、実践できる。</p> <p>3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動ができる。</p> <p>指示された範囲の業務に対する責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗に関する報告責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗管理ができ、報・連・相の重要性を理解している。</p>
			対人技能	<p>自分の作品をプレゼンする能力を持っている。</p> <p>教えられた知識を正しく分析できる能力を持っている。</p> <p>マッドハウス業を作成し、必要の分類を行ったりする分析方法を知っている。</p> <p>複数のチーム制作経験がある。</p> <p>チーム制作での役割を理解し、実践できる。</p> <p>3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動ができる。</p> <p>指示された範囲の業務に対する責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗に関する報告責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗管理ができ、報・連・相の重要性を理解している。</p>	
			分析技能	<p>自分の作品をプレゼンする能力を持っている。</p> <p>教えられた知識を正しく分析できる能力を持っている。</p> <p>マッドハウス業を作成し、必要の分類を行ったりする分析方法を知っている。</p> <p>複数のチーム制作経験がある。</p> <p>チーム制作での役割を理解し、実践できる。</p> <p>3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動ができる。</p> <p>指示された範囲の業務に対する責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗に関する報告責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗管理ができ、報・連・相の重要性を理解している。</p>	
			管理・指導技能	<p>自分の作品をプレゼンする能力を持っている。</p> <p>教えられた知識を正しく分析できる能力を持っている。</p> <p>マッドハウス業を作成し、必要の分類を行ったりする分析方法を知っている。</p> <p>複数のチーム制作経験がある。</p> <p>チーム制作での役割を理解し、実践できる。</p> <p>3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動ができる。</p> <p>指示された範囲の業務に対する責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗に関する報告責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗管理ができ、報・連・相の重要性を理解している。</p>	
			自律性と責任感	<p>自分の作品をプレゼンする能力を持っている。</p> <p>教えられた知識を正しく分析できる能力を持っている。</p> <p>マッドハウス業を作成し、必要の分類を行ったりする分析方法を知っている。</p> <p>複数のチーム制作経験がある。</p> <p>チーム制作での役割を理解し、実践できる。</p> <p>3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動ができる。</p> <p>指示された範囲の業務に対する責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗に関する報告責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗管理ができ、報・連・相の重要性を理解している。</p>	
			倫理観とプロ意識	<p>自分の作品をプレゼンする能力を持っている。</p> <p>教えられた知識を正しく分析できる能力を持っている。</p> <p>マッドハウス業を作成し、必要の分類を行ったりする分析方法を知っている。</p> <p>複数のチーム制作経験がある。</p> <p>チーム制作での役割を理解し、実践できる。</p> <p>3分野 (プログラム・企画・CG) での制作進行に必要な行動ができる。</p> <p>指示された範囲の業務に対する責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗に関する報告責任を自覚できる。</p> <p>業務の進捗管理ができ、報・連・相の重要性を理解している。</p>	

●動物分野－認定動物看護師職種

ガイドライン（動物分野－認定動物看護師職種）					
分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
動物	動物看護師	8	知識と理解	職能団体・学術団体等の活動に対する協力の貢献	日本動物看護協会、日本動物看護学会等の活動において、動物看護実務または動物看護学的な立場から協力できるだけの最先端の知識を持ち、包括的、体系的、統合的に新しく複雑な抽象的アイデアを提示できる。
			汎用的な技能	経営マナジメントの技能 業界発展に寄与するための技能	動物病院の経営・運営について、中心的な存在として関与できる。 動物看護実務または動物看護分野の概念や課題を分析・評価し、総合的に対応することが可能で、その対応の積み重ねによって新しい知見や理論、解決策、実践方法を生み出すことができる。
			専門実践技能	獣医療動向、社会ニーズを踏まえた院内・組織運営 専門実践技能の能力開発	動物看護実務または動物看護学における様々な領域において、実務的または学問的に高度なレベルで実務や研究等の方法を設計／実施／改良することができる。
			対人技能	各研修会等における座長	職能団体や学術団体が実施するシンポジウム等の場面において、座長として包括的・総合的な成果を産み出すことができる。
			分析技能	短期・中長期計画立案・運営	分析技能を発揮して、動物病院の経営・運営や動物看護職の育成、その他の課題を解決・改善するための短期計画や中長期計画を立案し、その運営ができる。
			管理・指導技能	専門領域の実践・指導力の向上	動物看護職員の実践能力の向上を図ることができ、また、その指導力の向上を図ることができる。
			自律性と責任感	業界の目標達成に向けた主体的行動	獣医療の発展、動物看護職の技能の向上など、獣医療業界の発展や課題解決に向けて主体的に行動できる。
動物	動物看護師	7	倫理観とプロ意識	業界におけるリーダーシップ 関連業界のビジョン確立	獣医療業界において、動物看護職のリーダーとしてのリーダーシップを発揮できる。 獣医療業界およびその関連業界全体の視点から、実現可能で発展的な業界の将来ビジョンを描くことができる。
			知識と理解	獣医療最新動向	獣医療の最新動向に基づいた知識を持ち、また、その知識の適用領域に関する理解力を持っている。
				感染予防管理 防災管理	獣医療に携わる獣医師、動物看護師等、および、飼い主を、各種感染症から予防するために必要な知識を持っている。 動物病院等を、地震、豪雨等の天災から守り、その機能を維持するために必要な防災管理の知識を持っている。
			他職能団体・学術団体の活動に対する理解	日本動物看護協会、日本動物看護学会等の活動に関する知識を持ち、その存在意義について理解している。	

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
			汎用的な技能	<p>獣医療安全管理技能</p> <p>院内外での研修会における講師や助手をつとめる技能</p> <p>学会等における研究成果発表（効果的プレゼンテーション）の技能</p>	<p>獣医療における様々な事故とその発生原因、対策等に関する十分な知識を持つとともに、その知識を実際に活かす技能をもっている。</p> <p>職能団体や学術団体が実施する研修、あるいは、院内における研修等において、講師またはその助手を務めることができる。</p> <p>学会等における研究成果発表等の局面において、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>動物看護職の各種業務をモデル化できる（一般的なパターンと応用パターンを理解し実践できる）。</p>
			専門実践技能	<p>動物看護の実践モデル</p>	<p>動物看護の質の向上、専門性向上活動</p>
			対人技能	<p>院内スタッフのコミュニケーション能力育成の醸成</p> <p>地域関係者、学界関係者との積極的交渉</p> <p>組織的な研究活動の推進</p> <p>短期・中長期計画の理窟</p> <p>院内チームの教育企画運営</p> <p>院外組織の業務改善</p> <p>OJTを通じた臨床実習指導</p> <p>学習・研究成果の伝達と活用</p> <p>スタッフの研究能力向上支援</p>	<p>獣医師と効果的に連携することが可能で、そのことによる動物看護の質の向上や専門性の向上を図ることができる。</p> <p>動物看護職として、対象者やその家族から全面的に信頼されるために必要な説明や表現ができる。</p>
			分析技能		
			管理・指導技能		
			自律性と責任感	<p>社会情勢の変化に対処する関心</p> <p>所属組織の目標達成に向けた主体的行動</p> <p>院内・チームでのリーダーシップ</p> <p>自己のキャリアプランナーの認識</p> <p>院内・チームのビジョン</p>	<p>指針の空欄部分は、来年度検討事項である</p>
			倫理観とプロ意識	<p>倫理的問題の対応</p> <p>トラブルに関する道徳的、倫理的見解をまもった対応</p> <p>倫理的完成（後輩の模範）</p>	

ガイドライン（動物分野）－ 認定動物看護師職種

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
動物	動物看護師	6	知識と理解	対象動物のQOL	動物種による生態系を考慮した飼育環境整備ができ、動物が不快感を感じることなく生活できるよう配慮する。
				重篤化回避の方法	対応事例ごとの動物看護過程の展開を重要視し看護診断を適切に実施、潜在している問題を早期に抽出して対応する。もしも看護診断の時点で問題点が発見できないと、次なる問題の発生や重篤化につながる。
				回復支援の介入看護方法	獣医師の診断に基づき個体の観察をし、問題が機能不全によって生じているとした場合には、機能不全を生じさせている箇所の機能の回復を目標とした理学療法メニューを検討する。リハビリテーション技術は、獣医師による診断と計画に基づき実践され、飼い主の高すぎる目標など無理な目標を設定しないこと、実践、評価を計画の進捗
			汎用的な技能	臨床現場において研究的視点を持つために必要な技能	担当した事例が過去に同じものがあったか、その結果はどうか、どんな看護技術を駆使し、結果はどうか、広く知らせたほうが良い方法が見つかったか、希少な事例を知らせるか、なと動物看護師として実践体験できることから意識を持つ。また、困難や危険な看護事例について工夫して効果があった事例などを集積しておく。「動物看護師の倫理綱領」13条を理解して
				研究のプロセスを進めるための技能	事例を担当した際、動物看護過程の展開を主体とした記録を残すこと。個体の観察、疑問点リサーチ、先人の研究の有無を調べる、経過に沿った内容の精査、疑問点の抽出と調査、文献整理。
				学会等で研究発表を行うための技能	事例の報告は、多数の同事例を比較検討する場合、希少事例を一例報告する場合、新しい看護方法を知らせる場合などを口頭発表する。また、ポスターとして掲示し解説する方法がある。
				職能団体の社会的意義を理解した活動技能	2009年動物看護師の全国団体である一般社団法人日本動物看護職協会が発足した。動物看護職を支援すると共に動物看護職に係る制度や就業環境整備を図ることを目的として活動を実施している。
				院内における諸課題の把握・解決・共有技能	院内獣医療・動物看護の質をより高めていくために、課題点・不足点などの確切的把握し、それを解決するための学びや訓練が必要であることを理解し、チームに理解醸造していくことは動物病院経営にとって、重要である。
				種々の報告書作成技能	動物看護師は看護記録を残し、必要に応じて求められた報告書を作成することがある。また、外部で参加した学会や講演会等を知り得た内容を上司、スタッフに報告する必要な生じることがある。
				社会との連携や職能団体の活動に参加するための技能	
				社会人としての基礎力技能	

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
			専門実践技能	QOL向上を目指した動物看護	動物への看護とは、最善の生活の質（QOL）が保てるよう、動物種に合った生態系の中で日常生活が不快感なく自律してできるように援助（ケア）すること。言葉と話さない動物が何を求めているのかを観察判断し、個々の状況に見合った、必要とされている技術を提供できる。擬人化した環境を与えることがQOLの向上ではないことを認識できている。「動物看護師の倫理綱領」11条を参照する。
				安全な動物看護	動物への看護はアセスメントによる情報収集と整理により潜在している問題点を抽出し、それを解決する方法を立案することから始まる。安全な看護とは個々の動物の状況を判断し充分修得した技術を駆使することであり、もしその場で実施されなかった場合には次にどのような危険が生じるのか、必要に応じて適切な結果が見えた時にはアセスメントからやり直す。
				動物看護の実践介入・評価	動物が自分の容姿の振り返りをし不適切な結果が見えた時にはアセスメントからやり直す。
				急変時対応	入院、手術期、輸液や輸血など予期せぬ時の急変に備えて器材、薬剤の準備、各自の行動確認ができている。それに見合った行動がとれるよう訓練がされている。
			対人技能	退院支援・退院後支援に関する飼主への指導・助言	獣医師の診断により退院や自宅療養が必要になった時、個々の動物への配慮や必要なケアなどが飼主の充分な理解と協力の元で実施できるよう伝えることができる。もし動物に不利な状況や福祉に反するよう行為が予測できる場合には他の方法が提示できる。
				院内における人間関係の認識	働く環境の中における上司、同僚、後輩へ適切な区別をした対応ができチーム医療としてスムーズに連携が図れている。「動物看護師の倫理綱領」9、13条を理解している。
				多職種との協業・連携や異業種の方とのコミュニケーション	臨床の場では、チーム医療として互いの職務内容を理解し協働できる。外の環境では、One Healthy One Worldの意識を持って公衆衛生の向上に努めるためコメディカルとの連携を持つ。「動物看護師の倫理綱領」13条、14を理解している。
			分析技能	アセスメントや看護計画立案の実施と指導	看護を必要としている個々の動物に対して体系的な情報収集を行い、それを整理分類判断することで動物の現状把握ができ、背後にある潜在的な問題点を把握できる。この問題点を解決するための計画案を作ることができる。
			管理・指導技能	後輩や実習生に対する支援	教育システムの一端としての総合実習やインターンで臨床の場に参加する学生や、それを体験して入社した後輩には現状修得している知識や経験を理解した上で支援ができる。
				院内学習計画の立案	継続学習として院内学習の必要性を理解し積極的に取り組む。学習課題を理解し、業務との関係や意義を見出し、より有用な学習となるよう努めている。「動物看護師の倫理綱領」8、11条を理解している。
				院内資源（人・物・予算・情報）の有効活用を目指した調整	院内の通常のスムーズな展開だけでなく、突発的な事態に遭遇時人の配置管理し、常に新しい情報の収集に努め時に応じた対応ができる。

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
動物	動物看護師	5	自律性と責任感	動物看護師間のリーダーシップ	勤務年数が多く、知識だけでなく臨床の場で必要な技術を経験して修得している者がリーダーとなって動物看護師だけでなく他業種スタッフとも連携をもって業務が遂行でき、問題解決の手段も理解している。
			倫理観とプロ意識	「動物看護師の倫理綱領」への配慮 倫理綱領とは、動物看護師としての自らの行動を律するための、倫理とは道德の規範となるものであり綱領はその要点を示す。この存在を知り、理解し、行動判断に迷うことがあった場合には自らの規範とする。	倫理綱領とは、動物看護師としての自らの行動を律するための、倫理とは道德の規範となるものであり綱領はその要点を示す。この存在を知り、理解し、行動判断に迷うことがあった場合には自らの規範とする。
				倫理的完成を高める中で、対象者への共感的理解と対応	倫理的配慮をしながら、動物が何を求めているかを常に考え、飼養者との関わり、援助に努めている。
			知識と理解	疾患種類、対象動物の性質	動物看護を実践するためには獣医学的知識を持ち、診断された疾患の内容を理解した上で看護実践をする。看護は個々の動物の状況に合わせた対応が必要であり、その状況は飼育環境、飼い主の接し方、種類、多様性のある動物の性質によって変化することを理解する。
				飼い主の権利	動物は飼い主に所有権があるので飼い主の決定を尊重する。しかしその決定が動物にとって不利益となることかわかった場合には介入し、動物を守る立場となることがある。「動物看護師の倫理綱領」6条を理解している。
				獣医師の診断結果と看護における問題点に対する理解	動物看護師としてチーム獣医療の一環となった時、獣医学的知識を持つことによりその診断や治療内容が、その動物にとって適切なものであるか判断ができ、動物を観察することによって問題点を抽出できその解決法を理解実践することができる。
				院外連携	種々の診療施設の設備や得意とする診療科、対応種などによって連携をとり動物に最適な治療ができるよう情報を持ち、信頼関係を築いていることが求められる。
				臨床における疑問・不確実な知識・技術の追求と研鑽	獣医師による診断や治療内容、予後について疑問がある時には適切な質問ができるよう獣医師や他スタッフとの信頼関係を構築されている。また、疑問を持ったままや、自身の不確実な知識や技術に不安があるときには適切な指導を求める勇気と責任を持つ。決して不確実な知識や技術のまま動物に処してはならないことを自覚する。

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
			汎用的な技能	成果のとりまとめ技能 研究の基礎知識を蓄積する技能	実践した動物看護の内容を記録に残すことで後輩へと引き継ぐことができ、公表することによって評価を得、動物看護研究へと発展できる。「動物看護師の倫理綱領」111条を理解している。 日々実践している動物看護の内容を記録し、わからないことは必ず調べて理解し、先人が同じ事例に対応したことがあるのか調べてお。事例の動物の基本情報、検査内容結果、通常治療内容、方法、症状などカルテ上から収集できる客観的情報を記録しておくこと。
			専門実践技能	文献活動、研究発表のための技能 動物看護に関する基本的な活動の記録 基準・手順に沿った安全な動物看護 安全管理・感染予防・防災対策	動物看護師は、高度化する獣医療に対応できる知識を自ら吸収し、専門職に必要な情報を収集する活動が必要。また、知り得た情報知識、体験した事例などを論文や報告として発信し、研究した看護技術や事例を広く発表す姿勢を持つ。「動物看護師の倫理綱領」8、10、11各条に照らし、動物看護師は看護記録を残し、必要に応じて報告書を作成する。 動物看護は、アセスメントをすることで情報収集と整理をして実態を正しくとらえ、問題点を抽出してそれを解決する計画立案をして実践することで手順にそった安全な看護が実践できる。実践したことを振り返り、評価することで更なる安全につながる。 特に感染のおそれがある疾患をもった動物に触れたり入院管理する場合には、どの動物および他動物に不利益が生じないよう特別な予防策が必要となり、それに対応できる。また、災害発生時には院内の規則に即り迅速で人命第一の対応がとれるよう訓練ができています。
			対人技能	インフォームドコンセント 自分の考えを他者に伝える技能 対象者や他人の意見・考えの尊重 報告・連絡・相談の技能	病気や治療について飼い主が説明をもとめ、その求めに応じて獣医師が説明し、その説明に基づき飼い主が治療法の可否や方向性を選択することを理解し、飼い主の決定を尊重するが動物にとって不利益にならないよう監視ができる。 臨床の場において、動物看護師は獣医師によって決定された治療方針、予後が動物にとって不利益がなく適切なものであるかを評価し、他者につたえられなければならない。 飼い主が獣医師からの意見、インフォームドコンセントについて理解できているかを確認し、飼い主側にとって、飼い主の知る権利や決定する権利を尊重する必要がある。「動物看護師の倫理綱領」4条を理解している。
			分析技能	報告・連絡・相談の技能 日々の臨床事例の振り返り、課題の明確化 実症例の動物看護過程の展開と活用	報告とは指示や命令に対して経過や結果を知らせること。目的を明確に伝える。連絡は情報を関係者に共有し統一された協働ができるようにする。相談はアドバイスが欲しい時に、自分の持っている情報を整理して回答を尋ねる上で上司・先輩に対して行う 日々の担当した動物看護事例について動物看護過程を展開し、その振り返りと評価をすることで動物に対する最適な実施であったか、そうでない場合には評価をして課題を抽出する。 実症例の動物看護過程の展開と活用 授業では体験出来なかつた実症例について、個々の動物の看護過程の展開を実施する。

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
			管理・指導技能	組織の理念・方針をよく理解した管理・指導	各自が所属する組織、企業、動物病院などの経営・臨床理念を理解し実行できるよう意識している。
				組織メンバーの役割を理解した行動	教育システムの一環としての総合実習やインターンで臨床の場に参加する実習生には現状修得している知識や経験を理解した上で支援指導できる。また、指導できるような自身の知識技術の振り返りと確認ができる良い機会としてとらえられる。
				臨床実習の指導 プレゼンテーション応用技能	論文発表やプレゼンを公開することにより、互いに情報を共有し工夫し合うことで技術が向上し、動物看護研究へと発展することに対する理解がある。
			自律性と責任感	ボランティア活動の指導	自身が持っている動物看護力を有事の際に活かせることは大変意義あることである。積極的な参加活動時に、リーダーの指示に従った後輩への伝達や指導的行動ができる。
			倫理観とプロ意識	実務型動物看護総合実習における自律性と責任感 「動物看護職の倫理綱領」の遵守	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。 動物福祉に関する法律を遵守するだけでなく動物看護師の倫理綱領条文、「5つの自由」などに著されていることを念頭において行動する。
				個人の尊厳やプライバシーへの配慮	守秘義務の伴う職であることを理解し、業務上知り得た情報を外部に漏らさないこと。特に動物病院では飼い主の個人情報だけでなくカルテ上にある全ての漏洩をしてはならないと共に飼い主や家族、飼育環境などの必要以上の詮索をしないこと。また、飼い主の知る権利や決定権を尊重し、「動物看護者の倫理綱領」前文及び1条を理解している。
				動物福祉への配慮	動物福祉に関する法律を遵守するだけでなく動物看護師の倫理綱領条文、「5つの自由」などに著されていることを念頭において行動する。「動物看護者の倫理綱領」前文及び1条を理解している。
				守秘義務への理解	守秘義務の伴う職であることを理解し、業務上知り得た情報を外部に漏らさないこと。特に動物病院では飼い主の個人情報だけでなくカルテ上にある全ての情報を漏洩してはならないと共に飼い主や家族、飼育環境などの必要以上の詮索をしないこと。また、飼い主の知る権利や決定権を尊重し、「動物看護者の倫理綱領」前文及び1条を理解している。
				動物看護倫理	動物福祉に関する法律を遵守するだけでなく動物看護師の倫理綱領条文、「5つの自由」などに著されていることを念頭において行動する。

ガイドライン（動物分野） - 認定動物看護師職種

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
動物	動物看護師	4	知識と理解	動物形態機能学 動物医療関連法規 公衆衛生 動物病理 動物臨床検査 動物臨床栄養 伴侶動物 動物看護学概論 動物感染症 動物薬理 動物飼育（動物内科看護） 動物外科 動物繁殖 動物福祉 動物行動 人間動物関係	動物の体を細胞、組織、臓器の各層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。 動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。 人と動物が共生する環境、食の安全と衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康維持・増進や疾病予防について理解する。 様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。 様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を理解する。 5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶと共にライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や食事方法を理解する。 伴侶動物とは終生飼養される動物。伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法、およびエキシブチック動物の生態について理解する。 獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について理解し、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。 感染症の原因となる微生物や寄生虫について理解し病気の伝播様式や発病のメカニズムについて知る。衛生的管理、予防・治療法、免疫学の基礎など感染症対策の基礎を理解する。 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について理解し、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられているかを理解する。 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を理解し、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を理解する。 繁殖とは動物が生まれてふえることであり、雄と雌の繁殖に関わる器官の違いや性周期、交配方法、遺伝様式について理解する。 国の文化や宗教、国民性の違いによる相違を理解しながら動物愛護や動物福祉（アニマルウエルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。 犬や猫の種としての行動様式の特徴を理解し、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。 動物が人間社会で果たしている役割や背景・歴史について理解し、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				産業動物・実験動物・野生動物	人の食の安全に係る産業動物や医学等の研究に役立ってもらうために育てる実験動物、動物園・水族館で飼育されている野生動物たちが健康で福祉に則った管理方法で飼養される方法を理解する。受診依頼があった時には動物物に精通している獣医師に依頼できる。
				ターミナルケア	終末医療と緩和ケアと区別されることもある。病を持つ動物の延命を願うだけではなく、飼い主の快適さと尊厳を守ることで適切な疼痛管理と対症療法、精神的支援、社会的支援を行うということを理解できる。
				安楽死	高度医療による延命や動物に飼い主にとって過酷な現状、改善の見込みがない場合などは安楽死も治療の一端であることを充分理解し、飼い主からの質問に答えたり説明できる。またその行為が動物の福祉に反することなく、決定した飼い主の落ち度ではないことを理解したり伝えられる。
			汎用的な技能	ITという言葉の認知	ITとは情報技術のことで、コンピューターやデータ通信に関する技術の総称。コンピューターやインターネットを中心とするネットワークを活用し、業務や生活に役立てるための技術を指すことを知っている。また、PC操作や電子カルテ記入などを理解し、活用できる。
				会計学の基礎技能	動物病院の窓口業務として治療費の会計や集計をする時に必要な会計の基礎を知っている。また、キャッシュレスやカード支払いの対応を理解している。
				基本的な情報収集・分析技能	インターネットによる情報収集だけでなく新聞、業会関連誌、学会誌などを読む、関連学会に参加することで広く新しい情報を収集する方法を知っている。氾濫する情報量の中から正確で安全な情報の収集ができる方法を理解している。
				基本的な情報発信技能	動物病院のホームページ作成やInstagramなど情報提供やコミュニケーションをとる方法を理解している。
				語学力（英語、中国語など）	飼い主の国籍が多様化しているため他国語での受付や電話応対が可能か程度の語学力がある。
	専門実践技能			動物形態機能学実習技能	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通して理解する。
				顕微鏡操作	検体を観察するために必要な適切な顕微鏡操作ができる。
				動物臨床検査実習技能	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、臨床検査に必要な知識の実践ができる。
				動物内科学看護実習技能	口腔管理やグルーミング、保定やバイタルチェック、基本的なトレーニング法、飼育環境整備など犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技などの実践ができる。
				動物外科看護実習技能	手術準備（動物・手術器具）、術中管理、術後看護、麻酔準備や麻酔監視、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践ができる。

ガイドライン（動物分野） - 認定動物看護師職種

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				動物の臨床看護に必要な基本的知識に基づいた技能	教育場で修得してきた臨床看護に必要な知識を活用し、個別性を重んじ健康維持に必要な技術を修得する。動物看護技術の特殊性は対象が命ある動物であることを理解し実践する。
				機能障害を持つ動物に対する看護技能、評価・介入方法の技能	機能障害をもつ動物が出来るだけ不快感がなく元に近い動きができるようになるために必要なりハビリテーションの知識を理解し、適切な評価と診断の元で介入できることを理解する。
				術前・後管理技能	動物看護師は術術期全般に関わる業務があり、どのような役割があるかを熟知し行動ができる。獣医師は診断と術者、予後判定が担当業務であることを理解する。
				グルーミング技能	健康な動物を美しくトリミングできるトリマーの担当するグルーミングではなく、機能障害のある動物に負担が無く衛生で清潔にするためのグルーミング技術を持っている。
				トレーニング技能	犬の基本的な服従訓練法（アイコンタクト、までなど）を理解し、飼い主に伝えられることにより、犬とのより深い信頼関係を築くことができるようになる。犬（動物）が少しいでの不安なく診療を受けられることへの支援ができる。
				バイタルチェック	バイタルサインとは生命徴候を意味し、体温、心拍、呼吸などを適切に測定することにより毎日の健康状態を把握できる。また、通常と異なる時には疾病の早期発見につながるため各個人の健康状態を観察し正確に報告できることが大切である。
			対人技能	グリーフケア技能	グリーフは悲嘆を意味する。かけがえのない大切な存在を喪失した時だけではなくその前に予期した段階から起こる様々な反応の変化をまじ、この状態にある飼い主に寄り添うことができる。
				社会人としての基礎的なコミュニケーション技能	動物病院総合実習や研修先では学生としてではなく社会人としてマナーや礼儀作法を認識し、実践することを認識している。
				接遇とホスピタリティの技能	接遇：相手をいたわる心を持ってサービスを提供するためのスキル。 ホスピタリティ：相手が快適と感じられるような対応や環境づくり、相手が喜びを感じていることが主人に伝わるのが大切。
				クライアントエジュケーション	動物看護師は獣医師が飼い主に説明する病気や治療について適切な知識を持ち、飼い主との対面において情報を提供することができるようにする。飼い主は適切に対応できる動物看護師に信頼を寄せ、安心して動物のケアにあたることができる。
				院内基本コミュニケーション	来院する飼い主や業者、院内のスタッフ全ての人と適切なコミュニケーションをとることができる。良好なコミュニケーションをとるための方法を知っている。
			分析技能	QOLの理解に基づく分析技能	QOL: quality of life、生活の質。動物と飼い主を対象とした生活の質の向上を求め、その初歩的実践ができる。
				観察技能	動物看護技術として一番重要なことは観察。動物に対して動物看護過程の展開をするために必要な初動。これに基づいて看護診断、看護計画、実施へと展開される。

ガイドライン（動物分野） - 認定動物看護師職種

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				情報の記録技能	動物看護記録：看護で実践した内容を明らかにする。適正な実践であったことを証明するものでもある。
				動物看護過程の展開技能	言葉を持たない動物たちを尊重し看護する動物看護師が動物看護過程を観察し、必要とされていることが何かを見極める対応手段・方法論が動物看護過程であることを理解し実践する。
				動物看護記録技能	看護で実践した内容を明らかにし、次に伝える技法。適正な実践であったことを証明するものがあり、結果が不適切であった時には振り返りの判断材料となる。チーム獣医療として協働者の理解と相互の立場に必要か記録方法
			管理・指導技能	プレゼンテーションの初歩的技能	動物看護総合実習などで体験した事例について検討した内容やわかたことをクラス内や学会の学生向けセッションなどで発表する。
				研究発表の基本的技能	動物看護師の倫理綱領第11条「動物看護師は、看護実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、動物看護学の構築と発展に寄与する」の基本的理解と実践ができる。
			自律性と責任感	体験型動物看護総合実習における自律性と責任感	理解型：動物病院の概要（歴史的背景、地域特性、診療方針、スタッフ構成等）を理解する。体験型：理解した上で、自身がどのように加わるかを考える。
				ボランティア活動体験	良い社会づくりのために社会的認識を深め地域の人々と関わりを持つよう努め、地域の行事への参加、保護犬猫に関する活動、使役犬のケアなど自律的に参加し安全に遂行する。
				社会人としての義務の認識	「社会人とは、社会との関わりの中で一定の責任を持って行動したり、生活したりしている人。社会人は自分で判断して行動し、その結果を自分で決着できることが責任。そのために慎重な行動と他者との関係性が重要。
				成人としての義務の認識	法的な成人とは、単独で法律行為が行えるようになる年齢のこと。義務を果たすことが権利を得ることにつながり、社会保険等の被保険者になる、納税する、投票するなど法的義務の他に勤労の義務など。
				情報収集方法に関する基本的認識	インターネットによる情報収集だけでなく新聞、業会関連誌、学会誌などを読む、関連学会に参加することで広く新しい情報を収集する方法を知っている。
				他者との会話方法に関する基本的認識	電話の適切な受け方がかた、メール、SNSなどを安全に活用する方法、TPOに合った手紙の書き方などを知っている。
				チーム獣医療に対する認識	動物看護師の倫理綱領7条「動物看護師は、自己の意志を持ち、自己の責任と能力を的確に認識しみずからの看護に責任を持つ」、第9条「動物看護師は、他の動物看護師及び動物医療関係者と共同して、良質な動物看護を提供する」の基本を理解する。
			倫理観とプロ意識	「動物看護職の倫理綱領」に対する認識	倫理綱領とは、動物看護師としての自らの行動を律するためのもの、倫理とは道徳の規範となるものであり綱領はその要点を示す。この存在を知り、理解し、行動判断に迷うことがあった場合には自らの規範とする。動物福祉に関する法律を遵守するだけでなく動物看護師の倫理綱領を遵守し、自らの行動に責任を持って行動し、社会に貢献する。

ガイドライン（動物分野 - 認定動物看護師職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
				アニマルウェルフェアに対する認識	動物福祉とはアニマルウェルフェアを翻訳したもので、動物の幸福に配慮した良い生活を示すことを理解し、庇護を意味する愛護との違いを理解している。
				獣医療倫理に対する認識	獣医師は獣医師法に基づく行動を基本とし獣医療倫理を規範とするが、チーム獣医師の両輪となる動物看護師もこれを理解している。
				「地球は一つ・ワンヘルスに関わる福岡宣言」に対する認識	第2回世界獣医師会-世界獣医師会“OneHealth”に関する国際会議において締結された宣言。医師と獣医師はOneHealthの概念を理解し、健康で安全な社会の構築に協働することなどを誓ったことを知っている。

●土木・建築分野－土木施工管理職種

ガイドライン（土木建築分野－土木施工管理職種）			
分野	職種	レベル	人材特性
土木・建築	土木施工管理職種	8	知識と理解
			豊富な実務経験と広汎な見識 責任ある立場 土木建築分野のみならず、社会に貢献する立場にあり、成果を創出 技術士（総合技術監理部門） 特別上級土木技術者 幅広い知識と、専門性 情報収集力、コミュニケーション力、実行力、問題解決能力
			汎用的な技能
			高度な研究手法・解析手法・技法を独力で用い、新しい問題や課題を解決し、新しい知見・理論を生み出す能力
			高度な専門知識、発揮する能力
			複数の分野で高度な専門的研究・設計や実施・改善する能力
			対人技能
			知識力、論理力、自己表現力のバランス 内・外関係者に対し信頼関係を築く力 専門的な知見を理路整然と伝える能力 豊富な経験・専門知識の基、技術の最新情報に精通
			分析技能
			社会に対し多面的に貢献できる能力 各工種の専門的技術について高度な指導的能力 部下を育成 専門家レベルの観点から、社会・文化に貢献 リーダーシップを取る能力 プロ意識及び全面的な責任感 品位の向上、技術の研鑽 国際的な視野、公正・誠実な行動規範
			管理・指導技能
			自律性と責任感
			倫理観とプロ意識

指針の空欄部分は、来年度検討事項である

ガイドライン (土木建築分野 - 土木施工管理職種)

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
土木建築	土木施工管理職種	7	知識と理解	建設業法に関わる監理技術者または同、専任技術者を10年以上歴任	
				学会、協会等に学術論文を発表することや、技術論文を投稿	
				技術士 (各部門)	
				上級土木技術者	
				環境計量士	
				コンクリート診断士	
			汎用的な技能	洞察力、応用力、独創性	
				主体性・実行力、創造力	
				多様な状況下での対応力、臨機応変性	
			専門実践技能	大規模現場の監理技術者歴任	
				複数現場を統括管理	
				高度な技術的業務	
				外国語を使用しての仕事や高度な学習能力	
			対人技能	折衝能力、交渉能力、説得能力	
				内・外関係者に対する信頼度	
				最低一つの外国語を使い、仕事・学習に活用	
			分析技能	的確な情報収集、分析そして判断、さらに意思決定する能力	
				数学的、定量的な手法を駆使し、分析・評価する技術	
			管理・指導技能	部下の指導・監督する立場	
				明確な現場方針を持ち、多様な関係者の利害等を調整しまとめる能力	
				チーム、部署内業務などの企画・監督・管理において、責任を持つ立場	

ガイドライン (土木建築分野 - 土木施工管理職種)

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
土木・建築	土木施工管理職種	6	自律性と責任感	公益を最優先した職業倫理のもと自主性・主体性、さらに責任感を持って行動する能力	
			倫理観とプロ意識	自然を尊重し、安全と福祉、健康に対する責任を最優先	
			知識と理解	地球環境の保全と関連技術の活用	
				国際的視野に立った専門的立場で貢献	
				コンクリート主任技士	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。
				1級土木技術者	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。
				1級土木施工管理技士	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。
				1級舗装施工管理技術者	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。
				1級造園施工管理技士	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。
				1級管工事施工管理技士	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。
1級建設機械施工技士	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。				
1級電気工事施工管理技士	取得していれば当該レベルとみなされる目安である。				
汎用的な技能	現状分析で課題を明らかにし、その解決に向けたステップを明確にする力について評価してください。また、新しいシステムやツールを作り出す力について評価してください。				
専門実践技能	ビジネスマナー	ルール遵守・規則遵守・思いやりの心について評価してください。			
	語学力	英語検定2級程度の語学力があることを目安に評価してください。			
	現場の安全・工程・品質・原価を全て理解し、管理する能力	現場の品質・安全・原価・工程・労務管理等の管理能力を評価してください。			
			予算書の作成・管理する能力	予算書を作成、管理出来るかどうかを中心に、予算管理能力を評価してください。	

ガイドライン (土木建築分野 - 土木施工管理職種)

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針		
土木・建築	土木施工管理職種	5	対人技能	<p>マナー、協調性があり顧客はもとより、あらゆる人に対して常に好印象</p> <p>専門知識のもと、問題点や自らの考えを正確に、理路整然と伝えることができる能力</p>	<p>ルール遵守・規則遵守・思いやりの心があるか、共通の目標や目的に向かって周囲の人間と助け合えることができるか、について評価してください。</p>		
			分析技能	<p>トレードオフ問題に対し、分析し検討をすることができ、合理的な提案ができる能力</p>	<p>トレードオフがある問題を分析・検討し、合理的な提案を導く能力について評価してください。</p>		
			管理・指導技能	<p>部下を指導する立場</p> <p>経験豊富で人格があり、部下に模範を示す能力</p> <p>自主的に仕事をし、各種業務管理におけるリーダーシップとプロ意識</p>	<p>部下を教育し、指導する能力について評価してください。</p>		
			自律性と責任感	<p>専門分野のプロとして、しっかりと説明責任を果たすことができる能力</p> <p>法令・規則、マナーを遵守し、リスク管理能力を発揮</p>	<p>専門事項に関しては常に研究を行い自己啓発を怠らない姿勢と、自己の立場からの説明責任能力について評価してください。</p> <p>法令遵守、説明責任を理解、実行する能力、リスクを認識してコントロール（保有・低減・回避）する能力について評価してください。</p>		
			倫理観とプロ意識	<p>業務の対象となる地域の法規・条令を遵守し、文化的価値を尊重</p> <p>多様な環境・実務の中で倫理観を厳守するとともに、専門家としての行動ができる能力</p>	<p>「文化的価値の尊重」は、関係所轄事務所等よく調査し地域に貢献する姿勢を表すとして評価してください。</p> <p>トレードオフとなるような事柄に関し、公益優先の立場が取れるかの評価をしてください。</p>		
			知識と理解	<p>2級土木施工管理技士(学科試験合格)</p> <p>2級造園施工管理技士(学科試験合格)</p> <p>2級管工事施工管理技士(学科試験合格)</p> <p>2級電気工事施工管理技士(学科試験合格)</p>	<p>取得していれば当該レベルとみなされる目安である。</p> <p>取得していれば当該レベルとみなされる目安である。</p> <p>取得していれば当該レベルとみなされる目安である。</p> <p>取得していれば当該レベルとみなされる目安である。</p>		
			汎用的な技能	<p>専門知識、一般常識、社会人としての基礎的能力（話す・聞く・書く）</p>	<p>常に情報収集、研究を行い自己啓発しているかについて、評価してください。</p>		
				<p>スキルアップに関わる各種資格取得に向け、前向きに取り組む姿勢</p>	<p>スキルアップを常に考え、社会人基礎力の向上に対し前向きであることについて評価してください。</p>		

ガイドライン（土木建築分野 - 土木施工管理職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針	
土木・建築	土木施工管理職種	4	専門実践技能	労働安全衛生法及び同規則に関し、指導・教育することができる能力	労働安全衛生法及び同規則を熟知し、指導・教育できる能力について評価してください。	
				施工計画書の立案・指示・作成	工程・安全・品質等を把握し、施工計画書を立案・作成できる能力について評価してください。	
				建設業法の理解	建設業法を理解できている程度について評価してください。	
				対人技能	伝える能力・受け取る能力（コミュニケーション能力） 周囲から信頼される人柄	常に良好なコミュニケーションをとれるかどうかについて評価してください。
				分析技能	外国語にての会話、文書作成能力 出来形管理・工程管理・安全管理をはじめ、一通りの現場管理に関する理解度	現場における品質・出来形・工程・安全管理が理解できている程度について評価してください。
				管理・指導技能	I Tツールやメディアを使いこなすことができる能力 部下に指示する立場、及び管理者としての責任	多様なI Tツールやメディア、アプリケーションを仕事や学習に使用こなしている能力について評価してください。
				自律性と責任感	部下に指示する立場、及び管理者としての責任 リーダーとして、チーム内の意見をまとめ、的確な判断・指示を下す能力	内容をより理解し、部下に指示・説明できる能力について評価してください。
				倫理観とプロ意識	自己の専門的能力の向上を図り、学理・工法の研究に励み、技術の発展に貢献 外国の多様な異文化の中においても、仕事や学習を行う能力	自己の専門的能力の向上を図っているかどうかについて評価してください。
				知識と理解	業務上知り得た秘密を、正当な理由無く他に漏らしたり、転用したりしない倫理観 地域や社会において、持続可能な社会を創るための貢献	複数の言語が飛び交う多民族・多文化の中においても仕事や学習ができる能力について評価してください。
						技術士補 測量士補 専門資格取得に向け「各種専門科目」を修学

ガイドライン（土木建築分野 - 土木施工管理職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
			汎用的な技能	基礎科学（数学・物理・化学）の活用	基礎科学（数学・物理・化学）の知識を活用できているかについて評価してください。
			専門実践技能	職業理解能力、役割把握・認識能力、計画実行能力の発揮 C A D等での製図 図面を見て数量を計算	自らの置かれている立場を十分認識し、なすべき事項、求められている課題を理解し、取り組んでいるかについて評価してください。 PCを使用し、CADにて各種図面（設計図、施工図、参考図など）を書く能力について評価してください。 図面を見て数量計算書が作成できる能力について評価してください。
			対人技能	的確な報告・連絡・相談 単独またはチームメンバーの一員として、管理者や同僚・部下と効果的な交流 外国語にての日常の会話	労働安全衛生法及び同規則が理解できているかについて評価してください。 報告・連絡・相談を的確に行う能力について評価してください。 日本語のほかに最低一つの言語で会話程度ができるかの能力に關しての評価をしてください。
			分析技能	情報の収集能力があり、的確な観察力・洞察力	情報収集のツール・チャネルを持ち、相手をよく知る力があり、ものを客観的にとらえる観察・洞察力があるかどうか評価してください。
			管理・指導技能	数値・図表・画像データを活用する能力 上司等よりの指示、指導を受け、広い視点のもと考え方の幅や創造力を養い、技術者としての学知を十分蓄積する能力	各種データを活用・分析・解釈する能力について評価をしてください。 「学知の蓄積」は、柔軟な考えのもと、臨機応変な対応ができることを意味すると考えて評価してください。
			自律性と責任感	各種チームのまとめ及び管理を担う能力 指導を受け、責任感と自主性をもって、仕事及び専門知識の習得に専念	プロジェクトを進めるにあたり、関連するチーム間の連絡調整をとり、まとめ上げていく能力について評価してください。 課題を与えられたら、良く吟味・理解し計画性・責任感・自主性をもち目下探求心をもって前向きに取り組んでいるかについて評価してください。
			倫理観とプロ意識	地元・地域社会づくりに対し、積極的に参加 常に専門技術の力量並びに技術と社会が接する領域の知識を有する 倫理的な行動	地元・地域社会づくりにつなげる専門的活動や市民活動に関心を有し、持つなどの積極性について評価してください。 社会が必要としている技術についての知識を有しているか評価してください。 自己の利益にとらわれず、公共の利益を優先することができる能力について評価してください。

ガイドライン（土木建築分野 - 土木施工管理職種）

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
土木・建築	土木施工管理職種	3	知識と理解	土木技術に対する基礎的な知見	現場施工技術の基礎的な知識を評価してください。
			汎用的な技能	高等学校学習指導要綱に基づく十分な学力・能力	
				専門分野の知識修得に対し意欲旺盛	目的を持って学習に専念する意欲を評価してください。
			専門実践技能	建設に対する興味	建設に興味があり、探求心旺盛であるかについて評価してください。
				基礎科学（数学・物理・化学）が得意	基礎科学（数学・物理・化学）を得意としているかについて評価してください。
			対人技能	教師の監督のもと、適切な情報や手法を使って問題を解決する能力	
				団体活動、チーム活動の中において主導的な役割経験	団体活動・チーム活動において、主将やリーダーなど主導的役割経験があるか、または、その資質があるかについて評価してください。
				外国語にての初歩的な日常の会話	日本語以外に最低一つの国際語の初歩的な能力を評価してください。
			分析技能	物事の事象に対する論理的な思考能力	理路整然と組立て、説明できる能力について評価してください。
				ITツールを利用・活用する能力	ITアプリケーションを使用し、学習や仕事に対し使いこなす能力について評価してください。
			管理・指導技能	豊かな表現力	解りやすく整然と表現できる能力について評価してください。
				解決すべき問題を先延ばししない精神	問題解決能力の高さについて評価してください。
			自律性と責任感	自主的な学習に対する成果・成績について真摯に向き合う姿勢	結果に対して評価・分析し、課題を抽出し、前向きに取り組む姿勢に関して評価してください。
社会人としての一般知識、基礎力・マナー	基礎力（話す・聞く・書く）が身につけているか、ルールや規則の遵守・思いやりの心があるかについて総合的に評価してください。				
倫理観とプロ意識	相手の話を良く聞き、理解し、正確に伝える能力				
	素早く記録にとどめることができる能力	要点をメモし、正確に報告することができる能力について評価してください。			
	環境問題について関心があり、何らかの関わりを持った経験	環境問題について地域社会に積極的な関わりについて評価してください。			

資料 5 学修成果情報共有システムの要件定義

<p>令和2年度文部科学省 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業</p> <p>学校評価の充実等を目的とした資格枠組の共有化・ 職業分野別展開とその有用性の検証 学修成果情報共有システム</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">要件定義書</p> </div> <p>令和2年2月 一般社団法人 専門職高等教育質保証機構</p>	<p style="text-align: center;">目次</p> <p>1 学修成果情報共有システム導入の目的1</p> <p>1.1 学修成果情報共有システム導入の前提 1</p> <p>1.2 学修成果情報共有システム導入の目的 2</p> <p>1.2.1 目的1：共通の評価枠組みの提供 3</p> <p>1.2.2 目的2：学生自身による自己評価 3</p> <p>1.2.3 目的3：教員による客観的評価 3</p> <p>2 学修成果情報共有システムの概要・構想4</p> <p>2.1 システム化の対象領域 4</p> <p>2.2 システムの概念 5</p> <p>2.2.1 システムの概要・概念 5</p> <p>2.2.2 システム構成図 6</p> <p>3 学修成果情報共有システムの業務フロー 11</p> <p>3.1 専門職高等教育質保証機構における業務フロー 11</p> <p>3.2 専門職高等教育機関における業務フロー 11</p> <p>3.3 システム運用管理における業務 12</p> <p>4 機能要求14</p> <p>4.1 要求機能 14</p> <p>4.2 学修成果情報共有システムのデータ要件 14</p> <p>4.3 使用 OSS 16</p> <p style="text-align: center;">i</p>
--	--

<p>5 入力要求と出力要求22</p> <p>5.1 入力要求 22</p> <p>5.1.1 入力要求の一覧 22</p> <p>5.2 出力要求 36</p> <p>5.2.1 出力要求の一覧 36</p> <p>6 品質・性能要求44</p> <p>6.1 システム全体についての要求 44</p> <p>6.1.1 性能要求 44</p> <p>6.1.2 品質要求 44</p> <p>6.2 個々の機能に関連する要求 44</p> <p>6.2.1 性能要求 44</p> <p>6.2.2 品質要求 45</p> <p>7 セキュリティ要求46</p> <p>7.1 セキュリティポリシー 46</p> <p>7.2 不正アクセスの防止 46</p> <p>7.2.1 不正侵入への対策 46</p> <p>7.2.2 内部利用者のアクセス制御 47</p> <p>7.3 情報の保護 47</p> <p>7.3.1 伝送データの保護 47</p> <p>7.3.2 データの保護 47</p> <p>7.4 ウイルス対策 48</p> <p style="text-align: center;">ii</p>	<p>用語の定義</p> <p>■ 専門学校（専修学校専門課程）¹</p> <p>職業若しくは実生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として設けられる専修学校のうち、高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者を入学資格とした専門課程を設置する学校。高等教育機関として位置付けられている。所定の大学入学資格を満たしており、かつ、この課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であるもの）を修了した者は大学への編入資格が認められる。これらの課程のうち、文部科学大臣が認めた課程の修了者については「専門士」の称号が付与される。また、修業年限が4年以上で、総授業時数が3,400時間（124単位）以上あるなどの要件を満たし、文部科学大臣に認められた課程の修了者については、大学院への入学資格が認められる。これらの課程のうち、文部科学大臣が認めた課程については「高度専門士」の称号が付与される。</p> <p>■ 職業実践専門課程²</p> <p>専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とし、企業等と密接に連携して、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものとして、文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするもの。企業と連携して、実習、実技、実戦又は演習の授業を行っていることが認定の要件の一つになっている。2013年8月に関連規定が導入された。</p> <p>■ 学修成果情報共有システム</p> <p>産業界、専門職高等教育機関、高等学校が、資格枠組のレベル定義を常時参照しながら人材情報を共有するシステムの仮の名称。「資格枠組のレベル定義」にしたがった共通の尺度で学修成果を測定し、その結果を共有するシステムである。令和2年度事業では、学修成果情報共有システムの要件を定義し、プロトタイプを作成する。</p> <p><small>¹ 大学改革支援・学位授与機構「高等教育に関する質保証関係用語集」より http://hede.jp/ora/media/wiki/index.php?title=専門学校（専修学校専門課程）</small></p> <p><small>² 大学改革支援・学位授与機構「高等教育に関する質保証関係用語集」より http://hede.jp/ora/media/wiki/index.php?title=職業実践専門課程</small></p> <p style="text-align: center;">iii</p>
---	--

1 学修成果情報共有システム導入の目的

1.1 学修成果情報共有システム導入の前提

当機構では、平成 30 年度および令和元年度の文部科学省委託事業「職業実践専門課程を通じた専修学校の質保証・向上の推進」の中で実施された「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」事業の中で、わが国において使用されることを想定し、かつ、国際通用性のある「資格枠組のレベル定義」を策定した。本事業は、この事業成果を継承し、学校評価の充実等に結び付けることを目的とした事業として位置付けられる。

本事業では、「資格枠組のレベル定義」を頂点としたコンピテンシー体系を、産業界、専門職高等教育機関、高等学校等と共有し、各職業分野で求められている学修成果の測定に用いる仕組みについて研究する。

このとき、いくつかの職業分野を事例として、人材ニーズをもつ産業界と人材供給源となる専門学校間において先行的に活用し、将来的には学修成果の測定のみならず、就職した後の職業能力の判定などに用いることにより、資格枠組の有用性を検証する。

本年度卒業では、そのための第一段階として、専門学校（養成施設）と産業界（当該国家試験などを用いる業界）、高等学校との間で活用されていくことを目指し、将来的に、職業分野に依存することなくその活用を広げていくスキームの構築を目指す。

本事業では、「資格枠組のレベル定義」にしたがった共通の尺度で学修成果を測定し、その結果を共有することによって、互いにメリットをもたらすことを狙う。

当面は、本事業において組織する 4 つの分科会を構成する分野、すなわち「美容」、「ゲーム・CG」、「動物」、「土木・建築」の各分野を対象とし、将来的には多方面の分野への拡大を目指す。

1

学修成果情報共有システム	職業分野	共通の学修成果情報共有システム				職業分野別「学修成果指標」
		共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	
美容	美容師	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	美容師の学修成果指標
ゲーム・CG	ゲームデザイナー	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	ゲームデザイナーの学修成果指標
動物	動物看護師	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	動物看護師の学修成果指標
土木・建築	建築士	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	共通の学修成果情報共有システム	建築士の学修成果指標

図 1 学修成果指標（動物分野 - 認定動物看護師職種）の例

本書では、

- ・本事業で定めた「資格枠組のレベル定義」および「(分野一職種ごと)学修成果指標」を共通の枠組みとする
- ・「資格枠組のレベル定義」にしたがった共通の尺度で学修成果を測定する手段として利用するアプリケーションを「学修成果情報共有システム」として位置づけることを前提として、そのシステムがもつべき要件を検討する。

1.2 学修成果情報共有システム導入の目的

本事業において活用するシステムは、Webアプリケーション形式でユーザとのアクセスを可能にする形式の OSS であることが前提である。

このシステムの目的は次のようにリストアップできる。

- **共通の評価枠組みの提供**
共通の評価枠組みとして、「資格枠組のレベル定義」および「(分野一職種ごと)学修成果指標」を利用する。
- **学生自身による自己評価**
共通の評価枠組みに対する学修成果を、学生自身が自己評価する。

2

● 教員による客観的評価

共通の評価枠組みに対する学生の学修成果を、教員により客観的に評価する。

1.2.1 目的 1：共通の評価枠組みの提供

「資格枠組のレベル定義」を頂点としたコンピテンシー体系を、産業界、専門職高等教育機関、高等学校等と共有し、各職業分野で求められている学修成果の測定に用いる仕組みとして学修成果情報共有システムにおいて参照できるようにする。

1.2.2 目的 2：学生自身による自己評価

共通の評価枠組みに照らし合わせた場合に、自己の能力は評価基準を充足しているかどうか、また、充足していない場合はどこが充足していないかを学生自身が自己評価し、自己の能力を振り返ると同時に、評価基準を満たすために不足していることは何かを知り、更なる学びの契機とする。

1.2.3 目的 3：教員による客観的評価

学生自身による自己評価結果に対して、教員により共通の評価枠組みに照らし合わせて客観的な評価を行う。学生が自分自身で自己評価したものが適切な評価になっているのか、自分で気づかないような能力の存在や、学生自身はできているつもりであっても客観的に見た場合には不足している能力がないかなど、学生に気づきを与える。

3

2 学修成果情報共有システムの概要・構想

2.1 システム化の対象領域

学修成果情報共有システムを社会的情報システムの視点からとらえると、よい人材を獲得したい産業界、産業界が必要とする人材を育成しようとする専門職高等教育機関、よい教育機関に人材を送り出したい高等学校、これらが、「資格枠組のレベル定義」にしたがった共通の尺度で学修成果を測定し、その結果を共有することによって、互いにメリットをもたらすことを狙ったものであると位置づけられる。

この仕組みの実現に向けて、「資格枠組のレベル定義」という共通の尺度を参照することを前提とする。

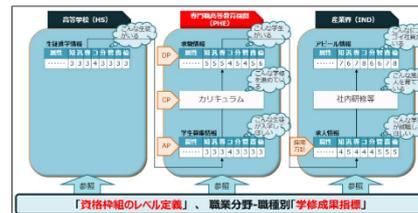


図 2 学修成果情報共有システムのイメージ

4

2.2 システムの概念

2.2.1 システムの概要・概念

「資格枠組のレベル定義」および「(分野-職種ごと) 学修成果指標」は、共通の枠組として学修評価指標管理者が管理を行う。

「資格枠組のレベル定義」および「(分野-職種ごと) 学修成果指標」は広く公開され、学生、教員、企業など、誰でも参照可能である。

学生は、「資格枠組のレベル定義」および「(分野-職種ごと) 学修成果指標」を参照し、自己評価を行う。

教員は、学生の自己評価に対して客観的評価を行う。

企業は、学生の意向により公開された客観的評価結果を採用に活用できる。

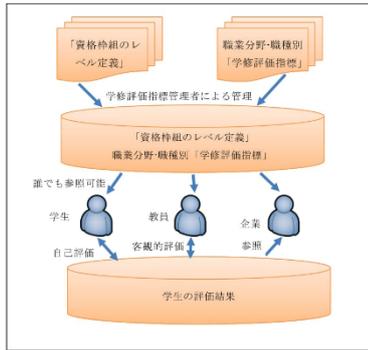


図 3 学修成果情報共有システムの概念

5

2.2.2 システム構成図

本事業では、誰もが操作できるインフラ（インターネット+ブラウザなど）の使用を前提とし、Webアプリケーション環境のデファクトスタンダードである LAMP(OS・Linux、Web サーバ：Apache、データベース：MySQL、プログラム言語：PHP)環境で動作する OSS(Open Source System)を利用するという概念のもとにシステムの構成を検討することとする。

システム面から見た概念図、ハードウェア構成図、ネットワーク構成図、ソフトウェア構成図は次に示すとおりである。

① システム概念図

6

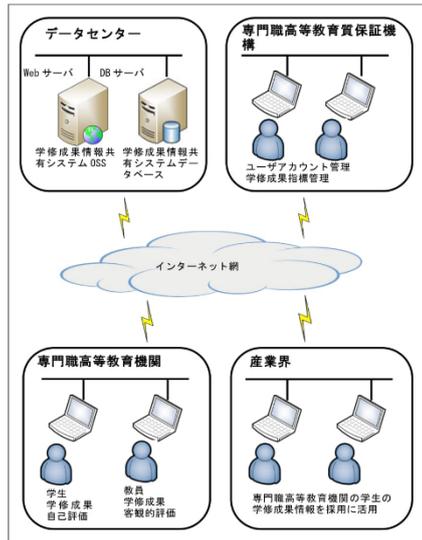


図 4 システム概念図

7

② ハードウェア構成図

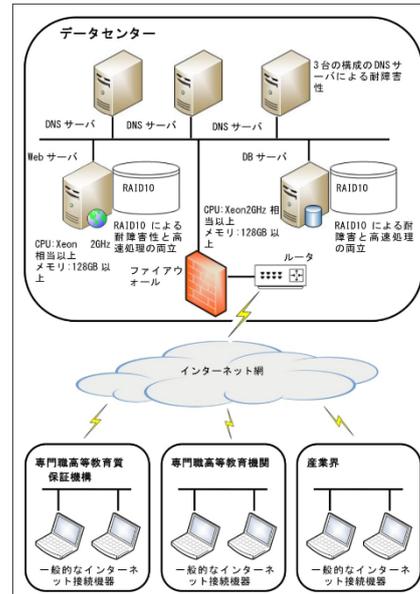


図 5 ハードウェア構成図

8

③ ネットワーク構成図

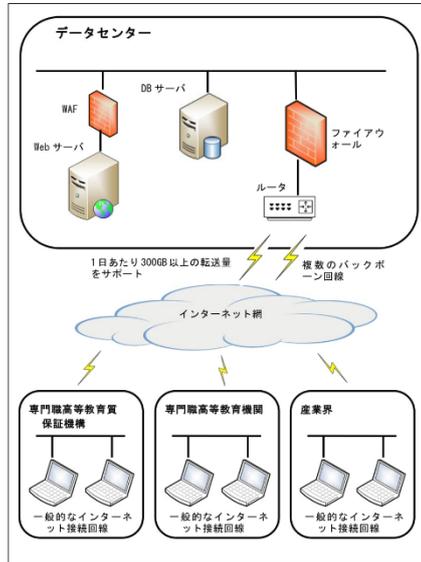


図 6 ネットワーク構成図

④ ソフトウェア構成図

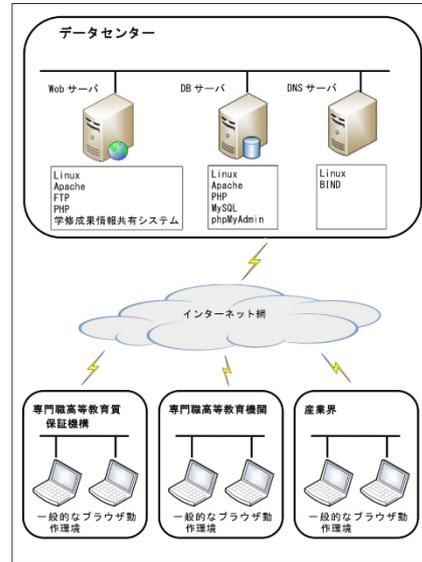


図 7 ソフトウェア構成図

3 学修成果情報共有システムの業務フロー

3.1 専門職高等教育質保証機構における業務フロー

学修成果情報共有システムは、その目的から、インターネット上に配置された Web アプリケーションとして稼働することが想定される。学修成果情報共有システムの範囲において、専門職高等教育質保証機構では、そのアプリケーションを操作した「学修評価指標の策定及び更新」が主業務である。

導入初年度の業務としては、分野ごとの学修評価指標の策定と、その新規登録を実施する。

年度ごとの業務としては、業界の現状に合わせた分野ごとの学修評価指標の見直しと、見直した結果のシステムへの反映を実施する。

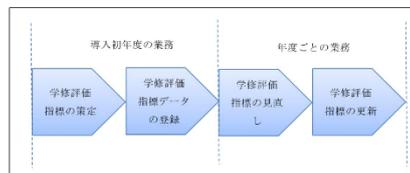


図 8 専門職高等教育質保証機構において想定される業務フロー

3.2 専門職高等教育機関における業務フロー

学修成果情報共有システムを専門職高等教育機関が利用する局面として圧倒的に多いと考えられるものは、学生による学修成果指標に対する自己評価の入力、教員による学生の客観的評価の入力である。

学生が、専門職高等教育機関において身につけたスキルが、「資格枠組のレベル定義」および「(分野一職種ごと)学修成果指標」に照らし合わせた場合に、共通の枠組みを満たしているかどうかを評価する。

専門職高等教育機関における業務の流れは、次のようになる。

- ① 学生は、「資格枠組のレベル定義」および「(分野一職種ごと)学修成果指標」を参照し、自己評価を行う。
- ② 学生は、自己評価を教員に提出する。
- ③ 教員は、学生から提出された自己評価を「学修評価指標」に照らし合わせて、客観的に評価を行い、評価指標ごとに可否を判定する。
- ④ 教員は、評価結果を学生にフィードバックする。
- ⑤ 学生は、教員からフィードバックされた評価結果により、自己のスキルを客観的に知ると同時に、自分の長所を伸ばし、短所を補うことで、更なるスキルアップを目指す。

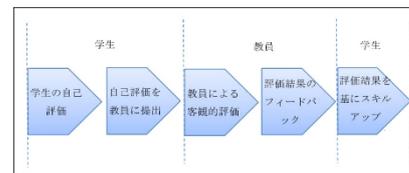


図 9 専門職高等教育機関において想定される業務フロー

3.3 システム運用管理における業務

学修成果情報共有システムの利用者数を想定すると、認定校だけでも千に近い数(認定課程で数えれば三千に近い)にのぼり、認定校の学生が利用者と考えれば数十万人単位にのぼることが想定される。これだけの使用者が想定される本システムでは安定した運用管理を欠かすことができず、運用管理業務の定義、人材確保、安定した稼働のための体制づくりが不可欠である。

学修成果情報共有システムでは、OSS を利用することを想定しており、バグやセキュリティホール対応に対するパッチの適用、バージョンアップにおける仕様変更への対応など

※ 文部科学省の発表によれば、平成 31 年 3 月 5 日現在、認定校は 994 校（専門学校全体の 35.4%）、認定課程は 2,986 学科（専攻年度以上の学科の 39.8%）である。
http://www.mext.go.jp/b_menu/shoukoushou/3103/1414670.htm

が必要となるただし、保守業務は開発業務の一つであるので、その定義は本文作成の範囲外となるので、ここではそのような業務の発生があることを注記するにとどめる。

4 機能要求

4.1 要求機能

学修成果情報共有システムに要求される機能の第一は、「資格枠組のレベル定義」に基づいて定義された「(職業分野-職業別)学修成果指標」に学生のスキルが合致しているかどうかを評価する機能である。

「(職業分野-職業別)学修成果指標」に対応する「ガイドライン」を学生や教員が参照しながら、学生は自己評価の編集が、教員は学生の自己評価に対する客観的評価とフィードバックの編集ができることが最低限必要な機能である。

最新の「資格枠組のレベル定義」や「(職業分野-職業別)学修成果指標」を不特定多数が閲覧できる機能が必要であるが、当該機能については必ずしも学修成果情報共有システム内部からの閲覧である必要はなく、別途 Web サイト等での公開も選択肢として考えられる。

分野	職種	レベル	人材特性	指標	評価
動物看護	動物看護	1	基礎的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
				動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
		2	応用的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
				動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
		3	専門的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
				動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
		4	高度専門的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
				動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
		5	高度専門的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
				動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。
6	高度専門的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。		
		動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。		
7	高度専門的知識	動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。		
		動物の解剖学・生理学・行動学に関する基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。	動物看護業務に必要となる基礎知識を習得し、動物看護業務に必要となる知識を習得する。		

図 10 ガイドライン (動物分野 - 認定動物看護師職種) の例

4.2 学修成果情報共有システムのデータ要件

「(職業分野-職業別)学修成果指標」に対応する「ガイドライン」を学生や教員が参照しながら、学生の自己評価の編集や、教員による学生の自己評価に対する客観的評価とフ

ィードバックの編集を行うために必要な項目の要件を抽出する。

No.	項目名	要件	注意
1	分野	「(職業分野-職業別)学修成果指標」における職業分野	同一年度の複数の学生間で同一である必要
2	職種	「(職業分野-職業別)学修成果指標」における職種	同上
3	レベル	「資格枠組のレベル定義」におけるレベル	同上
4	人材特性	「資格枠組のレベル定義」における人材特性	同上
5	人材特性項目	「(職業分野-職業別)学修成果指標」における人材特性内の各項目	同上
6	人材特性指針	人材特性項目の評価を行う際の具体的な評価指針	同上
7	所属	学生の場合は学校・学科 社会人の場合は勤務先	
8	役職	学生の場合は学年 社会人の場合は役職	
9	自己評価	人材特性項目に対する自己評価	人材特性項目と1対1に対応
10	他者評価	自己評価に対する客観的評価	人材特性項目と1対1に対応
11	エビデンス	評価の根拠となる画像等のデータをアップロード	JPG、PDF、Word、Excel、PowerPoint 等のファイルに対応

表 1 「(職業分野-職業別)学修成果指標」に対応する「ガイドライン」に必要な項目

4.3 使用 OSS

学修成果情報共有システムは、将来的には高機能で安定した有償ソフトウェアを利用する可能性もあるが、可能な限り学校の経済的負担を軽減させる意味でも、プロトタイプ段階から、将来まで利用可能であることを想定した OSS を使用して、実用可能性を検証する。

要件を充足できる可能性のある OSS として、「Moodle」、「mahara」、「Sakai」を挙げ、各ソフトウェアの仕様を比較検討し、プロトタイプとして採用するソフトウェアを決定する。

項目	Moodle	mahara	Sakai
サーバサイド言語	PHP	PHP	Java
データベース	MySQL(MariaDB) PostgreSQL	MySQL(MariaDB) PostgreSQL	MySQL(MariaDB) Oracle
レスポンス対応	○	○	○
ライセンス	GNU General Public License	GNU General Public License	Educational Community License v2.0
日本語対応	○	○	○
主機能	LMS	e-ポートフォリオ	LMS
拡張機能	プラグインで提供	プラグインで提供	拡張機能セット「Contrib Tools」で提供

表 2 OSS 仕様比較

本事業でプロトタイプとして利用する場合は、サーバサイド言語が Java であれば決定するサーバを Java が動作可能であるものにする必要があるが、学校の一般的な環境を考えると、自校の Web サイト等で公開しているサーバと同様の環境上すべての環境を用意した方がメンテナンス性も高く、費用も少ないことから、Web アプリケーション環境のデファクトスタンダードである LAMP 環境が望ましい。

本事業では、専門職高等教育保証機構が用意した環境で、実証実験協力校が利用することを想定するが、将来的には各校が独自環境を構築する可能性もあることから、一般的なレンタルサーバでは選択肢が非常に少ないサーバサイド言語に Java を必要とする「Sakai」は今年度のプロトタイプの選択肢からは除外する。

「Moodle」と「mahara」は、要求される環境も似ており、一般的なレンタルサーバ環境で動作可能である。

主目的が、「Moodle」はLMS、「mahara」はeポートフォリオであることから、近年の日本国内での採用実績があまり確認できないものの、機能としては「mahara」の方が本事業には適切と判断し、「mahara」を使用したプロトタイプ開発を用意した。



図 11 「mahara」を使用したプロトタイプ開発



図 12 「mahara」を使用したeポートフォリオ

「mahara」を使用したプロトタイプ開発は、構築途中でトラブルも多かったが、簡易なトラブルについては「mahara」開発者と情報共有ができるコミュニティ上でトラブルの報告をすることで、比較的短時間でバグを修正したバッチが提供された。

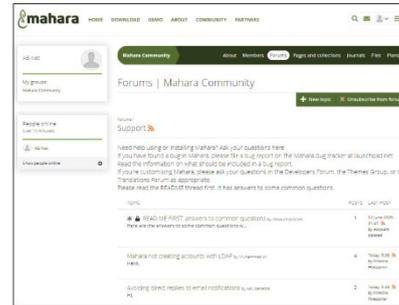


図 13 「mahara」コミュニティ

トラブルが発生しても、比較的短時間でトラブルが解消されるのであれば、プロトタイプ開発は「mahara」で問題ないと判断して、本格的にプロトタイプ開発の構築を開始したが、「mahara」コミュニティが英語だけの対応であるため、語学的な壁があること、原因の追究が困難なトラブルの場合は、「mahara」コミュニティでのレスポンスがないケースや、大きなトラブルの場合は迅速な修正バッチが提供されず、次期バージョンで対応予定というようなアナウンスが行われるだけであったりすることが多発し、このまま「mahara」の使用を前提としたプロトタイプ開発の構築を続けても、今年度事業として実証利用することは困難である可能性が高くなった。

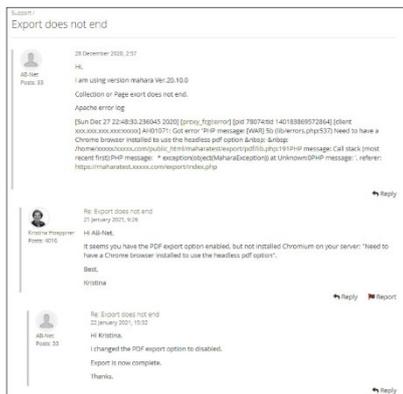


図 14 オペレーションによる障害回避方法が提示されたケース

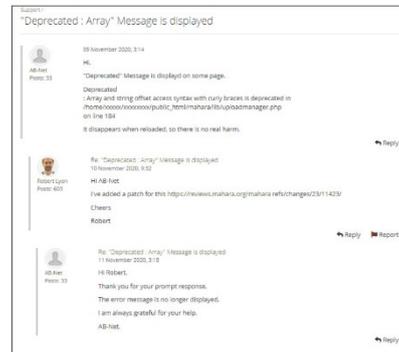


図 15 修正バッチが提供されたケース

図 16 次期バージョンで対応予定とアナウンスされたケース

「mahara」は、海外での使用実績は多いにも関わらず、近年の日本国内での使用実績がほとんど探せないことの原因は、日本語環境への対応が不十分であることが一因であると思われる。

本専業の目的に適合性が高いOSSは、「mahara」であると思われるが、残念ながら現時点の品質と日本語対応状況では、今年度中の実証環境での利用は困難と判断し、今年度事業に関しては次点候補の「Moodle」を利用し、来年度事業で利用するOSSは、改めて検討することとする。

21

5 入力要求と出力要求

5.1 入力要求

5.1.1 入力要求の一覧

入力各機能における入力要求について、表にまとめる。

No.	機能名	入力名	目的・内容	担当部門
(1)	トップ	ログイン	ユーザ名、パスワードにより、正しく利用者をであることを確認する。	専門職高等教育質保証機構、学生
(2)	コース追加	カテゴリ追加	学校・学科・コース等の階層構造を追加する。	専門職高等教育質保証機構
(3)		コース追加	学校・学科・コース内に、学年等のような共通の属性を行う1つの学籍集団をレベル別に追加する。	専門職高等教育質保証機構
(4)	資格枠組のレベル定義追加	資格枠組のレベル定義(レベルディスクリプター)のPDFファイルをアップロードする。	専門職高等教育質保証機構	
(5)		資格枠組のレベル定義(職業)のPDFファイルをアップロードする。	専門職高等教育質保証機構	
(6)		学籍成果指標、分野、職種	学籍成果指標、分野、職種のPDFファイルをアップロードする。	専門職高等教育質保証機構
(7)	ガイドライン追加	人材特性追加	資格枠組のレベル定義における人材特性を追加する。	専門職高等教育質保証機構
(8)		人材特性項目追加	職業分野職業集団/職業集団/職業種目における人材特性内の各項目、人材特性項目の属性を行う際の属性の追加/削除を行う。	専門職高等教育質保証機構
(9)	ユーザ追加	ユーザアカウント追加	学籍集団構造システム上にログインできるユーザアカウントを追加する。	専門職高等教育質保証機構
(10)		教員ユーザ追加	コース内での先生登録できる教員ユーザを追加する。	専門職高等教育質保証機構
(11)		学生ユーザ追加	コース内の学生ユーザを追加する。	専門職高等教育質保証機構
(12)	自己評価	人材特性項目選択	自己評価する人材特性項目を選択する。	学生
(13)		自己評価開始	自己評価の登録開始を選択する。	学生
(14)		自己評価登録	人材特性項目に対する自己評価を登録する。	学生
(15)	教員評価	人材特性項目選択	教員が評価する人材特性項目を選択する。	教員
(16)		評価 発表/開始	教員が評価する学生の発表/開始を選択する。	教員
(17)		評価対象学生選択	教員が評価する学生を選択する。	教員
(18)		教員評価登録	教員による学生の評価を登録する。	教員

22

(1) ログイン画面の入力要求

機能概要	ユーザ名、パスワードにより、正当な利用者であることを確認する。
業務処理手順	① ログイン ユーザ名、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックする。
入力要求画面	

(2) カテゴリ追加画面の入力要求

機能概要	学校・学科・コース等の階層構造を追加する。
業務処理手順	① カテゴリ追加 親カテゴリ、カテゴリ名、カテゴリIDナンバー、説明を入力し、「カテゴリを作成する」ボタンをクリックする。
入力要求画面	

(3) コース追加画面の入力要求

機能概要	学校・学科・コース内に、学年等のような共通の属性を行う1つの学籍集団をレベル別に追加する。
業務処理手順	① コース追加 親コース名、コース名称、コースカテゴリ、コース属性、開講日、コース終了日、コースIDナンバー、コース概要、その他必要な項目を入力し、「保存して戻る」ボタンをクリックする。

23

入力要求画面

24

(9) ユーザーアカウント追加画面の入力要求

機能概要	学務成果情報共有システムにログインできるユーザーアカウントを追加する。
業務処理手順	① ユーザーアカウント追加 ユーザー名、パスワード、姓、名、メールアドレス、その他必要な項目を入力し、「ユーザーを作成する」ボタンをクリックする。

(10) 教員ユーザー追加画面の入力要求

機能概要	コース内の学生を管理できる教員ユーザーを追加する。
業務処理手順	① 教員ユーザー追加 教員として追加するユーザーを選択し、ロールを「編集権限のない講師」に設定し、「ユーザーを作成する」ボタンをクリックする。

(11) 学生ユーザー追加画面の入力要求

機能概要	コース内の学生ユーザーを追加する。
業務処理手順	① 学生ユーザー追加 学生として追加するユーザーを選択し、ロールを「受講者」に設定し、「ユーザーを作成する」ボタンをクリックする。

(12) 人材特性項目選択画面の入力要求

機能概要	自己評価する人材特性項目を選択する。
業務処理手順	① 人材特性項目選択 自己評価を行う人材特性項目をクリックすることで、当該人材特性項目の「自己評価入力開始」画面を表示する。

(13) 自己評価登録開始画面の入力要求

機能概要	自己評価の登録開始を選択する。
業務処理手順	① 自己評価登録開始 「提出物をアップロード・入力する」ボタンをクリックする。

(2) 資格枠組のレベル定義(概要)の出力要求

機能概要	資格枠組のレベル定義(概要)のPDFをダウンロードする。
業務処理手順	① 資格枠組のレベル定義(概要)PDFダウンロード 必要な言語の資格枠組のレベル定義(概要)PDFダウンロードのリンクをクリックする。
出力要求画面	資格枠組のレベル定義(概要) <ul style="list-style-type: none"> 資格枠組のレベル定義(概要)日本語PDFダウンロード 資格枠組のレベル定義(概要)英語PDFダウンロード 資格枠組のレベル定義(概要)韓国語(韓国文字)PDFダウンロード 資格枠組のレベル定義(概要)中国語(簡体字)PDFダウンロード 資格枠組のレベル定義(概要)中国語(繁体字)PDFダウンロード 資格枠組のレベル定義(概要)日本語PDFダウンロード

(3) 学修成果指標・評価ガイドラインの出力要求

機能概要	分野・職種別の学修成果指標・評価ガイドラインのPDFをダウンロードする。
業務処理手順	① 分野・職種別の学修成果指標・評価ガイドラインPDFダウンロード 学修成果指標・評価ガイドラインPDFダウンロードのリンクをクリックする。

37

出力要求画面

(4) 人材特性項目一覧での合否確認の出力要求

機能概要	人材特性項目一覧で、教員による評価結果の合否を確認する。
業務処理手順	① 人材特性項目一覧での合否確認 人材特性項目一覧で、教員による評価結果が合格の場合緑の「✓」、不合格の場合赤色の「×」が表示される。
出力要求画面	知識と理解 <ul style="list-style-type: none"> 動物形態機能学 <input checked="" type="checkbox"/> 動物の体を組織、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。 動物医療関連法規 <input checked="" type="checkbox"/> 動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。

(5) 人材特性項目選択の出力要求

機能概要	教員による評価結果を確認する人材特性項目を選択する。
------	----------------------------

38

業務処理手順 ① 人材特性項目選択
教員による評価結果を確認する人材特性項目をクリックする。

出力要求画面

(6) 評価結果詳細確認の出力要求

機能概要	教員による評価結果の詳細を確認する。
業務処理手順	① 評価結果詳細確認 教員による評価結果の詳細を確認する。
出力要求画面	動物形態機能学 動物の体を組織、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。 動物医療関連法規 動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。

提出ステータス

提出ステータス	評価のために提出済み
評価ステータス	評価済み
最終更新日時	2021年01月11日(月) 19:34
評価コメント	コメント (0)

フィードバック

評価	80 / 100
評価日時	2021年01月11日(月) 19:35
評価者	鈴木 花子

フィードバックコメント
「動物の体の組織、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」

39

(7) 学生自身の評価結果一覧表示指示の出力要求

機能概要	学生自身の評価結果一覧を表示する。
業務処理手順	① 学生自身の評価結果一覧表示指示 「特定」ボタンをクリックする。
出力要求画面	

(8) 学生自身の評価結果一覧表示の出力要求

機能概要	学生自身の評価結果一覧を表示する。												
業務処理手順	① 学生自身の評価結果一覧表示 学生自身の、教員による評価結果を、人材特性項目別に、得点、合否、フィードバックコメントが一覧表示される。												
出力要求画面	ユーザレポート - 山田 次郎 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>得点</th> <th>合否</th> <th>フィードバック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動物形態機能学</td> <td>80</td> <td>合格</td> <td>「動物の体の組織、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」</td> </tr> <tr> <td>動物医療関連法規</td> <td>70</td> <td>不合格</td> <td>「動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	得点	合否	フィードバック	動物形態機能学	80	合格	「動物の体の組織、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」	動物医療関連法規	70	不合格	「動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」
評価項目	得点	合否	フィードバック										
動物形態機能学	80	合格	「動物の体の組織、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」										
動物医療関連法規	70	不合格	「動物や飼育施設に関連する様々な法規について学び、社会における動物福祉の役割を理解する。」										

(9) 人材特性項目選択の出力要求

機能概要	評価結果を表示する人材特性項目を選択する。
業務処理手順	① 人材特性項目選択 評価結果を確認する人材特性項目をクリックする。

40

出力要求画面

知識と理解

- 動物形態機能学
 - 動物の体の組織、組織、機能の各系編で理解し動物学、生理学、生化学の観点から動物の生息環境の仕方を理解する。
- 動物区別関連法規
 - 動物や動物産物に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。
- 公衆衛生
 - 人と動物が共生する環境、家の安全と衛生、疫学、人類共通感染症について学び、人の健康維持・増進や疾病予防について理解する。

(10) 人材特性項目ごとの評価一覧表示開始の出力要求

機能概要	評価結果の一覧の表示開始を選択する。
業務処理手順	① 人材特性項目ごとの評価一覧表示開始 評価概要画面で、「すべての機出を表示する」ボタンをクリックする。

出力要求画面

動物形態機能学

動物の体の組織、組織、機能の各系編で理解し動物学、生理学、生化学の観点から動物の生息環境の仕方を理解する。

評価概要

学生から評価	No
評価数	15
評価	8
再評価	2

すべての機出を表示する 閉

(11) 人材特性項目ごとの評価一覧表示の出力要求

機能概要	学生ごとの評価結果の一覧を表示する。
業務処理手順	① 人材特性項目ごとの評価一覧表示 学生ごとの評価結果の一覧を表示する。

41

出力要求画面

出力要求画面

(12) 人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧表示指示の出力要求

機能概要	人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧表示を指示する。
業務処理手順	① 人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧表示指示 人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧表示を指示するため、「評価」ボタンをクリックする。

出力要求画面

国際動物専門学校2019年度入学レベル4

(13) 人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧表示の出力要求

機能概要	人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧を表示する。
業務処理手順	① 人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧表示 人材特性項目ごと・学生ごとの評価結果一覧を表示する。

42

出力要求画面

国際動物専門学校2019年度入学レベル4

姓・名	メールアドレス	評価数	評価	再評価
...	...	100	100	-
...	...	60	60	-
...	...	60	60	-
...	...	-	-	-
...	...	-	-	-

43

6 品質・性能要求

6.1 システム全体についての要求

6.1.1 性能要求

通常時で5秒以内、繁忙期で10秒以内のレスポンスであること。

6.1.2 品質要求

① 使用性（操作性）の要求
学修成果情報共有システムは、簡易な操作説明書を渡れば容易に操作できる使用性であること。
ユーザアカウント管理や学修成果指標等管理機能は、一般的な事務職程度のITスキルがあれば、操作説明書を見ながら操作できる使用性であること。

② 保守性の要求
国内データセンターでサーバ管理を行うこと。

③ 信頼性の要求
データセンターの稼働率は、計画的システム停止を除き99.9%以上とする。
防火・地震対策システム、停電対策・24時間管理体などを備えていること。
過去5日分以上のバックアップを保有し、必要に応じてリストアできること。
複数のバックボーン回線を有すること。

6.2 個々の機能に関連する要求

6.2.1 性能要求

特定の学修集団が、一斉に自己評価の人力をすることで、大量のアクセスが同時に発生することが想定される。
100名程度の学生が一斉に自己評価の人力を行った場合でも、大幅な遅延が発生しないこと。

44

6.2.2 品質要求

① 移植性の要求

Web アプリケーションのデファクトスタンダードである LAMP(Linux、Apache、MySQL、PHP)環境を利用し、容易に移植ができること。

② 接続性の要求

利用者は、一般的なインターネット環境 (CF/JP) による接続、ブラウザによる Web ページ表示機能)があれば、システムが利用可能であること。

③ 拡張性の要求

データ量の増大に対して、容易にデータ容量が追加できる構成であること。
業務処理量の増大に対して、容易に高性能なサーバ環境に移行可能であること。

45

7 セキュリティ要求

7.1 セキュリティポリシー

情報セキュリティ基本方針

情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、社会の信頼に応えるべく、情報セキュリティ基本方針を定め、当社の情報セキュリティに対する取り組みの指針とする。

1. 情報セキュリティポリシーの整備
セキュリティの維持及び改善のために必要な管理体制を整備し、必要な情報セキュリティ対策を定める。
2. リーダーシップにおける責任および継続的改善
本方針の遵守により、情報資産が適切に管理されるよう主導する。
3. 法令、契約上の要求事項の遵守
事業活動で利用する情報資産に関連する法令、規則、規範及びお客様との契約上のセキュリティ要求事項を遵守する。
4. 利用者の取組み

情報セキュリティの維持及び改善のために必要とされ知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにする。

5. 違反及び事故への対応

情報セキュリティに関わる法令、規則、規範及びお客様との契約に関わる違反及び情報セキュリティ事故への対応のための体制を整備し、違反及び事故の影響を低減する。

7.2 不正アクセスの防止

7.2.1 不正侵入への対策

Dos、ポートスキャン、バッファオーバーフロー、ワーム、スプーフィング、ブルートフォースアタック、SQLインジェクション、クロスサイトスクリプティング等の不正アクセスを検知できる機能を有すること。

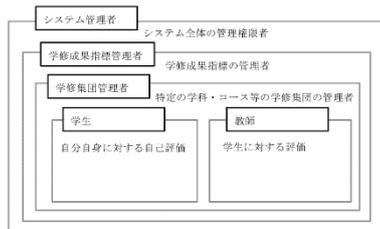
アカウントを有する正当な利用者以外、システムの利用ができない機能を備えること。
(公開されたデータの閲覧を除く)

利用者のアクセス権を適切に管理するため、利用者が用いるアカウント (ユーザ ID、パスワード、権限等) を管理 (登録、更新、停止、削除等) するための機能を備えること。

46

7.2.2 内部利用者のアクセス制御

内部利用者は、システム全体の管理権限を有する「システム管理者」、学修成果指標を管理する「学修成果指標管理者」、特定の学修集団(学科、コース等)の管理を行う「学修集団管理者」、自身自身に対する自己評価を行う「学生」、学生に対する評価を行う「教師」に分類し、自己の権限の範囲内に限定したアクセスを許可する。



7.3 情報の保護

7.3.1 伝送データの保護

通信回線に対する盗聴行為や利用者の不注意による情報の漏えいを防止するため、通信回線を暗号化する機能を備えること。

全ての利用者は、HTTPS等の暗号化プロトコルを利用してシステムを利用すること。
運用・保守オペレーションにおいて運用管理端末からサーバにアクセスする際は、SSL、SSH等のセキュアなプロトコルを使用すること。

7.3.2 データの保護

情報システムに蓄積された情報の窃取や漏えいを防止するため、情報へのアクセスを制限できる機能を備えること。

データベースを格納するハードディスクは、ディスク1台の故障ではデータを失わない冗長構成であること。

過去10日分以上のバックアップを自動的に保有し、必要に応じてリストアできること。

47

自動的なバックアップ以外に、随時、手動でバックアップが取得可能であること。

7.4 ウイルス対策

第三者によるセキュリティ診断サービス等を利用し、ネットワーク上の脆弱性を客観的かつ厳格にチェックできること。

48

資料6 ニーズ調査票 企業

学修成果情報共有システムに関するニーズ 調査票

アンケートへのご協力、ありがとうございます。回答は、以下のいずれかの方法でお送りください。

- 同封のアンケート用紙に回答いただいた場合はFAXにて送信
FAX： **03-6734-0541**
- 当機構ホームページからダウンロードしたアンケート用Excelに入力いただいた場合はメールに添付して送信
メールアドレス： **jimukyoku@qaphe.com**

1. 御社について（①～⑤は空欄にご記入、⑥～⑦は記号を空欄にご記入ください）

① 御社名	
② ご回答者様氏名	
③ ご回答者様役職	
④ ご連絡先電話番号	
⑤ ご連絡先メールアドレス	
⑥ 従業員数	1. 5人未満口 2. 5人以上20人未満口 3. 20人以上50人未満口 4. 50人以上100人未満口 5. 100人以上500人未満口 6. 500人以上
⑦ 分野 添付資料3「学修成果指標」の タイトルに書かれています	1. 美容分野 2. ゲーム・CG分野 3. 動物分野 4. 土木・建築分野

2. 人材特性について

専門学校の卒業生を採用するとき、(1)～(8)の人材特性について、添付資料3「学修成果指標」のレベル4～8のうちどのレベル以上であれば採用しますか。該当するレベル番号の欄に ○ をご記入ください。

人材特性		レベル番号				
		4	5	6	7	8
(1)	知識と理解					
(2)	汎用的技能					
(3)	職務上の 技能	専門実践技能				
(4)		対人技能				
(5)		分析技能				
(6)		管理・指導技能				
(7)	自律性と責任感					
(8)	倫理観・プロ意識					

3. 学修成果のエビデンスについて

(1)～(8)の人材特性の項目について、学修成果がそのレベルにある証拠(エビデンス)として何を求めますか。

求めるものの選択欄に ○ をご記入ください(複数選択可)。

また、選択肢以外に求めたいものがあれば、「その他」にご記入ください。

人材特性		選択	証拠(エビデンス)	選択	証拠(エビデンス)
(1)	知識と理解		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			研究レポート		作品
			受賞・表彰		
			その他		
(2)	汎用的技能		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			研究レポート		作品
			受賞・表彰		特技(ITや語学など)
			その他		
(3)	専門実践技能		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			実習レポート		作品
			受賞・表彰		インターンシップ記録
			その他		
(4)	職務上の技能	対人技能		事例	インターンシップ記録
				教員のコメント	
				その他	
(5)	職務上の技能	分析技能		カリキュラム	成績表
				教員のコメント	資格・免許
				実習レポート	研究レポート
				事例	インターンシップ記録
				その他	
(6)	職務上の技能	管理・指導技能		事例	インターンシップ記録
				教員のコメント	
				その他	
(7)	自律性と責任感		事例	インターンシップ記録	
			教員のコメント	課外活動	
			企画書		
			その他		
(8)	倫理観・プロ意識		事例	インターンシップ記録	
			教員のコメント	クラス活動	
			その他		

4. 学修成果情報共有システムについて

学修成果情報共有システムのようなシステムがあったら、専門学校生の採用のときなどに使ってみたいと思いますか？
該当する選択欄に ○ をご記入ください。
また、選択肢以外にご意見があれば、「その他」にご記入ください。

選択	
	ぜひ使ってみたい
	使ってみたい
	どちらともいえない
	使いたくない
	使わない
その他	

5. 学修成果情報共有システムのセキュリティについて

プライバシー保護の観点から、また技術的観点から、セキュリティに関してご意見があればご記入ください。

6. 学修成果情報共有システムに期待すること

学修成果情報共有システムに期待することは何ですか。
該当する選択欄に ○ をご記入ください(複数選択可)。
また、選択肢以外に期待することがあれば、「その他」にご記入ください。

選択	期待すること
	学生の採用時に総合的能力の判断材料になり人材の見極めに役立つ
	異なる専門学校からの学生でも学修成果指標による評価でレベルが統一できる
	社内・社外に対して採用の基準を明確に示すことができる
	採用後の社員教育によるスキルアップの記録に使える
	早期に実現し参加校を増やして実効性あるものにしてほしい
その他	

7. コメント

資格枠組のレベル定義(添付資料1)、学修成果指標(添付資料3)、ガイドライン(添付資料4)について、これらに対する印象や評価、役立ちそうか、項目やレベルの妥当性、ご意見など、何でも結構ですのご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

資料 7 ニーズ調査票 専門学校

学修成果情報共有システムに関するニーズ 調査票

アンケートへのご協力、ありがとうございます。回答は、以下のいずれかの方法でお送りください。

- 同封のアンケート用紙に回答いただいた場合はFAXにて送信
FAX： **03-6734-0541**
- 当機構ホームページからダウンロードしたアンケート用Excelに入力いただいた場合はメールに添付して送信
メールアドレス： **jimukyoku@qaphe.com**

1. 御校について (①～⑤は空欄にご記入、⑥は記号を空欄にご記入ください)

① 御校名	
② ご回答者様氏名	
③ ご回答者様役職	
④ ご連絡先電話番号	
⑤ ご連絡先メールアドレス	
⑥ 学生数(全校)	1. 100人未満口 2. 100人以上200人未満口 3. 200人以上500人未満口 4. 500人以上1000人未満口 5. 1000人以上
⑦ 分野 添付資料3「学修成果指標」の タイトルに書かれています	1. 美容分野 2. ゲーム・CG分野 3. 動物分野 4. 土木・建築分野

2. 人材特性について

(1)～(8)の人材特性の項目について、学生が卒業する時点での育成目標はどのレベルですか。添付資料3「学修成果指標」を参照して、該当するレベル番号の欄に 0 をご記入ください。

※当該分野の2年制学科があるときはその卒業生についてご回答ください。

2 年制

2年制学科がないときは何年制学科についての回答か、右にご記入ください。

人材特性		レベル番号				
		4	5	6	7	8
(1)	知識と理解					
(2)	汎用的技能					
(3)	職務上の 技能	専門実践技能				
(4)		対人技能				
(5)		分析技能				
(6)		管理・指導技能				
(7)	自律性と責任感					
(8)	倫理観・プロ意識					

3. 学修成果のエビデンスについて

(1)～(8)の人材特性の項目について、学修成果がそのレベルにある証拠(エビデンス)として何が提供できると考えますか。
 提供できるものの選択欄に 0 をご記入ください(複数選択可)。
 また、選択肢以外に提供できるものがあれば、「その他」にご記入ください。

人材特性		選択	証拠(エビデンス)	選択	証拠(エビデンス)
(1)	知識と理解		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			研究レポート		作品
			受賞・表彰		
			その他		
(2)	汎用的技能		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			研究レポート		作品
			受賞・表彰		特技(ITや語学など)
			その他		
(3)	専門実践技能		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			実習レポート		作品
			受賞・表彰		インターンシップ記録
			その他		
(4)	職務上の技能	対人技能	事例		インターンシップ記録
			教員のコメント		
			その他		
(5)	分析技能		カリキュラム		成績表
			教員のコメント		資格・免許
			実習レポート		研究レポート
			事例		インターンシップ記録
			その他		
(6)	管理・指導技能	事例		インターンシップ記録	
		教員のコメント			
		その他			
(7)	自律性と責任感	事例		インターンシップ記録	
		教員のコメント		課外活動	
		企画書			
		その他			
(8)	倫理観・プロ意識	事例		インターンシップ記録	
		教員のコメント		クラス活動	
		その他			

4. 学修成果情報共有システムについて

学修成果情報共有システムのようなシステムがあったら、進路指導や学生の学修成果の記録などに使ってみたいと思いますか？該当する選択欄に 0 をご記入ください。

また、選択肢以外にご意見があれば、「その他」にご記入ください。

選択	
	ぜひ使ってみたい
	使ってみたい
	どちらともいえない
	使いたくない
	使わない
その他	

5. 学修成果情報共有システムのセキュリティについて

プライバシー保護の観点から、また技術的観点から、セキュリティに関してご意見があればご記入ください。

--

6. 学修成果情報共有システムに期待すること

学修成果情報共有システムに期待することは何ですか。該当する選択欄に 0 をご記入ください(複数選択可)。

また、選択肢以外に期待することがあれば、「その他」にご記入ください。

選択	期待すること
	学修成果指標を使って学生自身が自己評価できる
	学修成果指標を使うことで学生評価を標準化できる
	学生が自身で学修成果を記録、蓄積することでスキルアップを実感できる
	学生が就職活動で自身のレベルを対外的に示すことができる
	学修成果指標があることで学生の学修成果が客観的に認められる
	早期に実現し参加校や参加企業を増やして実効性あるものにしてほしい
その他	

7. コメント

資格枠組のレベル定義(添付資料1)、学修成果指標(添付資料3)、ガイドライン(添付資料4)について、これらに対する印象や評価、役立ちそうか、項目やレベルの妥当性、ご意見など、何でも結構ですのでご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。

資料 8 学修成果情報共有システムの操作説明書(簡易版) 学生用

学修成果情報共有システム操作説明書(学生用) 簡易版

1.1 ログイン・ログアウト

1.1.1 学修成果情報共有システムへのログイン

- ① ブラウザから、学修成果情報共有システムのサイトを表示
学修成果情報共有システムサイト
<https://fisd.qaphe.com/>



図 1 QRコード



図 2 学修成果情報共有システムサイト

- ② 「ログイン」をクリック



図 3 「ログイン」をクリック

- ③ 「ユーザ名(ユーザID)」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック
※ 「ユーザ名」は「ユーザID」のことである。
※ パスワードには、「大文字」、「小文字」の区別がある。
※ 「ユーザ名」、「パスワード」とともに半角文字を入力する。

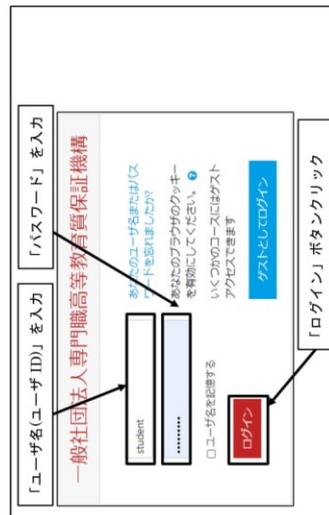


図 4 ログイン情報を入力

④ ログイン完了

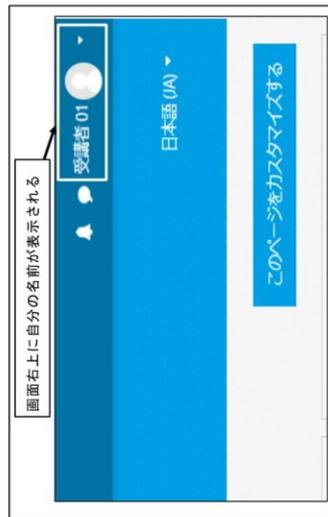


図 5 ログイン完了

1.1.2 学修成果情報共有システムからのログアウト

① 画面右上の自分の名前をクリック

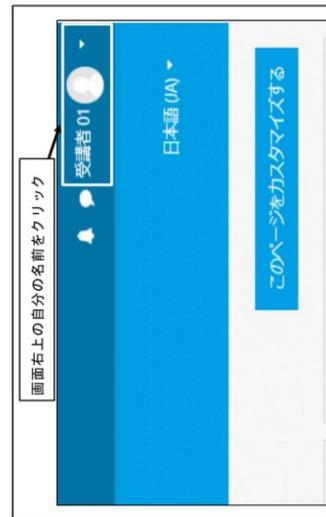


図 6 画面右上の自分の名前をクリック

② 「ログアウト」をクリック



図 7 「ログアウト」をクリック

③ ログアウト完了



図 8 ログアウト完了

1.2 学修成果情報共有システムの画面

1.2.1 ダッシュボード

ログインした直後に表示されている画面を、「ダッシュボード」と呼ぶ。作業の進捗状況や、期限の迫った作業など、ユーザに必要な情報が表示される。

① ダッシュボード

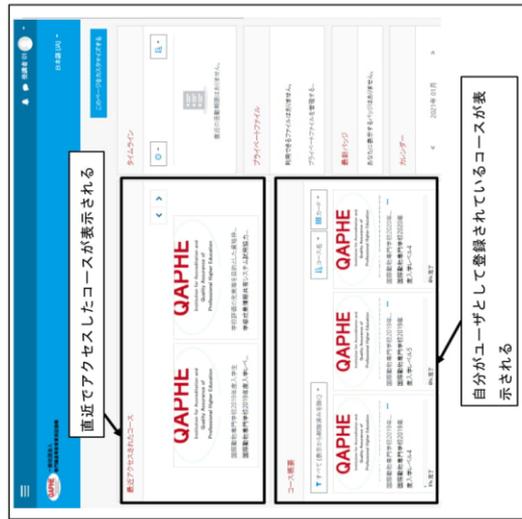


図 9 ダッシュボード

1.2.2 ブロックのドック・アンドック

ブロックを表示(ドック)することによって操作性を高めることや、ブロック非表示(アンドック)

5

することで、画面を広く使うことができる。
※本説明書は、ブロックをドックしている状態の画面で説明を行っている

① ブロックのドック・アンドック

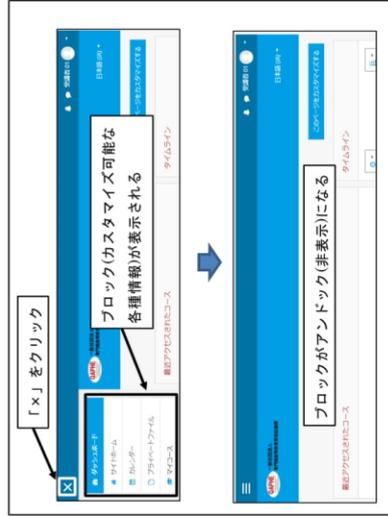


図 10 ブロックのアンドック

6

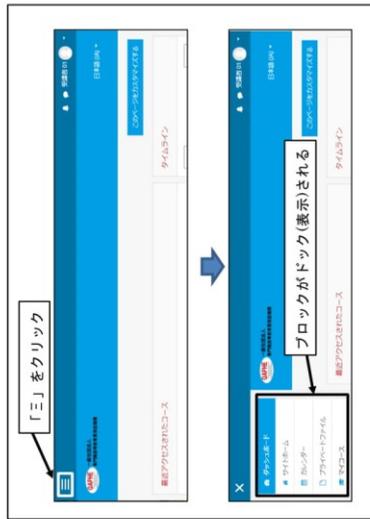


図 11 ブロックのドック

1.3 ユーザ個別の設定

1.3.1 プロファイルの設定

ユーザのプロファイル(氏名やメールアドレス)を設定する。

※学修成果情報共有システムを使い始めたら、すぐに自分のメールアドレスと氏名を設定すること。

※氏名は本名を、メールアドレスは自分が毎日見るメールアドレスを設定すること。

※自分が毎日見るメールアドレスが存在しない場合は、メールアドレスの変更はしなくても良いが、本説明書で利用される各種通知メールは届かない。

- ① 画面右上の自分の名前をクリック

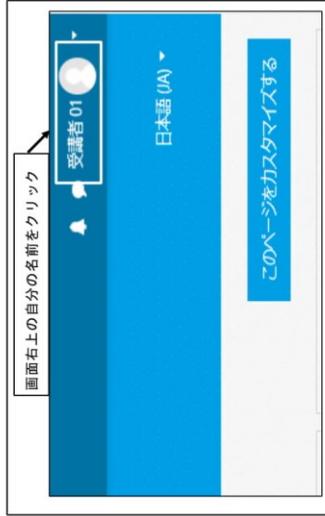


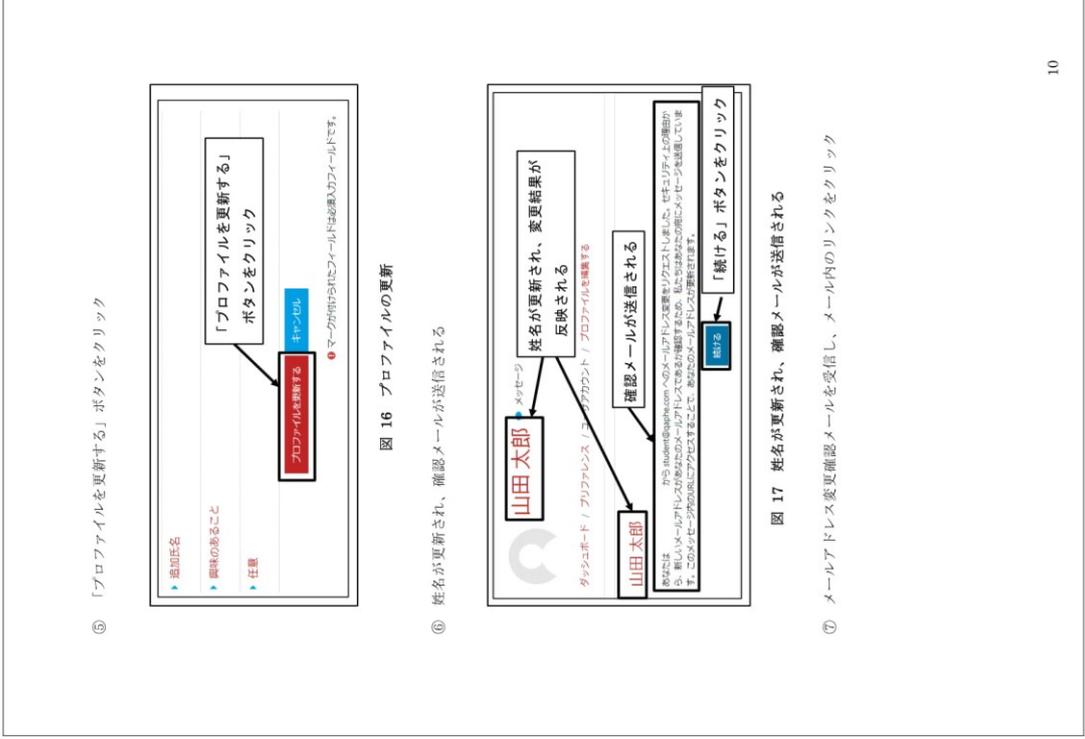
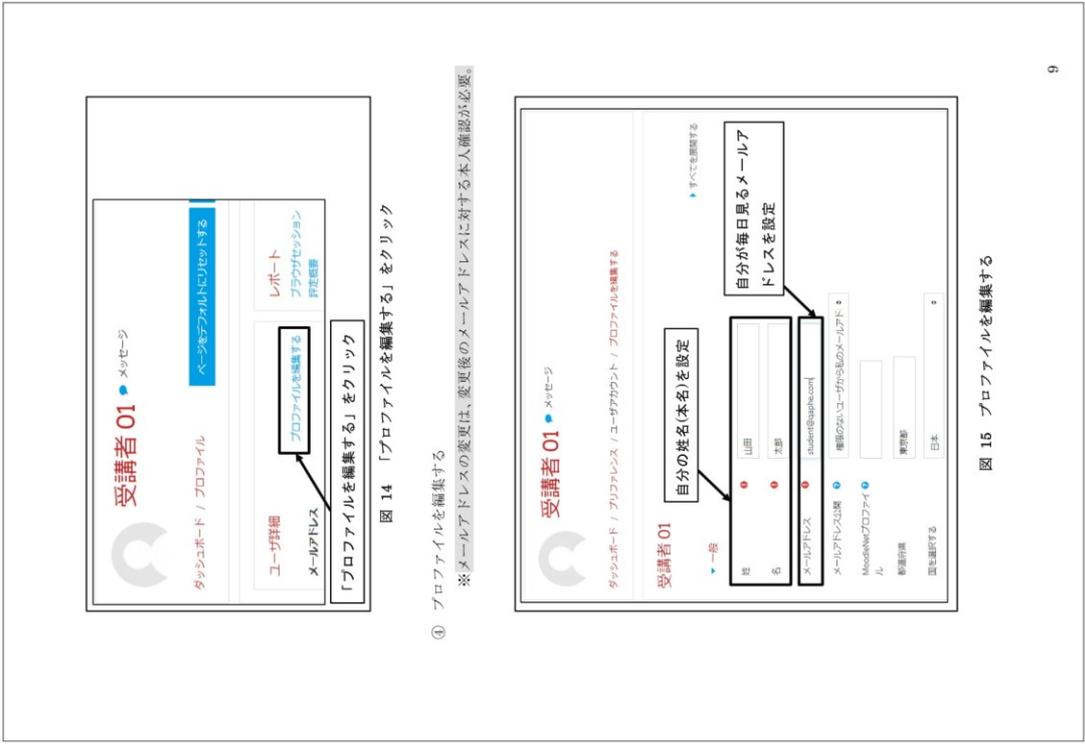
図 12 画面右上の自分の名前をクリック

- ② 「プロフィール」をクリック



図 13 「プロフィール」をクリック

- ③ 「プロフィールを編集する」をクリック



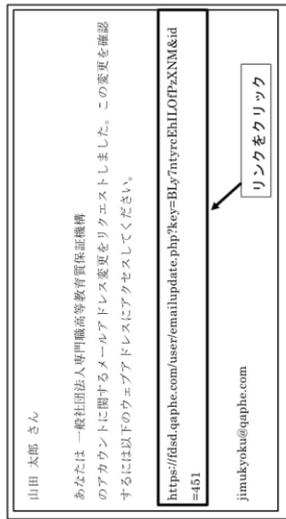


図 18 メールアドレス変更確認メール

⑧ メールアドレスの変更確認



図 19 メールアドレスの変更確認

1.4 配布資料の表示

学修成果情報共有システムを利用する際に必要な配布資料をダウンロードして表示する。

1.4.1 配布資料のダウンロード

① ダウンロードする配布資料をクリック

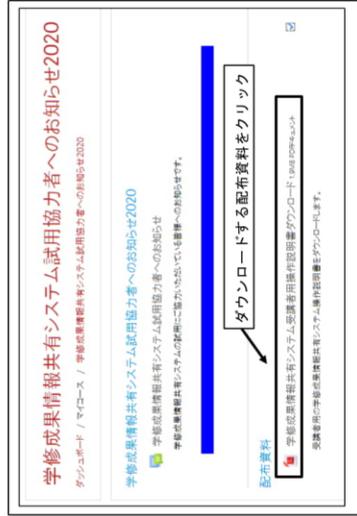


図 20 ダウンロードする配布資料をクリック

② 配布資料がダウンロードして表示される

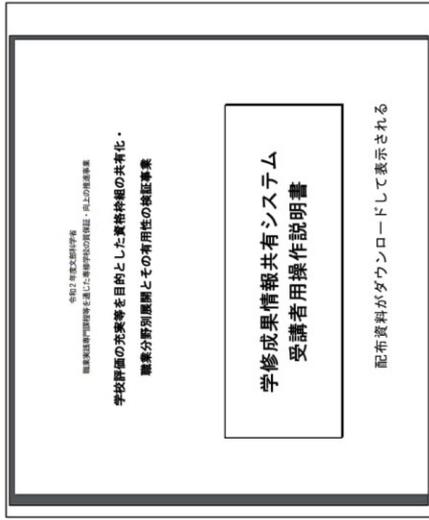


図 21 配布資料がダウンロードして表示される

2 学修成果測定

自分が学校で身につけた知識や技術が、国際的に通用する資格枠組のレベル定義(レベル定義クリップター)の様々な指標に適合していることを確認する。

2.1 学修成果自己評価

自分が学校で身につけた知識や技術が、資格枠組のレベル定義の指標に適合していることに対する学生自身の自己評価を行う。

2.1.1 コースの選択

所属する学校・学年により指定された、学修成果測定の対象となるコースを選択する。

- ① 学修成果測定の対象となるコースをクリック



図 22 学修成果測定の対象となるコースをクリック

- ② 学修成果測定の対象となるコースが表示される。



図 23 学修成果測定の対象となるコースが表示される

2.1.2 掲示板の表示

学修成果測定の対象となるコースを利用している全員に対して掲示されるお知らせを確認する。

学修成果情報共有システムを利用している期間中は、適宜確認する。操作方法は、「3.1.2 掲示板の表示」と同様である。

- ① 「コース受講者へのお知らせ」の表示

国際動物専門学校2019年度入学レベル4

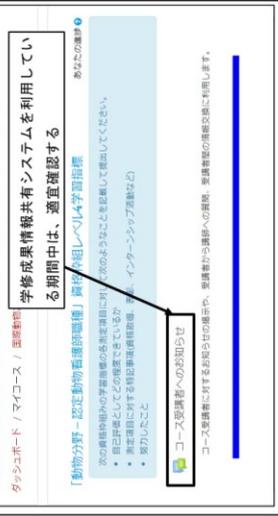


図 24 「コース受講者へのお知らせ」の表示

2.1.3 学修成果自己評価の入力

資格枠組のレベル定義の各指標に対して、自己評価の入力を繰り返す。

- ① 資格枠組みのレベル定義の指標をクリック

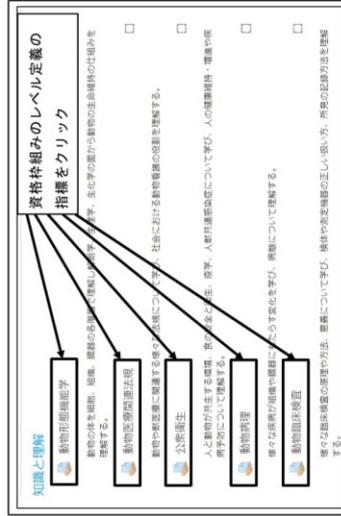


図 25 資格枠組みのレベル定義の指標をクリック

- ② 「提出物をアップロード・入力する」ボタンをクリック

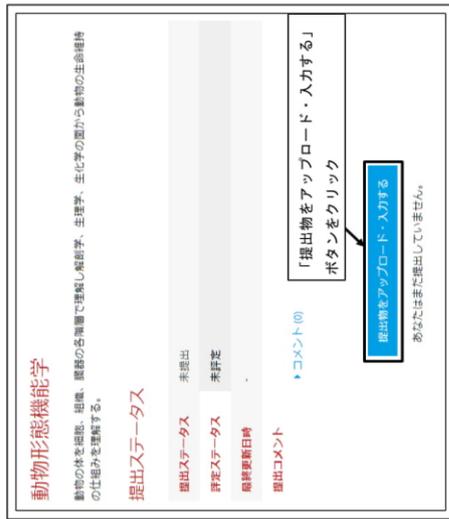


図 26 「提出物をアップロード・入力する」ボタンをクリック

- ③ 指標に対する自己評価を入力
 ※入力した内容を教員が確認し、各指標の合否が評価される。
 学んだこと、できるようになったこと、自分で理解不足だと感じていることなどを具体的に入力する。
 指標に関連する資格取得、ボランティア活動やインターンシップ活動、表彰などがあれば、それらについても具体的に入力する。

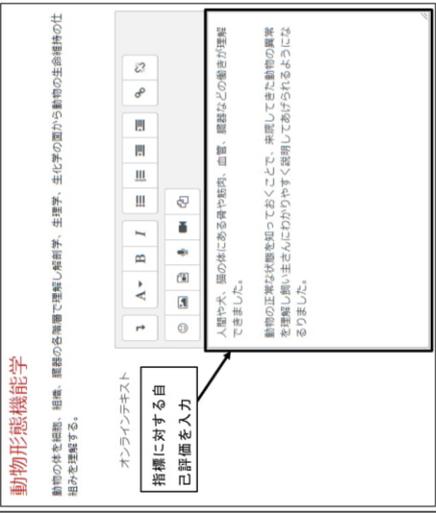


図 27 指標に対する自己評価を入力

- ④ 指標に対する自己評価にファイルを添付する場合には、ドラッグ&ドロップで追加
 資格証や表彰状の画像等を添付する。



図 28 指標に対する自己評価にファイルを添付する場合には、ドラッグ&ドロップで追加

- ⑤ 「この状態で提出する」ボタンをクリック

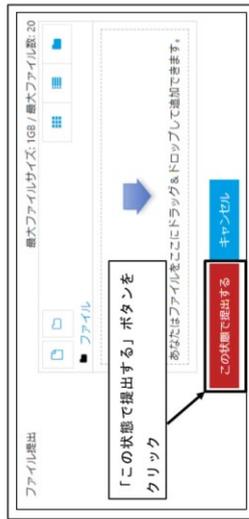


図 29 「この状態で提出する」ボタンをクリック

⑥ 提出ステータスが表示される

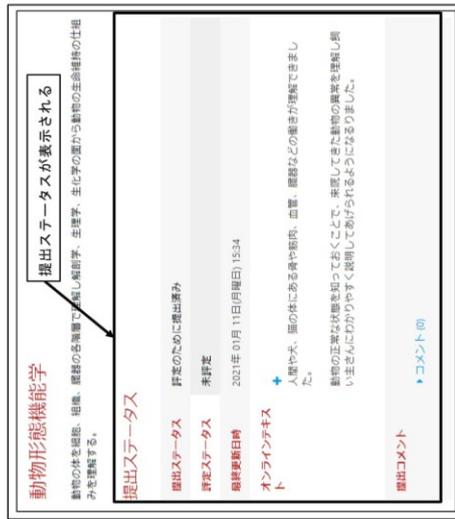


図 30 提出ステータスが表示される

⑦ 「コメント」をクリック

※指標に対する自己評価に際してコメントを入力する場合のみ

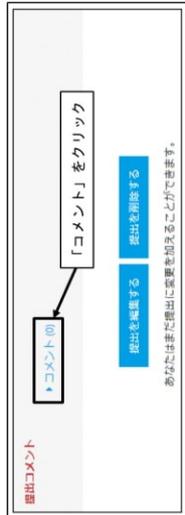


図 31 「コメント」をクリック

⑧ 「コメント」を入力して、「コメントを保存する」ボタンをクリック

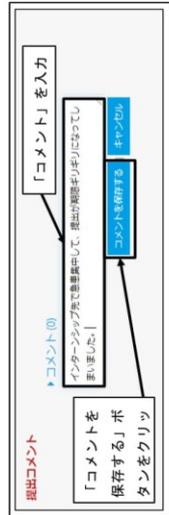


図 32 「コメント」を入力して、「コメントを保存する」ボタンをクリック

⑨ 「コメント」が保存される



図 33 「コメント」が保存される

⑩ 自己評価提出完了メールの受信

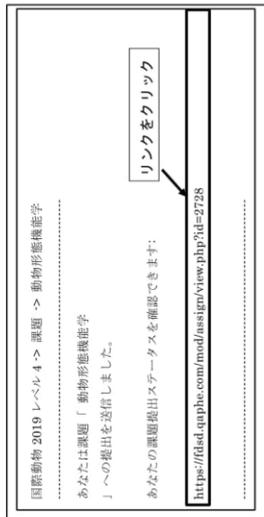


図 34 自己評価提出完了メールの受信

⑪ 自己評価の提出ステータスが表示される



図 35 自己評価の提出ステータスが 表示される

2.2 学修成果の教員による評価結果確認

学生自身の自己評価に対する、教員の評価結果を確認する。

2.2.1 教員による評価結果通知メールによる確認

教員による評価が完了すると、学生のメールアドレス宛に評価が完了したことを通知するメールが送信される。

※事前にプロフィールの変更を行い、受信可能なメールアドレスを設定しておく必要がある

① 評価結果通知メールの受信

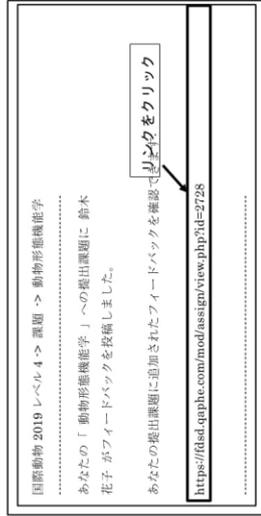


図 36 評価結果通知メールの受信

② 評定ステータスの確認

動物形態機能学
動物の骨を組織、組織、臓器の各階層で理解し、解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。

提出ステータス
評定ステータスが「評定済み」になっていることを確認

提出ステータス 評定済みのため確認済み
2023年01月11日(再提出) 15:54

最終更新日時 2023年01月11日(再提出) 15:54

オンラインテキスト 人間や犬、豚の骨にある骨や筋肉、血管、神経などの構造が理解できました。動物の正常な状態を知ることができ、それによって動物の健康を管理し、飼い主さんにわかりやすく説明してあげられるようになりました。

提出コメント コメント(1)

図 37 評定ステータスの確認

③ 評価結果の確認

フィードバック

評価 80 / 100

評定日時 2023年01月11日(再提出) 19:25

評定者 鈴木 正子

フィードバックコメント 「評価して頂く動物の健康を管理し、飼い主さんにわかりやすく説明し、正しい飼育から、正しい知識として伝えるのではなく、飼い主さんに寄り添うという目的をちゃんと理解できていると良いですね。」

「評価」を確認
「フィードバックコメント」を確認

図 38 評価結果の確認

2.2.2 指標一覧での合否の確認

資格枠組のレベル定義の各指標の右側に、合格した指標は緑の「☑」、不合格になった指標は赤の「✕」が表示される。

評点	合否
60点～100点	合格
0点～59点	不合格

表 1 評点による指標の合否基準

① コース(資格枠組)のレベル定義の指標が一覧表示される画面を表示

知識と理解

動物形態機能学
動物の体を細胞、組織、臓器の各階層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。

動物医薬関連法規
動物や獣医師に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。

公衆衛生
人と動物が共生する健康、食の安全と衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康維持・増進や疾病予防について理解する。

合格した指標は緑の「☑」が表示される

不合格になった指標は赤の「✕」が表示される

完了していない指標はチェックが表示されない

図 39 コース(資格枠組)のレベル定義の指標が一覧表示される画面を表示

2.2.3 指標一覧からの評価結果確認

資格枠組のレベル定義の各指標から、評価結果を確認する。

① 評価が完了した指標をクリック

知識と理解

動物形態機能記号

動物の体を細胞、組織、臓器の各層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。

動物医獣問進法規

動物や薬医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する。

公衆衛生

人と動物が共生する環境、食の安全と衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康維持・構想や疾病予防について理解する。

図 40 評価が完了した指標をクリック

② 評定ステータスの確認

動物形態機能記号

動物の体を細胞、組織、臓器の各層で理解し解剖学、生理学、生化学の面から動物の生命維持の仕組みを理解する。

提出ステータス

提出ステータス 評定のために提出済み

評定ステータス 評定済み

最終更新日時 2021年 01月 11日(曜日) 13:34

オンラインテスト

人間や犬、豚の体にある骨や筋肉、血管、臓器などの構造が理解できました。動物の正常な状態を知ることができ、それによって動物の健康を理解し、飼い主さんごにわかりやすく説明してあげられるようになります。

提出コメント [コメント10](#)

図 41 評定ステータスの確認

③ 評価結果の確認

フィードバック

評価 80 / 100

評価日時 2021年 01月 11日(曜日) 19:23

評定者 鈴木 花子

フィードバックコメント

「お礼していただき動物の健康を理解し、飼い主さんごにわかりやすく説明」という自己評価から、単なる知識として知るのではなく、飼い主さんごに寄り添っていく目的が感じられ理解できていると思います。

「評点」を確認

「フィードバックコメント」を確認

図 42 評価結果の確認

2.2.4 評定からの評価結果確認

評定から、評価結果の概要を確認する。

① 「評定」をクリック

国際動物専門学校2019年度入学レベル4

「評定」をクリック

次の項目の学習進捗状況を確認し、進捗率に応じて進捗率を把握していただく。

- 学習進捗率を確認する
- 学習進捗率を確認する
- 学習進捗率を確認する

コース受講率を確認する

コース受講率を確認する

図 43 「評定」をクリック

② 「概要レポート」タブをクリック

③ 「概要レポート」の表示
コースごとの評点合計が表示される。

図 44 「概要レポート」タブをクリック

27

④ 「ユーザーレポート」タブをクリック

図 46 「ユーザーレポート」タブをクリック

⑤ 「ユーザーレポート」の表示
コース内の資格枠組のレベル定義の指標ごとの評定概要が表示される。

図 47 「ユーザーレポート」の表示

28

3 アンケートの利用

3.1 アンケートへの回答

「学修成果情報共有システム試用アンケート(学生用)2020」は、学修成果情報共有システム利用者に向けたアンケートである。学修成果情報共有システムを一通り利用した後でアンケートに回答する。

3.1.1 アンケートへの回答

- ① 「学修成果情報共有システム試用アンケート(学生用)2020」をクリック

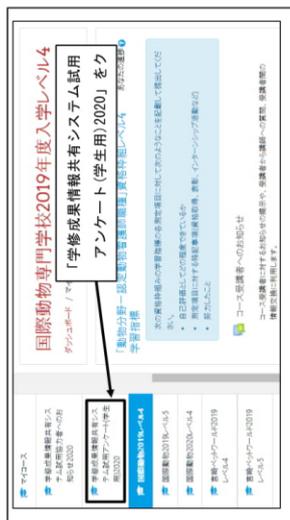


図 48 「学修成果情報共有システム試用アンケート(学生用)2020」をクリック

- ② 「学修成果情報共有システム試用アンケート(学生用)」をクリック

29

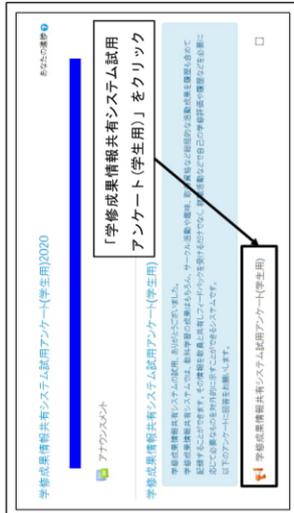


図 49 「学修成果情報共有システム試用アンケート(学生用)」をクリック

- ③ 「質問に回答する」ボタンをクリック



図 50 「質問に回答する」ボタンをクリック

- ④ 質問に回答する
質問に赤い「!」が表示されているものは必須回答、表示されていないものは任意回答である。

30

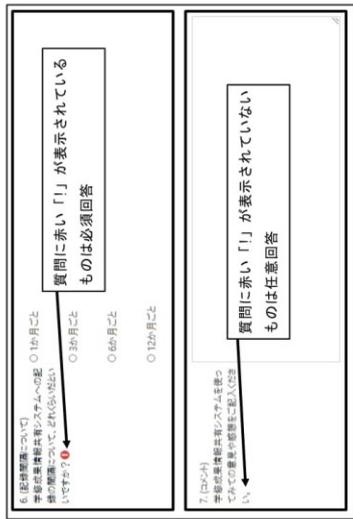


図 51 質問に回答する

⑤ 最後の質問まで回答し、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリック

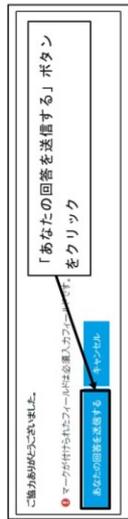


図 52 最後の質問まで回答し、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリック

⑥ 回答の完了を確認し、「続ける」ボタンをクリック

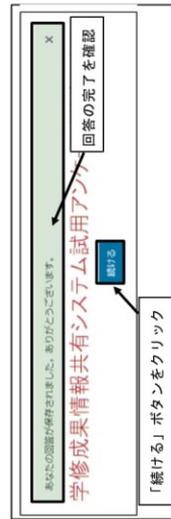


図 53 回答の完了を確認し、「続ける」ボタンをクリック

⑦ コース画面に戻る

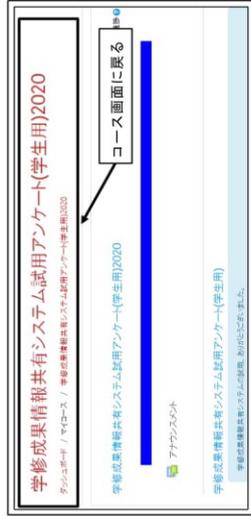


図 54 コース画面に戻る

資料 9 学修成果情報共有システムの操作説明書(簡易版) 教員用

学修成果情報共有システム操作説明書(教員用) 簡易版

1.1 ログイン・ログアウト

1.1.1 学修成果情報共有システムへのログイン

- ① ブラウザから、学修成果情報共有システムのサイトを表示
学修成果情報共有システムサイト
<https://fdsd.qaphe.com/>



図 1 QRコード



図 2 学修成果情報共有システムサイト

- ② 「ログイン」をクリック



図 3 「ログイン」をクリック

- ③ 「ユーザー名(ユーザー ID)」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリック
※ 「ユーザー名」は「ユーザー ID」のことである。
※ パスワードには、「大文字」、「小文字」の区別がある。
※ 「ユーザー名」、「パスワード」とともに半角文字を入力する。

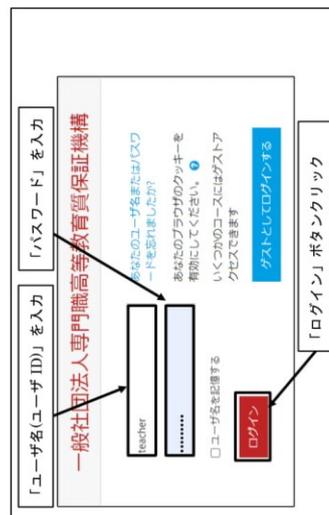


図 4 ログイン情報を入力

④ ログイン完了

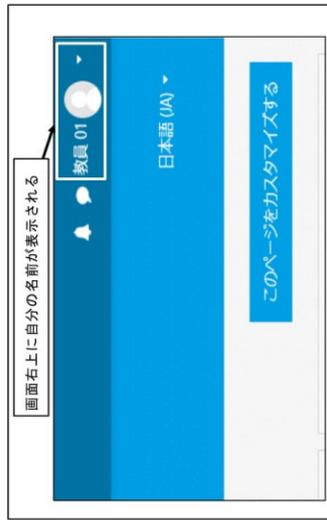


図 5 ログイン完了

1.1.2 学修成果情報共有システムからのログアウト

① 画面右上の自分の名前をクリック

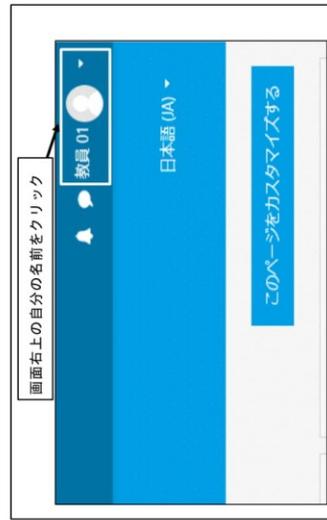


図 6 画面右上の自分の名前をクリック

3

② 「ログアウト」をクリック



図 7 「ログアウト」をクリック

③ ログアウト完了



図 8 ログアウト完了

4

1.2 学修成果情報共有システムの画面

1.2.1 ダッシュボード

ログインした直後に表示されている画面を、「ダッシュボード」と呼ぶ。作業の進捗状況や、期限の迫った作業など、ユーザーに必要な情報が表示される。

① ダッシュボード

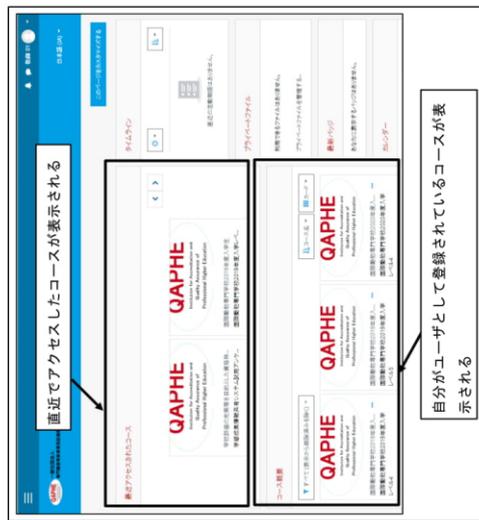


図 9 ダッシュボード

1.2.2 ブロックのドック・アンドック

ブロックを表示(ドック)することで操作性を高めることや、ブロック非表示(アンドック)することで、画面を広く使うことができる。

※本説明書は、ブロックをドックしている状態の画面で説明を行っている

① ブロックのドック・アンドック

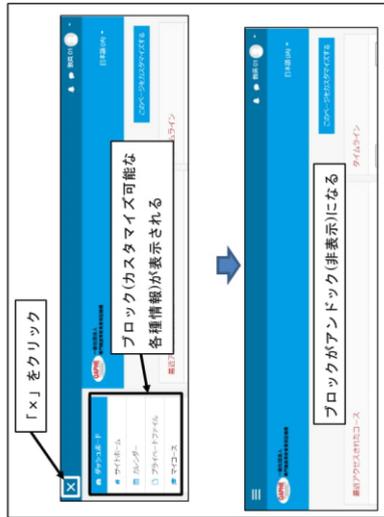


図 10 ブロックのアンドック

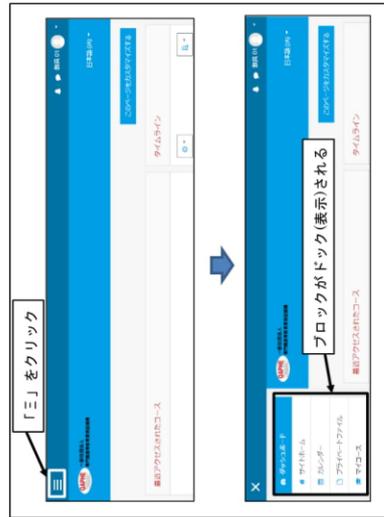


図 11 ブロックのドック

1.3 ユーザ個別の設定

1.3.1 プロファイルの設定

ユーザのプロファイル(氏名やメールアドレス)を設定する。

※学籍成果情報共有システムを使い始めたら、すぐに自分のメールアドレスと氏名を設定すること。

※氏名は本名を、メールアドレスは自分が毎日見るメールアドレスを設定すること。

※自分が毎日見るメールアドレスが存在しない場合は、メールアドレスの変更はしなくても良いが、本説明書で利用される各種通知メールは届かないため、特別な事情がない限り、通知メールが受け取れるメールアドレスを設定すること。また、携帯電話等で迷惑メールの受信拒否設定をしている場合は、送信者のアドレス「jimmukyoku@upphe.com」からのメールが受信できるように設定しておくこと。

※システムの制約上、1つのメールアドレスを複数のアカウントに設定することはできない。2学年を同一の教員が担当する場合等、複数のアカウントを1人の教員が利用する場合は、フリーメールや携帯メールを併用して、異なるメールアドレスを設定する。

※学生から、評価を行った教員の氏名が見える状態になるため、氏名は基本的に本名が望ましいが、ニックネームやカタカナ表記の氏名等を利用する場合は学生に周知すること。

① 画面右上の自分の名前をクリック

7

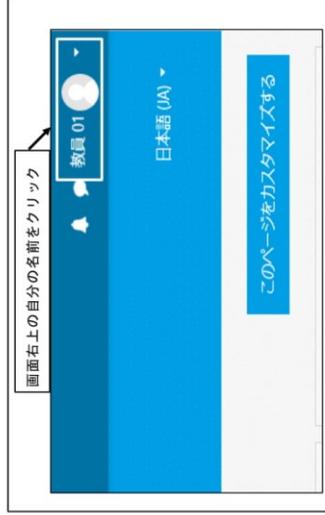


図 12 画面右上の自分の名前をクリック

② 「プロフィール」をクリック



図 13 「プロフィール」をクリック

③ 「プロフィールを編集する」をクリック

8

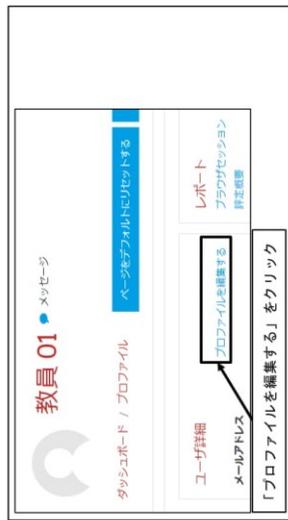


図 14 「プロフィールを編集する」をクリック

- ④ プロフィールを編集する
※メールアドレスの変更は、変更後のメールアドレスに対する本人確認が必要。

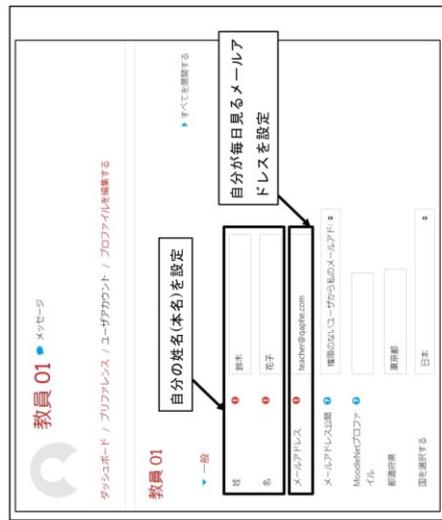


図 15 プロフィールを編集する

- ⑤ 「プロフィールを更新する」ボタンをクリック

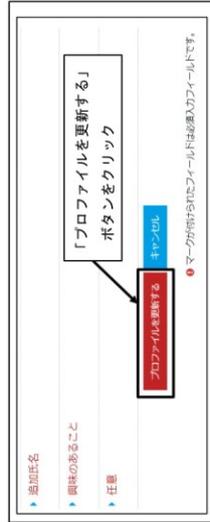


図 16 プロファイルの更新

- ⑥ 姓名が更新され、確認メールが送信される



図 17 姓名が更新され、確認メールが送信される

- ⑦ メールアドレス変更確認メールを受信し、メール内のリンクをクリック

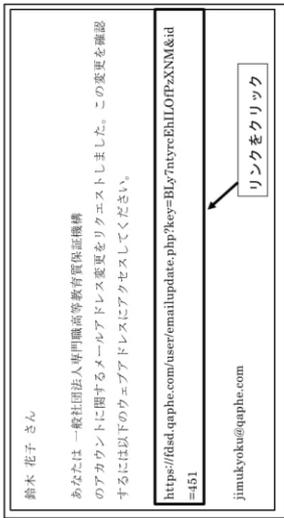


図 18 メールアドレス変更確認メール

⑧ メールアドレスの変更確認



図 19 メールアドレスの変更確認

1.4 配布資料の表示

学修成果情報共有システムを利用する際に必要な配布資料をダウンロードして表示する。

1.4.1 配布資料のダウンロード

① ダウンロードする配布資料をクリック

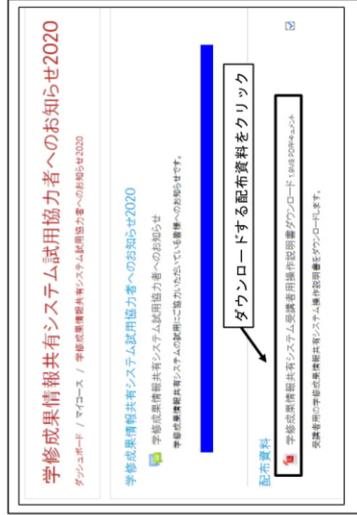


図 20 ダウンロードする配布資料をクリック

② 配布資料がダウンロードして表示される

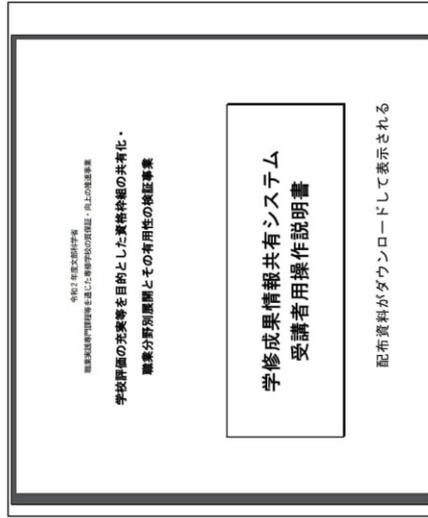


図 21 配布資料がダウンロードして表示される

2 学修成果測定

学生が学校で身につけた知識や技術が、国際的に通用する資格枠組のレベル定義(レベルディスタリブター)の様々な指標に適合していることを確認する。

2.1 学修成果の教員による評価

学生が提出した資格枠組のレベル定義の指標への自己評価に対して、教員による評価を行う。

2.1.1 コースの選択

学修成果測定の評価を行うコースを選択する。

- ① 学修成果測定の評価を行うコースをクリック



図 22 学修成果測定の評価を行うコースをクリック

- ② 学修成果測定の評価を行うコースが表示される。

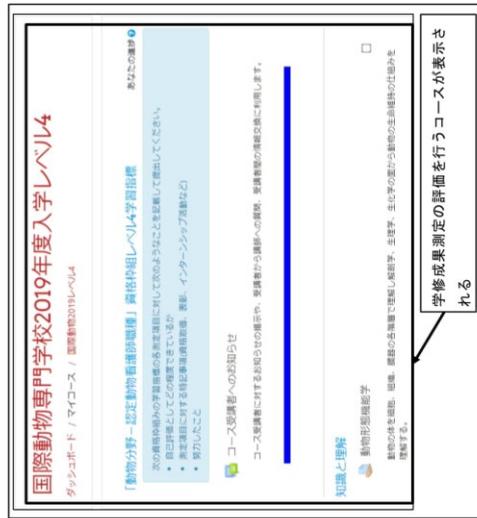


図 23 学修成果測定の評価を行うコースが表示される

2.1.2 学修成果自己評価の教員による判定

資格枠組のレベル定義の各指標に学生が入力した自己評価に対して、教員が判定を行う。

※「学修評価測定シート」の評価による評点の目安」は、あくまで目安であり、実際の評点は資格枠組のレベル定義の趣旨を踏まえ、教員が判定を行う教員の裁量で判断する。

評点	可否
60点～100点	合格
0点～59点	不合格

表 1 評点による指標の可否基準

評価	評点
A	100点
B	80点
C	60点
D	40点
E	20点

表 2 学修評価測定シートの評価による評点の目安

- ① 資格枠組みのレベル定義の指標をクリック

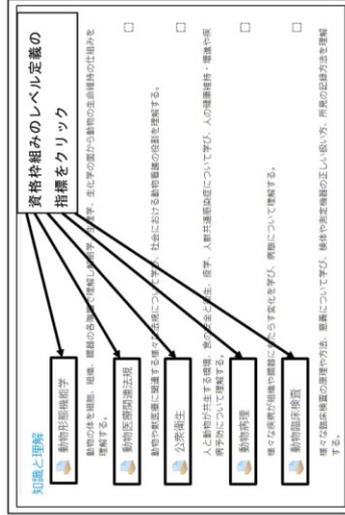


図 24 資格枠組みのレベル定義の指標をクリック

- ② 評定概要の確認

※「要評定」に表示されている数字が、評定が必要な数(学生が自己評価を提出し、評定が未完了の数)である。

⑦ 「コメント」をクリック

※「コメント」の後ろのカッコ内の数字がゼロでない場合にはコメントが存在する

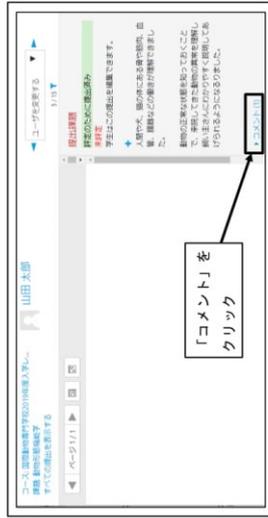


図 30 「コメント」をクリック

⑧ 「コメント」を確認

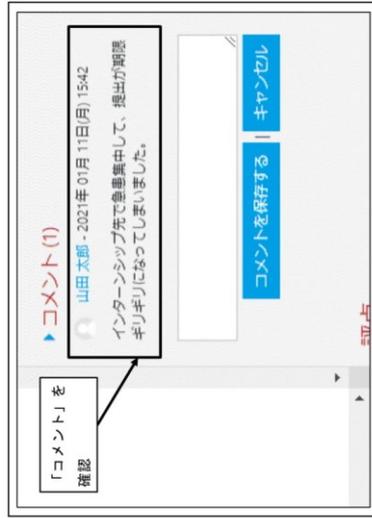


図 31 「コメント」を確認

⑨ 「評点」の入力

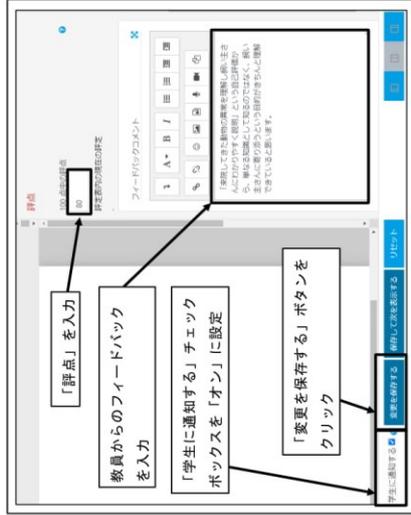


図 32 「評点」の入力

⑩ 保存されたメッセージを確認し、「OK」ボタンをクリック

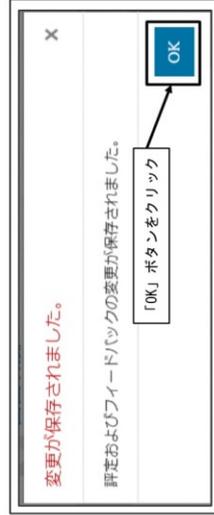


図 33 「OK」ボタンをクリック

⑪ 評定の状態が「評定済み」になったことを確認

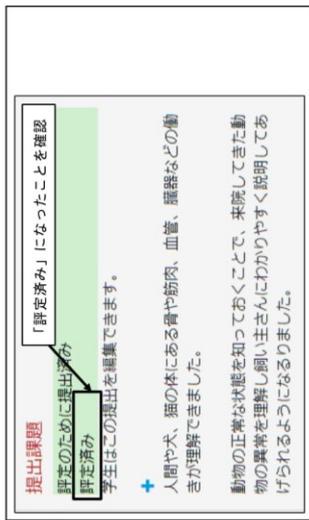


図 34 評点の状態が「評定済み」になったことを確認

2.2 学修成果の評価状況の確認

資格枠組のレベル定義の指標に対する、学生の自己評価の提出状況や、教員による評価状況、評価結果の確認を行う。

2.2.1 特定指標の評価状況の確認

資格枠組のレベル定義の特定指標の評価状況の確認を行う。

- ① 資格枠組のレベル定義の指標をクリック

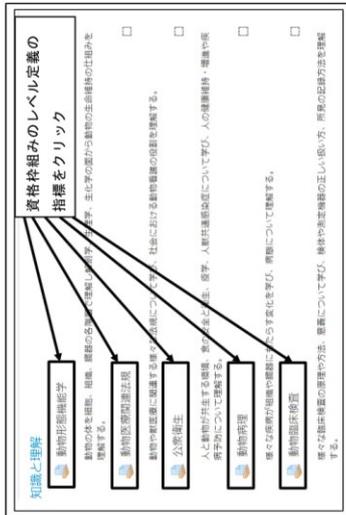


図 35 資格枠組のレベル定義の指標をクリック

- ② 評定概要の確認
参加者の数、自己評価の提出数、要評定の数を確認する。



図 36 評定概要の確認

- ③ 「すべての提出を表示する」ボタンをクリック



図 37 「すべての提出を表示する」ボタンをクリック

④ 評価状況の確認

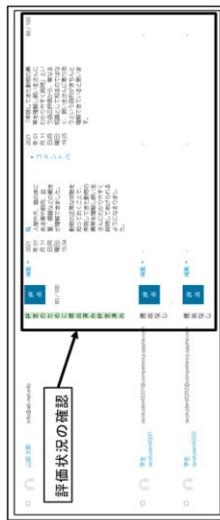


図 38 評価状況の確認

⑤ 「評価」ボタンをクリック

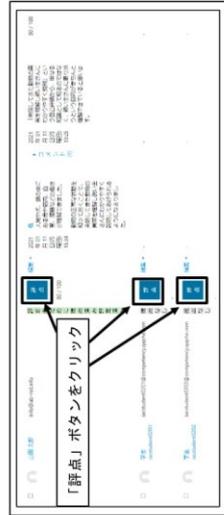


図 39 「評価」ボタンをクリック

⑥ 詳細な評価状況の確認



図 40 詳細な評価状況の確認

2.2.2 すべての提出の一括ダウンロード

① 資格枠組のレベル定義の指標をクリック

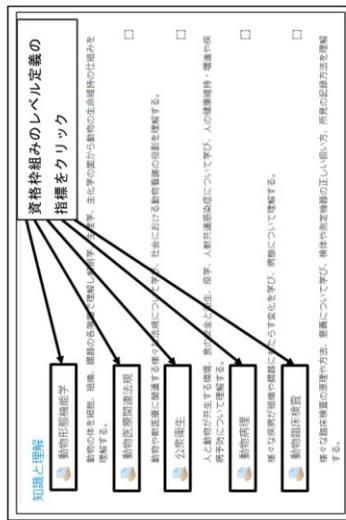


図 41 資格組みのレベル定義の指標をクリック

② 「アクションメニュー」をクリック



図 42 「アクションメニュー」をクリック

③ 「すべての提出をダウンロードする」をクリック

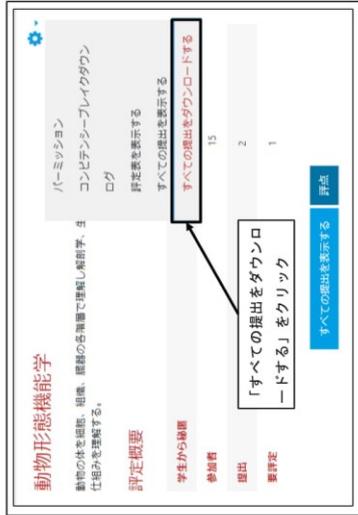


図 43 「すべての提出をダウンロードする」をクリック

④ 保存場所を指定し、「保存」ボタンをクリック



図 44 保存場所を指定し、「保存」ボタンをクリック

⑤ ダウンロードした ZIP 圧縮ファイルを解凍



図 45 ダウンロードした ZIP 圧縮ファイルを解凍

⑥ 圧縮フォルダの展開



図 46 圧縮フォルダの展開

⑦ 圧縮フォルダが展開される



図 47 圧縮フォルダが展開される

2.2.3 評価表の表示

① 「評価」をクリック



図 48 「評価」をクリック

② 「表示」タブをクリック

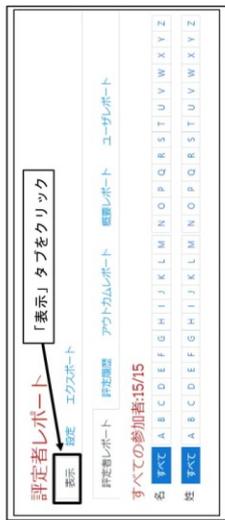


図 49 「表示」タブをクリック

③ 「評価者レポート」タブをクリック



図 50 「評価者レポート」タブをクリック

④ 評価表が表示される
合格点は赤い文字で得点が表示される。



図 51 評価表が表示される

2.2.4 評価表のエクスポート

評価表を、Excel 形式でエクスポートする。

① 「評価」をクリック



図 52 「評価」をクリック

② 「エクスポート」タブをクリック

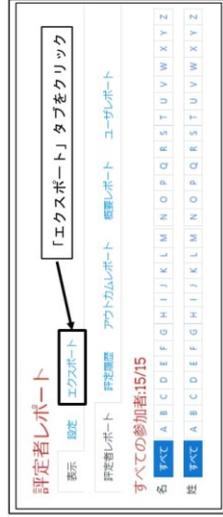


図 53 「エクスポート」タブをクリック

③ Excel スプレッドシートタブをクリック



図 58 保存場所を指定し、「保存」ボタンをクリック

⑧ Excel用データとしてエクスポートされる



図 59 Excel用データとしてエクスポートされる

3 アンケートの利用

3.1 アンケートへの回答

「学修成果情報共有システム試用アンケート(教員用)2020」は、学修成果情報共有システム利用者に向けたアンケートである。学修成果情報共有システムを一通り利用した後でアンケートに回答する。

3.1.1 アンケートへの回答

① 「学修成果情報共有システム試用アンケート(教員用)2020」をクリック



図 60 「学修成果情報共有システム試用アンケート(教員用)2020」をクリック

② 「学修成果情報共有システム試用アンケート(教員用)」をクリック

図 61 「学修成果情報共有システム試用アンケート(教員用)」をクリック

③ 「質問に回答する」ボタンをクリック

図 62 「質問に回答する」ボタンをクリック

④ 質問に回答する
質問に赤い「!」が表示されているものは必須回答、表示されていないものは任意回答である。

図 63 質問に回答する

⑤ 最後の質問まで回答し、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリック

図 64 最後の質問まで回答し、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリック

⑥ 回答の完了を確認し、「続ける」ボタンをクリック

図 65 回答の完了を確認し、「続ける」ボタンをクリック

⑦ コース画面に戻る

令和2年度文部科学省
職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業

学校評価の充実等を目的とした
資格枠組の共有化・職業分野別展開と
その有用性の検証

事業成果報告書

発行日 令和3年3月

発行者 一般社団法人専門職高等教育質保証機構

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス 3F

■禁無断転載■